

授 業 科 目 名	哲学		
担 当 者 名	吉田 正史	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド	2200001	授 業 形 態	講義
学 年	2年	開 講 期	2024年度前期
単 位 数	2	履 修	選択必修
ナ ン バ リ ン グ	DP1-2-A		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	われわれはどこから来たのでしょうか。われわれはこの世で何をのでしょうか。われわれはどこへ行くのでしょうか。要するに、われわれはいったい何なのでしょうか。この問いこそ哲学の命であると言えましょう。この核心的で本来最高の人類的関心事であるはずの問題を先哲の言葉に耳を傾けながら考えてみましょう。		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	神と世界、自由と不死性といった伝統的な哲学の問題の基礎的な理解を通じて、人生を見つめる、より広くより深い精神的背景を身につけること。		
授 業 計 画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	はじめに 哲学とは何か	事前：図書館等を利用し、哲学という学問について調べておくこと (90分) 事後：講義を振り返り、理解の不十分な点を熟考すること (90分)	
2	霊魂の不滅 死後存続研究史	事前：次回用資料の通読もしくは次回予告内容をめぐっての下調べ (90分) 事後：講義を振り返り、理解の不十分な点を熟考すること (90分)	
3	霊魂の不滅 仏教の輪廻転生説	事前：次回用資料の通読もしくは次回予告内容をめぐっての下調べ (90分) 事後：講義を振り返り、理解の不十分な点を熟考すること (90分)	
4	霊魂の不滅 死後存続を示唆する事例の紹介(1) 退行催眠被験者の諸事例	事前：次回用資料の通読もしくは次回予告内容をめぐっての下調べ (90分) 事後：講義を振り返り、理解の不十分な点を熟考すること (90分)	
5	霊魂の不滅 死後存続を示唆する事例の紹介(2) 前世記憶保持者の諸事例	事前：次回用資料の通読もしくは次回予告内容をめぐっての下調べ (90分) 事後：講義を振り返り、理解の不十分な点を熟考すること (90分)	
6	霊魂の不滅 死後存続を示唆する事例の紹介(3) 小泉八雲の勝五郎再生譚	事前：次回用資料の通読もしくは次回予告内容をめぐっての下調べ (90分) 事後：講義を振り返り、理解の不十分な点を熟考すること (90分)	
7	霊魂の不滅 死後存続は可能か(1) ジェイムズの脳の伝達機能説① 脳科学の基本的立場	事前：次回用資料の通読もしくは次回予告内容をめぐっての下調べ (90分) 事後：講義を振り返り、理解の不十分な点を熟考すること (90分)	





参考書又は参考資料等	
澤瀉久敬『アンリ・ベルクソン』（中公文庫、昭和62年）。その他参考図書は講義中に適宜指示する。	
その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕	
世にアクティヴ・ラーニングが喧しいが、勉学の外面的形式ではなく、頭の中をアクティヴにすることこそ望ましい。そのためには、まずは講義をしっかりと聴くことである。また、討論中の講師の発言がフィードバックであると心得られたい。	
担当教員の連絡先等	
担当教員E-mail	その他
	質問のある場合、出来ればメールは使わずに直接当方研究室（2-413）まで来られたい（研修日を除けば、基本的に午後5時まで研究室に在室）。

授 業 科 目 名	心理学		
担 当 者 名	福田 恭介	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド	2000001	授 業 形 態	講義
学 年	2年	開 講 期	2024年度前期
単 位 数	2	履 修	選択必修
ナ ン バ リ ン グ	DP1-2-A		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	心理学は、学ぶ前の学生には最も大きな期待を、学んだ学生には最も大きな失望を与える学問だと言った人がいる。一般の人が心理学に期待することは、カウンセリングなどの臨床心理学、性格判断や心理テスト、犯罪の心理学的捜査などが多いです。心理学は、その発展途上で、科学にすることを目指してきました。研究者たちは、学問として確固たるものにするために、その必要があったのです。臨床心理士や公認心理士の影響もあり、その道を進む人もいますが、心理学は実験心理学として、その地位を築いてきたのです。したがって種々の項目を網羅的に学んで行く必要があります。		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	受講生は、心理学の基礎から応用までを説明できるようになることを目的としている。しかしサブタイトルにもあるように、心理学は面白い学問だということも知ることができるようになることを目的としている。いわゆる実験心理学も臨床心理学等も深く学ぶことができるようになる。		
授 業 計 画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	心理学のテーマは無限—心理学って何だ？	事前：テキストの指定範囲の予習（90分） 事後：授業内容の復習（90分） ※詳細は下の補足説明欄を参照（以下同じ）。	
2	悩みを抱える人を助ける—臨床心理学	事前：テキストの指定範囲の予習（90分） 事後：授業内容の復習（90分）	
3	精神分析、人間性心理学	事前：テキストの指定範囲の予習（90分） 事後：授業内容の復習（90分）	
4	性格は変えられるか—性格と個人差の心理学	事前：テキストの指定範囲の予習（90分） 事後：授業内容の復習（90分）	
5	社会的行動の心理学	事前：テキストの指定範囲の予習（90分） 事後：授業内容の復習（90分）	
6	人を好きになるのはなぜ？	事前：テキストの指定範囲の予習（90分） 事後：授業内容の復習（90分）	
7	人が生まれてから死ぬまで—発達心理学	事前：テキストの指定範囲の予習（90分） 事後：授業内容の復習（90分）	
8	人生は悩むこと—思春期・青年期	事前：テキストの指定範囲の予習（90分） 事後：授業内容の復習（90分）	
9	心を測る—心理学的アセスメント	事前：テキストの指定範囲の予習（90分） 事後：授業内容の復習（90分）	
10	発達のアセスメント、性格のアセスメント	事前：テキストの指定範囲の予習（90分） 事後：授業内容の復習（90分）	
11	世界をどうとらえるか—知覚・認知・記憶の心理学	事前：テキストの指定範囲の予習（90分） 事後：授業内容の復習（90分）	
12	知覚とアフォーダンス	事前：テキストの指定範囲の予習（90分） 事後：授業内容の復習（90分）	

13	行動と学習の心理学	事前：テキストの指定範囲の予習（90分） 事後：授業内容の復習（90分）
14	心はどう探求されてきたかー心理学の歴史	事前：テキストの指定範囲の予習（90分） 事後：授業内容の復習（90分）
15	心理学の未来	事前：テキストの指定範囲の予習（90分） 事後：授業内容の復習（90分）

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

毎週4時間、全体で60時間を目標に学修してください。学修内容は、教科書を基にして予習をしてください。また授業後の復習もしっかり頭に残るように、ノートを整理しておいてください。

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	ノート作成得点		
80%	20%		

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
『心理学・入門』改訂版、2019	サトウタツヤ・渡邊芳之	有斐閣

#### 参考書又は参考資料等

#### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

授業時間数の3分の1以上欠席した者には単位を与えない。授業中の無駄話や必要もないのに席を立つ行為は厳に慎むこと。

#### 担当教員の連絡先等

担当教員E-mail	その他

授 業 科 目 名	美術		
担 当 者 名	都 留 守	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2000002	授 業 形 態	講義
学 年	2年	開 講 期	2024年度後期
単 位 数	2	履 修	選択必修
ナ ン バ リ ン グ	DP1-2-B		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>「対話による美術鑑賞」と「表現活動」を一体化した授業です。この演習では、公立学校教諭・北九州市教育委員会指導主事としての職務経験を有する教員が、公立学校での指導経験・研修歴を生かして授業を実施する。『見つめる感じる考える Watch Feel Think』の活動から生まれた各自の意見を交流し合うことで、芸術作品のテーマや作者の思いに迫り、自己の価値観を高め・深め・広げる鑑賞を行います。意見の交流を通して、自己の相対比や他者理解が促されます。学習者が発見し関心をもった課題を全員で考え、共同で知識を構成していく授業です。そして、鑑賞活動を通して得た感動や学びをもとに自由に自己表現します。</p>		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<p>「美術を通して豊かな感性をもつ人間形成」を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 作品鑑賞を通して、見つめる力・感じる力・考える力を養う。</li> <li>2. 芸術作品と出会って、見つけた課題を自分の言葉で表現する力を養う。</li> <li>3. 他者の意見を受け入れ、自分の見方・感じ方・考え方を高め・深め・広げる。</li> <li>4. 鑑賞を通して得た感動や学びをもとに、自己表現をする力を養う。</li> </ol>		
授 業 計 画	準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 等 ) の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間		
1	オリエンテーション 色々な見方、感じ方、表し方に出会う。	事前：「色々な見方、感じ方」について調べる（90分） 事後：「色々な作品」を観た感想を「振り返り」にまとめる（90分）	
2	デューラーの作品「祈りの手」を鑑賞し、作品に込めた思いに触れ、鉛筆で「祈りの手」を描こう。	事前：「デューラー」について調べる（90分） 事後：「デューラー」について学んだことを「振り返り」にまとめる（90分）	
3	古賀春江の作品「無題」を鑑賞し、思い付いたお話をもとに次の場面を想像して描こう。	事前：「古賀春江」について調べる（90分） 事後：「古賀春江」について学んだことを「振り返り」にまとめる（90分）	
4	ゴッホが「ひまわり」に込めた思い・願いを受け止め、「私のひまわり」をオイルパステルで描こう。	事前：「ゴッホ」について調べる（90分） 事後：「ゴッホ」について学んだことを「振り返り」にまとめる（90分）	
5	マチスの作品「ジャズ」を鑑賞し、コラージュの技法で表現しよう。	事前：「マチス」について調べる（90分） 事後：「マチス」について学んだことを「振り返り」にまとめる（90分）	
6	ドガの作品「マネとマネ夫人像」を鑑賞し、作品の切り取られた部分を想像してパステルで表現しよう。	事前：「ドガ」について調べる（90分） 事後：「ドガ」について学んだことを「振り返り」にまとめる（90分）	
7	田中敦子の作品を鑑賞し、丸と線で表現をしよう	事前：「田中敦子」について調べる（90分） 事後：「田中敦子」について学んだことを「振り返り」にまとめる（90分）	

8	白髪一雄の作品を鑑賞し、絵の具と紙粘土で表現しよう。	事前：「白髪一雄」について調べる（90分） 事後：「白髪一雄」について学んだことを「振り返り」にまとめる（90分）
9	糸園和三郎の作品「老婦と子ども」を鑑賞し、「過去・現在・未来」をモノトーンで表現しよう。	事前：「糸園和三郎」について調べる（90分） 事後：「糸園和三郎」について学んだことを「振り返り」にまとめる（90分）
10	一原有徳の作品を鑑賞し、モノプリントで表現しよう。	事前：「一原有徳」について調べる（90分） 事後：「一原有徳」について学んだことを「振り返り」にまとめる（90分）
11	ピカソの作品を鑑賞し、オイルパステルで「自画像」を表現しよう。	事前：「ピカソ」について調べる（90分） 事後：「ピカソ」について学んだことを「振り返り」にまとめる（90分）
12	北九州市立美術館の企画展を鑑賞する校外研修の事前研修を行い、研修計画をたてる。	事前：「北九州市立美術館」について調べる（90分） 事後：「北九州市立美術館」について学んだことを「振り返り」にまとめる（90分）
13	北九州市立美術館の企画展を鑑賞する（校外研修）	事前：「企画展」について調べる（90分） 事後：「企画展」について学んだことを「振り返り」にまとめる（90分）
14	北九州市立美術館の企画展を鑑賞する（校外研修）	事前：「企画展」について調べる（90分） 事後：「企画展」について学んだことを「振り返り」にまとめる（90分）
15	木下晋「103年の闘争3 2003」に描かれたものを感じ取ろう。「美術」のまとめと評価をしよう。	事前：「木下晋」について調べる（90分） 事後：「木下晋」について学んだことを「振り返り」にまとめる（90分）

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

- ・毎時間の授業の「振り返り」と「作品の写真」をWebメールで送信する。
- ・「振り返り」は、毎時間の講義後に提出を求めます。

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

授業中の取り組み姿勢から「意欲・関心・態度」を評価する	Webメールで送信する「振り返り」から「発想・構想の能力」「鑑賞の能力」を評価する	毎時間製作する作品から「創造的な技能」を評価する	授業以外の自主的な活動を評価する
30%	40%	30%	

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
使用しません		

#### 参考書又は参考資料等

- 1.『見つめる 感じる 考える Watch Feel Think』＝鑑賞学習資料：北九州市立美術館を活用した学習プログラム
- 2.『見つめる 感じる 考える Watch Feel Think』＝平成21-23年度科学研究費補助金基盤研究（B）研究課題「対話による意味生成的な美術鑑賞教育の地域カリキュラム開発」報告書

**その他**〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

- ・授業で学んだ芸術家について、本学の図書館や北九州市立美術館などの美術館に各自で行って調べる。
  - ・授業中に疑問に思ったことやもっと知りたいと思ったことを各自で研究する。
- ※授業後、鑑賞した作家や作品について自主的に調べたり、展覧会に行き鑑賞したりしたことをレポートで提出したものについては、重く評価する。
- ・Webメールで「振り返り」を毎時間提出します。
  - ・「作品鑑賞カード」「ワークシート」は、必要に応じて配布します。
  - ・「鑑賞資料」は、必要に応じて配布します。
  - ・画用紙などの材料は、基本的に本学の備品を共同で使用します。
  - ・作業がしやすい服装で参加してください。
  - ・絵の具セット、小道具セット（はさみ、のり、カッター、定規など）、硬筆材（サクラクレパス12色セット）を各自で用意すると授業に取り組みやすくなります。

#### 担当教員の連絡先等

担当教員E-mail	その他

授 業 科 目 名	国語		
担 当 者 名	増田 夏彦	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド	2000003	授 業 形 態	講義
学 年	1年	開 講 期	2024年度後期
単 位 数	2	履 修	選択必修
ナ ン バ リ ン グ	DP1-1-B		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>保育士は、おおよそ子どもが最初に濃密に接する外部の大人であろう。そのため言葉には十分留意し、お手本とならなければならない。国語には、「話す」「聞く」「書く」「読む」の四領域があるが、本講義では「話す」「書く」という表現に重点を置いて進めていく。</p> <p>前半では会話表現について、発音・発声や敬語・言葉の乱れなどから始め、あらゆるシチュエーションにおける話し方を基礎と応用に分け、実際に書くなどして身に付けていく。</p> <p>後半では文章表現について、基礎編としてペンの正しい持ち方や仮名・漢字の書き方などから始め、さまざまな文章作成上の留意点などを演習しながら学習する。応用編は原稿用紙のルールについて学び、実際に文章を書く。以上の講義によって、言葉を適切に表現して物事を正確に理解する能力を養成し、言語能力や表現能力の向上を図る。</p> <p>保育士として必要な日本語表現について問題を解きながら学び、一般常識を身に付け、来たるべき実習、ひいては採用試験に資することが本講義の目的である。</p>		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<p>1) 保育士として、TPOに応じた話し方ができるようになる。</p> <p>2) 正しい表記や表現で、文を作成できるようになる。</p> <p>3) 正しい書き方で、文章を作成できるようになる。</p>		
授 業 計 画	準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 等 ) の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間		
1	オリエンテーション……授業についての説明・授業計画。国語表現について。	<p>事前：テキストの第1章② (p25) までを通読し、不明な箇所を調べる (90分)</p> <p>事後：ノートを整理しながら講義を復習する (90分)</p>	
2	会話表現 (基礎編) ……敬語の使い方について学ぶ。	<p>事前：テキスト指定範囲を通読し、不明な箇所を調べる (90分)</p> <p>事後：ノートをまとめ、演習プリントを解く (90分)</p>	
3	会話表現 (基礎編) ……敬語表現について練習を重ね、実践的に学ぶ。	<p>事前：テキスト指定範囲を通読し、不明な箇所を調べる (90分)</p> <p>事後：ノートをまとめ、演習問題①を解く (90分)</p>	
4	会話表現 (基礎編) ……言葉の乱れについて学ぶ。	<p>事前：テキスト指定範囲を通読し、不明な箇所を調べる (90分)</p> <p>事後：ノートをまとめ、演習プリントを解く (90分)</p>	
5	会話表現 (応用編) ……自己紹介の仕方について学ぶ。	<p>事前：テキスト指定範囲を通読し、不明な箇所を調べる (90分)</p> <p>事後：ノートをまとめ、演習問題②を解く (90分)</p>	
6	会話表現 (応用編) ……保育の現場での話し方について学ぶ。	<p>事前：テキスト指定範囲を通読し、不明な箇所を調べる (90分)</p> <p>事後：ノートを整理しながら講義を復習する (90分)</p>	
7	会話表現 (応用編) ……就職面接等での話し方について学ぶ。	<p>事前：テキスト指定範囲を通読し、不明な箇所を調べる (90分)</p> <p>事後：ノートを整理しながら講義を復習する (90分)</p>	

8	文章表現（基礎編）……平仮名・片仮名の正しい字形について学ぶ。	事前：テキスト指定範囲を通読し、不明な箇所を調べる（90分） 事後：ノートをまとめ、演習問題③を解く（90分）
9	文章表現（基礎編）……教育漢字の正しい字形について学ぶ。	事前：テキスト指定範囲を通読し、不明な箇所を調べる（90分） 事後：ノートをまとめ、演習問題④を解く（90分）
10	文章表現（基礎編）……現代表記や用字用語・慣用句について学ぶ。	事前：テキスト指定範囲を通読し、不明な箇所を調べる（90分） 事後：ノートをまとめ、演習問題⑤⑥を解く（90分）
11	文章表現（基礎編）……漢字の誤用や当て字について学ぶ。	事前：テキスト指定範囲を通読し、不明な箇所を調べる（90分） 事後：ノートをまとめ、演習問題⑦を解く（90分）
12	文章表現（基礎編）……差別語等や記号について学ぶ。	事前：テキスト指定範囲を通読し、不明な箇所を調べる（90分） 事後：ノートをまとめ、演習問題⑧を解く（90分）
13	文章表現（基礎編）……重複表現について学ぶ。	事前：テキスト指定範囲を通読し、不明な箇所を調べる（90分） 事後：ノートをまとめ、演習問題⑨を解く（90分）
14	文章表現（応用編）……原稿用紙のルールについて学ぶ。	事前：テキスト指定範囲を通読し、不明な箇所を調べる（90分） 事後：ノートを整理しながら作文の構想を練る（90分）
15	文章表現（応用編）……原稿用紙を用いて、実際に文章を書く。	事前：テキスト指定範囲を通読し、不明な箇所を調べる（90分） 事後：演習問題やノートを活用し、講義全体を復習する（90分）

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

演習プリント・テキスト付属の演習問題・作文・ノート等については、その都度提出する。（次回の講義時に返却します）

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	授業への取組み姿勢・提出物		
70%	30%		

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
保育者になるための国語表現	田上貞一郎	萌文書林

#### 参考書又は参考資料等

・講義の中で、適宜紹介していきます。

**その他**〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕



※成績評価については、定期試験を行い、授業への取組み姿勢や提出物などを加味して、総合的に評価する。

- ・とにかく社会人になって損をしない、恥をかかない国語力だけは身に付けてください。
- ・テキストは必ず購入してください。数回終了後、テキストを持っていない者（なくした者を含む）には単位を出せません。
- ・提出された課題は、細かくチェックします。定期試験に向けて必ず確認してください。
- ・テキスト以外にもプリントを配布します。各自ファイルを用意すること。
- ・講義中の私語は、他の受講生の迷惑となります。ひどいときには、退室を申し渡す場合があります。

#### 担当教員の連絡先等

担当教員E-mail	その他
	講義の前後10分間は、2号館4階非常勤講師室にて質問等対応可。

授 業 科 目 名	文学		
担 当 者 名	増田 夏彦	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド	2000004	授 業 形 態	講義
学 年	2年	開 講 期	2024年度後期
単 位 数	2	履 修	選択必修
ナ ン バ リ ン グ	DP1-2-B		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>文学は精神の発露である。文学史をひもとくことは、精神史をひもとくことにほかならない。本講義では、文学史と有名作品の冒頭および内容から日本文学を概観し、日本人の精神史を考究する。</p> <p>具体的には、時代によって上代・中古・中世・近世・近代・現代の六期に分け、それぞれにおいて韻文学・散文学・劇文学の三種に分類した上で、その流れを探究していく。</p> <p>また、韻文学である詩歌は、言葉の芸術の精華であろう。最後にその詩歌の鑑賞を実践し、ひいては日本人の精神世界に触れていくことによって、日本文化への理解をより一層深めることを目指す。</p> <p>大学生として必要な一般常識を、問題を解きながら身に付け、来たるべき就職試験の一助となることも本講義の目的である。</p>		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<p>1) 日本文学の概要を、文学史や有名作品から知る。</p> <p>2) 日本人の精神史を理解する。</p> <p>3) 詩歌を解釈することによって鑑賞できるようになり、日本文化への理解を深める。</p>		
授 業 計 画	準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 等 ) の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間		
1	オリエンテーション……授業の説明・計画，日本文学史の時代区分と分類	事前：政治的な時代区分等を調べる(90分) 事後：ノートを整理し、次回に備える(90分)	
2	上代の文学……文学史と作品	事前：上代の時代背景や作品を調べる(90分) 事後：ノートをまとめ、演習問題を解く(90分)	
3	中古の文学……文学史と作品（韻文学）	事前：中古の時代背景や作品を調べる(90分) 事後：ノートをまとめ、演習問題を解く(90分)	
4	中古の文学……文学史と作品（散文学）	事前：中古の散文学の作品を調べる(90分) 事後：ノートをまとめ、演習問題を解く(90分)	
5	中世の文学……文学史と作品	事前：中世の時代背景や作品を調べる(90分) 事後：ノートをまとめ、演習問題を解く(90分)	
6	近世の文学……文学史と作品（散文学）	事前：近世の時代背景や作品を調べる(90分) 事後：ノートをまとめ、演習問題を解く(90分)	
7	近世の文学……文学史と作品（韻文学・劇文学）	事前：近世の韻文学等の作品を調べる(90分) 事後：ノートをまとめ、演習問題を解く(90分)	
8	近代の文学……文学史と作品	事前：近代の時代背景や作品を調べる(90分) 事後：ノートをまとめ、演習問題を解く(90分)	
9	現代の文学……文学史と作品	事前：現代の時代背景や作品を調べる(90分) 事後：ノートをまとめ、演習問題を解く(90分)	
10	詩歌……詩集・歌集など	事前：詩・短歌・俳句の作品を調べる(90分) 事後：ノートをまとめ、演習問題を解く(90分)	
11	外国の文学……作家と作品	事前：外国の文学の作品を国別に調べる(90分) 事後：ノートをまとめ、演習問題を解く(90分)	

12	日本文学冒頭文……古文・現代文	事前：テキスト所載の作品の解釈をする(90分) 事後：ノートをまとめ、演習問題を解く(90分)
13	詩歌……和歌・短歌の鑑賞	事前：テキスト所載の作品の解釈をする(90分) 事後：ノートをまとめ、演習問題を解く(90分)
14	詩歌……俳諧・俳句の鑑賞	事前：テキスト所載の作品の解釈をする(90分) 事後：ノートをまとめ、演習問題を解く(90分)
15	まとめ……今一度文学の全体の流れを確認する	事前：プリントに従って文学の流れをまとめる(90分) 事後：演習問題やノートを活用し、講義全体を復習する(90分)

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

- ・講義に出てきた作品は、図書館で探して手に取ってみること。
- ・テキストとノートは、第13回の講義後に提出を求めます。(第14回の講義時に返却します)

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	授業への取り組み姿勢・提出物		
70%	30%		

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
新版二訂 必携国語	第一学習社編集部編	第一学習社

#### 参考書又は参考資料等

- ・講義の中で、適宜紹介していきます。

#### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

- ※成績評価については、定期試験を行い、授業への取り組み姿勢や提出物などを加味して、総合的に評価する。
- ・日本文学の歴史を学ぶことにより、一般常識と精神的な豊かさを身に付けてください。また、講義の中で興味のわいた作品は、是非とも通読してみてください。
  - ・テキストは必ず購入してください。数回終了後、テキストを持っていない者(なくした者を含む)には単位を出せません。
  - ・提出されたテキストは、細かくチェックします。定期試験に向けて必ず確認してください。
  - ・テキスト以外にもプリントを配布します。各自ファイルを用意すること。
  - ・講義中の私語は、他の受講生の迷惑となります。ひどいときには、退室を申し渡す場合があります。

#### 担当教員の連絡先等

担当教員E-mail	その他
	講義の前後10分間は、2号館4階非常勤講師室にて質問等対応可。

授 業 科 目 名	日本国憲法		
担 当 者 名	水野 陽一	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド	2000005	授 業 形 態	講義
学 年	2年	開 講 期	2024年度前期
単 位 数	2	履 修	選択必修・幼稚園教諭必修
ナ ン バ リ ン グ	DP1-2-A		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	私たちは日本というひとつの国をつくり、様々なルール、すなわち法律を決めて日々暮らしています。一人ひとりの自由や平等、国を運営していくしくみを定めた法律が日本国憲法です。この授業では、なるべく身近な話題から、憲法の持つ意味や、憲法をめぐる様々な議論を考えていきましょう。		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	1. 人権や政治に関する用語を適切に理解する。 2. 人権や政治に関する新聞記事やニュース番組に関心を持つ。 3. 人権や政治に関する様々な議論について、自身の考えを深める。		
授 業 計 画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	法とは何か	事前：初回は事前学習不要 事後：講義中の内容を復習（180分）	
2	法の解釈・適用	事前：予告した内容の予習（90分） 事後：講義中の内容を復習（90分）	
3	憲法の基本原理	事前：予告した内容の予習（90分） 事後：講義中の内容を復習（90分）	
4	国会	事前：予告した内容の予習（90分） 事後：講義中の内容を復習（90分）	
5	裁判	事前：予告した内容の予習（90分） 事後：講義中の内容を復習（90分）	
6	財産権：お金を借りるということ	事前：予告した内容の予習（90分） 事後：講義中の内容を復習（90分）	
7	教育を受ける権利：奨学金を例に	事前：予告した内容の予習（90分） 事後：講義中の内容を復習（90分）	
8	生存権：生活保護	事前：予告した内容の予習（90分） 事後：講義中の内容を復習（90分）	
9	身体の自由：刑事手続	事前：予告した内容の予習（90分） 事後：講義中の内容を復習（90分）	
10	刑法：適正手続の保障	事前：予告した内容の予習（90分） 事後：講義中の内容を復習（90分）	
11	刑法：罪刑法定主義	事前：予告した内容の予習（90分） 事後：講義中の内容を復習（90分）	
12	刑事裁判制度	事前：予告した内容の予習（90分） 事後：講義中の内容を復習（90分）	
13	個人の尊重とAI	事前：予告した内容の予習（90分） 事後：講義中の内容を復習（90分）	
14	労働者の権利	事前：予告した内容の予習（90分） 事後：講義中の内容を復習（90分）	

15	労働の基準	事前：予告した内容の予習（90分） 事後：講義中の内容を復習（90分）
<b>準備学習・事後学習等についての補足説明</b>		
・各回の講義にて、事後学習等について連絡をします。		
<b>成績評価の方法〔評価項目と割合〕</b>		
定期試験（筆記試験）		
100%		
<b>使用テキスト</b>		
書籍名	著者	出版社
図録法学入門	堀口 悟郎 編著 斎藤 一久 編著	弘文堂
<b>参考書又は参考資料等</b>		
・必要に応じて講義中に紹介します。		
<b>その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕</b>		
・講義中の私語には厳しく注意します。		
<b>担当教員の連絡先等</b>		
担当教員E-mail	その他	
	対面：講義後質問可	

授 業 科 目 名	情報処理学		
担 当 者 名	林 勝裕	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド	2000008	授 業 形 態	講義
学 年	1年	開 講 期	2024年度前期
単 位 数	2	履 修	選択必修・幼稚園教諭必修
ナ ン バ リ ン グ	DP1-1-A		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>本講義では、コンピュータ操作とインターネットを利用した情報処理に慣れ、日常生活や仕事の中で有効活用するための情報活用能力を身につけます。</p> <p>幼児教育活動での利用が予測されるアプリケーションソフトウェアの実践的活用ができるように、演習課題では教育現場に即した内容を想定しています。</p>		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Windowsの基本操作ができ、ネットワーク端末としてのコンピュータを利用し、電子メールの基礎的使用方法、Web検索の簡単な方法など、インターネットを使用した正しい情報の収集及び加工ができる。</li> <li>・ Wordを使用して文章入力や文書整形、文字の装飾、ページレイアウト、作表、図形挿入ができる。</li> <li>・ Excelを使用して数値データ処理、表整形、関数の使用、グラフ作成ができる。</li> <li>・ Power pointを使用してプレゼンテーション資料の作成ができる。</li> </ul>		
授 業 計 画	準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 等 ) の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間		
1	コンピュータの基礎：コンピュータの仕組み、ハード・ソフトウェア、OS等	<p>事前学習：次回の講義内容をテキストで確認し、操作ができるように学校のパソコンなどで練習しておくこと。</p> <p>事後学習：講義後はテキストや配布資料を読み返し、キーワードとなる用語を十分に理解できるように復習をする。 (事前・事後学習、各90分程度)</p>	
2	Windowsの基本操作：マウスの操作、ウィンドウの操作、日本語入力	<p>事前学習：次回の講義までにテキストや配布資料を見直して、前回の講義内容を再確認する。</p> <p>事後学習：講義後は配布された配布資料を読み返し、キーワードとなる用語を十分に理解できるように復習をする。 (事前・事後学習、各90分程度)</p>	
3	インターネットの有効利用：インターネットの概要、情報の検索・加工等	<p>事前学習：次回の講義までに、前回の配布資料を見直して復習しておくこと (90分程度)。</p> <p>事後学習：次回の講義までに授業で扱った内容をしっかりと復習する (90分程度)。</p>	
4	電子メールの仕組みと設定：電子メールの仕組みと学内でのメール利用環境設定	<p>事前学習：次回の講義内容をテキストで確認しておくこと (90分程度)。</p> <p>事後学習：次回の講義までに授業で扱った内容をしっかりと復習すること (90分程度)。</p>	
5	電子メール演習：ビジネス様式の電子メール演習	<p>事前学習：前回の講義内容をテキストで確認し、操作ができるように学校のパソコンなどで練習しておくこと。</p> <p>事後学習：次回の講義までに授業で扱った内容をしっかりと復習すること。(事前・事後学習、各90分程度)</p>	

6	(Word)基本操作演習1：文章入力、文字の設定変更、描画オブジェクト、図形描写	事前学習：講義前に(Word)基本操作をテキストで確認し、操作ができるように学校のパソコンなどで練習しておくこと（90分程度）。 事後学習：講義後はテキストや配布資料を読み返し、十分に理解できるように復習をする（90分程度）。
7	(Word)基本操作演習2：テキストボックス、特殊効果文字、クリップアート	事前学習：講義前に(Word)基本操作をテキストで確認し、操作ができるように学校のパソコンなどで練習しておくこと（90分程度）。 事後学習：講義後はテキストや配布資料を読み返し、十分に理解できるように復習をする（90分程度）。
8	(Word)課題作成1：ペイントの基本操作、「園だより」課題作成	事前学習：授業中に提示された課題については提出要件をよく確認し、前回までの授業内容をもとに課題を作成すること（90分程度）。 事後学習：次回の授業までに授業で扱った内容をしっかりと復習すること（90分程度）。
9	(Word)課題作成2：「園だより」課題提出（印刷物・メール貼付・ファイルCOPY）	事前学習：授業中に提示された課題について、(Word)基本操作ができるように学校のパソコンなどで練習しておくこと。（90分程度）。 事後学習：次回の授業までに課題を完成させ、提出できるようにすること（90分程度）。
10	(Power point)基本操作1：プレゼンテーションの基礎、図形挿入、アニメーションの設定、画面切り替え、「園だより」の素材（データ）を使って課題作成	事前学習：講義前に(Power point)基本操作をテキストで確認し、操作ができるように学校のパソコンなどで練習しておくこと（90分程度）。 事後学習：講義後はテキストを読み返し、十分に理解できるように復習をする（90分程度）。
11	(Power point)基本操作2：プレゼンテーションの基礎、図形挿入、アニメーションの設定、画面切り替え、「園だより」の素材（データ）を使って課題提出	事前学習：授業中に提示された課題について、(Power point)基本操作ができるように学校のパソコンなどで練習しておくこと。（90分程度）。 事後学習：次回の授業までに課題を完成させ、提出できるようにすること（90分程度）。
12	(Excel)基本操作演習1：データ入力の基礎計算式、書式の変更、WordにExcelの表を貼り付け	事前学習：講義前に(Excel)基本操作をテキストで確認し、操作ができるように学校のパソコンなどで練習しておくこと（90分程度）。 事後学習：講義後はテキストを読み返し、十分に理解できるように復習をする（90分程度）。
13	(Excel)基本操作演習2：オートフィル、基本的関数、罫線、グラフ等	事前学習：講義前に(Excel)基本操作をテキストで確認し、操作ができるように学校のパソコンなどで練習しておくこと（90分程度）。 事後学習：講義後はテキストを読み返し、十分に理解できるように復習をする（90分程度）。
14	(Excel)小テスト	事前学習：講義前に(Excel)基本操作をテキストで確認し、操作ができるように学校のパソコンなどで練習しておくこと（90分程度）。 事後学習：(Excel)小テスト後はテキストを読み返し、十分に理解できるように復習をする（90分程度）。

15	(Excel)基本操作演習3：「児童台帳」、「日々の記録の例」作成	<p>事前学習：講義前に(Excel)基本操作をテキストで確認し、操作ができるように学校のパソコンなどで練習しておくこと（90分程度）。</p> <p>事後学習：これまで授業で学んできた基本操作や各アプリケーションソフトウェアを活用ができるか再確認をする（90分程度）。</p>
----	-----------------------------------	---

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

基礎から応用まで幅広い内容となっていますので、毎回の講義の復習は必須です。また、日頃から、情報処理学の授業以外でもレポート課題やプレゼン資料等の作成でパソコンに触れることがスキルアップにつながっていきます。

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	Word・Excel課題	Power point課題	Excel小テスト
40%	40%	10%	10%

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
「保育者のためのパソコン講座」Windows10/8.1/7 Office2010/2013/2016対応版	阿部正平・阿部和子・二宮祐子	萌文書林

#### 参考書又は参考資料等

特になし

#### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

授業の後半になると課題作成が多くなりますので、提出期限に遅れないようにすること。

#### 担当教員の連絡先等

担当教員E-mail	その他
	講義終了後の質問等対応可。



授 業 科 目 名	国際理解		
担 当 者 名	竹並 正宏、梅崎 義雄	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2000010	授 業 形 態	演習
学 年	1年	開 講 期	2024年度前期
単 位 数	2	履 修	選択
ナ ン バ リ ン グ	DP4-1-C		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>グローバル化の進む社会では、各分野のスペシャリストが、国際的感覚や視野を持つことは、大切である。このプログラムでは、海外での職務経験を有する教員が、日本が国際化の大きな波の中で、どういう立ち位置にあり、どういう方向性をもち取り組んでいるのか。そして、そこにはどのような課題があるのか。グループディスカッションやディベートを取り入れながら考察し、課題解決策を模索していく。事前研修で、渡航先の歴史や文化を学ぶと同時に郷土・日本のそれらとを比較する。また、最低限の外国語会話スキルの取得を目指し、現地でのフィールドワークの準備をする。渡航先では、各専門分野に関係のある施設や店舗等を訪問し、その際の見聞や体験を通して、その国独特の文化や習慣に基づく多様性に気づく機会を持つ。事後研修では、社会の国際化・多様化に伴って増えてくる新しいニーズと学んだ多様性との因果関係を考察し、プレゼンテーション形式で、体験談をシェアし、課題の解決策の提案へと発展させる。</p>		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 渡航に必要な手続きについての理解（パスポート、ビザ、入国及び通関審査）を通して、国境の意義とその必要性を客観的に説明できるようにする。</li> <li>2. 国際化が進む中、発生する課題について、データを用いて分析・評価する。</li> <li>3. グローバル社会での多様な価値観や利害関係、他民族への配慮等について討議できるようになる。</li> <li>4. 具体的な事例の分析や評価をもとに、課題に向けた解決策を提案する。</li> </ol>		
授 業 計 画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	<p>【梅崎】 オリエンテーション（パスポートやビザ）</p> <p>【竹並】 今年度の国際理解（海外研修）に関するガイダンス</p>	<p>事前：UNIPAで通知したキーワードの意味を調べる。（45分）</p> <p>事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。（45分）</p>	
2	<p>【梅崎】 訪問国の基本的知識の習得（歴史と文化）</p> <p>【竹並】 訪問国の基本的知識の習得（歴史と文化）</p>	<p>事前：UNIPAで通知したキーワードの意味を調べる。（45分）</p> <p>事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。（45分）</p>	
3	<p>【梅崎】 サバイバル英会話①挨拶・自己紹介</p> <p>【竹並】 サバイバル韓国語①挨拶・自己紹介</p>	<p>事前：UNIPAで通知したキーワードの意味を調べる。（45分）</p> <p>事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。（45分）</p>	
4	<p>【梅崎】 サバイバル英会話②空港にて（入国審査・税関）</p> <p>【竹並】 サバイバル韓国語②空港にて（入国審査・税関）</p>	<p>事前：UNIPAで通知したキーワードの意味を調べる。（45分）</p> <p>事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。（45分）</p>	

5	【梅崎】 サバイバル英会話③交通機関の使い方 【竹並】 サバイバル韓国語③交通機関の使い方	事前：UNIPAで通知したキーワードの意味を調べる。(45分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
6	【梅崎】 サバイバル英会話④宿泊先でのチェックイン 【竹並】 サバイバル韓国語④宿泊先でのチェックイン	事前：UNIPAで通知したキーワードの意味を調べる。(45分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
7	【梅崎】 サバイバル英会話⑤買い物時の尋ね方 【竹並】 サバイバル韓国語⑤買い物時の尋ね方	事前：UNIPAで通知したキーワードの意味を調べる。(45分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
8	【梅崎】 サバイバル英会話⑥レストランでの注文や支払い 【竹並】 サバイバル韓国語⑥レストランでの注文や支払い	事前：UNIPAで通知したキーワードの意味を調べる。(45分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
9	【梅崎】 サバイバル英会話⑦道の聞き方・伝え方 【竹並】 サバイバル韓国語⑦道の聞き方・伝え方	事前：UNIPAで通知したキーワードの意味を調べる。(45分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
10	【梅崎】 サバイバル英会話⑧電話での対応の仕方 【竹並】 サバイバル韓国語⑧電話での対応の仕方	事前：UNIPAで通知したキーワードの意味を調べる。(45分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
11	【梅崎】 サバイバル会話⑨アポイントのとり方 【竹並】 サバイバル韓国語⑨アポイントのとり方	事前：UNIPAで通知したキーワードの意味を調べる。(45分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
12	【梅崎】 サバイバル会話⑩お礼・別れの言い方 【竹並】 サバイバル韓国語⑩お礼・別れの言い方	事前：UNIPAで通知した配布資料を通読しておくこと。(45分) 事後：海外渡航への期待や不安、意気込みをアイデアノートにまとめる。(45分)
13	【竹並・梅崎】 現地でのアクティビティーの確認 ①スマホアプリを使った栄養指導 ②折り紙実演と指導 ③その他日本文化の紹介	事前：会話内容や質問事項を検討する。(45分) 事後：現地での役割担当をアイデアノートにまとめる。(45分)
14	【梅崎】 現地在住日本人や外国人との交流とビジネス視察 【竹並】 韓国人との交流と韓食文化・世界遺産視察	事前：アイデアノートを使ってディスカッションの準備をする。(45分) 事後：ディスカッションからのフィードバックをアイデアノートにまとめる。(45分)
15	【竹並・梅崎】 プレゼンテーション：ディスカッション内容の発表	事前：ディスカッションの内容を発表用に整理する。(45分) 事後：プレゼン時に得たフィードバックをアイデアノートにまとめ提出する。(45分)
準備学習・事後学習等についての補足説明		

「アイデアノート」用A4ノートを準備してください。PCで作成しても構いません。プログラム終了時、提出してもらいます。

### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

研修への取り組み	授業への取り組み姿勢	アイデアノート	
50%	25%	25%	

### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
使用しない（都度資料を配布）		

### 参考書又は参考資料等

適時指示する。

### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

#### 【梅崎】

アイデアノートの作成を課します。クリエイティビティ（図表やイラストなど）や独創性も評価します。

#### 【竹並】

※成績評価については、担当教員が、事前学習の受講姿勢、研修中の状況及び研修終了後の報告書(レポート)を総合的に評価する。

①授業の進め方：教科担任及びJTB担当者が連携を取りながら、海外研修に関する事前学習、渡航手続き、交流会の準備を行い研修の充実を期す。

②事前・事後学修：台湾について中国語について事前学習を行い、旅行中はメモを取り、速やかに報告書をまとめる。交流会においては、積極的に交流を進める。

### 担当教員の連絡先等

担当教員E-mail	その他

授 業 科 目 名	英語 I		
担 当 者 名	神崎 淳子	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2000017	授 業 形 態	演習
学 年	1年	開 講 期	2024年度前期
単 位 数	1	履 修	必修・幼稚園教諭必修・保育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP1-1-A		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	近年の国際化により、保育の現場でも外国人の園児や保護者と関わる機会が増えてきている。そこで日常でよく使う英語表現を普段の様々な場面を想定し、会話形式でシャドーイングを取り入れて練習する。テーマ毎の頻出フレーズを正しい英語の音で発音することによりリスニング力をあげる。また、基礎になる5つの文型を意識しながらよどみなく簡単な英文が発話できるように練習する。以上により、保育士として、現場での基礎的な英語コミュニケーション能力を養う。		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	1. テキストの各ユニットのリスニング、スピーキングパートを習熟することにより、日常で頻出の英単語を発音し聞き取れるようになる。 2. 会話時に必要なフレーズや自分の意思や意見を表現する簡単なフレーズが聞き取れ、かつ、タイムリーに、簡単な英文を発話できるスキルを身につける。		
授 業 計 画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	Pre-Unit: Please Speak More Slowly Unit 1: Hi, I'm Yuri Tanaka	事前：Pre-Unit, Unit1のYour Vocabularyを解く (45分)	
2	Pre-Unit: Please Speak More Slowly Unit 1: Hi, I'm Yuri Tanaka	事後：Pre-Unit,Unit1で学習した会話の音源をダウンロードし、シャドーイング練習を行う (45分)	
3	Unit 2: Where is the Multi-purpose Room?	事前：Unit2のYour Vocabularyを解く (45分)	
4	Unit 2: Where is the Multi-purpose Room?	事後：Unit2で学習した会話の音源をダウンロードし、シャドーイング練習を行う (45分)	
5	Unit 3: Good Morning. How Are You Today?	事前：Unit3のYour Vocabularyを解く (45分)	
6	Unit 3: Good Morning. How Are You Today?	事後：Unit3 で学習した会話の音源をダウンロードし、シャドーイング練習を行う (45分)	
7	Unit 4: What Color Do You Like?	事前：Unit4のYour VocabularyとBamboo PrincessのBの語彙問題を解く (45分)	
8	Unit 4: What Color Do You Like?	事後：Unit4で学習した会話・長文の音源をダウンロードし、シャドーイング練習を行う (45分)	
9	Unit 5: There's a Ladybug on the Leaf	事前：Unit5 のYour Vocabularyを解く (45分)	
10	Unit 5: There's a Ladybug on the Leaf	事後：Unit5で学習した会話の音源をダウンロードし、シャドーイング練習を行う (45分)	
11	Unit 6: It's Time to Play Outside	事前：Unit6のYour VocabularyとMomotaro,The Peach BoyのBの語彙問題を解く (45分)	
12	Unit 6: It's Time to Play Outside	事後：Unit6で学習した会話・長文の音源をダウンロードし、シャドーイング練習を行う (45分)	
13	Unit 7: She Is Allergic to Eggs	事前：Unit7のYour Vocabularyを解く (45分)	
14	Unit 7: She Is Allergic to Eggs	事後：Unit7 で学習した会話の音源をダウンロードし、シャドーイング練習を行う (45分)	

15	Review 1-7	事後：Pre-Unit-Unit7の振り返りを行い、試験に備える (45分)	
<b>準備学習・事後学習等についての補足説明</b>			
授業2回目以降は授業前、毎回単語の小テストを行います。			
<b>成績評価の方法〔評価項目と割合〕</b>			
定期試験	英語プレゼンテーション	小テスト	提出物
50%	20%	15%	15%
<b>使用テキスト</b>			
書籍名	著者	出版社	
Happy English for Childcare 保育のための基礎英語	Maiko Tsychiya	金星堂	
<b>参考書又は参考資料等</b>			
BreakingNewsEnglish			
<b>その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕</b>			
<p>※成績評価についてはプレゼンテーション、小テスト、提出物、定期試験の結果を総合的に評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・辞書は紙辞書でも電子辞書でもいいので必ず持参してください。</li> <li>・携帯電話やスマートフォンの電源は授業前に必ず切ってください。</li> </ul>			
<b>担当教員の連絡先等</b>			
担当教員E-mail	その他		

授 業 科 目 名	英語 II		
担 当 者 名	神崎 淳子	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2000018	授 業 形 態	演習
学 年	1年	開 講 期	2024年度後期
単 位 数	1	履 修	必修・幼稚園教諭必修・保育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP1-1-B		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	前期の授業で習熟したリスニング、スピーキングスキルをさらに高め、身近なトピックについて読んで理解できるようにする。さらに、自分の意見を簡単な文章で書くことができるようにする。以上により、保育士として、現場での基礎的なライティングスキルを含めた英語コミュニケーション能力を養う。		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日常生活で使用する英単語を正確に発音し聞き取れる。</li> <li>2. 自分の意思や意見を表現するライティングスキルを高める。</li> <li>3. 各ユニットを聞いて、簡単な文章の書き取りができるようになる。</li> </ol>		
授 業 計 画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	Unit 8: You Should Go to the Bathroom	事前：Unit8のYour Vocabularyを解く (45分)	
2	Unit 8: You Should Go to the Bathroom	事後：Unit8で学習した会話の音源をダウンロードし、シャドーイング練習を行う (45分)	
3	Unit 9: We Made Masks Today	事前：Unit9のYour Vocabularyを解く (45分)	
4	Unit 9: We Made Masks Today	事後：Unit9で学習した会話の音源をダウンロードし、シャドーイング練習を行う (45分)	
5	Unit 10: If It Rains, What Happens?	事前：Unit10のYour Vocabularyを解く (45分)	
6	Unit 10: If It Rains, What Happens?	事後：Unit10で学習した会話の音源をダウンロードし、シャドーイング練習を行う (45分)	
7	Unit 11: What Shall We Do Today?	事前：Unit11のYour Vocabularyを解く (45分)	
8	Unit 11: What Shall We Do Today?	事後：Unit11で学習した会話の音源をダウンロードし、シャドーイング練習を行う (45分)	
9	Unit 12: I Feel Feverish	事前：Unit12のYour Vocabularyを解く (45分)	
10	Unit 12: I Feel Feverish	事後：Unit12で学習した会話の音源をダウンロードし、シャドーイング練習を行う (45分)	
11	Unit 13: This is Yuri from Cosmos Day Care Center	事前：Unit13のYour VocabularyとUrashima TaroのBの語彙問題を解く (45分)	
12	Unit 13: This is Yuri from Cosmos Day Care Center	事後：Unit13で学習した会話・長文の音源をダウンロードし、シャドーイング練習を行う (45分)	
13	Unit 14: Thank You Very Much for Everything	事前：Unit14のYour Vocabularyを解く (45分)	
14	Unit 14: Thank You Very Much for Everything	事後：Unit14で学習した会話の音源をダウンロードし、シャドーイング練習を行う (45分)	
15	Review 8-14	事後：Unit8-Unit14の振り返りを行い、試験に備える (45分)	
準備学習・事後学習等についての補足説明			
授業2回目以降は授業前、毎回単語の小テストを行います。			

成績評価の方法〔評価項目と割合〕			
定期試験	英語プレゼンテーション	小テスト	提出物
50%	20%	15%	15%
使用テキスト			
書籍名		著者	出版社
Happy English for Childcare 保育のための基礎英語		Maiko Tsuchiya	金星堂
参考書又は参考資料等			
BreakingNewsEnglish			
その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕			
<p>※成績評価についてはプレゼンテーション、小テスト、提出物、定期試験の結果を総合的に評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・辞書は紙辞書でも電子辞書でもいいので必ず持参してください。</li> <li>・携帯電話やスマートフォンの電源は授業前に必ず切ってください。</li> </ul>			
担当教員の連絡先等			
担当教員E-mail		その他	

授 業 科 目 名	スポーツ健康科学Ⅰ		
担 当 者 名	原本 賢一	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド	2000019	授 業 形 態	講義・実技
学 年	1年	開 講 期	2024年度後期
単 位 数	1	履 修	必修・幼稚園教諭必修・保育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP1-1-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	講義においては、健康の維持・増進や生活習慣病の予防、精神の安定（ストレスマネジメント）、文化としてのスポーツの意味合い等を理解し、多角的にスポーツを捉えることで、健康的な生活をおくる為の知識を習得する。特に「スポーツ健康科学Ⅰ」では自身の身体の状態を把握・理解することに注力する。また、実技においては、講義にて得られた知識をもとに、生涯にわたり継続可能なスポーツ種目に親しむことのできる能力獲得を目標にし、自らが主体的な姿勢で取り組み、各種スポーツのルールを理解と実践、身体を動かす楽しさや重要性を理解する。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>自身の身体の状態を客観的に把握・理解できるようになる。</li> <li>健康の維持・増進の為の知識を習得し、私生活に運動を取り入れることができるようになる。</li> <li>様々な角度からスポーツを捉え、文化としてのスポーツの意味を理解する。</li> <li>自ら進んで行動し、主体的な姿勢と態度で取り組むことができる。</li> </ol>		
授 業 計 画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	オリエンテーション	復習：レポート作成（10分）	
2	形態及び身体組成と体力・運動能力測定①	復習：レポート作成（10分）	
3	形態及び身体組成と体力・運動能力測定②	復習：レポート作成（10分）	
4	ニュースポーツ①（ルールと基本テクニックの理解・習得）	復習：レポート作成（10分）	
5	ニュースポーツ②（ルールと基本テクニックの理解・習得）	復習：レポート作成（10分）	
6	ニュースポーツ③（試合）	復習：レポート作成（10分）	
7	バドミントン①（ルールと基本テクニックの理解・習得）	復習：レポート作成（10分）	
8	バドミントン②（基本テクニックと基礎練習）	復習：レポート作成（10分）	
9	バレーボール①（ルールと基本テクニックの理解・習得）	復習：レポート作成（10分）	
10	バレーボール②（基本テクニックと基礎練習）	復習：レポート作成（10分）	
11	バスケットボール①（ルールと基本テクニックの理解・習得）	復習：レポート作成（10分）	
12	バスケットボール②（基本テクニックと基礎練習）	復習：レポート作成（10分）	
13	選択種目（クラスで最大2種目を選択）	復習：レポート作成（10分）	
14	運動やスポーツの魅力（必要性和楽しさの仕組み）	復習：レポート作成（10分）	



15	心身の発育発達（発育発達に必要な運動の理解と前期のまとめ） 理解度確認テスト	予習：講義資料の確認（30分） 復習：レポート作成（10分）
----	---	-----------------------------------

### 準備学習・事後学習等についての補足説明

- ・前期最後の講義にて理解度確認テストを実施するので、講義で配られた資料を各自まとめておくこと。
- ・新聞等を読み、日頃からスポーツ・健康に関する情報を収集するよう努めること。

### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

授業への取組み姿勢	講義毎の小レポート	理解度確認テスト	
50%	30%	20%	

### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
講義中に適宜、資料を配布する。		

### 参考書又は参考資料等

小宮秀一, 中尾武平: 健康行動の科学 身体組成学－栄養・運動・健康－, 技報堂出版, 2002.  
 小宮秀一: 体力科学へのアプローチ 身体組成の科学, 不昧堂出版, 1998.  
 熊谷秋三, 田中喜代次, 藤井宣晴, 澤田亨, 内藤義彦: 健康と運動の疫学入門-エビデンスに基づくヘルスプロモーションの展開-, 医学出版, 2008.

### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

レポート提出がなければ出席したとみなされないため、必ずレポート提出は行うこと。  
 評価の50%は、レポートあるいは理解度確認テストにおいて行うため真剣に取り組むこと。なお、レポートあるいは理解度確認テスト評価は、とても良い、普通、不十分、評価不能の4段階で評価し、レポートは15回分、理解度確認テストは1回分にて最終評価を行う。  
 講義は、教室及び注意事項等、講義前に掲示します。各自確認すること。

### 担当教員の連絡先等

担当教員E-mail	その他

授 業 科 目 名	スポーツ健康科学Ⅱ		
担 当 者 名	原本 賢一	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド	2000020	授 業 形 態	講義・実技
学 年	2年	開 講 期	2024年度前期
単 位 数	1	履 修	必修・幼稚園教諭必修・保育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP1-2-A		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>「スポーツ健康科学Ⅱ」では、原則的に「スポーツ健康科学Ⅰ」を習得してから履修するものとする。講義においては、「スポーツ健康科学Ⅰ」に引き続き、健康の維持・増進や生活習慣病の予防、精神の安定（ストレスマネジメント）、文化としてのスポーツの意味合い等を理解し、多角的にスポーツを捉えることで、健康的な生活をおくる為の知識を習得する。また、実技では、講義にて得られた知識をもとに、生涯にわたり継続可能なスポーツ種目に親しむことのできる能力獲得を目標にし、各種スポーツのルールを理解と実践、身体を動かす楽しさや重要性を理解し、自らが主体的な姿勢で実践する。</p>		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>自身の身体の状態を客観的に理解し、自身に見合った運動強度を把握できるようになる。</li> <li>健康の維持・増進の為の知識を習得し、私生活に運動を取り入れることができるようになる。</li> <li>様々な角度からスポーツを捉え、文化としてのスポーツの意味を理解する。</li> <li>自ら進んで行動し、主体的な姿勢と態度で取り組むことができる。</li> </ol>		
授 業 計 画	準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 等 ) の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間		
1	オリエンテーション	復習：レポート作成（10分）	
2	バレーボール①（基礎練習とチーム練習の知識と理解）	復習：レポート作成（10分）	
3	バレーボール②（チーム練習と試合）	復習：レポート作成（10分）	
4	バレーボール③（チーム練習と試合）	復習：レポート作成（10分）	
5	バスケットボール①（基礎練習とチーム練習の知識と理解）	復習：レポート作成（10分）	
6	バスケットボール②（チーム練習と試合）	復習：レポート作成（10分）	
7	バスケットボール③（チーム練習と試合）	復習：レポート作成（10分）	
8	卓球①（ルールと基本テクニックの理解・習得）	復習：レポート作成（10分）	
9	卓球②（試合：シングルス）	復習：レポート作成（10分）	
10	卓球③（試合：ダブルス）	復習：レポート作成（10分）	
11	選択種目①（クラスで最大2種目を選択）	復習：レポート作成（10分）	
12	選択種目②（クラスで最大2種目を選択）	復習：レポート作成（10分）	
13	選択種目③（クラスで最大2種目を選択）	復習：レポート作成（10分）	
14	運動やスポーツの魅力（必要性和楽しさの仕組み）	復習：レポート作成（10分）	
15	心身の発育発達（発育発達に必要な運動の理解と前期のまとめ）	予習：講義資料の確認（30分） 復習：レポート作成（10分）、理解度確認テスト（40分）	
準 備 学 習 ・ 事 後 学 習 等 に つ い て の 補 足 説 明			

- ・前期最後の講義にて理解度確認テストを実施するので、講義で配られた資料を各自まとめておくこと。
- ・新聞等を読み、日頃からスポーツ・健康に関する情報を収集するよう努めること。

### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

授業への取組み姿勢	講義毎の小レポート	理解度確認テスト	
50%	30%	20%	

### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
講義中に適宜、資料を配布する。		

### 参考書又は参考資料等

### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

レポート提出がなければ出席したとみなされないため、必ずレポート提出は行うこと。

評価の50%は、レポートあるいは理解度確認テストにおいて行うため真剣に取り組むこと。なお、レポートあるいは理解度確認テスト評価は、とても良い、普通、不十分、評価不能の4段階で評価し、レポートは15回分、理解度確認テストは1回分にて最終評価を行う。

講義は、教室及び注意事項等、講義前に掲示します。各自確認すること。

### 担当教員の連絡先等

担当教員E-mail	その他

授 業 科 目 名	健康		
担 当 者 名	木本 節子	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2200036	授 業 形 態	演習
学 年	1 年	開 講 期	2024 年度後期
単 位 数	1	履 修	必修 幼稚園教諭必修 保育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP2-1-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>領域「健康」の意義と方向性（小学校との円滑な接続・幼・保・小の架け橋プログラム）について学び、幼稚園教育要領の領域「健康」のねらいと内容及び内容の取り扱いに要点を置き、中でも平成 30 年度改訂ポイントについて『教育方法論』との繋がりを持ちながら、「自ら健康で安全な生活（特に感染症予防対策・災害時の安全対策など）」を培うために必要な知識や技術を学び、全てのことに見通しをもって行動する力を身に付け、特に乳児から 2 歳児までは心身の発達の基盤が形成される上で、極めて重要な時期であることを学び、健康に関わる生活習慣や心身の発育（アタッチメント）・発達・運動発達の特徴を踏まえ、学生の資質能力を高めるために保育現場での実践事例「筑紫オリンピックを通した 10 の姿」映像記録を活用し、幼児教育において育みたい資質・能力を踏まえた「幼児期までに育ってほしい 10 の姿」の読み取り方法を学び、担当教員のオリジナル資料「筑紫の心と保育展開一五領域（心情・意欲・態度）の内容と内容の取り扱い方法と位置づけー」を活用しながら、幼稚園教育要領・教育保育要領・保育指針の読み取り方を分かりやすく解説する。</p> <p>また、この授業は学生の自主研修を推奨しその内容を自主的に発表することによって、学に向かう豊かな思考力、判断力、表現力などを修得し、一年次『教育方法論』、二年次『領域表現』『子どもと環境』との授業内容を連携することによって、深い学びを期待している。</p> <p>本講義は、幼稚園教諭（元園長）として本学附属幼稚園を育成し、本学でも長年教鞭をとり、学外においても保育者後進の育成や各機関との連携を行ってきた教員によるものである。</p>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<p>(1) 各領域のねらい及び内容『担当教員オリジナル資料「筑紫の心と保育展開一五領域（心情・意欲・態度）と内容の位置づけ」を基に「教育要領」の解説』 幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、各領域のねらい及び内容を理解する。 (担当教員のオリジナル資料を基に「新教育要領」の解説)</p> <p>1) 幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、各領域のねらい及び内容並びに全体構造を理解している。 2) 当該領域のねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解している。 3) 幼稚園教育における評価の考え方を理解している。 4) 領域ごとに幼児が経験し身に付けていく内容の関連性や小学校の教科等とのつながりを理解している。</p> <p>(2) 保育内容の指導方法と保育の構想 幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。</p> <p>1) 幼児の認識・思考、動き等を視野に入れた保育の構想の重要性を理解している。 2) 各領域の特性や幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育の構想に活用することができる。 3) 指導案の構成を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。 4) 模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けている。 5) 各領域の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができる。</p>		
授業計画	準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及び必要時間		

1	<p>オリエンテーション 領域「健康」の意義と方向性（育ちと学びの架け橋） 【到達目標】(1) -1) 4)</p>	<p>事前：講義資料をまとめる（自己紹介・保育者としての方向性・受講マナー）(15分) 事後：指定した自己評価（ふりかえり）用紙に自分の考えを述べ、用語の意味や解釈を加えた自己点検用紙を作成すること。(30分)</p>
2	<p>保育における「健康」とは—幼稚園教育要領ねらい（心情・意欲・態度）の編成と位置づけ（担当者作成資料を基に解説） 【到達目標】(1) -1) 4)、(2) -3) 4)</p>	<p>事前：テキスト・資料などの指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。(15分) 事後：自己評価（ふりかえり）へのフィードバックを活用し、内容に関する旨をグループディスカッションや指定したメディアにて情報を収集する。(30分)</p>
3	<p>幼稚園教育要領内容（自ら体を動かして活動することを喜ぶ子どもを育てるため） 保育内容 (1) ～ (4) 【到達目標】(1) -2) 3)、(2) -1) 4)</p>	<p>事前：テキスト・資料などの指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。(15分) 事後：自己評価（ふりかえり）へのフィードバックを活用し、内容に関する旨をグループディスカッションや指定したメディアにて情報を収集する。(30分)</p>
4	<p>幼稚園教育要領内容（自ら体を動かして活動することを喜ぶ子どもを育てるため） 保育内容 (1) ～ (4) 【到達目標】(1) -2) 3)、(2) -1) 4)</p>	<p>事前：テキスト・資料などの指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。(15分) 事後：自己評価（ふりかえり）へのフィードバックを活用し、内容に関する旨をグループディスカッションや指定したメディアにて情報を収集する。(30分)</p>
5	<p>幼稚園教育要領内容（生活の習慣やリズムの必要性を身に付けていくため） 保育内容 (5) ～ (8) 【到達目標】(1) -2)、(2) -4)</p>	<p>事前：テキスト・資料などの指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。(15分) 事後：自己評価（ふりかえり）へのフィードバックを活用し、内容に関する旨をグループディスカッションや指定したメディアにて情報を収集する。(30分)</p>
6	<p>幼稚園教育要領内容（生活の習慣やリズムの必要性を身に付けていくため指導法について学ぶ） 保育内容 (5) ～ (8) 【到達目標】(1) -2)、(2) -4)</p>	<p>事前：テキスト・資料などの指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。(15分) 事後：自己評価（ふりかえり）へのフィードバックを活用し、内容に関する旨をグループディスカッションや指定したメディアにて情報を収集する。(30分)</p>
7	<p>幼稚園教育要領内容（健康や安全な生活を自ら気付き進める子どもを育てるため） ビデオ「保育の安全と事故防止」 保育内容 (9) ～ (10) 【到達目標】(1) -2)、(2) -1) 2) 4) 5)</p>	<p>事前：テキスト・資料などの指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。(15分) 事後：自己評価（ふりかえり）へのフィードバックを活用し、内容に関する旨をグループディスカッションや指定したメディアにて情報を収集する。(30分)</p>
8	<p>幼稚園教育要領内容（健康や安全な生活を自ら気付き進める子どもを育てるため指導法について学ぶ） 保育内容 (9) ～ (10) 【到達目標】(1) -1) 2) 4)、(2) -4)</p>	<p>事前：テキスト・資料などの指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。(15分) 事後：自己評価（ふりかえり）へのフィードバックを活用し、内容に関する旨をグループディスカッションや指定したメディアにて情報を収集する。(30分)</p>
9	<p>幼稚園教育要領のまとめ 戸外あそび（砂場） ビデオ「乳幼児期の砂遊び」 【到達目標】(2) -2) 4) 5)</p>	<p>事前：第1～8回の内容についてノート（自己点検）を活用し、復習する。(15分) 事後：自己評価（ふりかえり）へのフィードバックを活用し、内容に関する旨をグループディスカッションや指定したメディアにて情報を収集する。(30分)</p>
10	<p>筑紫オリンピック大会演習（映像記録の中から保育現場での保育者の役割を学ぶ） 幼稚園教育要領の「ねらい」と建学の精神「筑紫の心」の成長を学ぶ（10の姿）。 【到達目標】(1) -1) 4)、(2) -1) 2) 3) 4)</p>	<p>事前：テキスト・資料などの指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。(15分) 事後：指定したメディアや附属幼稚園にて関係する情報を収集すること。(30分)</p>
11	<p>映像記録・筑紫オリンピックを通しての学び（指導法・子どもの発達・安全面など）アクティブラーニング 【到達目標】(1) -2) 3) 4)、(2) -1) 2) 3) 4)</p>	<p>事前：テキスト・資料などの指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。(15分) 事後：自己評価（ふりかえり）へのフィードバックを活用し、内容に関する旨をグループディスカッションや指定したメディアにて情報を収集する。(30分)</p>

12	映像記録・筑紫オリンピックを通しての学び(内容の指導上の留意点の位置づけと理解) アクティブラーニング 【到達目標】(1) -2) 3) 4)、(2) -1) 2)	事前：テキスト・資料などの指定範囲を通読し、指定した課題(用語の意味)を調べること。(15分) 事後：筑紫オリンピック終了後、レポート(10の姿)へのフィードバック及びグループディスカッションを行うこと。(30分)
13	映像記録・筑紫オリンピック(発表)①アクティブラーニング(幼児期の終わりまでに育ってほしい姿と小学校とのつながり) 【到達目標】(1) -3) 4)、(2) -1) 4) 5) (※ICTの活用、協働学習)	事前：テキスト・資料などの指定範囲を通読し、指定した課題(用語の意味)を調べること。(15分) 事後：自己評価(ふりかえり)へのフィードバックを活用し、内容に関する旨をグループディスカッションや指定したメディアにて情報を収集する。(30分)
14	映像記録・筑紫オリンピック(発表)②アクティブラーニング(適切な指導法についての学び) 【到達目標】(1) -4)、(2) -1) 3) 4) (※ICTの活用、協働学習)	事前：テキスト・資料などの指定範囲を通読し、指定した課題(用語の意味)を調べること。(15分) 事後：自己評価(ふりかえり)へのフィードバックを活用し、内容に関する旨をグループディスカッションや指定したメディアにて情報を収集する。(30分)
15	まとめ カルテ作成 試験について 【到達目標】(2) -4) 5)	事前：第1～14回の内容についてノート(自己点検)を活用し、グループディスカッションなどを通して復習する。(15分) 事後：自己点検・レポートなどのフィードバック及びノートを活用し、講義全体を復習する。(30分)

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

1. 授業終了後の「ふりかえり」、「事前の課題(自主研修)」を行い、その内容を自主的に発表することによって次のステップに繋いでほしい。
2. この授業は、終了後の「ふりかえり」、「事前の課題(自主研修を含む)」を重視し、特にレポート(原本)提出の際は、本人用(コピー)を保管すること(期限を守る)。

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	授業のふりかえり	授業への取組み	発表
60%	20%	10%	10%

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
幼稚園教育要領〈平成29年告示〉	文部科学省	フレーベル館
保育内容「健康」	井筒紫乃	圭文社

#### 参考書又は参考資料等

附属幼稚園『安全マニュアル』  
担当者作成テキストを活用する予定  
厚生労働省編『保育所保育指針〈平成29年告示〉』フレーベル館  
厚生労働省編『幼保連携型認定こども園教育・保育要領〈平成29年告示〉』フレーベル館

#### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

「情報処理学」の学びを理解し、その活用と効果的な作成ができる。

#### 担当教員の連絡先等

担当教員 E-mail	その他

授 業 科 目 名	人間関係		
担 当 者 名	寺本 普見子	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2200037	授 業 形 態	演習
学 年	1年	開 講 期	2024年度前期
単 位 数	1	履 修	必修・幼稚園教諭必修・保育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP2-1-A		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	幼稚園教育要領に示された「人間関係」のねらい及び内容について子どもの姿と保育実践とを関連させて理解を深める。その上で、幼稚園教諭実務経験を通じ、教育現場で遭遇した様々な事例を用い、グループディスカッションを行う。子どもの発達にふさわしい主体的・対話的で深い学びを実現する保育を具体的に構想し実践する方法を、情報機器を取り入れながら身に付ける。		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<p>子どもの発達や学びの過程を理解し、領域「人間関係」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身に付ける。</p> <p>1) 幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、領域「人間関係」のねらい及び内容並びに全体構想を習得する。</p> <p>2) 領域「人間関係」の特性や子どもの体験との関連を考慮した教材の効果的な活用法を理解し、保育にいかすことを習得する。</p> <p>3) 子どもの育ちに関わる地域の人々との人間関係を習得する。</p> <p>4) 幼児期の集団生活を通して様々な人と関わる経験と、小学校以降の生活や教科等とのつながりについて習得する。</p> <p>5) 領域「人間関係」をめぐる現代的諸問題を習得する。</p>		
授 業 計 画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	オリエンテーション：この講義の目的と講義内容の紹介 幼稚園教育要領における領域「人間関係」の全体像	事前：シラバスを通読しておく（20分） 事後：授業の概要と方法・授業の到達目標を理解して、見直しをもつ（25分）	
2	領域「人間関係」のねらい 内容及び評価	事前：幼稚園教育要領「人間関係」を通読しておく(20分) 事後：講義内容の復習・プリントの整理をし「振り返りカード」に自己課題を記入する（25分）	
3	人間関係の育ちを支える -3～5歳の育ちの姿に沿った必要な援助と環境構成	事前：教科書73～81ページを通読しておく（20分） 事後：講義内容の復習・プリントの整理をする（25分）	
4	友だちとの遊びを楽しむ中で多様な感情を経験し、自他の気持ちに気付く援助のあり方① -いざこざと保育者の援助 (アクティブ・ラーニング)	事前：子どものケンカについてまとめておく(事例・及び保育者の援助方法)（20分） 事後：アクティブ・ラーニングの内容を整理する（25分）	
5	友だちとの遊びを楽しむ中で多様な感情を経験し、自他の気持ちに気付く援助のあり方② -折り合いがつかない事例	事前：プリントを通読しておく（20分） 事後：講義内容の復習・プリントの整理をする（25分）	
6	特別な支援を必要とする子どもの人間関係を支える	事前：教科書99～106ページを通読しておく（20分） 事後：講義内容をまとめておく（25分）	



7	ルールのある遊びと援助 －葛藤しながら自分たちにとって意味のあるきまり	事前：子どもがよいことや悪いことがあることに気づき、考えながら行動できるようにするための保育者の援助方法を考えておく（20分） 事後：講義内容の復習・プリントの整理をする（25分）
8	個と集団の育ちを考える －子ども同士の関わり合いを生かす間接的援助の在り方	事前：社会的行動の面から考えた遊び・興味の面から考えた遊びを考えておく（20分） 事後：講義内容の復習・プリントの整理をすること（25分）
9	協同的な遊びの中で育ち合う長期的な保育展開を考える－見通しや振り返りの工夫を意識して	事前：一つの活動の展開を考えておく（20分） 事後：講義内容の復習後活動の見直しを行う（25分）
10	様々な保育形態で育つ人間関係 －協同的な活動の一（アクティブ・ラーニング）	事前：一つの活動の展開を再検討する（20分） 事後：アクティブ・ラーニングの内容を整理する（25分）
11	保育計画指導計画案作成から保育へ	事前：教科書142～157ページを通読しておく 人間関係を育むための指導案を考えておく（20分） 事後：情報機器使用にてまとめる（25分）
12	小学校以降の生活や学習で生かされる力 －「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を軸に幼小接続	事前：小学校との交流と接続のプリントを通読しておく（20分） 事後：講義内容の復習・プリントの整理をすること（25分）
13	子どもたちの人間関係を育む学級経営	事前：教科書123～130ページを通読しておく（20分） 事後：講義内容をまとめ理解しておく（25分）
14	子どもの育ちに関わる地域の人々との人間関係	事前：教科書131～141ページを通読しておく（20分） 事後：グループディスカッションの内容の整理をする（25分）
15	領域「人間関係」をめぐる現代的諸問題－まとめ	事前：初回～14回の内容についてノートを活用し復習する（20分） 事後：ノートを活用し、講義全体を振り返る（25分）

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

・「キーワードノート」は第15回の講義に提出を求めます。

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	レポート・指導案の完成度	キーワードノートの完成度	授業への取組み
70%	10%	10%	10%

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
幼稚園教育要領解説	文部科学省編	フレーベル館
演習 保育内容 人間関係	田代和美 榎本眞実	建帛社

#### 参考書又は参考資料等



参考書又は参考資料等

1. 岸井勇雄 『保育内容「人間関係」』 同文書院。
2. 厚生労働省編 『保育所保育指針〈平成29年告示〉』 フレーベル館。
3. 厚生労働省編 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領〈平成29年告示〉』 フレーベル館。
4. 保育内容『人間関係』 石渡敬一・松村正幸 建帛社

※授業の中で、参考書や参考文献を紹介する。

**その他**〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

1. 授業ファイルを作成（毎回の授業内容を記述、配布した資料を添付）してください。
2. 提出物は期日を守ってください。
3. 講義中の私語は厳禁とします。
4. 授業内容について質問等、対応が必要な学生には授業終了後、あるいはオフィスアワーを設けて対応します。

**担当教員の連絡先等**

担当教員E-mail

その他

講義の前後 10分間は質問等対応可

授 業 科 目 名	環境		
担 当 者 名	小島 久須美、寺本 普見子	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2200038	授 業 形 態	演習
学 年	1年	開 講 期	2024年度後期
単 位 数	1	履 修	必修・幼稚園教諭必修・保育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP2-1-B		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>養護と教育に関わる保育内容が、それぞれに関連性を持ち、総合的に保育を展開していくために必要な知識・技術・判断力を習得する。特に領域「環境」に示されているねらいと内容について、その基本的な考え方を他の領域との相互の関連性を踏まえながら解説し、幼児が好奇心や探求心をもって周囲の様々な環境と関わり、主体的に生活(遊び)を展開できるようにするための具体的な指導方法及び活動事例などについて情報機器・視聴覚教材なども活用しながら学ぶ。また、この演習では、本学附属幼稚園園長(現職)としての職務経験を有する教員が毎回、授業の中でグループディカッション(感染症の状況による)を取り入れながら、内容を共有し学びを深めていく。</p>		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<p>(1)幼児教育のめざす方向や領域「環境」に示されている「ねらい」及び「内容」などについて理解する。</p> <p>(2)幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「環境」に関わる多くの具体的な事例を学び、その指導方法について理解する。</p> <p>(3)保育者として知っておいてほしい乳幼児にとって安心安全な環境・身近な自然環境や自然科学に関する多くの知識を身につけ、それらに興味・関心を示すことができる。</p>		
授 業 計 画	準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 等 ) の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間		
1	幼児教育(保育)のめざす方向	<p>事前：幼稚園教育要領を参考に、幼児期において育てたい資質・能力とは何か調べておく。理想の教師像を考えておく(25分)</p> <p>事後：講義内容の復習・プリント整理(20分)</p>	
2	領域「環境」における保育および教育の目標	<p>事前：第1章(P8~P22)に目を通す。幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針の教育の共通点・相違点を見ておく(25分)</p> <p>事後：講義内容の復習・プリント整理(20分)</p>	
3	領域「環境」の意義 —ねらいと内容—	<p>事前：第2章(P25~P36)に目を通す。幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針のねらいと内容の共通点・相違点を見ておく(25分)</p> <p>事後：講義内容の復習・プリント整理(20分)</p>	
4	人的環境との関わり —保育者の役割—	<p>事前：第3章(P40~P49)に目を通す。保育者の役割とは何か考えておく(25分)</p> <p>事後：講義内容の復習・プリント整理(20分)</p>	
5	身近な生き物や自然との関わり①	<p>事前：第4章(P52~P57)に目を通す。子どもが親しみを持って関われる身近な生き物や植物にはどのような種類があるか考えておく(25分)</p> <p>事後：講義内容の復習・プリント整理(20分)</p>	
6	身近な生き物や自然との関わり②	<p>事前：前回の内容をまとめ理解しておく(25分)</p> <p>事後：講義内容の復習・プリント整理(20分)</p>	

7	身近な素材と道具との関わり	事前：第5章（P63～P78）に目を通す。身近な素材とふれあう意義を考えておく(25分) 事後：講義内容の復習・プリント整理(20分)
8	地域社会・施設との関わり 情報機器との関わり	事前：第6・7章（P82～P89・P94～P106）に目を通す。子どもたちの生活に関係の深い施設が、子どもの育ちにどのような意味を持っているのかについて考えておく(25分) 事後：講義内容の復習・プリント整理(20分)
9	数量や図形との関わり	事前：第8章（P108～P117）に目を通す。園生活の中での数量や図形との出会いの場面を考えておく(25分) 事後：講義内容の復習・プリント整理(20分)
10	標識や文字などに関心をもつ	事前：第9章（P120～P125）に目を通す。子どもが生活する環境には、様々な形で文字や記号が存在している。子どもたちが自ら関心を示し、興味を持って関わるための子どもにとって、意味ある環境とはどのようなものかどのようなものかを考えておく(25分) 事後：講義内容の復習・プリント整理(20分)
11	文化や伝統、行事などに親しむ	事前：第10章（P128～P138）に目を通す。自分が乳幼児期に体験した園行事とその行事は自分の家でも行っていたかなど整理しておく(25分) 事後：講義内容の復習・プリント整理(20分)
12	子どもの安全環境	事前：第11章（P142～P147）に目を通す。乳幼児の安全を脅かす要因にはどのようなものがあるか考えておく(25分) 事後：講義内容の復習・プリント整理(20分)
13	小学校との連携 ―アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム―	事前：第12章（P150～P161）に目を通す。幼稚園教育要領などでは、幼小連携についてどのように書かれているか調べておく(25分) 事後：講義内容の復習・プリント整理(20分)
14	領域「環境」と保育の展開 ―指導計画の意義・作成・実践例―	事前：第13章（P164～P181）に目を通す(25分) 事後：講義内容の復習・プリント整理(20分)
15	領域「環境」をめぐる現代的な課題	事前：第14章（P183～P193）に目を通す(25分) 事後：講義内容の復習・プリント整理(20分)

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

予習内容は、レポート用紙に書いて提出を求められることがある。  
授業ファイルを作成（予習・授業内容、配布した資料を綴じる）

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験成績	レポートの完成度	授業に取り組む姿勢	
80%	10%	10%	

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
領域〈環境〉ワークブック ―基礎的理解と指導法―	佐藤純子 編著	萌文書林

#### 参考書又は参考資料等

1. 文部科学省編「幼稚園教育要領解説 平成30年3月」フレーベル館
2. 厚生労働省編「保育所保育指針解説 平成30年3月」フレーベル館
3. 内閣府・文部科学省・厚生労働省編「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 平成30年3月」フレーベル館

**その他**〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

教科書に沿って段階的に授業を進めるが、発表課題などを課すため欠席すると不利になるので注意してほしい。

**担当教員の連絡先等**

担当教員E-mail

その他

講義後の質問など対応可

授 業 科 目 名	言葉		
担 当 者 名	丸田 敦子、上森 哲生	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2200039	授 業 形 態	演習
学 年	2年	開 講 期	2024年度前期
単 位 数	1	履 修	必修・幼稚園教諭必修・保育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP2-2-A		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>子どもの言葉に関する現状や課題を踏まえた上で、幼稚園教育要領に示された領域「言葉」のねらい及び内容について、背景となる専門領域と関連させて理解を深める。その上で、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。</p> <p>本授業では、教育者としてキャリアのある国語の担当者が領域「言葉」に関して4回の授業を行い、小学校の教科等とのつながりや「幼保小の架け橋プログラム」等について理解を深めていく。また、実務経験のある担当者が教育現場等での事例を用いて、言葉の発達やねらいと内容及び内容の取扱いについて解説し、演習を通して指導方法を習得していく。また、本授業では学生が実習等の保育現場で得た現状や自己課題等について自主研修にてまとめ、その内容を発表後、グループディスカッションを行い意見交換や改善点をあげていく等、学生が自ら資質・能力を高められるような授業を構想していく。</p>		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<p>(1) 幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「言葉」のねらい及び内容を理解する。</p> <p>1) 幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、領域「言葉」のねらい及び内容並びに全体構造を理解している。</p> <p>2) 領域「言葉」のねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身に付けて行く内容と指導上の留意点を理解している。</p> <p>3) 幼稚園教育における評価の考え方を理解している。</p> <p>4) 領域「言葉」に関わる幼児が経験し、身に付けて行く内容の関連性及び小学校の教科等とのつながりや「幼保小の架け橋プログラム」を理解している。</p> <p>(2) 幼児の発達や学びの課程を理解し、領域「言葉」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身に付ける。</p> <p>1) 幼児の心情、認識、思考及び動き等を視野に入れた保育構想の重要性を理解している。</p> <p>2) 領域「言葉」の特性及び、幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育構想に活用することができる。</p> <p>3) 指導案の構造を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。</p> <p>4) 模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けている。</p> <p>5) 領域「言葉」の特性に応じた現代的課題や保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができる。</p>		
授 業 計 画	準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 等 ) の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間		
1	・オリエンテーション及び保育所保育指針「三つの視点」について【上森】 ・言葉とは何か【丸田】	事前：シラバスを通読し、授業に向けての準備や心構えをまとめておく（15分） 事後：授業の振り返り、自主研修レポート作成（30分）	
2	・幼稚園教育要領 領域「言葉」【上森】 ・幼稚園教育の基本とねらい及び内容【丸田】	事前：幼稚園教育要領解説「言葉」を通読しておく（20分） 事後：授業の振り返り、自主研修レポート作成（25分）	

3	・子供の発達過程(1)【丸田】 －言葉を生む基盤とは	事前：絵本リストを作成する(20分) 事後：授業の振り返り、自主研修レポート作成(25分)
4	・子どもの言葉の発達過程(2)【丸田】 －話し言葉の発達の道筋・言葉を豊かにする	事前：配布資料を通読しておく(15分) 事後：授業の振り返り、自主研修レポート作成(30分)
5	・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」及び「小学校との連携」について【上森】 ・環境構成と援助【丸田】 －話したい、聞きたい意欲を育む援助	事前：実習先の保育室の環境構成を調べてまとめておく(20分) 事後：授業の振り返り、自主研修レポート作成(25分)
6	・乳幼児期の発達と領域「言葉」【上森】 ・環境格子柄と援助【丸田】 －言葉による伝え合いを育む援助	事前：配布資料を通読しておく(15分) 事後：授業の振り返り、自主研修レポート作成(30分)
7	・「多様な感情体験と言葉」と「信頼関係」について【上森】 ・「自分の考えや思いを伝える言葉」と「話し言葉と書き言葉」について【上森】	事前：配布資料を通読しておく(15分) 事後：授業の振り返り、自主研修レポート作成(30分)
8	・「ごっこ遊びと言葉」について【上森】 ・子どもの言葉を豊かにする教材：児童文化財①【丸田】 －絵本・物語・わらべうた等の実際と保育の中での活かし方	事前：児童文化財とはなにか調べておく(20分) 事後：授業の振り返り、自主研修レポート作成(25分)
9	・子どもの言葉を豊かにする教材：児童文化財②【丸田】 －素話・紙芝居等の実際と保育の中での活かし方	事前：素話または紙芝居について調べ教材を持参する(20分) 事後：授業の振り返り、自主研修レポート作成(25分)
10	・言葉に対する感覚を豊かにする実践：言葉遊び【丸田】 －言葉遊び(しりとり・言葉集めなど)の実際と保育の中での活かし方(情報機器及び教材の活用)	事前：言葉遊びについて調べ、自分の知っている言葉遊びをまとめておく(20分) 事後：授業の振り返り、自主研修レポート作成(25分)
11	・子どもの言葉を育む保育の構想【丸田】 －保育実践もしくは模擬保育の指導案の作成	事前：保育実践もしくは模擬保育の内容について調べておく(20分) 事後：授業の振り返り、自主研修レポート作成(25分)
12	・子どもの言葉を育む保育の実践【丸田】 －保育実践もしくは模擬保育の実施	事前：模擬保育のシミュレーション、教材準備等(20分) 事後：模擬保育の振り返り、自主研修レポート作成(25分)
13	・子どもの言葉を育む保育の評価と改善【丸田】 －保育実践もしくは模擬授業の振り返り	事前：各自の模擬保育の振り返りをまとめておく(20分) 事後：授業の振り返り、自主研修レポート作成(25分)
14	・汐見稔幸「絵本と保育を考える」及び大豆生田啓友「子どもと絵本」「絵本を真ん中に」視聴と視聴後の課題提出【上森】	事前：授業ファイルのファイリングをしておく(20分) 事後：授業の振り返り、自主研修レポート作成(25分)
15	まとめ：「言葉」をめぐる現代的課題と特別な配慮が必要な子どもへの指導を踏まえた「言葉」【丸田】	事前：授業の振り返り及び自主研修レポートをまとめておく(20分) 事後：授業の振り返り、自主研修レポート作成(25分)

**準備学習・事後学習等についての補足説明**

- ・授業内容の事前・事後学習のノート等の記録を毎回行ってください。（上森）
- ・授業の振り返り、自主研修レポートは第7回、12回、15回授業にて回収します。（丸田）

### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	課題の提出状況と内容	授業への参加度（グループ討議・保育実践・模擬保育等）	
60%	20%	20%	

### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
幼稚園教育要領解説	文部科学省編	フレーベル館
保育所保育指針解説	厚生労働省編	フレーベル館

### 参考書又は参考資料等

- ・内閣府・文部科学省・厚生労働省編『幼保連携型認定こども園教育・保育要領〈平成29年告示〉』フレーベル館。
- ・授業における配布資料等

※その他、授業の中で、参考書や参考文献を紹介する。

### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

- ・二人で各々45分間ずつの授業と単独の90分間授業を実施する。
- ・授業ファイルを作成し、配布資料をファイリングしていくこと。第14回授業後に提出予定。
- ・授業内容について質問等、対応が必要な学生には授業終了後、あるいはオフィスアワーを設けて対応する。

### 担当教員の連絡先等

担当教員E-mail	その他

授 業 科 目 名	表現		
担 当 者 名	木本 節子	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2200040	授 業 形 態	演習
学 年	2 年	開 講 期	2024 年度前期
単 位 数	1	履 修	必修 幼稚園教諭必修 保育士必修
ナンバリング	DP2-2-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>領域「表現」の意義と方向性について学び、幼稚園教育要領の前文にある「持続可能な社会の創り手」を育てるために本学の特色ある「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、地域交流の一環として「認定こども園東筑紫短期大学附属幼稚園」を始め地域の幼稚園「本城東幼稚園」や「小学校」・「自治連合会」・「まちづくり協議会」・「社会福祉協議会」との交流を行い、その活動を授業で導入することによって、本学の建学の精神（勇気・親和・愛・知性）の育ちと五領域のねらい（心情・意欲・態度）と内容の関連性や教育の基本である「遊びを通して総合的指導」について学び「小学校との円滑な接続」・「幼・保・小の架け橋プログラム」について理解を深め、幼児教育において「育みたい資質・能力」に沿った「幼児期の終わりまでに育ってほしい子どもの姿」（10の姿）をアクティブラーニングを導入して読み取ることによって学生の資質能力を目指す。また地域の人材活用として、ゲストティーチャー（腹話術）やアマチュア劇団「かあたん」を観覧するなど、協働的学びを通して、一層専門性を豊かにする。</p> <p>本講義は、幼稚園教諭（元園長）として本学附属幼稚園を育成し、本学でも長年教鞭をとり、学外においても保育者後進の育成や各機関との連携を行ってきた教員によるものであり、担当教員のオリジナル資料『筑紫の心と保育の展開―五領域（心情・意欲・態度）と内容の位置づけ―』や担当者が製作した絵本「学園の一本のすももの木」や「みんなおともだち」を教科書として取り入れることによって現代社会のニーズに沿った教育内容を実現するとともに、教育要領・保育指針の読み取り方を分かり易く解説する。</p>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<p>(1) 各領域のねらい及び内容『担当教員オリジナル資料「筑紫の心と保育展開―五領域（心情・意欲・態度）と内容の位置づけ」を基に「教育要領」の解説』幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、各領域のねらい及び内容を理解する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、各領域のねらい及び内容並びに全体構造を理解している。</li> <li>2) 当該領域のねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身に付けていく内容と内容の取り扱いを理解している。</li> <li>3) 幼稚園教育における評価の考え方を理解している。</li> <li>4) 領域ごとに幼児が経験し身に付けていく内容の関連性や小学校の教科等とのつながりを理解している。</li> </ol> <p>(2) 保育内容の指導方法と保育の構想（表現の基礎的な知識・技能を学ぶことを通して幼児の表現を支えるための感性を豊かにする）幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 幼児の認識・思考、動き等を視野に入れた保育の構想の重要性を理解している。</li> <li>2) 各領域の特性や幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育の構想に活用することができる。</li> <li>3) 指導案の構成を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。</li> <li>4) 模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けている。</li> <li>5) 各領域の特性に応じた保育実践の動向を知り、協働的学びを通し、保育構想の向上に取り組むことができる。</li> </ol>		
授業計画	準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及び必要時間		



1	「表現」の意義と方向性について学ぶ 【到達目標】(1) -1)、(2) -4)	事前：授業態度について自分なりの考えをまとめておくこと。(15分) 事後：指定した自己評価（ふりかえり）用紙に自分の考えを述べ、用語の意味や解釈を加えた自己点検用紙を作成すること。(30分)
2	「表現」のねらい（心情・意欲・態度の育ちについて）指導要領解説 【到達目標】(1) -1)、(2) -4) 映像記録を活用したこいのぼり交流会（地域、保・幼・小との連携）	事前：テキスト・資料などの指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。(15分) 事後：自己評価（ふりかえり）へのフィードバックを活用し、内容に関する旨をグループディスカッションや指定したメディアにて情報を収集する。(30分)
3	「こいのぼり交流会」・「春の探策」の視点について理解する 「表現」の保育内容（1）～（3）（生活的表現） 【到達目標】(1) -1) 2)、(2) -4)	事前：テキスト・資料などの指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。(15分) 事後：自己評価（ふりかえり）へのフィードバックを活用し、内容に関する旨をグループディスカッションや指定したメディアにて情報を収集する。(30分)
4	「こいのぼり交流会」・「春の探策」参加（地域交流・幼稚園・保育園・小学校など） 【到達目標】(1) -1) 2) 4)、(2) -1) 4) 5)（レポートを作成する）	事前：テキスト・資料などの指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。(15分) 事後：自己評価（ふりかえり）へのフィードバックを活用し、内容に関する旨をグループディスカッションや指定したメディアにて情報を収集する。(30分)
5	「こいのぼり交流会」・「春の探策」の体験から保育内容（生活的表現）を学ぶ（1）～（3） 【到達目標】(1) -1) 2) 4)、(2) -1) 5)	事前：テキスト・資料などの指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。(15分) 事後：自己評価（ふりかえり）へのフィードバックを活用し、内容に関する旨をグループディスカッションや指定したメディアにて情報を収集する。(30分)
6	「表現」の保育内容（4）～（5）（創造的表現について学ぶ） 保育内容（5） 「色々な素材に親しみ工夫して遊ぶ」について今までの活動を通して学ぶ 【到達目標】(1) -1) 2) 4)、(2) -1) 5)	事前：テキスト・資料などの指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。(15分) 事後：自己評価（ふりかえり）へのフィードバックを活用し、内容に関する旨をグループディスカッションや指定したメディアにて情報を収集する。(30分)
7	「表現」の保育内容（6） 創造的表現（音楽的表現） 担当者の創作絵本『みんなおともだち』を通して総合的指導について理解する 【到達目標】(1) -1) 2) 4)、(2) -1) 5)	事前：テキスト・資料などの指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。(15分) 事後：自己評価（ふりかえり）へのフィードバックを活用し、内容に関する旨をグループディスカッションや指定したメディアにて情報を収集する。(30分)
8	「表現」の保育内容（7） 創造的表現（絵画製作） PDCAを活用して表現活動の位置づけを具体化する（創作絵本、指導案など） 【到達目標】(1) -1) 2) 4)、(2) -1) 5)	事前：第1～7回の内容についてノート（自己点検）を活用し、復習する。(15分) 事後：自己評価（ふりかえり）へのフィードバックを活用し、内容に関する旨をグループディスカッションや指定したメディアにて情報を収集する。(30分)
9	「表現」の保育内容（8） 創造的表現（音楽リズム・絵画製作・ごっこあそびなど） PDCAを活用して表現活動を具体化する 【到達目標】(1) -1) 2) 4)、(2) -1) 5)	事前：テキスト・資料などの指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。(15分) 事後：自己評価（ふりかえり）へのフィードバックを活用し、内容に関する旨をグループディスカッションや指定したメディアにて情報を収集する。(30分)
10	創作絵本『みんなおともだち』を通して資質・能力向上にむけて具体的に学ぶ アクティブラーニング導入 【到達目標】(1) -1) 2) 4)、(2) -1) 5)	事前：テキスト・資料などの指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。(15分) 事後：指定したメディアや附属幼稚園にて関係する情報を収集すること。(30分)
11	地域の人材活用としてアマチュア劇団『かあたん』を観覧する 【到達目標】(1) -1) 2) 3) 4)、(2) -1) 2) 5) 今までの授業内容を発表する（授業7回～10回）	事前：テキスト・資料などの指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。(15分) 事後：自己評価（ふりかえり）へのフィードバックを活用し、内容に関する旨をグループディスカッションや指定したメディアにて情報を収集する。(30分)

12	現代社会のニーズに沿った教育内容を実現するために創作絵本『みんなおともだち』を導入する 【到達目標】(1) -1) 2) 3) 4)、(2) -1) 2) 3) 4) 5)	事前：テキスト・資料などの指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。(15分) 事後：附属幼稚園演習後、レポート提出及びグループディスカッションを行う。(30分)
13	創作絵本『みんなおともだち』を通して教育要領・保育指針の読み取り方を理解する 「幼稚園教育において育みたい資質・能力」及び「幼児期までに育ってほしい姿」 アクティブラーニング導入 【到達目標】(1) -1) 2) 3) 4)、(2) -1) 2) 3) 4) 5)	事前：テキスト・資料などの指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。(15分) 事後：自己評価（ふりかえり）へのフィードバックを活用し、内容に関する旨をグループディスカッションや指定したメディアにて情報を収集する。(30分)
14	「幼児期までに育ってほしい姿」10の姿について発表する 【到達目標】(1) -1) 2) 3)、(2) -1) 2) 3) 4) 5)	事前：テキスト・資料などの指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。(15分) 事後：自己評価（ふりかえり）へのフィードバックを活用し、内容に関する旨をグループディスカッションや指定したメディアにて情報を収集する。(30分)
15	まとめ 到達目標 カルテ作成 【到達目標】(1) -1) 2) 3) 4)、(2) -1) 2) 3) 4) 5)	事前：第1～14回の内容についてノート（自己点検）を活用し、グループディスカッションなどを通して復習する。(15分) 事後：自己点検・レポートなどのフィードバック及びノートを活用し、講義全体を復習する。(30分)

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

1. 授業終了後の「ふりかえり」、「事前の課題（自己研修）」を行い、その内容を自主的に発表することによって次のステップに繋いでほしい。
2. この授業は、終了後の「ふりかえり」、「事前の課題（自己研修を含む）」を重視し、特にレポート（原本）提出の際は、本人用（コピー）を保管すること。

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	授業のふりかえり	授業への取組み姿勢（アクティブラーニング含む）	創作絵本(10の姿の読み取り)
50%	15%	15%	20%

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
一本のすももの木	木本節子	著者作成
みんなおともだち	木本節子	著者作成

#### 参考書又は参考資料等

1. 文部科学省編『幼稚園教育要領（平成29年告示）』フレーベル館
2. 厚生労働省編『保育所保育指針（平成29年告示）』フレーベル館
3. 厚生労働省編『幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年告示）』フレーベル館
4. 授業担当者オリジナルテキストを活用する予定

#### その他〔受講に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて〕

「情報処理学」の学びを理解し、その活用と効果的な作成ができる。

#### 担当教員の連絡先等

担当教員 E-mail	その他

授 業 科 目 名		子どもの表現		
担 当 者 名		北嶋 季之、笹部 聡子	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド		2200083	授 業 形 態	演習
学 年		2年	開 講 期	2024年度前期
単 位 数		1	履 修	保育士必修
ナ ン バ リ ン グ		DP3-2-A		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕		<p>&lt;授業の概要&gt;</p> <p>保育の本幹である五領域の一つ「表現」について、音楽表現の側面から子どもの表現力をひき出すための環境設定や保育実践に必要な教材、援助・指導の在り方を学んでいく。また、音楽表現活動の「聴く」「歌う」「奏でる」「動く」「つくる」の5つの視点から、子どもの活動の意義とねらいを踏まえ、実践を想定した理解を深め、保育技術の習得を図る。授業形態は、アクティブラーニングを取り入れた音楽表現活動を行い、保育現場で子どもが持っている潜在的な能力を引き出す力を養っていけるように学習する。</p> <p>具体的には2週目から5週目までは、音楽の専門的な知識を習得し、最終的には保育現場での生活発表会や音楽発表会を想定した「劇あそび」の制作発表会を行う。</p>		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕		<p>&lt;授業のテーマ及び到達目標&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 乳幼児の発達の特徴や保育内容の領域「表現」における意義と内容を理解し、創造的表現や即興的自己表現ができるようになる。</li> <li>2. 劇遊びの制作発表会を通して保育者としての援助や指導方法を学び、保育者になった際に活用できる。</li> <li>3. 保育者としての音楽表現の基礎的な知識と実践力を養い、豊かな表現力を身に付けることができるようになる。</li> </ol>		
授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 等 ) の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間		
1	<p>第1回 オリエンテーション</p> <p>「子どもの表現」の授業概要や授業の進め方、評価について説明する。子どもの発達と表現の背景、子どもの音楽表現活動の意義と内容について説明する。</p> <p>音楽の基礎的な要素、各種楽器の取り扱い方及び音楽表現活動について解説する。テンポと強弱、拍子とリズムについて、手遊びや歌遊びを通して体験する。</p>	<p>&lt;事前&gt; ピアノテキストにある身体表現教材、自由表現教材のピアノを弾いて各自どのように子どもたちに表現させるかを考える。(30分)</p> <p>&lt;事後&gt; オリエンテーションでグループに分かれ授業で学んだことをまとめる。また、子どもたちに対してどのように援助するかを必ず一言入れる。(60分)</p>		
2	<p>第2回</p> <p>子どもの発達と「聴く」「歌う」活動の意義とねらいについて解説する。</p> <p>子どもの発達に合ったそれぞれの活動の援助や表現活動について解説する。</p>	<p>&lt;事前&gt; 次回予習は表現について絵本を使用し、挿入する音楽（聴く、歌う）を各グループで考える。(30分)</p> <p>&lt;事後&gt; 授業で行った曲を再度見直す。</p> <p>子どもに対してどのように表現させるか研究し、それをまとめる。(60分)</p>		
3	<p>第3回</p> <p>子どもの発達と「奏でる」活動の意義とねらいについて解説する。</p> <p>楽器の奏法や保育者の援助の在り方について解説する。</p>	<p>&lt;事前&gt; 次回予習は表現について絵本に挿入する音楽（奏でる）を各グループで考える。(30分)</p> <p>&lt;事後&gt; 授業で行った曲を再度見直す。</p> <p>子どもに対してどのように表現させるか研究し、それをまとめる。(60分)</p>		

4	第4回 子どもの発達と「動く」活動の意義とねらいについて解説する。 音楽に合わせた基礎的な動きの要素を身に付け、動きをとおした身体表現を考える。	〈事前〉次回予習は表現について絵本に挿入する動作（動く）を各グループで考える。（30分） 〈事後〉授業で行った曲を再度見直す。 子どもに対してどのように表現させるか研究し、それをまとめる。（60分）
5	第5回 幼稚園・保育園等で開催されている生活発表会や音楽発表会のDVDなど参考になる動画を観て、劇遊びの題材を決める。グループ演習：劇遊びの題材毎にグループ分けを行う。	〈事前〉1回目から4回目までにどのようなことを学んだか再点検する。（30分） 〈事後〉発表会などのDVDなどを見て各自でどのように生活発表会等を運営していくかを考える。（60分）
6	第6回 グループ演習：台本作成および配役を決める。 グループ毎に制作発表会までの練習の計画表を作成する。グループ演習：劇遊びの大道具・小道具・背景などの制作を行う。	〈事前〉各自で配役など決定したことにより自分が演技することまた子どもたちに演技させるためにどのようにしたらよいか考える。（30分） 〈事後〉引続き子どもに対しての援助を考える。（60分）
7	第7回 グループ演習：劇遊びの大道具・小道具・背景などの制作を行う。	〈事前〉各自担当している役の準備（配役、大道具、小道具、背景、音響）。（30分） 〈事後〉各自担当しているものを準備しているもので足りないものを準備する。（60分）
8	第8回 グループ演習：劇遊びの大道具・小道具・背景などの制作を行う。	〈事前〉各自担当している役の準備（配役、大道具、小道具、背景、音響）。（30分） 〈事後〉各自担当しているものを準備しているもので足りないものを準備する。（60分）
9	第9回 グループ演習：劇遊びに挿入する音楽を決める。	〈事前〉各自担当している役の準備（配役、大道具、小道具、背景、音響）。さらに音楽担当と音響担当でどのように音楽を挿入するか考える。（30分） 〈事後〉各自担当しているものを準備しているもので足りないものを準備する。（60分）
10	第10回 グループ演習：劇遊びの総合的な練習を行う。	〈事前〉各自担当しているものを各自準備する（30分） 〈事後〉各自担当しているものを準備しているもので足りないものを準備する。（60分）
11	第11回 グループ演習：劇遊びの立ち稽古を行い、舞台美術の進捗状況の確認を行う。	〈事前〉各自担当しているものを各自準備する。（30分） 〈事後〉各自担当しているものを準備しているもので足りないものを準備する。（60分）
12	第12回 グループ演習：劇遊びの通し稽古を行い、舞台美術は仕上げを行う。	〈事前〉各自担当しているものを各自準備する。（30分） 〈事後〉各自担当しているものを準備しているもので足りないものを準備する。（60分）
13	第13回 グループ演習：舞台上でリハーサルを行う。	〈事前〉各グループで舞台の準備の確認を行い、再度チェックする。（30分） 〈事後〉舞台上での通し練習の不足部分の修正を各グループで話し合い、修正する。（60分）
14	第14回 グループ演習：制作発表会を開催する。	グループ発表し、お互いの劇あそび等を鑑賞し、表現活動のなかでどのように研究したのか発表しレポートを作成する。

15	第15回 制作発表会の反省および授業の総括を行う。 振り返りレポートの提出。	〈事前〉発表後の各自総括の準備をする。(30分) 〈事後〉今後この「子どもの表現」を現場で取り入れるかを考え、各自まとめる。(60分)
<b>準備学習・事後学習等についての補足説明</b>		
各グループで担当割があるため担当している製作などを準備していく。		
<b>成績評価の方法〔評価項目と割合〕</b>		
①レポート・作品提出	②授業への取り組み姿勢・参加度	③発表会
30%	20%	50%
<b>使用テキスト</b>		
書籍名	著者	出版社
<b>参考書又は参考資料等</b>		
必要に応じプリントを配布する。		
<b>その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕</b>		
総合的評価(担当するセクションの準備)実技・製作を中心に評価を行う。 定期試験:レポート提出		
<b>担当教員の連絡先等</b>		
担当教員E-mail	その他	

授 業 科 目 名	音楽基礎		
担 当 者 名	北嶋 季之、笹部 聡子 他	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド	2200060	授 業 形 態	演習
学 年	1年	開 講 期	2024年度前期
単 位 数	1	履 修	必修・幼稚園教諭必修・保育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP2-1-A		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>「音楽基礎」は、幼稚園教諭免許および保育士資格を取得するために必ず修得しなければならない基礎科目であり、教科として関連のある「保育の内容・方法の理解」に基づく科目である。「音楽基礎」の授業は「ピアノ演奏技術」（個人指導）と「理論および声楽」（クラス授業）で設定している。</p> <p>この授業では、将来保育者として音楽表現活動を行うための基礎的なピアノ演奏技術および音楽理論、発声方法を習得する。さらに、基礎的な身体表現（ボディパーカッション・合奏含む）をグループ活動、グループディスカッションやディベートを取り入れながら学ぶ。</p> <p>音楽表現活動は、子どもと直接的な関わりの中で主体となるため、実習や保育現場に必要な教具・教材等に関する知識も身に付け、理解を深める。</p>		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<p>1. 幼稚園教育要領・保育所保育指針及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領の内容を理解し、保育者として子どもの発達に応じた音楽的な表現方法を習得する。</p> <p>2. ピアノ演奏や声楽、基礎的な身体表現方法・技術を習得し、音楽的な能力や表現力および感性を高めることを目標とする。</p> <p>3. 保育現場において保育者としての使命感、責任、愛情を持ち、音楽を通して子どもの能力や発達を支援できることを目標とする。</p>		
授 業 計 画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	オリエンテーションにおいて「音楽基礎」の受講目的と心構え、および進度表の説明を行う。音楽理論（音符、テンポ、リズム、表情記号等）について解説をする。教育・保育の現場に必要な声楽（発声）についても解説をする。	<p>〈事前〉初心者については、ピアノ鍵盤の位置や読譜についての予習。経験者については、初心に戻り、テキストを用いてピアノ鍵盤の位置や読譜について確認し練習を行う。（毎日30分）</p> <p>〈事後〉講義で行ったことをまとめ反復練習を行い、鍵盤の位置・読譜について理解する。（60分）</p>	
2	楽譜の説明・音符の長さ・リズムについて解説する。「バイエル曲」の簡単な運指の練習を行い、鍵盤の位置を解説する。音楽理論（音符）・声楽（音階での発声）についての解説をする。	<p>〈事前〉次回レッスンで行う曲の予習（毎日約30分1週間に2曲以上）</p> <p>〈事後〉ピアノ：次回レッスンで行う曲を練習する。弾けなかった曲は再度見直す。</p> <p>理論：前回の授業の部分を覚える。</p> <p>発声の基礎技術（60分）</p>	
3	楽譜の説明・テンポ・表情記号・強弱記号について解説する。「バイエル曲」の簡単な運指の練習を行い、鍵盤の位置と楽譜が一致するように解説する。音楽理論（記号・リズム）・声楽（音階での発声）について解説をする。	<p>〈事前〉次回レッスンで行う曲の予習（毎日約30分1週間に2曲以上）</p> <p>〈事後〉ピアノ：次回レッスンで行う曲を練習する。弾けなかった曲は再度見直す。</p> <p>理論：前回の授業の部分を覚える。</p> <p>発声の基礎技術（60分）</p>	

4	鍵盤の位置の確認を行い、音楽用語の解説をする。「バイエル曲」の練習を行う。 音楽理論（音名）・声楽（コールユーブンゲンの練習）について解説をする。	〈事前〉次回レッスンで行う曲の予習 （毎日約30分1週間に2曲以上）の予習 〈事後〉ピアノ：次回レッスンで行う曲を練習する。弾けなかった曲は再度見直す。 理論：前回の授業の部分を覚える。 発声の基礎技術（60分）
5	鍵盤の位置の確認を行い、奏法や曲想、速度記号の解説をする。「バイエル曲」の練習方法を解説する。 音楽理論（音階）・声楽（コールユーブンゲンの練習）について解説をする。	〈事前〉次回レッスンで行うの予習 （約30分1週間に2曲以上） 〈事後〉ピアノ：次回レッスンで行う曲を練習する。弾けなかった曲は再度見直す。 理論：前回の授業の部分を覚える。 発声の基礎技術（60分）
6	C・Fコードの解説をする。色々な伴奏形を用いて練習を行う。音楽理論（記号）・声楽（コールユーブンゲンの練習）について解説をする。	〈事前〉次回レッスンで行う曲の予習 （毎日約30分1週間に2曲以上） 〈事後〉ピアノ：次回レッスンで行う曲を練習する。弾けなかった曲は再度見直す。 理論：前回の授業の部分を覚える。 発声の基礎技術（60分）
7	F・Gコードの解説をする。色々な伴奏形を用いて練習を行う。音楽理論（臨時記号）・声楽（こどものうた・ボディパーカッションの練習）について解説をする。	〈事前〉次回レッスンで行う曲の予習 （毎日約30分1週間に2曲以上） 〈事後〉ピアノ：次回レッスンで行う曲を練習する。弾けなかった曲は再度見直す。 理論：前回の授業の部分を覚える。 発声の基礎技術（60分）
8	「バイエル曲」の練習を行う。① 音楽理論（異名同音）・声楽（こどものうた・ボディパーカッションの練習）について解説をする。	〈事前〉次回レッスンで行う曲の予習 （毎日約30分1週間に2曲以上） 〈事後〉ピアノ：次回レッスンで行う曲を練習する。弾けなかった曲は再度見直す。 理論：前回の授業の部分を覚える。 発声の基礎技術（60分）
9	「バイエル曲」の練習を行う。② 音楽理論（記号、調号・リズム）・声楽（こどものうた・ボディパーカッションの練習）について解説をする。	〈事前〉次回レッスンで行う曲の予習 （毎日約30分1週間に2曲以上） 〈事後〉ピアノ：次回レッスンで行う曲を練習する。弾けなかった曲は再度見直す。 理論：前回の授業の部分を覚える。 発声の基礎技術（60分）
10	「バイエル曲」の練習を行う。③ 音楽理論（和音・リズム）・声楽（こどものうた・ボディパーカッション・合奏①の練習、グループディスカッション・楽器）について解説をする。	〈事前〉次回レッスンで行う曲の予習 （毎日約30分1週間に2曲以上） 〈事後〉ピアノ：次回レッスンで行う曲を練習する。弾けなかった曲は再度見直す。 理論：前回の授業の部分を覚える。 発声の基礎技術（60分）

11	「バイエル曲」の練習を行う。④ 音楽理論（合奏②）・声楽（こどものうた・ボディパーカッション）について解説をする。	〈事前〉次回レッスンで行う曲の予習 （毎日約30分1週間に2曲以上） 〈事後〉ピアノ：次回レッスンで行う曲を練習する。弾けなかった曲は再度見直す。 理論：前回の授業の部分を覚える。 発声の基礎技術（60分）
12	「バイエル曲」の練習を行う。⑤ 音楽理論（合奏③、グループディスカッション発表）について解説をする。	〈事前〉次回レッスンで行う曲の予習 （毎日約30分1週間に2曲以上） 〈事後〉ピアノ：次回レッスンで行う曲を練習する。弾けなかった曲は再度見直す。 理論：前回の授業の部分を覚える。 発声の基礎技術（60分）
13	「進度表」より試験曲を選曲して練習を行う。 音楽理論（移調）・声楽（こどものうた・ボディパーカッションの練習）について解説をする。	〈事前〉次回レッスンで行う曲の予習 （毎日約30分1週間に2曲以上） 〈事後〉ピアノ：次回レッスンで行う曲を練習する。弾けなかった曲は再度見直す。 理論：前回の授業の部分を覚える。 発声の基礎技術（60分）
14	選曲した試験曲の練習を行い、演奏が困難な箇所や留意点を解説する。音楽理論（移調）・声楽（こどものうたの小テスト・ボディパーカッションの練習）について解説する。	〈事前〉次回レッスンで行う曲の予習 （毎日約30分1週間に2曲以上） 〈事後〉ピアノ：次回レッスンで行う曲を練習する。弾けなかった曲は再度見直す。 理論：前回の授業の部分を覚える。 発声の基礎技術（60分）
15	授業の総括を行い、試験曲を仕上げる。 音楽理論・声楽の総括を行い、試験について解説する。	〈事前〉試験曲を練習する（約30分1週間に2曲以上） 〈事後〉ピアノ：試験までに試験曲を暗譜する。 理論：試験範囲のまとめ 声楽：「こどものうた」の試験曲の練習（60分）

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

ピアノ・声楽の演奏技術向上のためには毎日の練習が必要です。授業の予習・復習を必ず行ってください。

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	事前・事後学習状況		
70%	30%		

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
保育士・幼稚園教諭 小学校教諭養成のためのピアノテキスト（楽典・身体表現教材付）	全国大学音楽教育学会九州地区学会編	カワイ出版
いろんな伴奏で弾ける選曲 こどものうた100	小林美実 監修 井戸和秀 編集	チャイルド社

#### 参考書又は参考資料等

ピアノ実技は「別冊ピアノテキスト」と「ピアノテキストワーク」を配布。音楽理論についてはプリントを配布。

#### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕



ピアノ進度表を配布するので、進度表を個々で確認しながら、計画をもって事前・事後の学習を行う。また、事前・事後の学習状況は成績評価に関わるので、真剣に取り組んでください。  
理論については、提出されたプリントを点検しながら学生にフィードバックします。

**担当教員の連絡先等**

担当教員E-mail	その他
	授業終了後は、北嶋・笹部の各研究室にて質問を受付けます。

授 業 科 目 名	器楽基礎Ⅰ		
担 当 者 名	北嶋 季之、笹部 聡子 他	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド	2200061	授 業 形 態	演習
学 年	1年	開 講 期	2024年度後期
単 位 数	1	履 修	必修・幼稚園教諭必修・保育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP2-1-B		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>「器楽基礎Ⅰ」は、「音楽基礎」で学んだ基礎的なピアノの演奏技術や音楽の知識をふまえて、ピアノの演奏技術の向上を目指して、主にピアノの個人指導を行う。また、教育・保育現場において子どもとの直接的な関わりや保育を展開する上で、音楽表現能力の育成に重点を置く。さらに教育・保育現場で身体表現活動を行うために、グループディスカッションやディベートを取り入れながら、保育の環境構成や援助のあり方を学ぶ。</p>		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育・保育現場に必要な音楽の課題に取り組み、幼児唱歌のレパートリーを増やすことを目標とする。</li> <li>2. ピアノの基礎的な演奏技術を確立し、さらに高度なピアノ演奏技術習得に向けて総合的に学習することを目標とする。</li> <li>3. 教育・保育現場に即した音楽表現・身体表現に関する知識と技術を習得する。</li> </ol>		
授 業 計 画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1 授業の進め方・評価について説明を行う。「器楽基礎Ⅰ」の授業目標や授業概要、履修方法等を解説する。	<p>〈事前〉 次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分 1週間に2曲以上)</p> <p>〈事後〉 レッスンで行った曲を再度見直す (60分)</p>		
2 音符の長さ・リズムについての解説を行う。「バイエル曲」または「こどものうた」の練習を行う。	<p>〈事前〉 次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分 1週間に2曲以上)</p> <p>〈事後〉 レッスンで行った曲を再度見直す (60分)</p>		
3 色々な拍子の種類について解説を行う。「バイエル曲」または「こどものうた」の練習を行う。	<p>〈事前〉 次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分 1週間に2曲以上)</p> <p>〈事後〉 レッスンで行った曲を再度見直す (60分)</p>		
4 奏法や曲想、速度記号の解説を行う。「バイエル曲」または「こどものうた」の練習を行う。	<p>〈事前〉 次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分 1週間に2曲以上)</p> <p>〈事後〉 レッスンで行った曲を再度見直す (60分)</p>		
5 C・F・G・Dのコードについて解説を行う。「バイエル曲」または「こどものうた」の練習を行う。	<p>〈事前〉 次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分 1週間に2曲以上)</p> <p>〈事後〉 レッスンで行った曲を再度見直す (60分)</p>		
6 和音奏(コード)の演奏方法と移調奏について解説を行う。「こどものうた」を和音奏で弾けるように練習を行う。	<p>〈事前〉 次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分 1週間に2曲以上)</p> <p>〈事後〉 レッスンで行った曲を再度見直す (60分)</p>		
7 和音奏(コード)の練習を行う。「こどものうた」を和音奏で弾けるように練習を行う。	<p>〈事前〉 次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分 1週間に2曲以上)</p> <p>〈事後〉 レッスンで行った曲を再度見直す (60分)</p>		
8 「バイエル曲」または「こどものうた」の練習を行う。「コード付け教材」「身体表現教材」の楽曲の練習を行う。	<p>〈事前〉 次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分 1週間に2曲以上)</p> <p>〈事後〉 レッスンで行った曲を再度見直す (60分)</p>		

9	「バイエル曲」または「こどものうた」の練習を行う。「身体表現教材」の楽曲の練習を行う。	〈事前〉 次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分 1週間に2曲以上) 〈事後〉 レッスンで行った曲を再度見直す (60分)
10	「バイエル曲」または「こどものうた」の練習を行う。「身体表現教材」の楽曲の練習を行う。	〈事前〉 次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分 1週間に2曲以上) 〈事後〉 レッスンで行った曲を再度見直す (60分)
11	「バイエル曲」または「こどものうた」の練習を行う。「身体表現教材」の楽曲の練習を行う。	〈事前〉 次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分 1週間に2曲以上) 〈事後〉 レッスンで行った曲を再度見直す (60分)
12	「進捗表」より試験曲を選曲して練習を行う。	〈事前〉 次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分 1週間に2曲以上) 〈事後〉 レッスンで行った曲を再度見直す (60分)
13	課題曲の修得を目指し、ピアノの個人指導を行う。	〈事前〉 次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分 1週間に2曲以上) 〈事後〉 レッスンで行った曲を再度見直す (60分)
14	選曲した試験曲の練習を行い、演奏が困難な箇所や留意点を解説する。	〈事前〉 次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分 1週間に2曲以上) 〈事後〉 レッスンで行った曲を再度見直し、試験曲を暗譜する (60分)
15	授業の総括を行い、試験曲を仕上げる。	〈事前〉 試験曲を仕上げる (60分) 〈事後〉 今期に習得した内容のまとめを行う (60分)

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

ピアノの演奏技術向上のためには毎日の練習が必要です。授業の予習・復習を必ず行ってください。

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	事前・事後学習状況		
70%	30%		

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
保育士・幼稚園教諭 小学校教諭養成のための ピアノテキスト(楽典・身体表現教材付)	全国大学音楽教育学会九州地区学会 編	カワイ出版
いろんな伴奏で弾ける選曲 こどものうた100	小林美実 監修 井戸和秀 編集	チャイルド社

#### 参考書又は参考資料等

ピアノ実技は「別冊ピアノテキスト」を配布。

#### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

事前・事後の学習状況は成績評価に関わるので、真剣に取り組んでください。

#### 担当教員の連絡先等

担当教員E-mail	その他
	授業終了後は、北嶋・笹部の各研究室にて質問を受け付けます。

授 業 科 目 名	器楽基礎Ⅱ		
担 当 者 名	北嶋 季之、笹部 聡子 他	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド	2200062	授 業 形 態	演習
学 年	2年	開 講 期	2024年度前期
単 位 数	1	履 修	保育士選択
ナ ン バ リ ン グ	DP3-2-A		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>「器楽基礎Ⅱ」は、「音楽基礎・器楽基礎Ⅰ」で学んだ基礎的なピアノ演奏技術をさらに発展させて、表現力豊かな演奏方法を学ぶ。教材は、「幼児唱歌」「自由曲」（ブルグミュラー等）を使用し、ピアノの個人指導を行う。</p> <p>この教科は、保育士資格に必要な単位の選択科目として本学では設定しているが、実習や就職試験、保育者としてピアノ演奏は必要不可欠であるため、必修選択として位置づけ、1年次より継続してピアノ演奏技術を学ぶ。</p> <p>また、保育者として音楽的表現活動が円滑に行われるように、グループワークや発表を通して人前で演奏する力を身に付け、音楽的能力や表現力を高めることを目指す。</p>		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<p>1. ピアノの演奏技術や豊かな表現力を身に付け、保育現場において円滑に表現活動ができることを目標とする。</p> <p>2. 「幼児の歌」や「生活の歌」の弾き歌いの能力を身に付け、子どもたちに歌の楽しさや音楽の豊かさを伝えられる資質を身に付けることができる。</p> <p>3. 進度が速い学生は、「器楽応用」の幼児唱歌、ブルグミュラー、ソナチネへ進み、演奏技術のレベルアップをはかることを目標とする。</p>		
授 業 計 画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	授業の進め方・評価について説明を行う。 「器楽基礎Ⅱ」の授業目標や授業概要、履修方法等を解説する。	〈事前〉次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分1週間に2曲以上) 〈事後〉レッスンで行った曲を再度見直す(60分)	
2	保育現場での音楽の表現方法や必要性について解説する。コードの復習と簡易伴奏の練習を行う。 ①	〈事前〉次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分1週間に2曲以上) 〈事後〉レッスンで行った曲を再度見直す(60分)	
3	コードの復習と簡易伴奏の練習を行う。② 幼児唱歌を習得するための表現方法や歌い方について解説する。①	〈事前〉次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分1週間に2曲以上) 〈事後〉レッスンで行った曲を再度見直す(60分)	
4	幼児唱歌を習得するための表現方法や歌い方について解説する。②リズム、テンポ、曲の表情について解説する。①	〈事前〉次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分1週間に2曲以上) 〈事後〉レッスンで行った曲を再度見直す(60分)	
5	幼児唱歌を習得するための表現方法や歌い方について解説する。③リズム、テンポ、曲の表情について解説する。②	〈事前〉次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分1週間に2曲以上) 〈事後〉レッスンで行った曲を再度見直す(60分)	
6	「季節の歌」の選曲方法や演奏方法について解説する。「季節の歌」の練習を行う。①	〈事前〉次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分1週間に2曲以上) 〈事後〉レッスンで行った曲を再度見直す(60分)	
7	「季節の歌」の表現方法について解説する。「季節の歌」の練習を行う。②	〈事前〉次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分1週間に2曲以上) 〈事後〉レッスンで行った曲を再度見直す(60分)	

8	「生活の歌」の選曲方法や演奏方法について解説する。「生活の歌」の練習を行う。①	〈事前〉次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分 1週間に2曲以上) 〈事後〉レッスンで行った曲を再度見直す(60分)
9	「生活の歌」の表現方法について解説する。「生活の歌」の練習を行う。②	〈事前〉次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分 1週間に2曲以上) 〈事後〉レッスンで行った曲を再度見直す(60分)
10	「ブルグミュラー」の作品に要求されるテクニックについて解説する。「ブルグミュラー」の練習を行う。	〈事前〉次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分 1週間に2曲以上) 〈事後〉レッスンで行った曲を再度見直す(60分)
11	「進度表」より試験曲を選曲して練習を行う。	〈事前〉次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分 1週間に2曲以上) 〈事後〉レッスンで行った曲を再度見直す(60分)
12	試験曲の演奏法について解説し、練習を行う	〈事前〉次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分 1週間に2曲以上) 〈事後〉レッスンで行った曲を再度見直す(60分)
13	課題曲の修得を目指し、ピアノの個人指導を行う。	〈事前〉次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分 1週間に2曲以上) 〈事後〉レッスンで行った曲を再度見直す(60分)
14	選曲した試験曲の練習を行い、演奏が困難な箇所や留意点について解説する。	〈事前〉次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分 1週間に2曲以上) 〈事後〉レッスンで行った曲を再度見直す(60分)
15	授業の総括を行い、試験曲を仕上げる。	〈事前〉試験曲を仕上げる(60分) 〈事後〉今期に習得した内容のまとめを行う(60分)

### 準備学習・事後学習等についての補足説明

ピアノの演奏技術向上のためには毎日の練習が必要です。授業の予習・復習を必ず行ってください。

### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	事前・事後学習状況		
70%	30%		

### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
①いろいろな伴奏で弾ける 選曲 こどものうた100	①小林美実 監修 井戸和秀 編	①チャイルド社
②ブルグミュラー・25の練習曲		②カワイ出版

### 参考書又は参考資料等

### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

事前・事後の学習状況は成績評価に関わるので、真剣に取り組んでください。

### 担当教員の連絡先等

担当教員E-mail	その他
	授業終了後は、北嶋・笹部の各研究室にて質問を受け付けます。

授 業 科 目 名	器楽応用		
担 当 者 名	北嶋 季之、笹部 聡子 他	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド	2200063	授 業 形 態	演習
学 年	2年	開 講 期	2024年度後期
単 位 数	1	履 修	保育士選択
ナ ン バ リ ン グ	DP3-1-B		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>「器楽応用」では、これまでに学んだピアノ演奏技術を保育現場で活用できるように、子どもたちに寄り添った表現方法や豊かな演奏方法を学ぶ。</p> <p>教材は、「器楽基礎Ⅱ」に引き続き「幼児唱歌」「自由曲」(ブルグミュラー等)を使用し、ピアノの個人指導を行う。</p> <p>この教科は保育士資格に必要な単位の選択科目として本学では設定しているが、実習や就職試験、保育者としてピアノ演奏は必要不可欠であるため、必修選択として位置づけ、ピアノ演奏技術を学ぶ。卒業後、保育現場で音楽的表現活動が円滑に行われるように「演奏するスキル」「楽譜を読むスキル」「弾きながら歌うスキル」などの音楽的能力を高めることを目指す。</p>		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<p>1. 保育現場を想定し、子どもの発達や能力に添ったピアノや歌の演奏技術および表現力を養い保育者として円滑に表現活動ができることを目標とする。</p> <p>2. 保育者として、子どもたちの豊かな想像性を育てていくための音楽的な環境づくりや演奏技術、表現力を養うことを目標とする。</p>		
授 業 計 画	準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 等 ) の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間		
1	授業の進め方・評価について説明を行う。 「器楽応用」の授業目標や授業概要、履修方法を解説する。	〈事前〉 次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分 1週間に2曲以上) 〈事後〉 レッスンで行った曲を再度見直す (60分)	
2	幼児唱歌の弾き歌いについて解説する。	〈事前〉 次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分 1週間に2曲以上) 〈事後〉 レッスンで行った曲を再度見直す (60分)	
3	教育実習での課題曲や季節の歌の選曲方法について解説する。各自選曲し、練習を行う。	〈事前〉 次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分 1週間に2曲以上) 〈事後〉 レッスンで行った曲を再度見直す (60分)	
4	教育実習での課題曲や季節の歌を各自選曲し、練習を行う。	〈事前〉 次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分 1週間に2曲以上) 〈事後〉 レッスンで行った曲を再度見直す (60分)	
5	「弾き歌い」のメロディーを把握し、調・拍子・速度等の解説をする。	〈事前〉 次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分 1週間に2曲以上) 〈事後〉 レッスンで行った曲を再度見直す (60分)	
6	「弾き歌い」のメロディーを把握し、楽曲に合った速度や曲の流れについて解説をする。	〈事前〉 次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分 1週間に2曲以上) 〈事後〉 レッスンで行った曲を再度見直す (60分)	
7	「弾き歌い」の和音機能を解説する。	〈事前〉 次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分 1週間に2曲以上) 〈事後〉 レッスンで行った曲を再度見直す (60分)	

8	「弾き歌い」の和音機能や簡易伴奏を付ける方法を解説する。	〈事前〉次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分1週間に2曲以上) 〈事後〉レッスンで行った曲を再度見直す(60分)
9	「幼児唱歌」に沿った色々な伴奏形の種類や演奏法について解説する。	〈事前〉次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分1週間に2曲以上) 〈事後〉レッスンで行った曲を再度見直す(60分)
10	「ブルグミュラー」のテクニックや表現方法について解説する。	〈事前〉次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分1週間に2曲以上) 〈事後〉レッスンで行った曲を再度見直す(60分)
11	「ブルグミュラー」のペダル奏法について解説する。	〈事前〉次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分1週間に2曲以上) 〈事後〉レッスンで行った曲を再度見直す(60分)
12	「進度表」より試験曲を選曲して練習を行う。	〈事前〉次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分1週間に2曲以上) 〈事後〉レッスンで行った曲を再度見直す(60分)
13	課題曲の修得を目指し、ピアノの個人指導を行う。	〈事前〉次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分1週間に2曲以上) 〈事後〉レッスンで行った曲を再度見直す(60分)
14	選曲した試験曲の練習を行い、演奏が困難な箇所や留意点を解説する。	〈事前〉次回レッスンで行う曲の予習 (毎日30分1週間に2曲以上) 〈事後〉レッスンで行った曲を再度見直す(60分)
15	授業の総括を行い、試験曲を仕上げる。	〈事前〉試験曲を仕上げる(60分) 〈事後〉今期に習得した内容のまとめを行う(60分)

### 準備学習・事後学習等についての補足説明

ピアノの演奏技術向上のためには毎日の練習が必要です。授業の予習・復習を必ず行ってください。

### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	事前・事後学習状況		
70%	30%		

### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
①いろいろな伴奏で弾ける 選曲 こどものうた100	①小林美実 監修 井戸和秀 編	①チャイルド社
②ブルグミュラー・25の練習曲		②カワイ出版

### 参考書又は参考資料等

### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

※事前・事後の学習状況は成績評価に関わるので、真剣に取り組んでください。

保育現場での表現活動に必要な歌を、ピアノを弾きながら歌えるようにしてください。

### 担当教員の連絡先等

担当教員E-mail	その他
------------	-----

	授業終了後は、北嶋・笹部の各研究室にて質問を受け付けます。
--	-------------------------------



授 業 科 目 名	保育原理		
担 当 者 名	前川 公一	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド	2200019	授 業 形 態	講義
学 年	1年	開 講 期	2024年度前期
単 位 数	2	履 修	必修・保育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP2-1-A		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	乳幼児期の教育のあり方が将来の人間形成の基礎として極めて重要である。そのため、保育者には乳幼児を養護・教育し、心身の健やかな成長を助ける重要な責務と大きな期待が寄せられている。そこで、保育原理の授業では、公立の学校の職務経験を有する教員が、保育の意義、保育に関する法令及び制度、保育の基本、保育の内容と方法、保育の思想、保育の現状と課題などについて学ぶ。学生の体験をもとに、グループワークやグループディスカッション等を取り入れた授業を展開する。そして、保育についての幅広い視野を養い、基礎的な知識を身に付け、よりよい保育を考える力を育てる。		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 保育の意義や目的、保育所保育の特性について理解できる。</li> <li>2) 保育に関する法令及び制度について理解できる。</li> <li>3) 保育所保育指針における保育の基本について学び、そのねらいや内容を理解できる。</li> <li>4) 保育の思想と歴史的変遷について理解できる。</li> <li>5) 保育の現状と課題について理解できる。</li> </ol>		
授 業 計 画	準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 等 ) の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間		
1	オリエンテーション、(保育の方向性と保育実践の基礎となる発達観) 【前川】	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。(90分) 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく。(90分)	
2	保育に関する諸法令などからみる保育の原理 【前川】	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。(90分) 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく。(90分)	
3	保育所保育指針、幼稚園教育要領、教育・保育要領にみる保育の原理 【前川】	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。(90分) 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく。(90分)	
4	養護と教育の一体化について 【前川】	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。(90分) 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく。(90分)	
5	保育実践の基本構造について 【前川】	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。(90分) 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく。(90分)	
6	多様な保育内容とその方法について 【前川】	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。(90分) 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく。(90分)	
7	子育て支援について学ぶ 【前川】	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。(90分) 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく。(90分)	
8	西洋と日本の保育の創成期 【前川】	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。(90分) 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく。(90分)	
9	西洋の保育実践と発達過程 【前川】	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。(90分) 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく。(90分)	
10	日本の保育実践の発達過程 【前川】	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。(90分) 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく。(90分)	
11	児童中心主義の保育を探る 【前川】	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。(90分) 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく。(90分)	

12	保育者の在り方を考える 【前川】	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。(90分) 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく。(90分)
13	これからの保育に向けて 【前川】	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。(90分) 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく。(90分)
14	保育原理の学びの振り返り 【前川】	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。(90分) 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく。(90分)
15	保育原理のまとめと評価 【前川】	事前：初回から14回までの内容を復習しておく。(90分) 事後：講義全体をまとめ、整理する。(90分)

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

授業の中で参考図書や文献を紹介するので積極的に読んでください。新聞等を通して最新の動向を把握してください。

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	レポート	授業への取り組み	
70%	20%	10%	

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
Workで学ぶ保育原理	佐伯一弥、金瑛珠（他）	わかば社

#### 参考書又は参考資料等

授業の中で、参考図書や参考文献を紹介しますので、図書館等で積極的に読んでください。また、新聞やテレビなどを通して、最新の教育の動向や保育の課題について把握するようにしてください。

#### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

この授業は、保育に係る様々な課題や問題について広く学ぶので、保育園や幼稚園を見学し、教育や保育の実際について、各自の体験を想起したり、イメージを膨らませたりしておいてください。

#### 担当教員の連絡先等

担当教員E-mail	その他

授 業 科 目 名	教育原理		
担 当 者 名	浦田 一幸	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2000014	授 業 形 態	講義
学 年	1年	開 講 期	2024年度前期
単 位 数	2	履 修	幼稚園教諭必修・保育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP2-1-A		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>今、子どもたちに「生きる力」をはぐくむ保育者が求められている。そのため、保育者には、そのような教育実践ができる高い専門的力量とそれを支える豊かな人間性や確固とした教育理念が必要となる。そこで、教育原理の授業では、教育の意義や目的及び子ども家庭福祉等のかかわり、教育思想と歴史的変遷、基礎理論、教育制度、生涯学習の現状と課題を学ぶ。授業は、長年北九州市立小学校の校長を務め、地域での人権啓発活動に取り組んできた教員が、グループワークや発表、グループディスカッションなどを取り入れたT・T（チーム・ティーチング）授業を展開する。それにより教育について幅広い視野を養い、基礎的な知識を身に付け、考える力を育てることを目指す。</p>		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 教育の意義や目的、教育と子ども家庭福祉について理解できる。</li> <li>2) 欧米の教育思想が、日本の幼児教育の分野に大きな影響を与えたことを理解できる。</li> <li>3) 教育が制度として、どのように運営されているかについて理解できる、</li> <li>4) 教育内容、方法、計画と評価のあり方について歴史的な経緯を踏まえ理解できる。</li> <li>5) 生涯学習社会における教育の現状と課題について理解できる。</li> </ol>		
授 業 計 画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	オリエンテーション（科目内容、講義、評価等） 教育の意義	事前：テキストの指定範囲を通読しておく（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく（90分）	
2	教育の目的	事前：テキストの指定範囲を通読しておく（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく（90分）	
3	乳幼児期の教育の特性	事前：テキストの指定範囲を通読しておく（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく（90分）	
4	教育と子ども家庭福祉の関連性	事前：テキストの指定範囲を通読しておく（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく（90分）	
5	人間形成と家庭・地域社会	事前：テキストの指定範囲を通読しておく（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく（90分）	
6	諸外国の教育思想	事前：テキストの指定範囲を通読しておく（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく（90分）	
7	諸外国の教育の歴史	事前：テキストの指定範囲を通読しておく（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく（90分）	
8	日本の教育思想・歴史	事前：テキストの指定範囲を通読しておく（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく（90分）	
9	子ども観と教育観	事前：テキストの指定範囲を通読しておく（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく（90分）	
10	教育制度の基本	事前：テキストの指定範囲を通読しておく（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく（90分）	
11	教育の法律と行政	事前：テキストの指定範囲を通読しておく（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく（90分）	

12	諸外国の教育制度	事前：テキストの指定範囲を通読しておく（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく（90分）
13	教育実践の基礎	事前：テキストの指定範囲を通読しておく（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく（90分）
14	さまざまな教育実践	事前：テキストの指定範囲を通読しておく（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく（90分）
15	生涯学習社会における教育の現状と課題 教育原理のまとめ	事前：テキストの指定範囲を通読しておく（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく（90分）

### 準備学習・事後学習等についての補足説明

授業の中で参考図書や文献を紹介しますので、積極的に読んでください。新聞等で最新の教育の動向を把握してください。

### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	レポート	授業への取り組み	
70%	20%	10%	

### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
新基本保育シリーズ2 教育原理	矢藤誠慈郎、北野幸子	中央法規

### 参考書又は参考資料等

文部科学省編『幼稚園教育要領解説』フレーベル館、厚生労働省『保育所保育指針解説』フレーベル館

### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

教育原理に取り上げる内容を十分理解し、保育者になる基礎的知識を身に付け、それを生かした保育実践ができるようになることを期待します。

### 担当教員の連絡先等

担当教員E-mail	その他

授 業 科 目 名	保育制度論		
担 当 者 名	浦田 一幸	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2200013	授 業 形 態	講義
学 年	2年	開 講 期	2024年度後期
単 位 数	1	履 修	幼稚園教諭必修
ナ ン バ リ ン グ	DP2-2-B		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	教育や保育は一定の制度の中で行われる。その制度は、社会的な課題の解決を目指す手段であり、課題解決の観点から制度改革が繰り返される。日々の教育・保育がこのことと無縁であってはならない。様々な制度改革や法律等を踏まえ、よりよい教育・保育とは何かを考えることができる保育者を育成する必要がある。そのためにも、単なる知識習得ではなく、制度改革という観点から自己の経験や考えを伝え合うことで確かな資質を養うことができるような授業を実現したい。		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育・保育制度の意味や意義を理解する。</li> <li>2. 教育・保育制度に関わる様々な課題や制度改革について理解する。</li> <li>3. 社会の動向等に向ける目を養う。</li> <li>4. 制度改革や社会の動向を踏まえ、よりよい教育・保育とは何かを考える。</li> </ol>		
授 業 計 画	準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 等 ) の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間		
1	オリエンテーション（科目内容、講義、評価等） 教育制度とは何か	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。（90分） 事後：授業を振り返り、重要な語句、話合いのポイント、自分の考えなどをノートにまとめる。（90分）	
2	現代の教育制度－教育を受ける権利の保障－	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。（90分） 事後：授業を振り返り、重要な語句、話合いのポイント、自分の考えなどをノートにまとめる。（90分）	
3	学校教育制度	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。（90分） 事後：授業を振り返り、重要な語句、話合いのポイント、自分の考えなどをノートにまとめる。（90分）	
4	幼児教育制度	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。（90分） 事後：授業を振り返り、重要な語句、話合いのポイント、自分の考えなどをノートにまとめる。（90分）	
5	保育所制度の構造－児童福祉法、保育所－	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。（90分） 事後：授業を振り返り、重要な語句、話合いのポイント、自分の考えなどをノートにまとめる。（90分）	
6	義務教育制度	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。（90分） 事後：授業を振り返り、重要な語句、話合いのポイント、自分の考えなどをノートにまとめる。（90分）	
7	特別支援教育制度	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。（90分） 事後：授業を振り返り、重要な語句、話合いのポイント、自分の考えなどをノートにまとめる。（90分）	
8	教員制度	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。（90分） 事後：授業を振り返り、重要な語句、話合いのポイント、自分の考えなどをノートにまとめる。（90分）	

9	中央教育行政と地方教育行政	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。(90分) 事後：授業を振り返り、重要な語句、話合いのポイント、自分の考えなどをノートにまとめる。(90分)
10	学校経営の制度	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。(90分) 事後：授業を振り返り、重要な語句、話合いのポイント、自分の考えなどをノートにまとめる。(90分)
11	学校と地域の連携	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。(90分) 事後：授業を振り返り、重要な語句、話合いのポイント、自分の考えなどをノートにまとめる。(90分)
12	生徒指導上の諸課題に関わる法制度	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。(90分) 事後：授業を振り返り、重要な語句、話合いのポイント、自分の考えなどをノートにまとめる。(90分)
13	教育行政と福祉行政の連携	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。(90分) 事後：授業を振り返り、重要な語句、話合いのポイント、自分の考えなどをノートにまとめる。(90分)
14	学校安全と子どもの事故	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。(90分) 事後：授業を振り返り、重要な語句、話合いのポイント、自分の考えなどをノートにまとめる。(90分)
15	子育て支援の制度 まとめ	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。(90分) 事後：授業を振り返り、重要な語句、話合いのポイント、自分の考えなどをノートにまとめる。(90分)

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	授業への取り組み姿勢	その他（提出物など）	
70%	10%	20%	

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
【改訂版】保育者・小学校教員のための教育制度論	内山絵美子・山田知代・坂田仰	教育開発研究所

#### 参考書又は参考資料等

文部科学省編『幼稚園教育要領解説』フレーベル館  
 厚生労働省編『保育所保育指針解説』フレーベル館  
 内閣府・文部科学省・厚生労働省編『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館

#### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

事前のテキスト指定範囲の通読に関しては、その記載内容に関連する自分自身の経験や記憶を呼び起こすことに重点を置いてください。指定範囲の内容によっては、それが難しい場合もあるでしょうが、できる範囲でのその努力の過程が大切です。授業の中では、学生同士でその経験や記憶、そして自分の考え等を伝え合う活動を通して、保育制度等に関する理解を深め、制度や法律と日々の具体的な実践等を結び付けて考えていけるような保育者としてのよりよい資質を養うことを目指していきます。

担当教員の連絡先等	
担当教員E-mail	その他

授 業 科 目 名	子ども家庭福祉		
担 当 者 名	井田 智美	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2200020	授 業 形 態	講義
学 年	1年	開 講 期	2024年度後期
単 位 数	2	履 修	必修・保育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP3-1-B		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	子ども家庭福祉の意義について、また歴史の変遷から制度、実施体系などを学ぶ。子育て家庭の現状を理解した上で、児童虐待・DVなど様々な社会問題、支援のあり方や課題についてディスカッションしながら進めていき、子ども家庭福祉に携わる専門家に必要とされる資質・能力の向上を目指す。この講義では、病院および社会福祉施設で30年にわたる職務経験を有する教員が、自身が携わったできるだけイメージしやすいトピックスを取り上げ、学生が疑問に感じることなどに丁寧に応えながら進めていく。		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	1. 子ども家庭福祉の意義と歴史の変遷について理解する。 2. 子ども家庭福祉の制度と実施体系等について理解する。 3. 子どもの人権擁護について理解する。		
授 業 計 画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	子ども家庭福祉を考える視点	事前：教科書該当箇所を通読する（60分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（60分）	
2	子どもの社会的特性と必要とされる配慮	事前：教科書該当箇所を通読する（60分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（60分）	
3	子どもと子育て家庭の現状 子どもの育ち、子育てのニーズ	事前：教科書該当箇所を通読する（60分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（60分）	
4	戦後の子どもの家庭福祉通史	事前：教科書該当箇所を通読する（60分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（60分）	
5	子ども家庭福祉の基本理念 子ども家庭福祉の法体系	事前：教科書該当箇所を通読する（60分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（60分）	
6	子ども家庭福祉の実施体制	事前：教科書該当箇所を通読する（60分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（60分）	
7	子ども家庭福祉の計画的進展と子ども・子育て支援制度の創設	事前：教科書該当箇所を通読する（60分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（60分）	
8	子育て・子育て経済的支援サービスと子どもの貧困対策	事前：教科書該当箇所を通読する（60分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（60分）	
9	母子保健サービス 地域子育て家庭支援サービス	事前：教科書該当箇所を通読する（60分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（60分）	



10	保育サービス	事前：教科書該当箇所を通読する（60分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（60分）
11	子ども育成サービス 障害・難病児童福祉サービス	事前：教科書該当箇所を通読する（60分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（60分）
12	社会的養護サービス	事前：教科書該当箇所を通読する（60分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べておくこと（60分）
13	非行、心理的問題を抱える児童の福祉サービス	事前：教科書該当箇所を通読する（60分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（60分）
14	ひとり親家庭福祉と配偶者からの暴力防止のためのサービス	事前：教科書該当箇所を通読する（60分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（60分）
15	子ども家庭福祉と援助活動	事前：教科書該当箇所を通読する（60分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（60分）

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

準備学習：課題の調べ学習を行う

事後学習：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	提出物		
70%	30%		

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
子ども家庭福祉論 第8版	柏女霊峰 著	誠心書房

#### 参考書又は参考資料等

「子ども家庭福祉六法 令和6年版」（中央法規）  
 櫻井奈津子編「保育と子ども家庭福祉 第2版」（みらい）2024  
 宮島清、山縣文治「ひと目でわかる保育者のための子ども家庭福祉データブック 2024」（中央法規）  
 新保幸男、小林理編「子ども家庭福祉 第2版」2023  
 吉田眞理「児童の福祉を支える子ども家庭福祉」（萌文書林）2023

#### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

- ・日頃より社会福祉や社会問題に関心を持ち、こころのアンテナを鋭敏にしてください。
- ・授業時に出す課題など、その場で考え筆記、提出してください。成績評価の対象にします。

#### 担当教員の連絡先等

担当教員E-mail	その他

授 業 科 目 名	子ども家庭福祉演習Ⅰ		
担 当 者 名	井田 智美	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド	2200021	授 業 形 態	演習
学 年	2年	開 講 期	2024年度前期
単 位 数	1	履 修	保育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP3-2-A		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>「子ども家庭福祉」の授業で得た知識を、事例考察や調べ学習、教材作り等を通じて深める。また、グループワークでは、多角的な視点で検討することを促す。「保育実習Ⅰ（施設実習）」と関連づけて、被虐待児及び発達障害児・者を含めた障害児・者への対応を学び、特別な配慮を要する子どもやその家族への支援のあり方を検討する。社会福祉施設での職務経験を有する教員が、できるだけイメージしやすいトピックスを取り上げながら、学生が疑問に感じたことやわかりにくいことなどに丁寧に応え、ディスカッションしながら、進めていく。</p>		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>子ども家庭福祉の現状と課題について理解し、考察する力を習得する。</li> <li>福祉制度とサービスについて、現場における実践も踏まえて理解する。</li> <li>今後の子ども家庭福祉の可能性についても考察する。</li> </ol>		
授 業 計 画	準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 等 ) の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間		
1	オリエンテーション・子ども家庭福祉の復習	事前：1年次の子ども家庭福祉で学んだ内容を振り返る（30分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）	
2	チームビルディングワーク	事前：チームビルディングについて調べる（30分） 事後：学習した内容、目標を達成するためにそれぞれが個性や能力を発揮できるチーム作りについてまとめる（30分）	
3	事例検討①（社会的養護を必要とする子ども）	事前：授業該当箇所について、これまでの社会的養護に関する他教科での学習の整理をしておく（30分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）	
4	事例検討②（社会的養護を必要とする子ども）・アタッチメント形成について	事前：授業該当箇所について、これまでの社会的養護に関する他教科での学習の整理をしておく（30分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）	
5	発達障害児・者への援助	事前：授業該当箇所について、他教科での学習の整理をしておく（30分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）	
6	療育玩具研究・製作	事前：授業該当箇所について調べ、材料の準備をしておく（30分） 事後：類似した教材を研究する（30分）	

7	児童虐待予防の取り組み	事前：授業該当箇所について、他教科での学習の整理をしておく（30分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）
8	絵本等から学ぶ子ども家庭福祉の考え方	事前：1年次の「子ども家庭福祉」で学んだ内容を振り返り、「子ども家庭福祉とは何か」というテーマでまとめる（30分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）
9	ネット・ゲーム依存	事前：物質依存や行動嗜癖について調べ学習をしておく（30分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）
10	認知トレーニング	事前：認知機能の種類とその特徴について調べておく（30分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）
11	子どもの居場所	事前：授業該当箇所について、他教科での学習の整理をしておく（30分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）
12	里親制度の理解	事前：授業該当箇所について、他教科での学習の整理をしておく（30分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）
13	リフレーミング	事前：授業該当箇所について、他教科での学習の整理をしておく（30分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）
14	身体的不器用さのある子どもへの援助	事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（30分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）
15	前期のまとめ・後期に向けて（今後の子ども家庭福祉のあり方を考える）	事前：前期で学んだ内容を振り返り、まとめる（30分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

・授業内で仕上げることができなかったワークシート等は、自宅にて完成させて、後日提出すること。成績評価の対象となる。

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

プリントや製作物等の提出物	グループワークなどの授業への取り組み姿勢		
90%	10%		

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
-----	----	-----

<b>参考書又は参考資料等</b>		
○松井圭三、今井慶宗編「NIE 子ども家庭福祉演習」(大学教育出版) 2024		
○吉田眞理編「児童の福祉を支える 演習 社会的養護Ⅱ」(萌文書林) 2023		
<b>その他</b> 〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材作り等で必要な際は、材料及びハサミ、カッター等工具類の準備をすること。</li> <li>・各回の学習プリントは、必ず提出すること。</li> </ul>		
<b>担当教員の連絡先等</b>		
担当教員E-mail	その他	

授 業 科 目 名	子ども家庭福祉演習 II		
担 当 者 名	井田 智美	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド	2200080	授 業 形 態	演習
学 年	2年	開 講 期	2024年度後期
単 位 数	1	履 修	保育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP3-2-A		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>「子ども家庭福祉」の授業で得た知識を、事例考察や調べ学習、教材作り等を通じて深める。また、グループワークでは、多角的な視点で検討することを促す。「保育実習Ⅰ（施設実習）」と関連づけて、被虐待児や発達障害児・者を含めた障害児・者への対応を学び、特別な配慮を要する子どもやその家族への支援のあり方を検討する。社会福祉施設で職務経験を有する教員が、できるだけイメージしやすいトピックスを取り上げながら、学生が疑問に感じたことやわかりにくいことなどに丁寧に応え、ディスカッションしながら、進めていく。</p>		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>子ども家庭福祉の現状と課題について理解し、考察する力を習得する。</li> <li>福祉制度とサービスについて、現場における支援も踏まえて理解する。</li> <li>今後の子ども家庭福祉の可能性についても考察する。</li> </ol>		
授 業 計 画	準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 等 ) の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間		
1	施設の第三者評価・チームアプローチ	<p>事前：授業該当箇所について、保育実習での経験を振り返りながら他教科での学習の整理をしておく（30分）</p> <p>事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）</p>	
2	事例検討①（社会的養護を必要とする子どもとその保護者）	<p>事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（30分）</p> <p>事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）</p>	
3	ケアリーバーへの支援と課題	<p>事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（30分）</p> <p>事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）</p>	
4	身体的不器用さのある子どもへの理解と支援	<p>事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（30分）</p> <p>事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）</p>	
5	ヤングケアラーへの理解と支援・課題	<p>事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（30分）</p> <p>事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）</p>	
6	発達障害児への理解と支援 重度の自閉スペクトラム症者の事例から学ぶ	<p>事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（30分）</p> <p>事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）</p>	

7	保護者対応	事前：授業該当箇所について、相談援助等に関するこれまでの他教科での学習の整理をしておく（30分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）
8	事例検討②（対応が困難な保護者）	事前：授業該当箇所について、相談援助等に関するこれまでの他教科での学習の整理をしておく（30分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）
9	児童福祉・母子保健対策等の動向	事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（30分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）
10	ひきこもりについて	事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（30分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）
11	子どもに伝える戦争と平和	事前：授業該当箇所について調べ、自分なりの考えをまとめておく（30分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）
12	災害支援・ボランティア	事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（30分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）
13	バーンアウト・ワークライフインテグレーション	事前：授業該当箇所について、言葉の意味を調べ、関連するこれまでの他教科での学習の整理をしておく（30分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）
14	ストレス対応	事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（30分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）
15	保育者の倫理と責務・まとめ（子ども家庭福祉の今後のあり方を考える）	事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（30分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べておくこと（30分）

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

・授業内で仕上げることができなかったワークシート等は、自宅にて完成させて、後日提出すること。成績評価の対象となります。

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

プリントや製作物等の提出物	グループワークなどの授業への取り組み姿勢		
90%	10%		

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
-----	----	-----

<b>参考書又は参考資料等</b>		
○松井圭三、今井慶宗編「NIE 子ども家庭福祉演習」(大学教育出版) 2024 ○吉田眞理編「児童の福祉を支える 演習 社会的養護Ⅱ」(萌文書林) 2023		
<b>その他</b> 〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材作り等で必要な際は、材料及びハサミ、カッター等工具類の準備をすること。</li> <li>・各回の学習プリントは、必ず提出すること。</li> </ul>		
<b>担当教員の連絡先等</b>		
担当教員E-mail	その他	

授 業 科 目 名	社会福祉		
担 当 者 名	田中 文佳	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド	2200022	授 業 形 態	講義
学 年	1年	開 講 期	2024年度前期
単 位 数	2	履 修	必修・保育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP5-1-A		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>社会保障の意義と制度の概要、現代社会の社会福祉の課題について学ぶ。目まぐるしく変化する社会状況と山積する様々な生活課題に触れ、利用者支援の理念と実際について学習する。また、子どもを取り巻く環境とともに、子ども家庭支援の課題と今後の取り組みについて理解を深める。様々な視聴覚教材、新聞、ニュース等の資料を活用した授業を通して、社会福祉及び保育の現状と課題への意識化を目指していく。</p>		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<p>1. 現代社会における社会福祉の意義と歴史的変遷及び社会福祉における子ども家庭支援の視点について理解している。</p> <p>2. 社会福祉の制度、実施体系等、課題について理解している。</p> <p>3. 相談援助の視点と保育実践を融合する重要性について説明できる。</p> <p>4. 社会福祉における利用者の保護に関わる仕組みについて理解している。</p>		
授 業 計 画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	<p>現代社会の動向と社会福祉</p> <p>私たちを取り巻く社会の動向</p> <p>少子高齢社会 家族の機能 コミュニティの変容</p>	<p>事前：テキストの指定範囲を読んでおく(90分)</p> <p>事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(90分)</p>	
2	<p>社会福祉の理念と概念</p> <p>ノーマライゼーション</p> <p>ソーシャルインクルージョン</p>	<p>事前：テキストの指定範囲を読んでおく</p> <p>確認テストの準備をする(90分)</p> <p>事後：確認テストの振り返りをする(90分)</p>	
3	<p>社会福祉の歴史</p> <p>世界の社会福祉の歩み</p> <p>日本の社会福祉の歩み</p>	<p>事前：テキストの指定範囲を読んでおく(90分)</p> <p>事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(90分)</p>	
4	<p>社会福祉に関連する法律</p> <p>社会福祉法 その他の法律</p>	<p>事前：テキストの指定範囲を読んでおく(90分)</p> <p>事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(90分)</p>	
5	<p>社会福祉の実施体系</p> <p>行政機関 民間専門機関・団体</p> <p>社会福祉の財源</p>	<p>事前：テキストの指定範囲を読んでおく</p> <p>確認テストの準備をする(90分)</p> <p>事後：確認テストの振り返りをする(90分)</p>	
6	<p>社会保障の意義と制度①</p> <p>社会保障と私たちの暮らし</p> <p>社会保障の概念と体系</p>	<p>事前：テキストの指定範囲を読んでおく</p> <p>確認テストの準備をする(90分)</p> <p>事後：確認テストの振り返りをする(90分)</p>	
7	<p>社会保障の意義と制度②</p> <p>公的扶助(生活保護 各種手当)</p> <p>社会保険(年金保険 医療保険 介護保険)</p>	<p>事前：テキストの指定範囲を読んでおく</p> <p>確認テストの準備をする(90分)</p> <p>事後：確認テストの振り返りをする(90分)</p>	
8	<p>社会保障の意義と制度③</p> <p>介護や育児の休業について</p> <p>出産を支援する制度</p> <p>労働に関する法律と雇用保険</p>	<p>事前：テキストの指定範囲を読んでおく</p> <p>確認テストの準備をする(90分)</p> <p>事後：確認テストの振り返りをする(90分)</p>	



9	子ども家庭福祉の法と制度① 子ども家庭福祉の理念 子どもを取り巻く環境 児童虐待	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(90分) 事後：視聴覚学習のレポートを作成する(90分)
10	子ども家庭福祉の法と制度② 子ども家庭福祉の法律 実施機関 児童福祉施設の種類と機能 少子化対策（子育て支援施策）と課題への対応	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(90分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(90分)
11	高齢者福祉の法と制度 高齢者福祉の法律 超高齢社会の課題 介護保険制度 地域包括ケアシステム	事前：テキストの指定範囲を読んでおく 確認テストの準備をする(90分) 事後：確認テストの振り返りをする(90分)
12	障害者福祉の法と制度 障害の定義について 障害者福祉の理念 障害児・者を支える法制度	事前：テキストの指定範囲を読んでおく 確認テストの準備をする(90分) 事後：確認テストの振り返りをする(90分)
13	社会福祉とソーシャルワーク ソーシャルワークの理解 保育士に求められるソーシャルワークの視点	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(90分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(90分)
14	福祉サービスの利用支援と権利擁護 利用者の権利を擁護する法制度 地域福祉の推進と課題 シンボルマーク	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(90分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(90分)
15	まとめ 要点の復習	事前：まとめのプリントに記入する 確認テストの準備をする(90分) 事後：まとめのプリント及び確認テストの復習をする(90分)

### 準備学習・事後学習等についての補足説明

- ・事前にテキストの予習の範囲を伝えますので、該当する内容に目を通すようにしてください。
- ・確認プリントや書き込み資料を配布します。テキストを確認しながら予習と復習に取り組んでください。

### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	レポート	授業への取り組み姿勢	
60%	30%	10%	

### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
『見て覚える！保育士試験攻略ブック2024』	佐藤賢一郎（監修）	中央法規出版

### 参考書又は参考資料等

社会福祉小六法2024（ミネルヴァ書房）

### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

- ・確認テストは成績に反映します。内容など分からないことがあればいつでも質問に来てください。
- ・レポートや提出物は期限を厳守してください。
- ・日頃からニュースや新聞等の様々な情報を意識するようにしましょう。

### 担当教員の連絡先等

担当教員E-mail	その他

授 業 科 目 名	子ども家庭支援論		
担 当 者 名	竹並 正宏	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド	2200033	授 業 形 態	講義
学 年	2年	開 講 期	2024年度後期
単 位 数	2	履 修	保育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP5-2-B		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員について〕	家庭支援に関する基本的な知識や技術を修得するとともに、講義を通して具体的な保育場面で家族に対しどのような対応や援助を行うべきなのかを把握する。		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	保育者は子どものみならず個別の家庭環境を考慮して子育て不安や不満といった悩みの解決を図っていかねばならない意志を持ち、自己の責務を果たすことを理解する。		
授 業 計 画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	子ども家庭支援論の意義と必要性	事前：UNIPAで通知したキーワードの意味を調べる。(90分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(90分)	
2	子ども家庭支援論の目的と機能	事前：UNIPAで通知したキーワードの意味を調べる。(90分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(90分)	
3	保育の専門性を活かした子ども家庭支援とその意義	事前：UNIPAで通知したキーワードの意味を調べる。(90分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(90分)	
4	子どもの育ちの喜びの共有	事前：UNIPAで通知したキーワードの意味を調べる。(90分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(90分)	
5	保育士と家庭支援、家族の抱える問題とは何か	事前：UNIPAで通知したキーワードの意味を調べる。(90分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(90分)	
6	地域における子育ての社会資源の基本的視点	事前：UNIPAで通知したキーワードの意味を調べる。(90分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(90分)	
7	地域における子育ての社会資源の支援拠点事業	事前：UNIPAで通知したキーワードの意味を調べる。(90分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(90分)	
8	KJ法によるグループワーク①	事前：UNIPAで通知したキーワードの意味を調べる。(90分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(90分)	

9	KJ法によるグループワーク②	事前：UNIPAで通知したキーワードの意味を調べる。(90分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(90分)
10	KJ法によるグループワーク③	事前：UNIPAで通知したキーワードの意味を調べる。(90分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(90分)
11	子ども家庭支援のためのソーシャルワーク	事前：UNIPAで通知したキーワードの意味を調べる。(90分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(90分)
12	面接相談援助③多文化への対応	事前：UNIPAで通知したキーワードの意味を調べる。(90分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(90分)
13	要保護児童等及びその家庭に対する支援	事前：UNIPAで通知したキーワードの意味を調べる。(90分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(90分)
14	子ども家庭支援に関する現状と課題	事前：UNIPAで通知したキーワードの意味を調べる。(90分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(90分)
15	子ども家庭支援のまとめ	事前：UNIPAで通知したキーワードの意味を調べる。(90分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(90分)

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

保育士を志す学生が子ども家庭支援論を学ぶにあたり、子どもの育ちの喜びの共有や、保育士と家庭支援、家族の抱える問題とは何か、生活全体を見渡す力を学習するため社会の諸問題に興味や関心を示す。

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	レポート	授業への取り組み姿勢	
50%	30%	20%	

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社

#### 参考書又は参考資料等

毎回、使用テキストのまとめのプリントを配布し重要点を記入し参考資料としていく。  
視聴覚教育やKJ法を使いながら、より具体的にわかりやすく進めていく。

#### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

親の役割についての支援や、子どもの権利条約や児童福祉法における親と共に、国や地方自治体が責任を負うことについての理解を把握し、子どもの福祉の向上に貢献することを要望する。

**担当教員の連絡先等**

担当教員E-mail	その他
------------	-----

--	--

授 業 科 目 名	社会的養護Ⅰ		
担 当 者 名	古谷 俊雄	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2200024	授 業 形 態	講義
学 年	1年	開 講 期	2024年度後期
単 位 数	2	履 修	保育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP5-1-B		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	現代社会における社会的養護の意義と課題について考察する。最初に社会的養護の概念を学習し、その後、社会的養護の代表的施設である児童養護施設での実務経験を有する教員が、実務現場の具体的様子を交えながら、社会的養護の対象、制度、実施体系などを紹介した上で、今後の課題と展望を、新聞記事を読んだ意見発表などを通して一人一人がそれぞれ考えながら検討していく。		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	1. 現代の社会的状況について理解できるようになる。 2. 子どもの人権擁護について理解できるようになる。 3. 社会的養護を担う里親、児童福祉施設等の役割を習得する。 4. 社会的養護の現場を担う保育士の果たすべき役割について理解できるようになる。		
授 業 計 画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	社会的養護の理念と概念を説明し「社会的養護とは何か」を理解する	事前：テキスト「社会的養護Ⅰ」第1講を精読（90分） 事後：指定した用語の意味を調べ、復習ノートに記入（90分）	
2	社会的養護の歴史の変遷を辿り、社会的養護の歩みと子ども観を学習する	事前：テキスト「社会的養護Ⅰ」第2講を精読（90分） 事後：指定した用語の意味を調べ、復習ノートに記入（90分）	
3	社会的擁護を利用している子ども達の人権養護への理解を深める	事前：テキスト「社会的養護Ⅰ」第3講を精読（90分） 事後：指定した用語の意味を調べ、復習ノートに記入（90分）	
4	社会的養護の基本原則である「家庭養育優先」とは何か、理解を深める	事前：テキスト「社会的養護Ⅰ」第4講を精読（90分） 事後：指定した用語の意味を調べ、復習ノートに記入（90分）	
5	社会的養護にかかわる保育士等に求められる倫理観と専門性への理解を深める	事前：テキスト「社会的養護Ⅰ」第5講を精読（90分） 事後：配布した新聞記事を読み、意見をまとめる（90分）	
6	社会的養護の制度と法体系を学習する 新聞記事に対する意見発表を行う	事前：テキスト「社会的養護Ⅰ」第6講を精読（90分） 事後：指定した用語の意味を調べ、復習ノートに記入（90分）	
7	児童相談所を中心として社会的養護の仕組みと実施体系を学習する	事前：テキスト「社会的養護Ⅰ」第7講を精読（90分） 事後：指定した用語の意味を調べ、復習ノートに記入（90分）	
8	社会的養護が対象とする子ども達はどのようなニーズを抱えているか確認する	事前：テキスト「社会的養護Ⅰ」第8・9講を精読（90分） 事後：指定した用語の意味を調べ、復習ノートに記入（90分）	
9	代替養育を余儀なくされた子どもたちが利用する「家庭養護」と「施設養護」を理解する	事前：テキスト「社会的養護Ⅰ」第10講を精読（90分） 事後：指定した用語の意味を調べ、復習ノートに記入（90分）	

10	社会的養護に関わる専門職の種類と求められる専門性について理解を深める	事前：テキスト「社会的養護Ⅰ」第11講を精読（90分） 事後：配布した新聞記事を読み、意見をまとめる（90分）
11	社会的養護に関わる社会的状況を考察する 新聞記事に対する意見発表を行う	事前：テキスト「社会的養護Ⅰ」第12講を精読（90分） 事後：指定した用語の意味を調べ、復習ノートに記入（90分）
12	施設等の運営に関わる内容と費用の仕組みやあり方について考察する	事前：テキスト「社会的養護Ⅰ」第13講を精読（90分） 事後：指定した用語の意味を調べ、復習ノートに記入（90分）
13	施設職員や里親等による「被措置児童等虐待」防止の現状と課題を探る	事前：テキスト「社会的養護Ⅰ」第14講を精読（90分） 事後：指定した用語の意味を調べ、復習ノートに記入（90分）
14	社会的養護の施設と地域がどのような関わりを求められているか考察する	事前：テキスト「社会的養護Ⅰ」第15講を精読（90分） 事後：指定した用語の意味を調べ、復習ノートに記入（90分）
15	社会的養護の課題を理解した上で今後の方向性について検討する	事前：第14講までの復習ノートを使って復習（90分） 事後：配布したプリントを使って全体的復習（90分）

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

- ・「復習ノート」は第6講、第11講の開始時に提出を求めます。

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	復習ノートの完成度	授業への取り組み姿勢	
70%	20%	10%	

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
新基本保育シリーズ⑥ 社会的養護Ⅰ 第2版	監修 公益財団法人 児童育成協会	中央法規

#### 参考書又は参考資料等

- ①保育福祉小六法編集委員会編『保育福祉小六法 2024年度版』株式会社みらい。
- ②その他、新聞記事等。

#### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

- ・授業中の私語は厳禁です。場合によっては、退席を申し渡します。

#### 担当教員の連絡先等

担当教員E-mail	その他
	授業の前後20分間、非常勤講師室にて待機。

授 業 科 目 名	教職概論		
担 当 者 名	浦田 一幸	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2200078	授 業 形 態	講義
学 年	1年	開 講 期	2024年度前期
単 位 数	2	履 修	幼稚園教諭必修・保育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP2-1-A		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	保育士、幼稚園教諭は、多様化する保育者像を見据え、子どもの育ちと保護者の子育てを支える保育者の専門性やキャリア形成について学ぶ必要がある。このような保育者論についての確かな知識・理解を基に、自らの資質を養っていくことをもって教職概論とする。本科目では、単なる知識・理解のみならず、保育者論という観点から自己の経験や考えを伝え合うことで、保育者を目指す者としての豊かな人間性や向上心などを培うことができるような授業を実現したい。		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育者の役割と倫理について理解する。</li> <li>2. 保育士の制度的な位置付けを理解する。</li> <li>3. 保育士の専門性について考察し、理解する。</li> <li>4. 保育者の連携・協働について理解する。</li> <li>5. 保育者の資質向上とキャリア形成について理解する。</li> <li>6. 自己の目指す保育者像について考えを深める。</li> </ol>		
授 業 計 画	準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 等 ) の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間		
1	オリエンテーション (科目内容、講義、評価等) 保育者の役割・職務内容	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。(90分) 事後：授業を振り返り、重要な語句、話合いのポイント、自分の考えなどをノートにまとめる。(90分)	
2	保育者の倫理	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。(90分) 事後：授業を振り返り、重要な語句、話合いのポイント、自分の考えなどをノートにまとめる。(90分)	
3	保育者の資格と責務	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。(90分) 事後：授業を振り返り、重要な語句、話合いのポイント、自分の考えなどをノートにまとめる。(90分)	
4	保育者の資質・能力	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。(90分) 事後：授業を振り返り、重要な語句、話合いのポイント、自分の考えなどをノートにまとめる。(90分)	
5	養護及び教育の一体的展開	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。(90分) 事後：授業を振り返り、重要な語句、話合いのポイント、自分の考えなどをノートにまとめる。(90分)	
6	家庭との連携と保護者に対する支援	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。(90分) 事後：授業を振り返り、重要な語句、話合いのポイント、自分の考えなどをノートにまとめる。(90分)	
7	計画に基づく保育の実践と省察・評価	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。(90分) 事後：授業を振り返り、重要な語句、話合いのポイント、自分の考えなどをノートにまとめる。(90分)	
8	保育の質の向上	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。(90分) 事後：授業を振り返り、重要な語句、話合いのポイント、自分の考えなどをノートにまとめる。(90分)	



9	保育における職員間の連携・協働	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。(90分) 事後：授業を振り返り、重要な語句、話合いのポイント、自分の考えなどをノートにまとめる。(90分)
10	専門職間及び専門機関との連携・協働	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。(90分) 事後：授業を振り返り、重要な語句、話合いのポイント、自分の考えなどをノートにまとめる。(90分)
11	地域社会との連携・協働	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。(90分) 事後：授業を振り返り、重要な語句、話合いのポイント、自分の考えなどをノートにまとめる。(90分)
12	関係機関等との連携	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。(90分) 事後：授業を振り返り、重要な語句、話合いのポイント、自分の考えなどをノートにまとめる。(90分)
13	資質向上に関する組織的取組	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。(90分) 事後：授業を振り返り、重要な語句、話合いのポイント、自分の考えなどをノートにまとめる。(90分)
14	保育者の専門性の向上とキャリア形成の意義	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。(90分) 事後：授業を振り返り、重要な語句、話合いのポイント、自分の考えなどをノートにまとめる。(90分)
15	まとめ／保育者として－	事前：ノートを基にこれまでの授業内容を振り返っておく。(90分) 事後：各授業の要点をまとめ、復習する。(90分)

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	授業への取り組み姿勢	その他（提出物など）	
70%	10%	20%	

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
新基本保育シリーズ7保育者論	児童育成協会監、矢藤誠 慈郎・天野珠路編	中央法規出版

#### 参考書又は参考資料等

文部科学省編『幼稚園教育要領解説』フレーベル館  
厚生労働省編『保育所保育指針解説』フレーベル館  
内閣府・文部科学省・厚生労働省編『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館

#### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

事前のテキスト指定範囲の通読に関しては、その記載内容に関連する自分自身の経験や記憶を呼び起こすことに重点を置いてください。指定範囲の内容によっては、それが難しい場合もあるでしょうが、できる範囲でのその努力の過程が大切です。授業の中では、学生同士でその経験や記憶、そして自分の考え等を伝え合う活動を通して、保育者論及び教職に関する理解を深め、保育者を目指す者としての豊かな人間性や向上心などを培うことを目指していきます。

#### 担当教員の連絡先等

担当教員E-mail	その他

授 業 科 目 名	教育方法論		
担 当 者 名	木本 節子	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2200014	授 業 形 態	講義
学 年	1 年	開 講 期	2024 年度後期
単 位 数	2	履 修	幼稚園教諭必修
ナンバリング	DP2-1-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>幼稚園教育要領「教育の基本」について、今まで以上に重点を置き、平成 30 年度改訂のポイントである、資質能力の三つの柱—中略—の理念を学び、幼児期と児童期の教育課程・指導方法の違いを理解し、その学びが「幼・保・小の架け橋プログラム」とつながり、小学校との円滑な接続期にふさわしい活動の在り方「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(10 の姿) や子どもの多様性を踏まえた「インクルーシブ保育のあり方」などが、今後の「育ちと学びの架け橋」となるような授業を展開していくために地域の人材活用としてゲストティーチャーを部分参加予定である。</p> <p>また、幼稚園教育要領の前文の趣旨に沿って、「社会に開かれた教育課程」の実現のために「エコ環境 SDG s」のモデル地域での「主体的対話的学び・協働的学び」が育った実践事例(認定こども園本城東幼稚園)をオンライン活用によってより深く理解し、幼稚園教育において育みたい資質・能力に沿った「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(10 の姿) を読み取り、その内容を 2 年生(保育内容(子どもと環境))の双方で合同授業(アクティブラーニング)を導入することによって、学生の主体的・対話的で深い学び・協働的な学びについて理解を深める。</p> <p>特に本講義には担当教員オリジナル資料「筑紫の心と保育展開—五領域(心情・意欲・態度)の内容と内容の取り扱いの位置づけ—」を活用し、五領域の位置づけと本学の建学の精神「よいこのところはちくしのところ」の関連性について解説する。</p>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<p>(1) 教育の方法論『担当教員のオリジナル資料「筑紫の心と保育展開—五領域(心情・意欲・態度)と内容の位置づけ」を基に「教育要領」の解説』 これからの社会を担う幼児たちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法を理解する。(幼稚園教育要領前文の趣旨に沿った教育方法)</p> <p>1) 教育方法の基礎的理論と実践を理解している。 2) これからの社会を担う幼児たちに求められる資質・能力を育成するための教育方法の在り方(幼稚園教育要領の改訂のポイントや主体的、対話的で深い学びの実現)を理解している。 3) 学級・児童及び生徒・教員・教室・教材など授業・保育を構成する基礎的な要件を理解している。 4) 学習評価の基礎的な考え方を理解している。(小学校と幼稚園評価の違い) ※幼稚園教諭は「育みたい資質・能力と幼児理解に基づいた評価の基礎的な考え方、『幼児期終了までに育ってほしい 10 の姿』が「育ちと学びの架け橋」となることを理解している。」</p> <p>(2) 教育の技術 教育の目的に適した指導技術を理解し、身に付ける。 1) 話法・板書など、授業・保育を行う上での基礎的な技術を身に付けている。 2) 基礎的な学習指導理論を踏まえて、目標・内容、教材・教具、授業・保育展開、学習形態、評価規準等の視点を含めた学習指導案を作成することができる。</p> <p>(3) 情報機器及び教材の活用 情報機器を活用した効果的な授業や情報活用能力の育成を視野に入れた適切な教材の作成・活用に関する基礎的な能力を身に付ける。 1) 幼児たちの興味・関心を高めたり課題を明確につかませたり学習内容を的確にまとめさせたりするために、情報機器を活用して効果的に教材等を作成・提示することができる。 ※幼稚園教諭は「幼児を理解し興味や関心を高めたり学習内容をふりかえったりするために、幼児の体験との関連を考慮しながら情報機器を活用して効果的に教材等を作成・提示することができる。」</p>		

	2) 幼児たちの情報活用能力（情報モラルを含む）を育成するための指導法を理解している。	
授業計画		準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及び必要時間
1	「教育方法論」の意義（オリエンテーション） 幼・保・小の架け橋プログラムやインクルーシブ教育のあり方について 担当者作成資料【到達目標】(1) -1) 2) 4)	事前：授業態度について自分なりの考えをまとめておくこと。(90分) 事後：指定した自己評価（ふりかえり）用紙に自分の考えを述べ、用語の意味や解釈を加えた自己点検用紙を作成すること。(90分)
2	教育・保育方法の基本（改訂のポイント） 前文の趣旨及び要点 【到達目標】(1) -1) 2) 3) 4)	事前：テキスト・資料などの指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。(90分) 事後：自己評価（ふりかえり）へのフィードバックを活用し、内容に関する旨をグループディスカッションや指定したメディアにて情報を収集する。(90分)
3	教育・保育方法の基本（改訂のポイント） 育みたい資質・能力及び『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』（10の姿） 【到達目標】(1) -1) 2) 3) 4)	事前：テキスト・資料などの指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。(90分) 事後：自己評価（ふりかえり）へのフィードバックを活用し、内容に関する旨をグループディスカッションや指定したメディアにて情報を収集する。(90分)
4	教育方法の基本（環境による保育） 事例を通して教育的価値観のある人的環境・物的環境とは 【到達目標】(1) -1) 2) 3) 4)	事前：テキスト・資料などの指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。(90分) 事後：自己評価（ふりかえり）へのフィードバックを活用し、内容に関する旨をグループディスカッションや指定したメディアにて情報を収集する。(90分)
5	教育方法の基本（環境による保育） 教育的価値観のある自然・時間・空間とは（非認知能力を育てる為の環境とは） 【到達目標】(1) -1) 2) 3) 4)	事前：テキスト・資料などの指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。(90分) 事後：自己評価（ふりかえり）へのフィードバックを活用し、内容に関する旨をグループディスカッションや指定したメディアにて情報を収集する。(90分)
6	【教育の基本】（担当者資料作成） ・幼児期にふさわしい生活の展開方法 ・遊びを通しての指導と統合的指導（非認知能力）について ・特性に応じた指導について（『インリアルアプローチ』を含む） 【到達目標】(1) -1) 2) 3) 4)、(2) -2)	事前：テキスト・資料などの指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。(90分) 事後：自己評価（ふりかえり）へのフィードバックを活用し、内容に関する旨をグループディスカッションや指定したメディアにて情報を収集する。(90分)
7	保育の手順（指導案）について（担当者資料作成） 幼児期と児童期の教育課程の指導方法の違いを理解する（育ちと学びの架け橋） 【到達目標】(1) -1) 2) 3) 4)、(2) -2)	事前：テキスト・資料などの指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。(90分) 事後：自己評価（ふりかえり）へのフィードバックを活用し、内容（保育の手順）に関する旨をグループディスカッションや指定したメディアにて情報を収集する。(90分)
8	行事を展開させる方法（「エコ環境 SDGs」）【到達目標】(1) -1) 2) 3) 4)、(2) -2) （コロナ禍の時代をむかえオンラインを活用）	事前：第1～7回の内容についてノート（自己点検）を活用し、復習する。(90分) 事後：自己評価（ふりかえり）へのフィードバックを活用し、内容（筑紫オリンピックに関する理解）に関する旨をグループディスカッションや指定したメディアにて情報を収集する。(90分)
9	「エコ環境 SDGs」実践事例（アクティブラーニング）を通して幼児の姿や教師の援助を学ぶ 「幼児期終了までに育ってほしい10の姿」 【到達目標】(1) -3) 4) 2年生「子どもと環境」との合同授業①	事前：テキスト・資料などの指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。(90分) 事後：自己評価（ふりかえり）へのフィードバックを活用し、内容（10の姿や教育の指導方法）に関する旨をグループディスカッションや指定したメディアにて情報を収集する。(90分)
10	「エコ環境 SDGs」実践事例（アクティブラーニング）【到達目標】(1) -4)、(2) -1) 2年生「子どもと環境」との合同授業②	事前：テキスト・資料などの指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。(90分) 事後：指定したメディアや附属幼稚園に関する情報を収集すること。(90分)

11	「エコ環境 SDGs」実践事例の発表（幼児の育ちと学び）【到達目標】(1) -3)、(2) -2)、(3) -1) 2年生「子どもと環境」との合同授業③	事前：テキスト・資料などの指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。(90分) 事後：自己評価（ふりかえり）へのフィードバックを活用し、内容（成長した幼児の姿）に関する旨をグループディスカッションや指定したメディアにて情報を収集する。(90分)
12	全体のまとめ（「エコ環境 SDGs」実践事例発表と評価（相手に伝える方法について学ぶ）（2年生「子どもと環境」合同で発表する①）【到達目標】(1) -1) 2) (2) -1) 2) (3) -1) 2)	事前：テキスト・資料などの指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。(90分) 事後：筑紫オリンピック終了後のレポート（10の姿）へのフィードバック及びグループディスカッションを行うこと。(90分)
13	全体のまとめ（「エコ環境 SDGs」実践事例発表と評価（相手に伝える方法について学ぶ）（2年生「子どもと環境」合同で発表する②）【到達目標】(1) -1) 2) (2) -1) 2) (3) -1) 2)	事前：テキスト・資料などの指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。(90分) 事後：自己評価（ふりかえり）へのフィードバックを活用し、内容に関する旨をグループディスカッションや指定したメディアにて情報を収集する。(90分)
14	全体のまとめ（保育者としての資質・能力について） 発表と評価（発表評価をおたがいに伝え、今後の資質向上に繋いでいく） 合同授業とまとめ 【到達目標】(1) -4)、(2) -1) 2)	事前：テキスト・資料などの指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。(90分) 事後：自己評価（ふりかえり）へのフィードバックを活用し、内容に関する旨をグループディスカッションや指定したメディアにて情報を収集する。(90分)
15	まとめ カルテ作成 定期試験について 【到達目標】(1) -3)、(2) -2)、(3) -2)	事前：第1～14回の内容についてノート（自己点検）を活用し、グループディスカッションなどを通して復習する。(90分) 事後：自己点検・レポートなどのフィードバック及びノートを活用し、講義全体を復習する。(90分)

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

1. 授業終了後の「ふりかえり」、「事前の課題（自主研修）」を行い、その内容を自主的に発表することによって次のステップに繋いでほしい。
2. この授業は、終了後の「ふりかえり」、「事前の課題（自主研修を含む）」を重視し、特にレポート（原本）提出の際は、本人用（コピー）を保管すること（期限を守る）。

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	授業への取り組み姿勢・課題・自主研修も含む	ICT活用（可能な限り）（「エコ環境 SDGs」実践事例の発表） 記録ビデオを活用	
60%	20%	20%	

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
保育方法・指導法	大豆生田啓友・渡邊英則	ミネルヴァ書房

#### 参考書又は参考資料等

1. 文部科学省編『幼稚園教育要領（平成29年告示）』フレーベル館
2. 厚生労働省編『保育所保育指針解説（平成29年告示）』フレーベル館
3. 担当者作成テキストを活用する予定

#### その他〔受講に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて〕

「情報処理学」の学びを理解し、その活用と効果的な作成ができる。

#### 担当教員の連絡先等

担当教員 E-mail	その他

授 業 科 目 名	特別支援教育概論		
担 当 者 名	山田 幸代	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2200076	授 業 形 態	講義
学 年	1年	開 講 期	2024年度後期
単 位 数	1	履 修	幼稚園教諭必修
ナ ン バ リ ン グ	DP3-1-B		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>「発達障害」と診断された幼児・児童生徒のみならず、その疑いのある幼児・児童生徒は一般の保育現場および通常学級にもかなりの割合で在籍している。さらに「特別の支援」という概念を拡げるならば、すべての幼児・児童生徒がそれぞれ「特別な支援を必要とする子どもたち」であると考えられる。本講は、臨床心理士として、特別支援教育の黎明期から特別支援学校や自閉・情緒の通級、固定級等で実務を担い、北九州市教育委員会における特別支援教育プログラムなどを策定してきた教員が、発達心理学、対人心理学、知能心理学の視点から、幼児・児童生徒の自己実現を支援する方法を講義および演習で学ぶことを目的とする。</p>		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 特別支援教育に関する制度や理念を理解している。</li> <li>2. 特別支援教育を要する幼児・児童生徒の発達・心理・行動特性を理解し、特性把握のための検査法を理解している。</li> <li>3. 特別支援教育に関する種々の視点から、その方法を理解し、例示することができる。</li> <li>4. 「生活単元学習」「自立活動学習」の教科課程上の位置づけと内容を理解している。</li> <li>5. 特別支援教育の対象となる幼児・児童生徒について他機関などとの連携を理解している。</li> </ol>		
授 業 計 画	準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 等 ) の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間		
1	「特別の支援を要する子どもたち」とは？ 事例提示による導入。	事前：1の資料を通読しておくこと（45分） 事後：提示された事例について各自考察を深めること（45分）	
2	生物学的存在の「ヒト」から社会的存在の「人」へ。 3つのきょういく「胸育」「共育」「教育」	事前：1年前期の「障害児保育Ⅰ」のノートを通読しておくこと（45分） 事後：提示された3つのきょういくと提示されて事例について考察を深めること（45分）	
3	心身の発達と3つのきょういく 阻害要因と支援のあり方（1）検査法概説	事前：遠城寺式分析的乳幼児発達検査を通読しておくこと（45分） 事後：発達の大きな変化点について上記検査との関連を考察すること（45分）	
4	心身の発達と3つのきょういく 阻害要因と支援のあり方（2）検査法との関連	事前：テキスト『生きづらいと思ったら親子で発達障害でした』を通読しておくこと（45分） 事後：テキストと検査法および発達と虐待の関連について考察を深めること（45分）	
5	特別支援教育の対象と学習や生活上の困難を学ぶ （1）知的障害（講義）	事前：知的障害について各自検索しておくこと（45分） 事後：講義で示した新たな「知能」「知的障害」について考察を深めること（45分）	
6	特別支援教育の対象と学習や生活上の困難を学ぶ （2）肢体不自由（講義）	事前：肢体不自由について各自検索しておくこと。保育現場での支援の方法を考えておくこと（45分） 事後：講義内容について考察を深めること（45分）	

7	特別支援教育の対象と学習や生活上の困難を学ぶ (3) 視覚・聴覚障害 (講義)	事前：視覚・聴覚障害について各自検索しておくこと。保育現場での支援の方法を考えておくこと (45分) 事後：講義内容について考察を深めること (45分)
8	特別支援教育の対象と学習や生活上の困難を学ぶ (4) 発達障害ADHD (グループワーク、レポート作成)	事前：ADHDについて各自検索しておくこと (45分) 事後：グループワーク (討議) に従いレポートを完成させること (90分)
9	特別支援教育の対象と学習や生活上の困難を学ぶ (5) 発達障害ASD (グループワーク、レポート作成)	事前：ASDについて各自検索しておくこと (45分) 事後：グループワーク (討議) に従いレポートを完成させること (90分)
10	特別支援教育の対象と学習や生活上の困難を学ぶ (6) 発達障害DCD (グループワーク、レポート作成)	事前：DCD (発達性協調運動障害) について各自検索しておくこと (45分) 事後：グループワーク (討議) に従いレポートを完成させること
11	特別支援教育の対象と学習や生活上の困難を学ぶ (7) 精神疾患、若年性うつ、統合失調症 (講義)	事前：幼児・児童生徒、保護者の精神疾患について各自検索しておくこと (45分) 事後：講義内容について考察を深めること (45分)
12	特別支援教育の対象と学習や生活上の困難を学ぶ (8) 家庭の問題・虐待について (講義)	事前：虐待について各自検索しておくこと (45分) 事後：講義内容について考察を深めること (45分)
13	特別支援教育のプログラム作成 提示された事例について対応を考える (グループワーク)	事前：テキスト『生きづらいと思ったら親子で発達障害でした』を再読しておくこと (45分) 事後：グループで討議した内容の考察を深めること (45分)
14	特別支援教育のプログラム作成 提示された事例について対応を考える (全体討議)	事前：前回のグループ討議の内容を各自考察すること (45分) 事後：全体討議の内容の考察を深めること (45分)
15	受講者各自にとっての「特別支援教育とは何か」を考える (講義)	事前：講義、グループワークを通してノートを再読しておくこと (90分) 事後：各自ノートの再読と整理を行うこと (90分)

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

- ・可能な範囲で次回講義やグループワークの事前学習をしてください。また、やむを得ず欠席の場合 (病欠など) はノートを整備してください。
- ・なおレポート提出は翌週までとします。レポート作成にあたっては必ずグループ全員で討議し、作成者は交替してください。

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	グループワーク・レポート作成		
70%	30%		

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
適宜資料を配布する		

#### 参考書又は参考資料等



1. 北九州市立特別支援教育相談センター編「てをつなごうーお子様のすこやかな成長のためにー」
2. 文部科学省編「特別支援教育の現状と課題」(H27.4)
3. モンズースー「生きづらいと思ったら親子で発達障害でした」(KADOKAWA)

**その他**〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

講義および演習(グループワーク)に真摯に臨むこと。人生の最初の6年間という最重要時期に遇う「人間」としての立場と方法を習得してください。とくに何かしらの障害(≡特性?)をもつ乳幼児に対して、また保護者に対しての支援者であることを明確に認識し、学習してください。

**担当教員の連絡先等**

担当教員E-mail	その他
	講義後、講義室にしばらく待機します。

授 業 科 目 名	教育実習事前・事後指導		
担 当 者 名	丸田 敦子	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド	2200017	授 業 形 態	演習
学 年	1年	開 講 期	2024年度前期、2025年度後期
単 位 数	1	履 修	幼稚園教諭必修
ナ ン バ リ ン グ	DP2-1-C		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	幼稚園教育の概要（幼稚園の役割・幼稚園における保育の基本等）を学習し、教育実習にそなえて保育者としての人間性について学ぶ。また、教育実習に臨む心構えと態度、教育実習記録の書き方、まとめ方等の教育実習に関する内容について実例を通して学ぶ。		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	1. 実習の意義と心構えが理解できる。 2. 幼稚園の役割と幼児理解の大事さや発達過程が理解できる。 3. 実習の種類や実習記録の書き方が理解できる。		
授 業 計 画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1 実習の意義と目標 (1) 実習とは何か・実習の種類・実習の時期と単位	事前：シラバスを通読し、授業に向けての準備や心構えをしておく (30分) 事後：授業の振り返り及び自主研修レポートの作成 (30分)		
2 実習の意義と目標 (2) 幼稚園の生活と保育者の職務を理解する	事前：附属幼稚園について調べて、まとめておく (30分) 事後：授業の振り返り及び自主研修レポートの作成 (30分)		
3 実習の心構えと準備 (1) 実習の心構えと心得について	事前：「幼稚園教育実習実施要項」を通読しておく (30分) 事後：授業の振り返り及び自主研修レポートの作成 (30分)		
4 実習の心構えと準備 (2) 実習段階における内容と実習方法について	事前：「幼稚園教育実習実施要項」を通読しておく (30分) 事後：授業の振り返り及び自主研修レポートの作成 (30分)		
5 実習の心構えと準備 (3) 実習に向けた提出書類と実習先幼稚園への連絡方法について	事前：実習希望先の園について調べてまとめておく (30分) 事後：授業の振り返り及び自主研修レポートの作成 (30分)		
6 園生活と幼児理解 (1) 幼稚園の一日の流れ、幼児の遊びの姿について	事前：「絵本」について調べてまとめておく (30分) 事後：授業の振り返り及び自主研修レポートの作成 (30分)		
7 園生活と幼児理解 (2) 幼児の発達理解について学ぶ	事前：配布資料を通読しておく (30分) 事後：授業の振り返り及び自主研修レポートの作成 (30分)		
8 園生活と幼児理解 (3) ビデオを通して教師の援助のあり方を学ぶ	事前：配布資料を通読しておく (30分) 事後：授業の振り返り及び自主研修レポートの作成 (30分)		

9	実習記録の書き方 (1) 実習記録とは何か	事前：配布資料を通読しておく (30分) 事後：授業の振り返り及び自主研修レポートの作成 (30分)
10	実習記録の書き方 (2) 記録を書く目的や形式、書く視点の内容、記録をとる際の注意事項	事前：記録の書き方について各自まとめておく (30分) 事後：授業の振り返り及び自主研修レポートの作成 (30分)
11	実習記録の書き方 (3) 観察実習の一日を記録するために練習① 生活の流れ、環境の構成、指導上の援助・配慮	事前：課題の実施、提出 (30分) 事後：授業の振り返り及び自主研修レポートの作成 (30分)
12	保育教材の実際と保育での活かし方① 絵本の読み聞かせの方法を学ぶ	事前：発達に合わせた絵本を3冊調べて持参する (30分) 事後：授業の振り返り及び自主研修レポートの作成 (30分)
13	保育教材の実際と保育での活かし方② 絵本の読み聞かせの実施—グループディスカッション	事前：絵本の読み聞かせの事前準備、練習 (30分) 事後：授業の振り返り及び自主研修レポートの作成 (30分)
14	観察実習に向けた心構えと準備内容の確認	事前：実習に向かう姿勢や身だしなみを確認し、準備する (30分) 事後：授業の振り返り及び自主研修レポートの作成 (30分)
15	まとめ：幼稚園教育実習に向けて自己評価と自己課題	事前：授業資料をまとめ、ファイリングしておく (30分) 事後：授業の振り返り及び自主研修レポートの作成 (30分)

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

- ・読みやすい文字を書くことを心がけ、日常よく使う漢字の練習をしておいてください。
- ・実習記録等の援助の書き方等は復習をしてください。
- ・授業の振り返り及び自主研修レポートは第4回、第7回、第10回、第15回にて回収します。

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

課題等の提出状況と内容	授業への参加度〔グループワーク、保育実践等〕		
60%	40%		

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
幼稚園教育要領解説	文部科学省	フレーベル館
幼稚園教育実習実施要項	東筑紫短期大学編	

#### 参考書又は参考資料等

- ・内閣府・文部科学省・厚生労働省編『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説<平成30年3月>』フレーベル館
  - ・講義の進度に応じて適宜配布する。
- ※その他、授業の中で参考書や参考文献を紹介する。

#### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

- ・実習に行く前は実習に必要な内容を学習する。実習後は実習報告会等で実習の成果や自己課題について発表し、改善に向けた演習等を実施していく。

#### 担当教員の連絡先等

担当教員E-mail	その他
------------	-----

	<p>・提出物や実習準備に関して遅れや不備等があった場合は、実習担当者へ必ず「報告・連絡・相談」をすること。連絡なしの場合は、実習への参加が認められなくなる場合もあります。</p>
--	--

授 業 科 目 名	教育実習		
担 当 者 名	丸田 敦子	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド	2200018	授 業 形 態	実習
学 年	1 年	開 講 期	2024 年度 後期～ 2025 年度 後期
単 位 数	4	履 修	幼稚園教諭必修
ナンバリング	DP2-2-C		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	1. 教育実習の時期 1 年次（後期）附属幼稚園において、見学・観察実習 2 年次（前期）学外実習（参加実習・責任実習（部分指導実習）） 2 年次（後期）学外実習（参加実習・責任実習（部分または一日指導実習）） 2. 教育実習の実習期間・総時間数 附属幼稚園観察実習 1 年次後期隔週 3 回 第 1 回目学外実習 2 年次 5 月下旬の 1 週間 第 2 回目学外実習 2 年次 10 月上旬の 2 週間		
授業の到達目標 〔学習成果〕	1. 実習を通して幼児教育の重要性、保育者としてそなうべき人間性や技術の必要性等について理解する。 2. 附属幼稚園での観察実習では、保育の観察記録を作成することを通して、園生活の流れ、保育の在り方を学ぶと共に、幼稚園の施設・設備・遊具等の配置、活用状況を観察し、幼児教育のあり方を理解する。 3. 学外実習で幼児と触れ合う中で、幼児理解に努めると共に、部分実習や一日実習を通して幼児への関わり方や援助のあり方を理解する。また、具体的な保育者像を目指して自己課題を解決しようとする意欲をもつ。		
授 業 計 画 〔学外実習の内容含む〕			
<教育実習内容> (1) 幼児の理解 保育は一人一人の幼児を望ましい方向へ発達を促すことから、幼児をよく理解することが必要である。容貌が一人一人異なるように、幼児個々の能力、興味、欲求なども多様で個人差も大きい。そのため、幼児を理解するには、単に一面からのみでなく、いろいろな角度から観察し、その実態を把握していく必要がある。そこで、本学で学んだ「幼児は自ら育とうとする」幼児観に立ち、幼児の目線に立ってより確かな幼児理解に努めてほしい。こうした姿勢が幼児と実習生との信頼関係を生み出していく。 (2) 保育方法（指導法）の習得 保育方法の習得では、保育指導計画作成に関するものと、その計画に沿った保育活動の展開等での指導技術に関するものがある。年間・期・月の指導計画では幼児の活動の予想をし、週・日案では眼前の幼児をしっかりと理解して作成する。そして、その計画した活動を楽しくしていく方法を実習を通して学んでいく。長期の指導計画は幼児の生活を長期的に見通しながら、具体的な指導の内容や方法を大筋で捉えたものであるが、短期の指導計画は幼児の生活に即して環境を構成していくことと幼児の発達に必要な経験が得られるように考える必要がある。そこで、実習の場では、保育の内容や方法について園長や教師の保育を観察したり、参加して学ぶと同時に、実習生自らが実際に指導して、指導助言を受け、望ましい指導方法を学び取っていかなくてはならない。 (3) 保育環境の理解 保育環境には物的環境と人的環境、自然的環境、社会的環境などが考えられる。いずれも幼児の情緒が安定した生活の中で、幼児が主体的に環境に関わり、活動していくことで幼児の成長発達を促すものである。物的環境とは園の施設設備、遊具や用具などを指し、教師が幼児の主体的な活動を促すためにどのように環境を整え、利用されているかをよく理解することが重要である。人的環境とは、教師と幼児、幼児同士などがあげられ、その中でも幼児集団内での「自分」の出し方や振る舞い方には注意が必要である。幼児集団の実態を踏まえた生活指導、教師の関わり方を学び取ってほしい。また、職員同士が作る園の雰囲気も幼児に微妙な影響を与えることにも留意する必要がある。 (4) 園や園運営の理解 園には園長、教諭の他に園務に携わる人がおり、その人たちが園運営のためにどのように関わっているか、また、園長や主任、担任はそれぞれの任務をどのように遂行しているかを理解していく。そして、実習生は職			

員に準じた一員として責任ある行動をとってほしい。

(5) 新しい課題の発見

実習にあたり、各自「実習目標」をもって臨んでいると思うが、実際には目標達成が困難になることもある。特に、幼児理解をはじめ、保育指導にあたっての思いと実際には隔たりがある。そこで、実習生として事態を謙虚に受け止め、反省を踏まえて新たな課題をみつけて挑戦してほしい。

準備学習・事後学習等についての補足説明

成績評価の方法〔評価項目と割合〕

実習記録と実習評価			
100%			

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
幼稚園教育要領解説 〈平成 29 年告示〉	文部科学省	フレーベル館
幼稚園教育実習実施要項 〈令和 6 年度〉	東筑紫短期大学編	

参考書又は参考資料等

・東筑紫短期大学編『教職課程履修の手引き』  
※相談等に応じて、適宜参考資料を紹介する。

その他〔実習に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて〕

＜教育実習生に対する指導の方法＞

幼稚園教育の概要（幼稚園の役割・幼稚園における保育の基本等）と、教育実習にそなえて保育者として望ましい姿勢や態度、マナーについて指導する。また、教育実習に臨む心構えと態度、教育実習記録の書き方、まとめ方、指導計画等の教育実習に関する内容について実例を通して指導する。

＜教育実習に関する注意事項＞

- ・事前の学内オリエンテーションは必ず参加すること。
- ・実習記録は決められた期日までに必ず提出すること。
- ・欠席や実習記録が未提出の場合は、追加補充実習参加となる。
- ・無断欠席の場合は、実習中止となる場合がある。
- ・基本的な生活習慣を身につけることを心がける。
- ・実習生としてふさわしい態度（身だしなみ、挨拶、言葉遣い、時間を厳守する等）を心がけ、緊張感をもって実習に臨むこと。

担当教員の連絡先等

担当教員 E-mail	その他

授 業 科 目 名	教育心理学		
担 当 者 名	福田 恭介	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド	2000016	授 業 形 態	講義
学 年	1年	開 講 期	2024年度前期
単 位 数	2	履 修	幼稚園教諭必修・保育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP2-1-A		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	教育心理学は教育事象の解明とその研究成果の教育現場への応用を旨とする心理学分野である。教育心理学の知見は、教師や生徒だけでなく親や社会にとっても有益である。また、教育心理学は変化し発達する人間の教育に役立つ実践的なものである。すなわち教育現場の中で問題を発見し、解明・評価し、これを学問の進歩にもつなげるものである。		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	1. 発達の概念及び教育における発達の意義を理解している。 2. 学習を支える動機づけ、集団作り、学習評価について、発達の特徴と関連付けて理解している。 3. 幼稚園教諭や保育士として必要な生活習慣、心の健康に関する適切な指導・助言の在り方を理解する。		
授 業 計 画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	教育心理学とは何か・・・教育心理学の方法	事後：指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する (180分)	
2	発達 発達段階、乳児、児童期の発達	事前：テキスト指定範囲（初回の講義で通知）を通読しておくこと (90分) 事後：講義で使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する (90分)	
3	学習 学習理論、条件づけ	事前：テキスト指定範囲（前回の講義で通知）を通読しておくこと (90分) 事後：講義で使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する (90分)	
4	知能 知能指数、知能の測定	事前：テキスト指定範囲（前回の講義で通知）を通読しておくこと (90分) 事後：講義で使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する (90分)	
5	記憶と忘却 短期・長期・作業記憶	事前：テキスト指定範囲（前回の講義で通知）を通読しておくこと (90分) 事後：講義で使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する (90分)	
6	動機づけ 学習性無力感、内発的動機づけ、教師期待効果	事前：テキスト指定範囲（前回の講義で通知）を通読しておくこと (90分) 事後：講義で使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する (90分)	
7	教師のリーダーシップ リーダーシップ特性理論、PM理論、条件即応理論	事前：テキスト指定範囲（前回の講義で通知）を通読しておくこと (90分) 事後：講義で使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する (90分)	

8	学級集団のダイナミクス・・・友人関係、集団規範	事前：テキスト指定範囲（前回の講義で通知）を通読しておくこと（90分） 事後：講義で使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する（90分）
9	学習指導・・・発見学習、ジグソー学習、適正処遇交互作用	事前：テキスト指定範囲（前回の講義で通知）を通読しておくこと（90分） 事後：講義で使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する（90分）
10	教育評価・・・測定と評価の意味、評価のタイプ、テスト	事前：テキスト指定範囲（前回の講義で通知）を通読しておくこと（90分） 事後：講義で使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する（90分）
11	教育相談 カウンセリング技法、保護者対応	事前：テキスト指定範囲（前回の講義で通知）を通読しておくこと（90分） 事後：講義で使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する（90分）
12	パーソナリティ・・・パーソナリティテスト	事前：テキスト指定範囲（前回の講義で通知）を通読しておくこと（90分） 事後：講義で使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する（90分）
13	発達障害・・・発達障害の特徴とアセスメント	事前：テキスト指定範囲（前回の講義で通知）を通読しておくこと（90分） 事後：講義で使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する（90分）
14	精神病理 多重人格症、防衛機制	事前：テキスト指定範囲（前回の講義で通知）を通読しておくこと（90分） 事後：講義で使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する（90分）
15	まとめ	事前：初回～14回の内容についてノートを活用し復習する。（90分） 事後：ノートを活用し、講義全体を復習する。（90分）

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

- ・「キーワードノート」については、ノートに記すこと。
- ・「キーワードノート」は第14回の講義後に提出を求めます。（第15回の講義時に返却します）。

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	ノート作成点数		
80%	20%		

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
保育のためのやさしい教育心理学	高村和代 他	ナカニシヤ出版

#### 参考書又は参考資料等

講義中に、適宜紹介します。



<b>その他</b> 〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕	
・履修者全体の理解度や到達度により授業内容及び進度が若干前後することがあります。 不明な点や質問、もっと知りたい部分があれば積極的に申し出てください。	
<b>担当教員の連絡先等</b>	
担当教員E-mail	その他

授 業 科 目 名	子ども家庭支援の心理学		
担 当 者 名	福田 恭介	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド	2200025	授 業 形 態	講義
学 年	2年	開 講 期	2024年度後期
単 位 数	2	履 修	保育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP3-2-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員について〕	本科目は保育士資格取得のための必修科目である。本講義では、子ども自身や家族関係を発達の観点から理解し、子育て中の家庭支援に役立つ知識を身につけることを目標にする。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生涯発達に関する心理学の知識を習得する。</li> <li>2. 家族・家庭の意義や機能を理解する。</li> <li>3. 子育て家庭をめぐる現代の社会的状況について理解する。</li> <li>4. 子どもの精神保健について理解する。</li> </ol>		
授 業 計 画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	子ども家庭支援の心理学とは	事後：指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する (180分)	
2	発達① 乳幼児から学童期の発達	事前：テキスト指定範囲 (初回の講義で通知) を通読しておくこと (90分) 事後：講義で使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する (90分)	
3	発達② 青年期の発達	事前：テキスト指定範囲 (前回の講義で通知) を通読しておくこと (90分) 事後：講義で使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する (90分)	
4	発達③ 成人期から高齢期の発達	事前：テキスト指定範囲 (前回の講義で通知) を通読しておくこと (90分) 事後：講義で使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する (90分)	
5	家庭の問題 家庭環境、家族の発達	事前：テキスト指定範囲 (前回の講義で通知) を通読しておくこと (90分) 事後：講義で使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する (90分)	
6	子育てと家庭 養育スタイル、虐待、愛着	事前：テキスト指定範囲 (前回の講義で通知) を通読しておくこと (90分) 事後：講義で使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する (90分)	
7	子育てと社会状況 社会の変化と家族の変遷	事前：テキスト指定範囲 (前回の講義で通知) を通読しておくこと (90分) 事後：講義で使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する (90分)	
8	子育てと仕事 ワーク・ライフバランス、ライフステージ	事前：テキスト指定範囲 (前回の講義で通知) を通読しておくこと (90分) 事後：講義で使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する (90分)	

9	子育て支援① 育児不安、孤立家庭	事前：テキスト指定範囲（前回の講義で通知）を通読しておくこと（90分） 事後：講義で使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する（90分）
10	子育て支援② 貧困、虐待、親の精神障害	事前：テキスト指定範囲（前回の講義で通知）を通読しておくこと（90分） 事後：講義で使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する（90分）
11	子どもの心身の健康① 基本的な生活習慣、事故防止	事前：テキスト指定範囲（前回の講義で通知）を通読しておくこと（90分） 事後：講義で使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する（90分）
12	子どもの心身の健康② 子どものストレス、精神障害	事前：テキスト指定範囲（前回の講義で通知）を通読しておくこと（90分） 事後：講義で使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する（90分）
13	子どもの心身の健康③ 知的障害、発達障害	事前：テキスト指定範囲（前回の講義で通知）を通読しておくこと（90分） 事後：講義で使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する（90分）
14	災害と危機管理 災害とストレス、保護者の問題	事前：テキスト指定範囲（前回の講義で通知）を通読しておくこと（90分） 事後：講義で使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する（90分）
15	まとめ	事前：初回～14回の内容についてノートを活用し復習する。（90分） 事後：ノートを活用し、講義全体を復習する。（90分）

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

- ・「キーワードノート」については、ノートに記すこと。
- ・「キーワードノート」は第14回の講義後に提出を求めます。（第15回の講義時に返却します）。

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	ノート作成得点		
80%	20%		

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
子ども家庭支援の心理学	本郷一夫 他	建帛社

#### 参考書又は参考資料等

講義中に、適宜紹介します。

#### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

- ・履修者全体の理解度や到達度により授業内容及び進度が若干前後することがあります。
- 不明な点や質問、もっと知りたい部分があれば積極的に申し出てください。

担当教員の連絡先等	
担当教員E-mail	その他

授 業 科 目 名	発達心理学		
担 当 者 名	福田 恭介	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド	2200026	授 業 形 態	講義
学 年	2年	開 講 期	2024年度前期
単 位 数	2	履 修	保育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP3-2-A		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	人間の心理面の発達過程の基礎的な理論や体系を学んでいく。また保育士として、子どもの心の理解だけでなく、保護者の気持ちの理解や子育ての助言方法などについても習得していく。		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	①心理学の観点から、子どもの発達過程を理解する。 ②保育士として人間の心の変化や発達を見とっていき力をつける。 ③保護者の立場や気持ちを理解し、適切な助言方法を習得する。		
授 業 計 画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	発達心理学とは何か 法則と順序 遺伝と環境	事前：発達心理学とはどういう学問か自分なりに調べてみる (90分) 事後：講義で使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する (90分)	
2	胎児、新生児 体、脳、視聴覚の発達	事前：テキスト指定範囲 (初回の講義で通知) を通読しておくこと (90分) 事後：講義で使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する (90分)	
3	乳児 体、情緒・愛着の発達	事前：テキスト指定範囲 (前回の講義で通知) を通読しておくこと (90分) 事後：講義で使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する (90分)	
4	幼児① 脳、体、言葉、遊びの発達	事前：テキスト指定範囲 (前回の講義で通知) を通読しておくこと (90分) 事後：講義で使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する (90分)	
5	幼児② 自己認知、性役割、心の理論、人格の発達	事前：テキスト指定範囲 (前回の講義で通知) を通読しておくこと (90分) 事後：講義で使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する (90分)	
6	児童 思考、知能、動機づけ、記憶、友人関係	事前：テキスト指定範囲 (前回の講義で通知) を通読しておくこと (90分) 事後：講義で使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する (90分)	
7	幼児・児童の分離と自立 「となりのトトロ」を見て考える	事前：テキスト指定範囲 (前回の講義で通知) を通読しておくこと (90分) 事後：講義で使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する (90分)	

8	青年期 体の発達、アイデンティティ、恋愛	事前：テキスト指定範囲（前回の講義で通知）を通読しておくこと（90分） 事後：講義で使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する（90分）
9	成人期 仕事、結婚、育児、夫婦関係	事前：テキスト指定範囲（前回の講義で通知）を通読しておくこと（90分） 事後：講義で使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する（90分）
10	老年期 加齢と能力・パーソナリティ変化、死	事前：テキスト指定範囲（前回の講義で通知）を通読しておくこと（90分） 事後：講義で使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する（90分）
11	学校の問題 モンスターペアレント、不登校	事前：テキスト指定範囲（前回の講義で通知）を通読しておくこと（90分） 事後：講義で使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する（90分）
12	家庭の問題 ひとり親、再婚家庭、虐待、ネグレクト	事前：テキスト指定範囲（前回の講義で通知）を通読しておくこと（90分） 事後：講義で使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する（90分）
13	発達障害 ADHD、LD、自閉症スペクトラム（ASD）、アスペルガー症候群（AS）	事前：テキスト指定範囲（前回の講義で通知）を通読しておくこと（90分） 事後：講義で使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する（90分）
14	心理療法 遊戯療法、認知行動療法、グループ・アプローチ	事前：テキスト指定範囲（前回の講義で通知）を通読しておくこと（90分） 事後：講義で使用した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する（90分）
15	まとめ	事前：初回～14回の内容についてノートを活用し復習する。（90分） 事後：ノートを活用し、講義全体を復習する。（90分）

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

- ・「キーワードノート」については、ノートに記すこと。
- ・「キーワードノート」は第14回の講義後に提出を求めます。（第15回の講義時に返却します）。

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	ノート作成得点		
80%	20%		

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
よくわかる発達心理学	林洋一 他	ナツメ社

#### 参考書又は参考資料等

- ・講義中に、適宜紹介します。

**その他**〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

- ・履修者全体の理解度や到達度により授業内容及び進度が若干前後することがあります。  
不明な点や質問、もっと知りたい部分があれば積極的に申し出てください。

**担当教員の連絡先等**

担当教員E-mail	その他

授 業 科 目 名	幼児の理解と教育相談		
担 当 者 名	寺本 普見子、上森 哲生	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2200016	授 業 形 態	講義
学 年	1年	開 講 期	2024年度後期
単 位 数	2	履 修	幼稚園教諭必修・保育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP3-1-B		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>幼児理解の意義と重要性を理解し、保育実践と結びつけて考察する力を身に付ける。この講義では、実務経験を通じ、教育現場で遭遇した様々な事例を用い、グループディスカッションを行い、情報機器の活用法を習得する。また、幼児の発達や学び、その過程で生じるつまずき、要因の把握、対応について、家庭との連携を含めて課題解決型学習を行う。(寺本)</p> <p>45分間の中で、第12回までは講義中心であるが、13回以降はグループ学習としてアクティブラーニングでの授業形態として、討論・発表・模擬授業での様々な授業形態とする。必要に応じて専門家による映像の活用も随時取り入れる予定。授業の予習課題を課したり、復習の確認に努めたりすることで習慣化を図りたい。(上森)</p>		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 幼児理解の方法を具体的に習得する。</li> <li>2) 観察及び記録の意義、並びに目的に応じた観察法の基礎的な事柄を例示する手法を習得する。</li> <li>3) 幼児のつまずきを、周りの幼児の関係及びその他の背景から理解することを習得する。</li> <li>4) 保護者の心情及び基礎的な対応の方法を習得する。</li> <li>5) カウンセリングの基礎的な姿勢と技法を習得する。(寺本)</li> <li>6) 幼児教育の基本を正確に理解する。</li> <li>7) 子どもへのアプローチや不安解消への認識を深める。</li> <li>8) 地域や行政との連携・協力の重要性を理解し、関係者との連携を活かした問題解決を示すことができる。</li> <li>9) 模擬的な課題を設定して具体的にグループ討論、分析検討等を通して、対保護者等におけるコンサルテーションや教育相談の初歩を学ぶ。</li> <li>10) 幼保小の接続や連携に関する「幼保小の架け橋プログラム」について認識を深める。(上森)</li> </ol>		
授 業 計 画	準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 等 ) の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間		
1	<p>オリエンテーション ：講義の目的と講義内容の紹介 学習方法についての説明 (寺本)</p> <p>オリエンテーション ：幼稚園教育要領 「幼児教育の基本 (p26)」 (上森)</p>	<p>事前：シラバスを通読し、授業に向けての準備や心構えをまとめておく (45分)</p> <p>事後：授業の概要と方法・授業の到達目標を理解して、見直しをもつ (45分) 【寺本】</p> <p>事前：シラバスとテキストの該当箇所を通読し、授業に向けての準備や心構えをまとめておく (45分)</p> <p>事後：授業の振り返り、自主研修レポート作成 (45分) 【上森】</p>	



2	<p>子どもの発達に関わる様々な課題 ：保育実践事例から幼児の気になる行動の課題を捉える（寺本）</p> <p>幼稚園教育要領 ：「幼児理解に関して」と「教師の役割」（上森）</p>	<p>事前：シラバスを通読し、授業に向けての準備や心構えをまとめておく（45分）</p> <p>事後：講義内容の復習・プリントの整理をし「振り返りカード」に自己課題を記入する（45分）【寺本】</p> <p>事前：シラバスとテキストの該当箇所を通読し、授業に向けての準備や心構えをまとめておく（45分）</p> <p>事後：授業の振り返り、自主研修レポート作成（45分）</p> <p>【上森】</p>
3	<p>子どもの自己表現と受容する他者との関係 ：幼児と保育者の温かい関係・信頼関係の重要性（寺本）</p> <p>保育所保育指針 幼稚園教育要領 「幼児理解に関して」と「視点と領域」（上森）</p>	<p>事前：幼児と保育者の温かい関係・信頼関係とはどのような関係かを考えておくこと（45分）</p> <p>事後：講義内容の復習・プリントの整理をすること(45分)</p> <p>【寺本】</p> <p>事前：シラバスを通読し、授業に向けての準備や心構えをまとめておく（45分）</p> <p>事後：授業の振り返り、自主研修レポート作成（45分）</p> <p>【上森】</p>
4	<p>子どもの発達や学びの過程を捉える視点 ：遊びの中で幼児が何を学び、身につけているか読み取る（寺本）</p> <p>「乳児の発達理解と相談や支援」（上森）</p>	<p>事前：子どもの「遊び」の展開について考えておく(45分)</p> <p>事後：講義内容の復習・プリントの整理をすること(45分)</p> <p>【寺本】</p> <p>事前：シラバスを通読し、授業に向けての準備や心構えをまとめておく（45分）</p> <p>事後：授業の振り返り、自主研修レポート作成（45分）</p> <p>【上森】</p>
5	<p>「自分」の世界と「友達」の世界の広がり（ロールプレイング）（寺本）</p> <p>「1歳以上3歳未満児の発達理解と相談や支援」 ：協同性の育ちを捉える視点の育ちを捉える視点（上森）</p>	<p>事前：シラバスを通読し、授業に向けての準備や心構えをまとめておく（45分）</p> <p>事後：グループの発表を聞いて、気付いたことをまとめる（45分）【寺本】</p> <p>事前：シラバスを通読し、授業に向けての準備や心構えをまとめておく（45分）</p> <p>事後：授業の振り返り、自主研修レポート作成（45分）</p> <p>【上森】</p>
6	<p>子どもを客観的に理解する。（寺本）</p> <p>「3歳以上時の発達理解と相談や支援」（上森）</p>	<p>事前：シラバスを通読し、授業に向けての準備や心構えをまとめておく（45分）</p> <p>事後：講義内容の復習・プリントの整理をすること(45分)</p> <p>【寺本】</p> <p>事前：シラバスを通読し、授業に向けての準備や心構えをまとめておく（45分）</p> <p>事後：授業の振り返り、自主研修レポート作成（45分）</p> <p>【上森】</p>

7	<p>友達とのつながりグループ発表（寺本） 子ども理解とアセスメント（上森）</p>	<p>事前：シラバスを通読し、授業に向けての準備や心構えをまとめておく（45分） 事後：講義内容の復習・プリントの整理をすること(45分) 【寺本】 事前：シラバスを通読し、授業に向けての準備や心構えをまとめておく（45分） 事後：授業の振り返り、自主研修レポート作成（45分） 【上森】</p>
8	<p>情報機器及び教材を使っでの研究（寺本） 子どもの発達とアタッチメント（上森）</p>	<p>事前：幼児の発達や学びを捉える機関を調べておく（45分） 事後：情報機器使用にてまとめる（45分）【寺本】 事前：シラバスを通読し、授業に向けての準備や心構えをまとめておく（45分） 事後：授業の振り返り、自主研修レポート作成（45分） 【上森】</p>
9	<p>演習：観察・記録の実践 ：幼児の遊びの様子を観察し、記録する観察・記録の方法と分析・考察の視点（寺本） カウンセリングの基礎理論と基本的事項及びその技法（上森）</p>	<p>事前：第8回講義後のまとめを読み返しておくこと(45分) 事後：講義内容の復習・プリントの整理をすること（45分）【寺本】 事前：シラバスを通読し、授業に向けての準備や心構えをまとめておく（45分） 事後：授業の振り返り、自主研究レポート作成（45分） 【上森】</p>
10	<p>カウンセリングの技法（寺本） 園や地域における専門家等との連携やコンサルテーション（上森）</p>	<p>事前：カウンセリングの基礎的な姿勢と技法を調べておくこと（45分） 事後：講義内容をまとめる（45分）【寺本】 事前：シラバスを通読し、授業に向けての準備や心（45分） 事後：授業の振り返り、自主研修レポート作成（45分） 【上森】</p>
11	<p>幼児を理解するための子どもの表現方法(身体・行動・心理・客観的指標)（寺本） 幼稚園教育要領「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と「五領域」及び「三つの資質・能力」（上森）</p>	<p>事前：幼児を理解するための子どもの表現方法を調べておくこと(45分) 事後：講義内容の復習・プリントの整理をすること(45分) 【寺本】 事前：シラバスを通読し、授業に向けての準備や心構えをまとめておく（45分） 事後：授業の振り返り、自主研修レポート作成（45分） 【上森】</p>
12	<p>子育て支援と言葉がけについて（寺本） 小学校との接続「幼保小の架け橋プログラム」と「個別最適な学びと協働的な学び」（上森）</p>	<p>事前：子育てに関わる現代的な課題の特徴を調べておくこと（45分） 事後：講義内容の復習・プリントの整理をすること(45分)【寺本】 事前：シラバスを通読し、授業に向けての準備や心構えをまとめておく(45分) 事後：授業の振り返り、自主研修レポート作成（45分） 【上森】</p>

13	幼児理解と評価の実践力【寺本】 基礎的対人関係のトレーニング1「私の選択」グループ学習【上森】	事前：第12回講義内容についてまとめ読み返しておく（45分） 事後：講義内容をまとめる（45分）【寺本】 事前：シラバスを通読し、授業に向けての準備や心構えをまとめておく（45分） 事後：授業の振り返り、自主研修レポート作成（45分） 【上森】
14	支援体制の整備と家族や地域との連携【寺本】 基礎的対人関係のトレーニング2「嫌な気持ちにどう対処する？」グループ学習【上森】	事前：支援体制について調べ、解釈を加えたキーワードをまとめて提出する(45分) 事後：講義内容の復習・プリントの整理をすること(45分) 事前：シラバスを通読し、授業に向けての準備や心構えをまとめておく（45分） 事後：授業の振り返り、自主研修レポート作成（45分）
15	基礎的対人関係のトレーニング3「相手の視点に立つ」グループ学習 及び まとめ【寺本・上森】	事前：初回～第14回の内容についてノートを活用し復習する（45分） 事後：ノートを活用し、講義全体を復習する(45分) ・「キーワードノート」は第15回の講義に提出を求めます【寺本】 事前：シラバスを通読し、授業に向けての準備や心構えをまとめておく（45分） 事後：授業の振り返り、自主研修レポート作成（45分） 【上森】

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

- ・授業内容の事前学習と事後のノート等の記録を毎回行ってください。
- ・振り返り、自主学習レポート「キーワードノート」は複数回、授業にて回収します。

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	レポートの完成度	キーワードノートの完成度	授業への取り組み
60%	10%	20%	10%

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
幼稚園教育要領解説	文部科学省編	フレーベル館
保育所保育指針解説	厚生労働省編	フレーベル館

#### 参考書又は参考資料等

- ・内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説＜平成30年3月＞』フレーベル館。
- ・授業における配布資料等 ※その他、授業の中で参考書や参考文献を紹介する。
- ・大竹直子『優しく学べる保育カウンセリング』金子書房。

#### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

※二人で各々45分ずつの授業と単独の90分授業を実施します。

- 1.授業ファイルを作成（毎回の授業内容を記述、配布した資料を添付）して下さい。
- 2.提出物は期日を守って下さい。
- 3.講義中の私語は厳禁とします。
- 4.授業内容について質問等、対応が必要な学生には授業終了後、あるいはオフィスアワーを設けて対応します。

担当教員の連絡先等	
担当教員E-mail	その他
	講義の前後10分間は質問等対応可

授 業 科 目 名	子どもの保健		
担 当 者 名	伊藤 元子	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2200029	授 業 形 態	講義
学 年	1年	開 講 期	2024年度前期
単 位 数	2	履 修	必修・保育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP3-1-A		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	子どもの健やかな発育を支え、子どもの命を守っていくための保育を保育活動・保健活動の視点から学ぶ。疾病予防・健康増進について、養護の視点からも理解するために、乳幼児から幼児期の成長発達を学び、子どもの保健に関する知識を習得する。授業は、総合病院にて看護師長を務めた後、看護教育に携わった教員が具体的なケースを想定しながら、講義を中心に、必要に応じて映像を取り入れ学習を深めていく。		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	1. 子どもの発育・発達について学び、心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する。 2. 子どもの心身の健康状態の把握の方法・疾病とその予防法及び対処法を理解する。 3. 子どもの健康増進・疾病予防における他職種間連携・協働の必要性を理解する。		
授 業 計 画	準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 等 ) の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間		
1	子どもの心身の健康と保健の意義	事前：テキストの授業範囲を通読しておく（90分） 事後：授業全体をまとめ、学習内容を復習しておく（90分）	
2	身体的発育及び運動機能の発達と保健 生物としての人の成り立ち、乳幼児の身体発育の概要	事前：テキストの授業範囲を通読しておく（90分） 事後：授業全体をまとめ、学習内容を復習しておく（90分）	
3	身体的発育及び運動機能の発達と保健 運動機能の発達	事前：テキストの授業範囲を通読しておく（90分） 事後：授業全体をまとめ、学習内容を復習しておく（90分）	
4	生理機能の発達と保健 呼吸機能・免疫機能・消化機能の発達	事前：テキストの授業範囲を通読しておく（90分） 事後：授業全体をまとめ、学習内容を復習しておく（90分）	
5	生理機能の発達と保健 尿排泄機能・内分泌機能・感覚機能・神経機能の発達	事前：テキストの授業範囲を通読しておく（90分） 事後：授業全体をまとめ、学習内容を復習しておく（90分）	
6	発達に即応した基本的生活習慣形成 睡眠、食習慣、排泄習慣、	事前：テキストの授業範囲を通読しておく（90分） 事後：授業全体をまとめ、学習内容を復習しておく（90分）	
7	発達に即応した基本的生活習慣形成 清潔習慣、感染予防	事前：テキストの授業範囲を通読しておく（90分） 事後：授業全体をまとめ、学習内容を復習しておく（90分）	
8	子どもの心身の健康とその把握 健康状態の把握、心身の不調等の発見	事前：テキストの授業範囲を通読しておく（90分） 事後：授業全体をまとめ、学習内容を復習しておく（90分）	
9	子どもの心身の健康とその把握 発育・発達の把握と健康診断、保護者との情報共有	事前：テキストの授業範囲を通読しておく（90分） 事後：授業全体をまとめ、学習内容を復習しておく（90分）	
10	子どもの疾病の予防及び適切な対応 子どもの疾病の特徴、保育の現場でよくある疾患	事前：テキストの授業範囲を通読しておく（90分） 事後：授業全体をまとめ、学習内容を復習しておく（90分）	
11	子どもの疾病の予防及び適切な対応 保育の現場でよくある疾患	事前：テキストの授業範囲を通読しておく（90分） 事後：授業全体をまとめ、学習内容を復習しておく（90分）	
12	子どもの疾病の予防及び適切な対応 保育の現場でよくある疾患	事前：テキストの授業範囲を通読しておく（90分） 事後：授業全体をまとめ、学習内容を復習しておく（90分）	

13	子どもの疾病の予防及び適切な対応 保育の現場でよくある疾患	事前：テキストの授業範囲を通読しておく（90分） 事後：授業全体をまとめ、学習内容を復習しておく（90分）
14	現代社会における子供の健康に関する現状と課題 児童虐待について	事前：テキストの授業範囲を通読しておく（90分） 事後：授業全体をまとめ、学習内容を復習しておく（90分）
15	まとめ 授業全体の重要項目について再確認	事前：テキストの授業範囲を通読しておく（90分） 事後：授業全体をまとめ、学習内容を復習しておく（90分）

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

上記の事前・事後学習で学んだところをピッアップしておくこと。

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	レポート及び確認テスト		
80%	20%		

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
子どもの保健	中根淳子／佐藤直子	ななみ書房

#### 参考書又は参考資料等

特になし

#### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

- ・上記の計画は、授業のガイドラインです。授業の進行状況により変更する場合があります。
- ・授業でわからない点や質問がある場合は、メールでも受け付けます。

#### 担当教員の連絡先等

担当教員E-mail	その他

授 業 科 目 名	子どもの食と栄養Ⅰ		
担 当 者 名	阿部 亜希恵	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2200032	授 業 形 態	演習
学 年	2年	開 講 期	2024年度前期
単 位 数	1	履 修	卒業必修・保育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP3-2-A		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	人間の食生活の基礎は乳幼児期に形作られ、この時期からの食生活習慣形成能力を高めていくことは不可欠であり、現場で、食育を実施する際、保育士の担う役割は非常に大きい。「子どもの食と栄養Ⅰ」では、栄養に関する基本的な知識を身につける。療育現場、医療現場における栄養士としての実務経験を活かし、調理実習、媒体作成を交え授業を進める。		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 発育・発達と食（栄養）のかかわりが深いことを理解する。</li> <li>2. 栄養素の種類と身体の役割、食品群ごとの栄養特性について理解する。</li> <li>3. 自らの食事に目をむけ、身体をつくる食事の重要性についての認識、健康的に食べるために食品を選べる知識を身につける。</li> </ol>		
授 業 計 画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	オリエンテーション 「子どもの食と栄養Ⅰ」を学ぶにあたって	事後：重要語について復習すること（45分）	
2	子どもの食生活の現状と課題	事前：テキスト該当範囲を通読しておく（15分） 事後：重要語句について復習すること（30分）	
3	子どもの発育・発達と食生活①…発育について	事前：テキスト該当範囲を通読しておく（15分） 事後：重要語句について復習すること（30分）	
4	子どもの発育・発達と食生活②…食にかかわる機能について	事前：テキスト該当範囲を通読しておく（15分） 事後：重要語句について復習すること（30分）	
5	栄養に関する基本的知識①…栄養と栄養素	事前：テキスト該当範囲を通読しておく（15分） 事後：重要語句について復習すること(30分)	
6	栄養に関する基本的知識②…食品の分類	事前：テキスト該当範囲を通読しておく（15分） 事後：重要語句について復習すること（30分）	
7	栄養に関する基本的知識③…小児の食事摂取基準・献立作成と調理の基本	事前：テキスト該当範囲を通読しておく（15分） 事後：重要語句について復習すること（30分）	
8	食の衛生と安全	事前：テキスト該当範囲を通読しておく（15分） 事後：重要語句について復習すること（30分）	
9	食育の基本と内容①…食育の内容と計画	事前：テキスト該当範囲を通読しておく（15分） 事後：重要語句について復習すること（30分）	
10	食育の基本と内容②…食育のための環境	事前：テキスト該当範囲を通読しておく（15分） 事後：重要語句について復習すること（30分）	
11	食育の基本と実践（媒体）①…食にまつわる行事食カード作成	事前：行事食カード案の構想を練る(45分)	
12	食育の基本と実践（媒体）②…食にまつわる行事食カード作成・発表	事前：カード完成にむけての準備（15分） 事後：発表に対するレポートを作成し次回授業時に提出する(30分)	
13	食育について（DVD） 栄養に関する基礎知識のまとめ	事後：DVDに対するレポートを作成し次回授業時に提出する（45分）	
14	食育の基本と実践（おやつ作りの調理実習）①	事前：調理実習の献立内容について確認しておく（45分）	

15	食育の基本と実践（おやつ作りの調理実習）②	事後：調理実習に対するレポート作成し指定日に提出（15分） 適宜配布した資料を活用し定期試験に向けて復習する（30分）
----	-----------------------	--

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

- ・授業最後に次回講義範囲を連絡するので、テキストを通読しておく。
- ・日常生活の中で、食事に対して興味を持つようにしてください。

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	レポート等提出物		
80%	20%		

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
イラスト 子どもの食と栄養	森脇千夏 他	東京教学社

#### 参考書又は参考資料等

講義中に適宜資料を配布する

#### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

- ・授業の中で提出物の指示を出します。期日を厳守し提出すること。
- ・レポート・提出物については、コメントし返却する。
- ・調理実習や作品作りがあります。グループ単位での活動となりますので協力して臨むようにしてください。
- ・まず自分の食事をしっかり選んで食べられるようになってください。

#### 担当教員の連絡先等

担当教員E-mail	その他



授 業 科 目 名		子どもの食と栄養Ⅱ	
担 当 者 名	阿部 亜希恵	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2200081	授 業 形 態	演習
学 年	2年	開 講 期	2024年度後期
単 位 数	1	履 修	卒業必修・保育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP3-2-B		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>ここでは、「子どもの食と栄養Ⅰ」で学んだ栄養の基本的知識を基に、胎児期（妊娠期）から各段階のライフステージ別の食や栄養の特徴や特別な配慮を要する子どもの食と栄養について学ぶ。療育現場・医療現場における栄養士としての実務経験を活かし、調理演習及び媒体作成を交え授業を進める。また、保育現場における食育を充実させるうえでの管理栄養士・栄養士・調理師との連携及び、子どもたちの栄養の基本を学び実践できる知識を身につける。</p> <p>※履修上の条件等 原則として、2年次前期に開講される「子どもの食と栄養Ⅰ」を履修していること。</p>		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ライフステージ別の食や栄養の特徴を理解する。</li> <li>2. 特別な配慮を要する子どもの食と栄養を理解する。</li> <li>3. 現場での多職種との連携方法を学び実践できるようにする。</li> <li>4. 自らの食事に目をむけ、身体をつくる食事の重要性についての認識、健康的に食べるために食品を選べる知識を身につける。</li> </ol>		
授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 等 ) の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間	
1	オリエンテーション 「子どもの食と栄養Ⅱ」を学ぶにあたって 胎児期（妊娠期）・授乳期の食生活	事前：シラバスやテキストを再確認し、後期授業流れを把握する（15分） 事後：重要語句について復習すること（30分）	
2	乳児期の食生活①・・・乳汁栄養	事前：テキスト該当範囲を通読しておく（15分） 事後：重要語句について復習すること（30分）	
3	乳児期の食生活②…離乳期の栄養	事前：テキスト該当範囲を通読しておく（15分） 事後：重要語句について復習すること（30分）	
4	幼児期の食生活①…食機能の発育・発達	事前：テキスト該当範囲を通読しておく（15分） 事後：重要語句について復習すること（30分）	
5	幼児期の食生活②…食事の支援	事前：テキスト該当範囲を通読しておく（15分） 事後：重要語句について復習すること（30分）	
6	学童期・思春期の食生活	事前：テキスト該当範囲を通読しておく（15分） 事後：重要語句について復習すること（30分）	
7	生涯発達と食生活	事前：テキスト該当範囲を通読しておく（15分） 事後：重要語句について復習すること（30分）	
8	家庭や児童福祉施設における食事と栄養① …家庭における食事と栄養	事前：テキスト該当範囲を通読しておく（15分） 事後：重要語句について復習すること（30分）	
9	家庭や児童福祉施設における食事と栄養② …児童福祉施設における食事と栄養	事前：テキスト該当範囲を通読しておく（15分） 事後：重要語句について復習すること（30分）	
10	特別な配慮を要する場合① …疾病・体調不良・障がいのある子どもへの対応	事前：テキスト該当範囲を通読しておく（15分） 事後：重要語句について復習すること（30分）	
11	特別な配慮を要する場合② …食物アレルギーのある子どもへの対応	事前：テキスト該当範囲を通読しておく（15分） 事後：重要語句について復習すること（30分）	

12	食育の基本計画と実践①（飛び出す絵本の作成）	事前：グループで飛び出す絵本の案を練る（45分）
13	食育の基本計画と実践②（飛び出す絵本の作成）	事前：前回作成の振り返りと整理（15分） 事後：次回作成に向けての整理（30分）
14	食育の基本計画と実践③（飛び出す絵本の作成）	事後：飛び出す絵本を完成させる（45分）
15	食育の基本計画と実践④（飛び出す絵本の作成） 保育現場における栄養のまとめ	事前：絵本の発表準備（15分） 事後：適宜配布した資料を活用し定期試験に向けて復習する（30分）

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

- ・授業最後に次回講義範囲を連絡するので、テキストを通読しておく。
- ・日常生活の中で、食事に対して興味を持つようにしてください。

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	レポート等提出物		
80%	20%		

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
イラスト 子どもの食と栄養	森脇千夏 他	東京教学社

#### 参考書又は参考資料等

講義中に適宜資料を配布する

#### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

- ・授業の中で提出物の指示を出します。期日を厳守し提出すること。
- ・レポート・提出物については、コメントし返却する。
- ・作品作りでは、グループ単位での活動となりますので協力して臨むようにしてください。
- ・まず自分の食事をしっかり選んで食べられるようになってください。

#### 担当教員の連絡先等

担当教員E-mail	その他

授 業 科 目 名	教育課程・保育計画と評価		
担 当 者 名	前川 公一、浦田 一幸	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2200034	授 業 形 態	講義
学 年	1年	開 講 期	2024年度後期
単 位 数	2	履 修	幼稚園教諭必修・保育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP3-1-B		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>保育者は、保育の計画のもつ意義を理解し、それを立案する素地的能力を身に付ける必要がある。そこで、公立の学校教育の職務経験を有する2人の教員が、具体的な教育課程や全体的な計画、指導計画等をもとにT・T（ティーム・ティーチング）の授業を展開する。園の目的や目標を達成するための内容や編成の仕方、カリキュラム・マネジメントなどについて、基礎的な理解を図るとともに、グループワークや発表等を通して幼児の発達や生活の特徴に応じた計画立案能力を付けていくことを目指す。</p>		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 保育に計画及び評価が必要な理由を理解できる。</li> <li>2) 教育課程や全体的な計画の意義、その編成や展開の仕方等を理解できる。</li> <li>3) 指導計画の種類とそれらの作成の仕方について理解できる。</li> <li>4) 幼児の発達や生活の特徴及びその指導計画等のあり方を具体的に理解できる。</li> <li>5) 手遊びや絵本、製作活動等の部分指導計画を立案できる。</li> </ol>		
授 業 計 画	準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 等 ) の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間		
1	オリエンテーション（授業内容、講義の進め方、試験・評価等）保育における計画の意義【前川・浦田】	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく。（90分）	
2	日本におけるカリキュラムの基礎理論【前川・浦田】	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく。（90分）	
3	子ども理解に基づく保育の循環【前川・浦田】	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく。（90分）	
4	保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の性格と位置づけ・改定（訂）内容【前川・浦田】	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく。（90分）	
5	幼稚園の教育課程の編成の基本原則と方法【前川・浦田】	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく。（90分）	
6	保育所・認定こども園等の全体的な計画の作成の基本原則と方法【前川・浦田】	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく。（90分）	
7	幼稚園の指導計画の作成【前川・浦田】	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく。（90分）	
8	保育所・認定こども園の指導計画の作成【前川・浦田】	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく。（90分）	
9	保育の評価ー評価の考え方【前川・浦田】	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく。（90分）	
10	指導計画の書き方【前川・浦田】	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく。（90分）	
11	行事の計画と実際、計画的保育の理解 * 附属幼稚園の文化祭見学をし、レポート提出【前川・浦田】	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。（90分） 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく（90分）	

12	0歳児の指導計画 【前川・浦田】	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。(90分) 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく。(90分)
13	1歳以上3歳児未満児の指導計画 【前川・浦田】	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。(90分) 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく。(90分)
14	3歳児・4歳児・5歳児の指導計画 【前川・浦田】	事前：テキストの指定範囲を通読しておく。(90分) 事後：重要な語句を調べ、ノートにまとめておく。(90分)
15	小学校との接続、授業のまとめと評価【前川・浦田】	事前：初回から14回までの内容の復習をする。(90分) 事後：講義全体をまとめ、復習をする。(90分)

### 準備学習・事後学習等についての補足説明

教科書をもとに事前・事後の学修をし、わからないことを積極的に質問するようにして下さい。

### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	レポート	授業への取り組み	
70%	20%	10%	

### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
教育・保育カリキュラム論	千葉武夫 他	中央法規

### 参考書又は参考資料等

- 1 文部科学省編『幼稚園教育要領解説（平成29年告示）』フレーベル館、
  - 2 厚生労働省編『保育所保育指針解説（平成29年告示）』フレーベル館
  - 3 内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型こども園教育・保育要領解説』フレーベル館
- その他授業の中で、参考書や参考文献を紹介します。

### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

幼児教育について、具体的な指導計画案などの書き方も指導しますので、主体的な参加を期待します。本授業についての知識は、実際に教育・保育を行う際に極めて重要ですので、授業内容を理解するようにしてください。

### 担当教員の連絡先等

担当教員E-mail	その他

授 業 科 目 名	保育内容総論		
担 当 者 名	寺本 普見子	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド	2200035	授 業 形 態	講義
学 年	2年	開 講 期	2024年度前期
単 位 数	2	履 修	必修・幼稚園教諭必修・保育士選択
ナ ン バ リ ン グ	DP2-2-A		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	幼稚園や保育所で行われている生活や、特別に催される園行事等の保育内容が、どのような保育の目的・目標・ねらいのもとに構想されているか具体的に学習する。さらに、環境を通して行う教育の考え方や、子ども理解にはじまる保育の展開について理解する。また、なぜ今「生きる力」を育むことが必要なのか、保育内容の歴史の変遷とともに成熟社会のなかでの子どもと保育・教育について考える。		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 幼稚園教育要領、保育所保育指針及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領における教育および保育の全体構造が理解できる。</li> <li>2. 保育内容の歴史の変遷について学び、保育内容について習得する。</li> <li>3. 遊びを中心とした保育と行事について習得する。</li> <li>4. 子どもの「生きる力」と生活習慣を習得する。</li> <li>5. 子どもの主体性を尊重する保育を習得する。</li> </ol>		
授 業 計 画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	保育指針に基づく保育の全体構造－保育内容総論で学ぶこと	事前：テキスト指定範囲を通読しておくこと（90分） 事後：保育の基本と保育内容について解釈を加えたキーワードノートをまとめる（90分）	
2	成熟社会のなかでの子どもと保育・教育―「生きる力」とは	事前：プリントを通読しておくこと（90分） 事後：「生きる力」について解釈を加えたキーワードノートをまとめる（90分）	
3	幼稚園教育要領、保育所保育指針及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領―全体構造と保育内容	事前：プリント指定範囲を通読しておくこと（90分） 事後：教育及び保育内容の考え方について解釈を加えたキーワードノートをまとめる（90分）	
4	遊びを通じた総合的な指導―遊びと学び	事前：プリント指定範囲を通読しておくこと（90分） 事後：遊びを通じた総合的な指導について解釈を加えたキーワードノートをまとめる（90分）	
5	子育て支援を創造する保育内容	事前：プリント指定範囲を通読しておくこと（90分） 事後：子育て支援についてキーワードノートをまとめる（90分）	
6	保育内容の歴史の変遷とその社会的背景	事前：テキスト指定範囲を通読しておくこと（90分） 事後：保育内容の変遷について解釈を加えたキーワードノートをまとめる（90分）	
7	子どもの主体性を尊重する保育	事前：テキスト指定範囲を通読しておくこと（90分） 事後：子ども理解について解釈を加えたキーワードノートをまとめる（90分）	
8	保育の計画の考え方―「カリキュラム・マネジメント」をとらえる視点	事前：プリント指定範囲を通読しておくこと（90分） 事後：「カリキュラム・マネジメント」について解釈を加えたキーワードノートをまとめる（90分）	

9	就学前教育と初等教育を接続する保育内容	事前：テキスト指定範囲を通読しておくこと（90分） 事後：小学校との連携について解釈を加えたキーワードノートをもとめる（90分）
10	園行事の考え方と指導	事前：プリント指定範囲を通読しておくこと（90分） 事後：園行事について解釈を加えたキーワードノートをもとめる（90分）
11	環境の構成と教材研究—環境を通して行う保育	事前：テキスト指定範囲を通読しておくこと（90分） 事後：環境の構成と教材研究について解釈を加えたキーワードノートをもとめる（90分）
12	異年齢児の保育内容	事前：プリント指定範囲を通読しておくこと（90分） 事後：異年齢保育の意義について解釈を加えたキーワードノートをもとめる（90分）
13	障がいのある子どもの指導—障がいのない子ども等の交流と学級づくり	事前：テキスト指定範囲を通読しておくこと（90分） 事後：障害のある子どもの指導について解釈を加えたキーワードノートをもとめる（90分）
14	多様な保育ニーズと保育内容	事前：長時間保育の現状を通読しておく（90分） 事後：授業の振り返り（90分）
15	保育内容の現状と課題—まとめ	事前：すべてのプリントを整理しておくこと（90分） 事後：まとめ、15回の講義の復習をする（90分）

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	授業態度	提出物	
70%	10%	20%	

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
保育内容総論	石川 昭義 編集	中央法規出版
幼稚園教育要領解説	文部科学省編	フレーベル館
保育所保育指針解説	厚生労働省編	フレーベル館
幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説	内閣府 文部科学省 厚生労働省	フレーベル館

#### 参考書又は参考資料等

講義の進度に応じて適宜配布する。

#### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

・毎時間資料として保育内容総論・幼稚園教育要領解説、保育所保育指針解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説を持参すること。（幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領でもよい）

#### 担当教員の連絡先等

担当教員E-mail	その他

授 業 科 目 名	保育内容総論演習		
担 当 者 名	寺本 普見子、丸田 敦子	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド	2200077	授 業 形 態	演習
学 年	2年	開 講 期	2024年度後期
単 位 数	1	履 修	必修・保育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP3-2-B		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>幼稚園、保育所、認定こども園に通園している乳幼児がどのような保育の目的の上で生活をしているか学修する。また、保育内容の養護及び教育を一体的に行う保育とはなにか、保護者への保育指導、地域の子育て支援における幼稚園、保育所、認定こども園の役割等について理解する。</p> <p>本授業では、前期授業で学修した保育内容総論を踏まえて、学生が実習等の保育現場で得た現状や自己課題等についてグループで議論、発表していく。また、その発表内容を実務経験のある担当者が保育現場等での事例を用いて解説し、演習を通して指導方法を習得していく。模擬保育や保育実践を通して、学生が自らの保育を振り返り、評価・反省していく方法及び自ら資質・能力や実践力を高められるような授業を構想していく。</p>		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における「保育の目標」「育みたい資質・能力」「幼児期終わりまでに育て欲しい姿」と「保育の内容」の関連を理解する。</li> <li>2. 幼稚園教育要領、保育所保育指針幼保連携型認定こども園教育・保育要領の各章のつながりを読み取り、保育の全体的な構造を理解する。</li> <li>3. 子どもの発達や生活を取り巻く社会的背景及び保育の内容の歴史変遷等を踏まえ、保育の内容の基本的な考え方を、子どもの発達や実態に即した具体的な保育の過程(計画・実践・記録・省察・評価・改善)につなげて理解する。</li> <li>4. 保育の多様な展開について具体的に理解する。</li> <li>5. グループでの議論や発表に積極的に参加し、多角的な視点から理解を深める。</li> <li>6. 保育内容総論や他の教科等で学修したことと実習等の保育の現場で経験したことを踏まえて自己課題を明確にし、保育構想の向上に取り組むことができる。</li> </ol>		
授 業 計 画	準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 等 ) の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間		
1	保育の全体構造と保育内容(1)保育所保育指針に基づく保育の全体構造と保育内容の理解	事前：シラバスを通読し、授業に向けての準備や心構えをしておく(15分) 事後：配布資料をまとめ、課題の実施(30分)	
2	保育の全体構造と保育内容(2)実習記録から自己課題を明確にする	事前：課題をまとめておく(20分) 事後：配布資料をまとめ、次回に向けて発表内容を整理する(25分)	
3	保育の全体構造と保育内容(3)グループディスカッション	事前：発表内容をまとめておく(20分) 事後：配布資料をまとめ、次回に向けて発表内容を整理する(25分)	
4	保育の全体構造と保育内容(4)グループ発表	事前：グループ発表の準備(20分) 事後：グループの発表内容を振り返り、他のグループの発表内容をまとめる(25分)	
5	保育の基本を踏まえた保育内容の構想 保育実践もしくは模擬保育の指導案の作成	事前：前回の授業内容を振り返る(15分) 事後：指導案の作成、見直し(30分)	

6	保育の基本を踏まえた保育内容の実践 グループ内模擬保育の実施	事前：模擬保育の準備（15分） 事後：配布資料をまとめ、模擬保育の振り返り（30分）
7	保育の基本を踏まえた保育内容の展開(1) 養護及び教育が一体的に展開する保育	事前：保育実践もしくは模擬保育準備（15分） 事後：配布資料をまとめ、演習内容を振り返る（30分）
8	保育の基本を踏まえた保育内容の展開(2) 子どもの主体性を尊重する保育	事前：保育実践もしくは模擬保育準備（15分） 事後：配布資料をまとめ、演習内容を振り返る（30分）
9	保育の基本を踏まえた保育内容の展開(3) 環境を通して行う保育	事前：前回の授業内容を振り返る（15分） 事後：配布資料をまとめ、課題の実施（30分）
10	保育の基本を踏まえた保育内容の展開(4) 生活や遊びによる総合的な保育	事前：保育実践もしくは模擬保育準備（15分） 事後：配布資料をまとめ、演習内容を振り返る（30分）
11	保育の基本を踏まえた保育内容の展開(5) 個と集団の発達を踏まえた保育	事前：保育実践もしくは模擬保育準備（15分） 事後：配布資料をまとめ、演習内容を振り返る（30分）
12	保育の基本を踏まえた保育内容の展開(6) 家庭や地域、小学校等との連携を踏まえた保育	事前：保育実践もしくは模擬保育準備（15分） 事後：配布資料をまとめ、演習内容を振り返る（30分）
13	保育の基本を踏まえた保育内容の評価と改善	事前：これまでの演習内容を振り返る（15分） 事後：配布資料をまとめ、レポート課題の実施（30分）
14	多様な保育ニーズと保育内容	事前：前回の授業内容を振り返る（15分） 事後：配布資料をまとめ、資料映像の内容を振り返る（30分）
15	保育内容の現状と課題—まとめ	事前：すべてのプリントを整理しておくこと（15分） 事後：まとめ、15回の講義の復習をする（30分）

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

- ・ インターンシップ等を利用して、積極的に保育所や認定こども園で自主実習をして子どもの発達を観察してほしい。
- ・ 課題の提出日時は厳守すること。

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

授業への参加度(グループ討議、保育実践、模擬保育など)	アクティブラーニングの発表内容	課題等の提出状況と内容	
40%	30%	30%	

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
保育内容総論	石川 昭義 編集	中央法規出版
幼稚園教育容量解説 保育所保育所指針解説 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説	文部科学省 厚生労働省 内閣府	フレーベル館

#### 参考書又は参考資料等

講義の進度に応じて適宜配布する。

#### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

- ・ 毎時間テキストと参考資料として幼稚園教育要領解説、保育所保育指針解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説を持参すること。
- ・ 授業の中で、アクティブ・ラーニングを取り入れ、考える力や発表する力を育成する。グループでの演習となるため、グループメンバーで協力して発表や模擬保育の準備を進めていくこと。
- ・ 授業ファイルを作成し、配布資料をファイリングしていくこと。第15回授業にて提出。

#### 担当教員の連絡先等



担当教員E-mail	その他

授 業 科 目 名		保育指導論	
担 当 者 名		吉田 千津子	実 務 家 教 員
科 目 コ ー ド		2200015	授 業 形 態
学 年		2年	開 講 期
単 位 数		2	履 修
ナ ン バ リ ン グ		DP3-2-A	
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕		<p>指導とは幼児を好ましい方向に導く総合的な捉えや行為である。そのことは保育者の大きな役割であり、保育者自身の保育観・資質によって幼児の育ちが変わってくる側面をもつことを理解しておく必要がある。1年次で習得した教育方法とこの講義では、幼稚園や認定こども園での長年にわたる実務経験を有する教員が幼児の姿から掘り下げて保育展開していく事例等を基にグループディスカッションを取り入れながら、より具体的な実践力を学び合い指導力のある保育者を目指す。授業内容として終盤は数例の実践例から指導案作成を手掛けていく。</p>	
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕		<p>1. 幼稚園教育要領に示された幼稚園の基本を踏まえ、各領域のねらい及び内容を理解する。</p> <p>1) 幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本や各領域のねらい及び内容と具体的事例を基に指導力ある保育者としての姿や全体構造が理解できる。</p> <p>2) 幼児にとって、環境を通して行う保育がなぜ大切であるか理解する。</p> <p>3) 遊びをどのように捉え、援助していくか総合的指導の重要性について幼稚園における評価の考え方を理解できる。</p> <p>4) 幼児が経験し身に付けていく内容の関連性及び小学校の教科等とのつながりを理解できる。</p> <p>2. 幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。</p> <p>1) 幼児理解や援助のあり方により、保育が変わることや幼児の認識・思考・動き等を視野に入れた保育の構想の重要性を理解している。</p> <p>2) 幼児の自発性を尊重することと保育者の指導性の関係について理解を深めることができ、各領域の特性や幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し保育の構想に活用することができる。</p> <p>3) 指導案の構成を理解し、幼児が経験し身につけていく内容と指導上の留意点が理解できる。また、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。</p> <p>4) 模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けている。</p> <p>5) 各領域の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができる。</p>	
授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 等 ) の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間	
1	オリエンテーション：この講義の目的と講義内容の紹介 学習方法についての説明 幼児教育の歴史について（フレーベル）	<p>事前：テキスト指定範囲（指示又はU N I P A にて通知）を通読しておくこと（90分）</p> <p>事後：テキストの内容を復習する。（90分）</p>	
2	環境を通して行う保育	<p>事前：テキスト指定範囲（指示又はU N I P A にて通知）を通読しておくこと（90分）</p> <p>事後：テキスト・プリントの内容を復習する。（90分）</p>	
3	幼児教育・保育における遊び	<p>事前：テキスト指定範囲（指示又はU N I P A にて通知）を通読しておくこと（90分）</p> <p>事後：テキスト・プリントの内容を復習する。（90分）</p>	

4	遊びによる総合的指導	事前：テキスト指定範囲（指示又はU N I P Aにて通知） を通読しておくこと（90分） 事後：テキスト・プリントの内容を復習する。（90分）
5	主体的・対話的で深い学びと教育法	事前：テキスト指定範囲（指示又はU N I P Aにて通知） を通読しておくこと（90分） 事後：テキスト・プリントの内容を復習する。
6	幼児期の終わりまで育ってほしい姿と教育課程	事前：テキスト指定範囲（指示又はU N I P Aにて通知） を通読しておくこと（90分） 事後：テキスト・プリントの内容を復習する。（90分）
7	幼児教育・保育における計画	事前：事前：テキスト指定範囲（指示又はU N I P Aにて通知） を通読しておくこと（90分） 事後：テキスト・プリントの内容を復習する。（90分）
8	指導案作成～子どもの姿から	事前：テキスト指定範囲（指示又はU N I P Aにて通知） を通読しておくこと（90分） 事後：テキスト・プリントの内容を復習する。（90分）
9	指導案作成～年齢に応じた遊び①	事前：テキスト指定範囲（指示又はU N I P Aにて通知） を通読しておくこと（90分） 事後：指定したメディアにて学習内容に関する情報を収集すること（90分）
10	指導案作成～年齢に応じた遊び②	事前：テキスト指定範囲（指示又はU N I P Aにて通知） を通読しておくこと（90分） 事後：指定したメディアにて学習内容に関する情報を収集すること（90分）
11	指導案作成：具体的な子どもの姿を基に作成（情報処理）する。	事前：テキスト指定範囲（指示又はU N I P Aにて通知） を通読しておくこと（90分） 事後：指定したメディアにて学習内容に関する情報を収集すること（90分）
12	指導案作成：添削部分を修正しながら、子ども理解、目標、保育内容、保育者の役割・援助、評価等について考える（情報処理）	事前：事前：テキスト指定範囲（指示又はU N I P Aにて通知） を通読しておくこと（90分） 事後：テキスト・プリントの内容を復習する。（90分）
13	模擬保育発表（1）：作成した指導案を基に小グループで模擬授業を行う。	事前：プレゼンテーションに向けてポイントを抑えて復習する（90分） 事後：指定したメディアにて学習内容に関する情報を収集すること（90分）
14	模擬保育発表（2）：小グループ内で各自の指導案を基に振り返り改善点・課題等考えながら模擬授業を行う。 *第8回から14回における振り返りを小グループ別のディベート及	事前：プレゼンテーションに向けてポイントを抑えて復習する（90分） 事後：指定したメディアにて学習内容に関する情報を収集すること（90分）
15	まとめと評価：指導案に沿った遊びをグループごとにまとめとして発表を行う。	事前：今までのプリント等を活用し、指導案を含め復習する（90分） 事後：振り返りで気付いた点をいかし、復習する。（90分）

**準備学習・事後学習等についての補足説明**

- ・テキストを通読し、重要な部分にマーカーを引いておくこと。プリントを見直し、復習すること。
- ・指導案作成時は添削をします。次の授業までに必ず仕上げしておくこと。

### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	振り返り記述完成度	授業での提出物	テキストの通読～マーカ必須
60%	10%	20%	10%

### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
『幼稚園教育要領解説〈平成30年3月〉』	文部科学省編	フレーベル館
「幼児教育・保育のための教育方法論」	垂見直樹、池田隆介編著	ミネルヴァ書房

### 参考書又は参考資料等

- ・「実践につながる新しい幼児教育の方法と技術」大浦賢治、野津直樹 編著ミネルヴァ書房
  - ・文部科学省編『幼稚園教育要領解説〈平成30年3月〉』フレーベル館。
  - ・厚生労働省編『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説〈平成30年3月〉』フレーベル館。
  - ・厚生労働省編『保育所保育指針解説〈平成30年3月〉』フレーベル館。
  - ・「遊びの指導」幼少年教育研究所編著（同文書院）
- （適宜資料を配布）

### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

- ・キーワードノートや振り返り・指導案作成は成績評価に反映する為、完成度を課します。
- ・何時でも自在にPC操作ができるようにUSBを持参しておくこと。
- ・提出物は期日までに提出すること。授業内容についての質問等が必要な学生には授業終了後及びオフィスアワーにて対応する。

### 担当教員の連絡先等

担当教員E-mail	その他

授 業 科 目 名	子どもの図画工作 I		
担 当 者 名	都 留 守	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2200010	授 業 形 態	演習
学 年	1年	開 講 期	2024年度前期
単 位 数	2	履 修	保育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP2-1-A		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>材料・用具・表現方法・テーマなど出合い、発想を広げ、構想を練り、表現の見通しを立て、個別の表現活動やグループでの集団製作を行う。作品完成後に相互の作品を鑑賞し合い、互いの見方・感じ方・考え方を交流し合う作品鑑賞会をする。毎時間「振り返り」行って自己評価をする。自分の課題を達成できたかどうかを自己評価し、次の活動への目標を持つとともに、意欲を高める。</p> <p>特に、オイルパステル、水彩絵の具によるモダンテクニックを活用した平面での表現活動に取り組む。</p>		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<p>1. モダンテクニックを使って偶然できた色や形から発想を膨らませて構想を練り、表現できるようにする。</p> <p>2. 友だちとアイデアを出し合い、表現力を高め合うと共に、共同制作による表現の喜びを味わわせる。</p> <p>3. グループで教え合い、学び合って手作りのパネルシアターを制作し、手作りのパネルシアターを演じる喜びを味わわせる。「表現」及び「鑑賞」の活動を通して、豊かな情操を養うことを目指して授業を行う。この演習では、公立学校教諭・北九州市教育委員会指導主事としての職務経験を有する教員が、公立学校での指導経験・研修歴を生かして授業を実施する。</p>		
授 業 計 画	準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 等 ) の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間		
1	オリエンテーション 授業の目的、目標、授業内容・計画、評価方法など	<p>事前：小学校学習指導要領図画工作の目標及び内容について調べておく（90分）</p> <p>事後：年間を通して学ぶ内容を理解し、見通しをもつ（90分）</p>	
2	オイルパステルで「ぼかし遊び」をしよう① ○ 点ぼかしを使って表現しよう	<p>事前：オイルパステルを使った「点ぼかし遊び」を調べる（90分）</p> <p>事後：「点ぼかし遊び」を使った表現をする（90分）</p>	
3	オイルパステルで「ぼかし遊び」をしよう② ○ 線ぼかしを使って表現しよう	<p>事前：オイルパステルを使った「線ぼかし遊び」を調べる（90分）</p> <p>事後：「線ぼかし遊び」を使った表現をする（90分）</p>	
4	オイルパステルで「ぼかし遊び」をしよう③ ○ 面ぼかしを使って表現しよう	<p>事前：オイルパステルを使った「面ぼかし遊び」を調べる（90分）</p> <p>事後：「面ぼかし遊び」を使った表現をする（90分）</p>	
5	オイルパステルで「ステンシル遊び」をしよう	<p>事前：オイルパステルを使った「ステンシル遊び」を調べる（90分）</p> <p>事後：「ステンシル遊び」を使った表現をする（90分）</p>	
6	水彩絵の具で「絵の具遊び」をしよう① ○ バチックで表現しよう	<p>事前：「バチック」の材料や方法を調べる（90分）</p> <p>事後：「バチック」の技法を使って表現する（90分）</p>	
7	水彩絵の具で「絵の具遊び」をしよう② ○ バブルアートで表現しよう	<p>事前：「バブルアート」の材料や方法を調べる（90分）</p> <p>事後：「バブルアート」の技法を使って表現する（90分）</p>	

8	水彩絵の具で「絵の具遊び」をしよう③ ○ デカルコマニー、ビー玉アートで表現しよう	事前：「デカルコマニー、ビー玉アート」の材料や方法を調べる（90分） 事後：「デカルコマニー、ビー玉アート」の技法を使って表現する（90分）
9	水彩絵の具で「絵の具遊び」をしよう④ ○ スパッターリングで表現しよう	事前：「スパッターリング」の材料や方法を調べる（90分） 事後：「スパッターリング」の技法を使って表現する（90分）
10	水彩絵の具で「絵の具遊び」をしよう⑤ ○ スタンピングで表現しよう	事前：「スタンピング」の材料や方法を調べる（90分） 事後：「スタンピング」の技法を使って表現する（90分）
11	「スクラッチ遊び」をしよう① オイルパステルで下塗りをした上からアクリル絵の具を塗り、スクラッチ遊びの準備をしよう	事前：「スクラッチ遊び」について調べる（90分） 事後：「スクラッチ遊び」の準備をする（90分）
12	「スクラッチ遊び」をしよう② テーマを決めて、竹串や割りばしペンで描こう	事前：「スクラッチ遊び」で描く下絵を描く（90分） 事後：「スクラッチ遊び」で作品を製作する（90分）
13	「スクラッチ遊び」をしよう③ 作品を完成しよう	事前：「スクラッチ遊び」の効果的な表現を調べる（90分） 事後：「スクラッチ遊び」で作品を完成する（90分）
14	「スクラッチ遊び」をしよう④ 作品カードのコメントを書いて鑑賞会をしよう	事前：鑑賞の目的や方法について調べる（90分） 事後：鑑賞会を通して学んだことをまとめる（90分）
15	15回の授業を振り返ってまとめをしよう	事前：作品を見て、学びの足跡を振り返る（90分） 事後：自己評価をする（90分）

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

授業中の製作に対する「意欲・関心・態度」を評価	毎時間Webメールで提出する「振り返り」をもとに「発想・発想の能力」「鑑賞の能力」を評価	毎時間Webメールで提出する「作品」をもとに「創造的な技能」を評価	授業中、展示した製作作品について自身に誇り、賞賛が得られて満足していること、レポートで発表したものについて、振り返り
30%	30%	30%	10 % + α

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社

#### 参考書又は参考資料等

- 1.Web メールで「振り返り」を毎時間提出します。
  - 2.「作品鑑賞カード」「ワークシート」等は、必要に応じて配布します。
- ①文部科学省『小学校学習指導要領（図画工作）』日本文教出版。
  - ②各種文部科学省検定教科書小学校図画工作用『ずがこうさく1・2上、1・2下』『図画工作3・4上、3・4下』『図画工作5・6上、5・6下』及び指導書。
  - ③花篤実監修『幼児造形教育の基礎知識』建帛社。
  - ④文部科学省編『指導と評価に生かす記録（幼稚園教育指導資料）』チャイルド本社。

#### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

できるだけ次に製作するための資料を集めてきてほしい。製作を通して膨らんだイメージを大切にして、授業時間外にも表現活動をして欲しい。作品は、必ず作品観賞会・締め切りに間に合うように提出すること。

担当教員の連絡先等	
担当教員E-mail	その他

授 業 科 目 名	子どもの図画工作 II		
担 当 者 名	都 留 守	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2200079	授 業 形 態	演習
学 年	1年	開 講 期	2024年度後期
単 位 数	1	履 修	保育士選択
ナ ン バ リ ン グ	DP3-1-B		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>「表現」及び「鑑賞」の活動を通して、豊かな情操を養うことを目指して授業を行う。この演習では、公立学校教諭・北九州市教育委員会指導主事としての職務経験を有する教員が、公立学校での指導経験・研修歴を生かして授業を実施する。</p> <p>材料・用具・表現方法・テーマなど出会い、発想を広げ、構想を練り、表現の見通しを立て、個別の表現活動やグループでの集団製作を行う。作品完成後に相互の作品を鑑賞し合い、互いの見方・感じ方・考え方等を交流し合う作品鑑賞会をする。毎時間「振り返り」行って自己評価をする。自分の課題を達成できたかどうかを自己評価し、次の活動への目標を持つとともに、意欲を高める。</p> <p>特に、手袋・和紙・糊・新聞紙・紙粘土など身近な材料を活用した立体表現に取り組む。</p>		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<p>授業の到達目標</p> <p>〔学習成果〕 「表現」及び「鑑賞」の活動を通して、感性をはたらかせ、つくりだす喜びを味わい、造形的な創造活動の基礎的な能力を養い、豊かな情操を養う。保育者として必要な「造形への意欲・関心・態度」「発想・構造の能力」「創造的な技能」「鑑賞の能力」の育成を目指す。</p> <p>1. 目的や用途に合わせて素材を選び、つくり方を工夫し、色・形・素材の特性を生かした組み合わせを考えて表現をする力を育成すると共にその喜びを味わわせる。</p> <p>2. 鑑賞の活動を通して相互のよさを認め合い・励まし合い・高め合う造形活動を体験し、表現の喜びを味わわせる。</p>		
授 業 計 画	準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 等 ) の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間		
1	「スチレン版画」をしよう① スチレンボードで版をつくらう	事前：「スチレン版画」について調べる（90分） 事後：「スチレン版画」の表現方法・材料を調べる（90分）	
2	「スチレン版画」をしよう② グラデーションのつくり方を知り刷ろう	事前：グラデーションのつくり方を調べる（90分） 事後：グラデーションの表現効果を調べる（90分）	
3	「スチレン版画」をしよう③ 版を重ねたり組み合わせたりして刷ろう	事前：版の重ね刷り・パズル刷りを調べる（90分） 事後：重ね刷り・パズル刷りの表現効果を調べる（90分）	
4	「スチレン版画」をしよう④ 作品を完成し、台紙に貼って鑑賞会をしよう	事前：作品のカットの仕方を調べる（90分） 事後：作品鑑賞会について調べる（90分）	
5	和紙でランプシェードをつくらう① ランプシェードの土台に、下地貼りをしよう	事前：「ランプシェード」のつくり方を調べる（90分） 事後：「ランプシェード」の下地貼りを調べる（90分）	
6	和紙でランプシェードをつくらう② 重ね貼りをしよう	事前：「ランプシェード」の貼り重ねについて調べる（90分） 事後：「ランプシェード」に貼り重ねをする（90分）	
7	和紙でランプシェードをつくらう③ 飾りを付けて、和紙を貼る作業を完成しよう	事前：「ランプシェード」の飾りについて調べる（90分） 事後：「ランプシェード」に飾り付けをし貼る作業を完成する（90分）	



8	和紙でランプシェードをつくろう④ 中身を抜いて完成し、点灯式をする。	事前：「ランプシェード」の中身の抜き方を調べる（90分） 事後：「ランプシェード」の中身を抜き、点灯する（90分）
9	紙粘土（Kクレイ）で遊ぼう① Kクレイ体操をして、粘土の特徴を感じよう	事前：紙粘土の製作について調べる。Kクレイ体操の仕方を調べる（90分） 事後：紙粘土の種類や特徴を調べる（90分）
10	紙粘土（Kクレイ）で遊ぼう② Kクレイでつくる弁当のヒントを知り、製作しよう	事前：どんな弁当をつくるか考える（90分） 事後：効果的な製作の仕方を考える（90分）
11	紙粘土（Kクレイ）で遊ぼう③ 材料や表現方法を工夫して製作しよう	事前：表現したいものに合わせた材料を準備する（90分） 事後：効果的な表現方法を工夫して製作する（90分）
12	紙粘土（Kクレイ）で遊ぼう④ 弁当を完成して、鑑賞会の準備をしよう。	事前：彩などを工夫して盛り付ける方法を調べる（90分） 事後：作品を完成し、鑑賞会の準備をする（90分）
13	紙粘土（Kクレイ）で遊ぼう⑤ 鑑賞会をしよう	事前：作品鑑賞の目的や方法を調べる（90分） 事後：Kクレイで作った弁当を鑑賞して思ったことをまとめる（90分）
14	今まで製作した作品を展示して、作品展をしよう	事前：作品展の目的や方法を調べる（90分） 事後：作品展をして思ったこと・感じたことをまとめる（90分）
15	15回の授業を振り返り、学びの成果と課題を確かめよう	事前：作品を見ながら学びの足跡を振り返る（90分） 事後：成果と課題をまとめ、自己評価をする（45分）

### 準備学習・事後学習等についての補足説明

- ・毎時間の授業を振り返るために、WEBメールで「振り返り」と「作品の写真」を送信してもらいます。
- ・必要に応じて、毎時間の講義後にWEBメールで提出物などを求めます。

### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

授業中の製作に対する「意欲・関心・態度」を評価	毎時間Webメールで提出する「振り返り」をもとに「発想・構想の能力」「鑑賞の能力」を評価	毎時間Webメールで提出する「作品」をもとに「創造的な技能」を評価	授業中、授業した学習や作品について振り返る際、授業後に振り返りシートで提出したものは、書く評価する
30%	30%	30%	10% + α

### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社

### 参考書又は参考資料等

1. Webメールで「振り返り」を毎時間提出します。
  2. 「作品鑑賞カード」「ワークシート」等は、必要に応じて配布します。
- 文部科学省『小学校学習指導要領（図画工作）』日本文教出版
- 各種文部科学省検定済教科書小学校図画工作用「ずがこうさく1・2上、1・2下、図画工作3・4上、3・4下○図画工作5・6上、5・6下」及び指導書、「幼児造形教育の基礎知識」建帛社
- 幼稚園教育指導資料「指導と評価に生かす記録」文部科学省

### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

できるだけ次に製作するための資料を集めてきてほしい。製作を通して膨らんだイメージを大切に、授業時間外にも表現活動をして欲しい。作品は、必ず作品観賞会・締め切りに間に合うように提出すること。

担当教員の連絡先等	
担当教員E-mail	その他

授 業 科 目 名	幼児体育		
担 当 者 名	大橋 祐介	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド	2200011	授 業 形 態	演習
学 年	1年	開 講 期	2024年度前期
単 位 数	1	履 修	必修・幼稚園教諭必修・保育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP2-1-A		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>近年、3間の減少に伴い、保育時間外での運動量が減少し、幼児期の体力・運動能力が低下していることが問題視されている。また、幼児期は多様な動きを引き出すことができるような環境構成が重要であるにもかかわらず、特定の運動指導に取り組む保育現場も多い。</p> <p>そこで、本授業では、様々な道具を使った運動遊びを学生自らが実践し、子どもたちが自主的に身体を動かして遊びたいと思うことができる環境構成ができる保育者を育成することを目的とする。</p>		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 幼児期における運動の意義を理解する。</li> <li>2. 様々な道具（ボール・フープ・なわ）を用いた運動遊びの指導方法を身につける。</li> <li>3. 器具（マット・跳び箱・平均台）を用いた運動遊びの指導方法を身につける。</li> <li>4. リズムに合わせて動くことの楽しさを感じ、指導方法を身につける。</li> <li>5. 発達段階に応じた運動遊びの環境構成を身につける。</li> </ol>		
授 業 計 画	準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 等 ) の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間		
1	オリエンテーション・幼児期の運動遊びの意義について	事前：幼児期の運動遊びについて調べておくこと。(45分) 事後：授業で学んだ内容を復習しておくこと。(45分)	
2	道具を使わない運動遊びの実践	事前：道具を使わない運動遊びを調べておくこと。(45分) 事後：授業で行った遊びを復習しておくこと。(45分)	
3	身近なもの（新聞紙・風船等）を使った運動遊びの実践	事前：新聞紙・風船等の遊びに使えるものを探しておくこと。(45分) 事後：身近なものを使った遊びを復習しておくこと。(45分)	
4	ボールを使った運動遊びの実践	事前：ボールの特性・遊びを調べておくこと。(45分) 事後：ボールを使った遊びを復習しておくこと。(45分)	
5	なわ（短縄・長縄）を使った運動遊びの実践	事前：短縄・長縄の特性・遊びを調べておくこと。(45分) 事後：なわを使った遊びを復習しておくこと。(45分)	
6	フープを使った運動遊びの実践	事前：フープの特性・遊びを調べておくこと。(45分) 事後：フープを使った遊びを復習しておくこと。(45分)	
7	道具（縄・ボール・フープ）を組み合わせた運動遊びの実践	事前：2種類以上の道具を組み合わせた遊びを考えておくこと。(45分) 事後：道具を組み合わせた遊びを復習しておくこと。(45分)	
8	マット・跳び箱を使った運動遊びの実践	事前：マット・跳び箱の特性・遊びを調べておくこと。(45分) 事後：マット・跳び箱を使った遊びを復習しておくこと。(45分)	

9	平均台を使った運動遊びの実践・サーキット遊び	事前：平均台の特性・遊びを調べておくこと。(45分) 事後：平均台を使った遊び・サーキット遊びを復習しておくこと。(45分)
10	幼児向けのダンスの実践	事前：幼児向けのダンスについて、調べておくこと。(45分) 事後：授業で行ったダンスを復習しておくこと。(45分)
11	リトミック①0～2歳児対象	事前：リトミックについて、調べておくこと。(45分) 事後：授業で学んだ内容を復習しておくこと。(45分)
12	リトミック②3～5歳児対象	事前：3～5歳児のリトミックについて調べておくこと。(45分) 事後：授業で学んだ内容を復習しておくこと。(45分)
13	運動遊びの環境構成①話し合い	事前：幼児期の発達段階について調べておくこと。(45分) 事後：授業で学んだ内容を復習しておくこと。(45分)
14	運動遊びの環境構成②発表準備	事前：準備に必要なものを確認・用意しておくこと。(45分) 事後：発表ができるよう必要なものを完成させておくこと。(45分)
15	運動遊びの環境構成③発表	事前：発表の練習をしておくこと。(45分) 事後：15回の授業で学んだことをレポートにまとめておくこと。(45分)

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

授業への取り組み	発表準備・発表	レポート・振り返り	
50%	30%	20%	

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
・必要に応じて資料配布。		

#### 参考書又は参考資料等

・日本発育発達学会編『幼児期運動指針実践ガイド』（杏林書院）

#### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

- 身だしなみについて
  - ピアス、ネックレスなどのアクセサリー類は、すべて外しておくこと。また、フードが付いていない服、体育館シューズを着用すること。髪が長い学生はまとめておくこと。
- レポート・振り返りについて
  - 提出物については評価の対象となるため、真剣に取り組むこと。
- グループ活動について
  - 役割分担を行い、全員で協力して行うこと。

#### 担当教員の連絡先等

担当教員E-mail	その他
------------	-----

--	--

授 業 科 目 名	音楽演習（わらべ歌）		
担 当 者 名	沖 亜弓	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド	2200072	授 業 形 態	演習
学 年	2年	開 講 期	2024年度前期
単 位 数	1	履 修	保育士選択
ナ ン バ リ ン グ	DP3-2-C		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>「わらべうた」は、子どもたちの生活の中で伝承されてきたあそびである。中でも「わらべうた」は乳幼児期の大人と子どもの触れ合いの中から音楽のあり方を考えるための温かな環境ともいえる。この授業では、豊かな実践力を持った保育者となるために「わらべうた」を基に、子ども達と遊びを通してどのように関わり、子どもの成長、発達に応じて具体的に学ぶ為に、コミュニケーション能力を育てていくかを重点に置く。</p> <p>この授業は「領域・表現」とのつながりの中で学園の自然環境（春の草花や虫とたわむれる）を活用することによって、身近なリズムあそびを創作したり、表現活動を取り入れたりしながら学ぶことによって、わらべうたを一層豊かなものにする。</p> <p>わらべうたは児童文化財の1つとして誰もが保育現場で活用できる魅力ある環境の1つである。特に触感覚を豊かにする子どもたちのあそびの1つであるといえる。</p> <p>また、この授業は二年次「領域・表現」・劇団かあたんの観覧をすることによって、保育の専門性を豊かにすることを目指す。教育教材として「コダーイ」を取り入れ音楽的な要素（基本）を学ぶ。</p>		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実際に歌いながら体験し、「わらべうた」を知る。</li> <li>2. 「わらべうた」を通して、子どもとのコミュニケーションを深められるようになる。</li> <li>3. 「わらべうた」を通して歌唱能力、リズム感、聴感などの保育者として音楽的基礎の向上をはかる。</li> <li>4. 保護者にも「わらべうた」での子育ての楽しさを伝えられるようになる。</li> </ol>		
授 業 計 画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	わらべうたとはなにか	事前：自分の知っているわらべうた遊びをまとめておく。（45分） 事後：配布した資料をまとめ、歌と遊びを復習する。（45分）	
2	わらべうたの実践（幼児） 鬼きめ、しぐさあそび、役交代あそび	事前：配布した資料を通読しておくこと。（45分） 事後：配布した資料をまとめ、歌と遊びを復習する。（45分）	
3	わらべうたの実践（幼児） 門くぐり、鬼ごっこ、隊列をくむあそび	事前：配布した資料を通読しておくこと。（45分） 事後：配布した資料をまとめ、歌と遊びを復習する。（45分）	
4	わらべうたの実践（幼児） かぞえうた、じゃんけんあそび、手あそび	事前：配布した資料を通読しておくこと。（45分） 事後：配布した資料をまとめ、歌と遊びを復習する。（45分）	
5	わらべうたの実践（乳児） 体あそび、手あそび、指あそび、顔あそび	事前：配布した資料を通読しておくこと。（45分） 事後：配布した資料をまとめ、歌と遊びを復習する。（45分）	

6	わらべうたの実践（乳児）（乳児とかがわる時の 注意点） 舟こぎあそび、膝のせあそび、腕あそび	事前：配布した資料を通読しておくこと。（45分） 事後：配布した資料をまとめ、歌と遊びを復習する。（45分）
7	わらべうたの実践とタッチケア（触感覚をくすぐるあそび） （親子用・子育て支援用）	事前：配布した資料を通読しておくこと。（45分） 事後：配布した資料をまとめ、歌と遊びを復習する。（45分）
8	道具を使ったわらべうたの実践 ※テーマ別に小グループでの実践、発表	事前：自前の手袋人形の準備と配布した資料の通読。（45分） 事後：配布した資料をまとめ、歌と遊びを復習する。（45分）
9	子どもに聞かせる「聞かせうた」 （こもりうた）（季節のうた）（行事のうた）	事前：配布した資料を通読しておくこと。（45分） 事後：配布した資料をまとめ、歌と遊びを復習する。（45分）
10	わらべうたの実践と音楽的ねらい （拍とは）（リズムとは）（はやい、ゆっくりとは）	事前：配布した資料を通読しておくこと。（45分） 事後：配布した資料をまとめ、歌と遊びを復習する。（45分）
11	わらべうたの実践と音楽的ねらい （大小とは）（高低とは）（内的聴感とは）（音色の区別）	事前：配布した資料を通読しておくこと。（45分） 事後：配布した資料をまとめ、歌と遊びを復習する。（45分）
12	わらべうたの保育計画を考える ※第1回～12回の内容にてレポート課題提出を課す （具体的な要項は講義時に示す）	事前：配布した資料を通読しておくこと。（45分） 事後：第1回から12回までの資料をまとめる。 要領に従いレポートを作成する。（90分）
13	わらべうたの保育計画を考える ※子どもの年齢別に保育計画を考えるグループワーク	事前：配布した資料を通読しておく、指導案の準備。（45分） 事後：グループワークでの内容を基に指導案を作成する。（45分）
14	年齢別わらべうたの保育計画の実践 ※グループ別発表を行う	事前：グループ発表の準備、作成した指導案のコピー。（45分） 事後：配布した資料をまとめ、歌と遊びを復習する。（45分）
15	まとめ／保育とは	事前：配布した資料を通読しておくこと。（45分） 事後：配布した資料をまとめ、講義全体を復習する。（45分）

### 準備学習・事後学習等についての補足説明

- ・配布された資料曲は各自でファイル等を準備し、まとめておくこと。
- ・配布資料は第13回の講義で使用し、ファイリングできているか確認します。

### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

授業への取り組み姿勢	実技	レポート・提出物	講義資料の整理とまとめ
40%	30%	20%	10%

### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
使用しない（都度資料を配布）		

**参考書又は参考資料等**

- ・「幼稚園教育要領〈平成29年告示〉」文部科学省（フレーベル館）
- ・「保育所保育指針〈平成29年告示〉」厚生労働省（フレーベル館）
- ・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領〈平成29年告示〉」内閣府、文部科学省、厚生労働省（フレーベル館）
- ・「いっしょにあそぼうわらべうた」（0,1,2歳児編）（3,4歳児編）（5歳児クラス編）（明治図書）
- ・「幼稚園・保育園のわらべうたあそび」（春、夏）（秋、冬）（明治図書）
- ・「わらべうたと子ども」（古今社）
- ・「わらべうたと子どもの育ち」（エイデル研究所）
- ・「遊びの指導（乳幼児編）」（幼少年教育研究所）

**その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕**

- ・実際に体を動かし、歌いながら遊ぶことを通して学ぶ。
- ・上述のとおり。配布された資料曲は事前に目を通し、事後必ず復習してこること。
- ・動きやすい服装をして授業にのぞむこと。（ヒール不可）  
（コロナ関係、実習等により一部授業変更あり）

**担当教員の連絡先等**

担当教員E-mail

その他



授 業 科 目 名	音楽演習(合奏)		
担 当 者 名	田中 秀一	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2200082	授 業 形 態	演習
学 年	2年	開 講 期	2024年度後期
単 位 数	1	履 修	保育士選択
ナ ン バ リ ン グ	DP3-2-B		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	楽譜の読み方等を講義を通して理解し、演習（合奏）を通して音楽の三要素であるリズム・メロディー・ハーモニーの適切な表現方法を学びます。また、わかりやすい指揮の方法も指導する講義です。担当者は保育園園長（現職）であり、各地で保育士、幼稚園教諭の音楽指導を行っています。		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	保育現場で園児で音楽を教える際に、的確な指導を行うための技能を養うことが講義の目的です。それぞれの乳幼児施設において、音楽面のリーダーシップを担える人材を育成したいと願っています。		
授 業 計 画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	楽典①音の長短・基礎リズム練習①	事前：テキストの「音の長短」を予習（60分） 事後：基礎リズム①を練習する（30分）	
2	楽典②音の高低・基礎リズム練習②	事前：テキストの「音の高低」を予習（60分） 事後：基礎リズム①を練習する（30分）	
3	楽典③音の強弱・基礎リズム練習①②復習	事前：テキストの「音の強弱」を予習（60分） 事後：基礎リズム練習①②を練習する（45分）	
4	鍵盤ハーモニカ演奏法①・指揮法基礎①二拍子	事前：楽譜を練習（45分） 事後：二拍子の指揮を練習（30分）	
5	鍵盤ハーモニカ演奏法②・指揮法基礎②三拍子	事前：楽譜を練習（45分） 事後：三拍子の指揮を練習（30分）	
6	鍵盤ハーモニカ演奏法③・指揮法基礎③四拍子	事前：楽譜を練習（45分） 事後：四拍子の指揮を練習（30分）	
7	鍵盤ハーモニカ演奏法④・指揮法基礎④複合拍子	事前：楽譜を練習（45分） 事後：複合拍子の指揮を練習（30分）	
8	鍵盤ハーモニカ演奏法① - ④・指揮法基礎① - ④ 復習	事前：楽譜を練習（60分） 事後：① - ④指揮を練習（45分）	
9	合奏法Ⅰ（楽曲A）・リズム練習応用①	事前：楽譜を練習（45分） 事後：リズム練習応用①（30分）	
10	合奏法Ⅰ（楽曲A）・リズム練習応用②	事前：楽譜を練習（45分） 事後：リズム練習応用②（30分）	
11	合奏法Ⅰ（楽曲A）・リズム練習応用③	事前：楽譜を練習（45分） 事後：リズム練習応用③（30分）	
12	合奏法Ⅱ（楽曲B）・指揮法実践①	事前：楽譜を練習（45分） 事後：指揮法実践①（30分）	
13	合奏法Ⅱ（楽曲B）・指揮法実践②	事前：楽譜を練習（45分） 事後：指揮法実践②（30分）	
14	合奏法Ⅱ（楽曲B）・指揮法実践③	事前：楽譜を練習（45分） 事後：指揮法実践③（30分）	

15	合奏法Ⅰ・Ⅱ（楽曲A・B）・指揮法実践（まとめ）	事前：楽譜を練習（60分） 事後：指揮法実践① - ③（45分）
<b>準備学習・事後学習等についての補足説明</b>		
本講座は実技が中心となりますので、事前・事後の練習は不可欠です。受験生の習熟度に合わせて、繰り返し丁寧にゆっくりと練習してください。繰り返し練習することで、音楽の表現能力が確実に身につきます。		
<b>成績評価の方法〔評価項目と割合〕</b>		
定期試験	講義内実技試験（2回の予定）	レポート
40%	40%	20%
<b>使用テキスト</b>		
書籍名	著者	出版社
<b>参考書又は参考資料等</b>		
Freude2020（楽典基礎） 著者 田中秀一		
<b>その他</b> 〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕		
<b>担当教員の連絡先等</b>		
担当教員E-mail	その他	

授 業 科 目 名	保育内容（子どもと環境）		
担 当 者 名	本田 恵美子	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2200041	授 業 形 態	演習
学 年	2年	開 講 期	2024年度後期
単 位 数	1	履 修	保育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP3-2-B		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	幼稚園教育要領によると「子どもにとっての環境とは、好奇心や探求心を持って関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養うものである」と明記されている。この授業では、現役認定こども園副園長が日々の勤務状況をリアルタイムで反映する演習形式とし、学生や子どもたちが環境に関わる中での出会いやさまざまな自然環境に直接触れる体験を積み重ねながら、五感を通して「どのようなことを感じ・どのように考え・味わうことができるか」等、学生自ら企画し、理解を深めていく。その中で、自然環境の活かし方・環境構成・保育者の援助について、四季を通じた具体的実践例を基に、アクティブラーニングを取り入れながらその指導方法を学んでいく。本演習は、保育園・幼稚園等でキャリアのある教員によるものである。		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	1.身近な環境が子どもの育ちにどのような意味を持つのか学び、環境の重要性を理解する。 2.保育環境への深い知識を養うと共に、子どもの豊かで、多様な経験を支えるために、具体的な活動の展開と視点や課題等についての理解を深め実践力を身につけることができるようになる。 3.さまざまな実践例を踏まえながら、保育現場での資質能力を図っていく。		
授 業 計 画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	環境は子どもが学び育つための教科書 (人的環境・物的環境・自然環境・社会環境) …保育内容と子どもの学びや芽生えとの繋がりについて学ぶ	事前：シラバスを通読し、授業内容を知っておく。(45分) 事後：「子どもに必要な環境」についてまとめる。(45分)	
2	【春の自然物】 ・五感を使って春の自然を楽しむ ・生命や不思議との出会い (生き物の生態や植物の成長の様子)	事前：幼稚園教育要領(環境の領域)を通読し、指定した用語等を調べておく。(45分) 事後：自己評価へのフィードバックを活用しグループディスカッション等を行う。(45分)	
3	【夏の自然物】 ・自然物を多角的な視点で多様に生かす ・身近な物(水や土・砂)に目を向けて好奇心や探究心を育てる	事前：幼稚園教育要領(環境の領域)を通読し、指定した用語等を調べておく。(45分) 事後：自己評価へのフィードバックを活用しグループディスカッション等を行う。(45分)	
4	【秋の自然物】 ・秋の自然物を使っていろいろな遊びへの創造工夫	事前：幼稚園教育要領(環境の領域)を通読し、指定した用語等を調べておく。(45分) 事後：自己評価へのフィードバックを活用しグループディスカッション等を行う。(45分)	
5	【冬の自然物】 ・季節の変化に気付き自然現象(雪・氷)に親しむ ・一つの活動を豊かに広げる展開の仕方	事前：幼稚園教育要領(環境の領域)を通読し、指定した用語等を調べておく。(45分) 事後：自己評価へのフィードバックを活用しグループディスカッション等を行う。(45分)	

6	【春～冬の自然現象】 音や風の力 太陽や雲の動き	事前：幼稚園教育要領（環境の領域）を通読し、指定した用語等を調べておく。（45分） 事後：自己評価へのフィードバックを活用しグループディスカッション等を行う。（45分）
7	【行事①】 正月・節分など（日本の伝統文化について）	事前：幼稚園教育要領（環境の領域）を通読し、指定した用語等を調べておく。（45分） 事後：自己評価へのフィードバックを活用しグループディスカッション等を行う。（45分）
8	【行事②】 運動会・発表会など	事前：幼稚園教育要領（環境の領域）を通読し、指定した用語等を調べておく。（45分） 事後：自己評価へのフィードバックを活用しグループディスカッション等を行う。（45分）
9	行事を通じて子どもの活動を展開させる方法 「SDGsの実践事例」（オンラインを活用して）	事前：配布された資料を通読し、指定した課題を調べておく。（45分） 事後：オンライン授業の内容をまとめ、アクティブのために予習しておく。（45分）
10	「SDGsの実践事例」（アクティブラーニング）を通じて幼児の姿や教師の援助を学ぶ（実践指導について） 1年生「教育方法論」との合同授業①	事前：活動のねらいや内容について幼稚園教育要領を基本に調べておく。（45分） 事後：アクティブラーニングの内容について情報機器を使ってまとめる。（45分）
11	「SDGsの実践事例」（アクティブラーニング）を通じて幼児の姿や教師の援助を学ぶ。（幼児期までに育ってほしい10の姿） 1年生「教育方法論」との合同授業②	事前：活動の中で育まれる10の姿について幼稚園教育要領を基本に調べておく。（45分） 事後：アクティブラーニングの内容について情報機器を使ってまとめる。（45分）
12	「SDGsの実践事例」の発表と評価Ⅰ 1年生「教育方法論」との合同授業③	事前：発表内容を整理し、役割分担を決めて発表に備える。（45分） 事後：各グループの発表に関する評価や質疑応答の内容をまとめる。（45分）
13	「SDGsの実践事例」の発表と評価Ⅱ 1年生「教育方法論」との合同授業④	事前：発表内容を整理し、役割分担を決めて発表に備える。（45分） 事後：各グループの発表に関する評価や質疑応答の内容をまとめる（45分）
14	発表と評価（発表評価を互いに伝え、今後の資質向上に繋げていく） 全体のまとめ（保育者としての資質・能力について） 1年生「教育方法論」との合同授業⑤	事前：発表内容を整理し、役割分担を決めて発表に備える。（45分） 事後：各グループの発表に関する評価や質疑応答の内容をまとめる（45分）
15	「子どもと環境」を通じて学んだことの振り返り・まとめ	事前：1～14回までの内容を振り返り、ノートをまとめておく。（45分） 事後：15回を含めた講義内容を振り返り、自分の考えをまとめる。（45分）

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

- ・地域の公園などに行き、秋の草花を観察する。（自己研修）
- ・身近な素材や自然物を活用して玩具を作り、感じたことをまとめる。

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	授業への取り組み姿勢・提出物等	「SDGsの実践事例」の取り組みや発表	
70%	20%	10%	
<b>使用テキスト</b>			
書籍名	著者	出版社	
幼稚園教育要領解説〈平成29年告示〉	文部科学省	フレーベル館	
<b>参考書又は参考資料等</b>			
1. 文部科学省編『幼稚園教育要領〈平成29年告示〉』フレーベル館 2. 厚生労働省編『保育所保育指針〈平成29年告示〉』フレーベル館			
<b>その他</b> 〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕			
・講義に意欲的に参加し、具体的事例を通して実践力を身につける。			
<b>担当教員の連絡先等</b>			
担当教員E-mail	その他		
	講義終了後は、非常勤講師控室にて対応します。		

授 業 科 目 名	乳児保育Ⅰ		
担 当 者 名	川副 さわ子	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド	2200044	授 業 形 態	講義
学 年	1年	開 講 期	2024年度前期
単 位 数	2	履 修	保育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP3-1-A		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	平成30年保育所保育指針では未満児の保育の関する記載が充実された。生命の誕生から3歳未満児の子どもの保育をどのように捉えその意義や重要性について理解し、保育の質、専門的の向上へ繋がるかについて解説する。保育士として実務経験で得た具体的な事例を交えながら、多様な保育の場における乳児保育の現状や課題について説明する。また、保育の歴史の変遷を学ぶことで、現在の子どもの置かれている社会状況を理解し、各関係機関、地域との連携・授業ではテキスト、パワーポイントを使い適時課題プリントを配布する。グループワーク等を通じて、見解やコメントを求めることがある。		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	1. 乳児保育の歴史の変遷、及び乳児保育の意義や目的等について理解する。 2. 保育所、乳児院など多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について説明できる。 3. 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解する。 4. 乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する。		
授 業 計 画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	乳児保育の意義、目的、及び生命の重要性について理解する	事前：テキストのp2～p4を通読しておく (90分) 事後：授業を振り返りまとめておく (90分)	
2	乳児保育の歴史の変遷について学ぶ	事前：テキスト・配布資料を通読しておく (90分) 事後：授業全体をまとめて復習しておく (90分)	
3	乳児保育の役割と機能について学ぶ	事前：テキスト・配布資料を通読しておく (90分) 事後：授業全体をまとめて復習しておく (90分)	
4	乳児保育における養護及び教育について理解する	事前：テキスト・配布資料を通読しておく (90分) 事後：授業全体をまとめて復習しておく (90分)	
5	乳児保育及び子育て家庭に対する支援をめぐる社会的状況と課題について学ぶ	事前：テキスト・配布資料を通読しておく (90分) 事後：授業全体をまとめて復習しておく (90分)	
6	保育所における乳児保育を学ぶ	事前：テキスト・配布資料を通読しておく (90分) 事後：授業全体をまとめて復習しておく (90分)	
7	保育所以外の乳児保育施設について学ぶ	事前：テキスト・配布資料を通読しておく (90分) 事後：授業全体をまとめて復習しておく (90分)	
8	家庭的保育等における乳児保育について学ぶ	事前：テキスト・配布資料を通読しておく (90分) 事後：課題に取り組み次回レポート提出する (90分)	
9	乳児の発育、発達（生命・愛着）について学ぶ	事前：テキスト・配布資料を通読しておく (90分) 事後：授業全体をまとめて復習しておく (90分)	
10	3歳未満児の発育・発達を学ぶ	事前：テキスト・配布資料を通読しておく (90分) 事後：授業全体をまとめて復習しておく (90分)	
11	3歳未満児の生活と環境について学ぶ	事前：テキスト・配布資料を通読しておく (90分) 事後：授業全体をまとめて復習しておく (90分)	
12	3歳未満児の遊びと環境について学ぶ	事前：テキスト・配布資料を通読しておく (90分) 事後：授業全体をまとめて復習しておく (90分)	

13	乳児保育の計画、記録、評価の意義について学ぶ	事前：テキスト・配布資料を通読しておく (90分) 事後：授業全体をまとめ復習しておく (90分)
14	保護者、職員間の連携・協働について理解する	事前：テキスト・配布資料を通読しておく (90分) 事後：授業全体をまとめ復習しておく (90分)
15	自治体や地域の関係機関との連携・協働を理解する	初回から14回までの授業内容を復習しておく (18分)

### 準備学習・事後学習等についての補足説明

テキスト及び配布プリントを活用し事前事後実習に取り組むこと。実社会の中で生活している子供や母親の状況に関心を寄せつつ、授業で得た知識や内容をもとに自ら積極的に考察を深めること。

配布プリントはファイリングしておくこと。

### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	課題・レポート	授業の取り組み姿勢	
70%	20%	10%	

### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
はじめて学ぶ 乳児保育 第三版	志村聡子 編著	同文書院

### 参考書又は参考資料等

近藤幹生「保育とはなにか」岩波新書、2016年。保育学会編「保育学講座シリーズ」、2016年。保育所保育指針解説平成30年 厚生労働省編。 他、必要に応じて紹介します。

### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

授業計画の各週の内容は予定であり、進捗や状況に応じて変更がでる可能性があります。

課題、レポートについての総評、コメントは適宜行いフィードバックします。

携帯は講義中、許可した場合のみ使用すること。

### 担当教員の連絡先等

担当教員E-mail	その他
	授業の前後10分、及び授業日は講師室に在席の時に質問を受けます。

授 業 科 目 名	乳児保育 II		
担 当 者 名	岩橋 敏子	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド	2200045	授 業 形 態	演習
学 年	1年	開 講 期	2024年度後期
単 位 数	1	履 修	保育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP5-1-B		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>乳児保育 I での基礎理論の知識や理解と関連させながら、保育の場における実践を想定し学びを深める。長年、保育所（幼児教育施設）施設に勤務してきた経験をもとに、保育技術や子どもへの配慮などについて事例を交えて解説する。乳児が心身ともに健やかに成長するために必要な具体的援助の実際を身につけ、更に高い専門性とはどのようなものか演習を通して考察する。</p> <p>特に、乳児保育は養護と教育を一体的に展開する必要性があるため、子どもの発育、発達を具体的にイメージしながら、3歳未満児の生活や遊びと結び付けて講義する。</p> <p>・授業ではテキスト、視聴覚教材、パワーポイントを使い、適時プリントを配布する。ベビードール（実寸大人形）等を使い具体的に実践する。グループワーク等を通して、演習についての見解やコメントを求めることがある。</p>		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>子どもと保育士等との関係の重要性について理解し、応答的、受容的な関わりについて具体的にイメージできる。</li> <li>子どもの主体性を尊重する関わりや、自己の育ちを援助する必要性について理解できる。</li> <li>3歳未満児の発育・発達を踏まえた援助や関わりの基本的な考えについて理解し、実演できる。</li> <li>養護と教育を一体的に展開することを踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について具体的に理解できる。</li> <li>乳児の健康、安全を含めた、様々な場面での配慮の必要性について説明できる。</li> </ol>		
授 業 計 画	準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 等 ) の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間		
1	子どもと保育士の関係の重要性について学ぶ (抱っこによる愛着、信頼、受容)	事前：テキストの〈実践編〉を通読しておく (20分) 復習：授業全体をまとめ復習しておく (25分)	
2	個々の子どもに応じた援助や関わりについて学ぶ	事前：テキスト・配布資料を通読しておく (20分) 事後：授業全体をまとめ復習しておく (25分)	
3	乳児保育における配慮の実際について学ぶ	事前：テキスト・配布資料を通読しておく (20分) 事後：授業全体をまとめ復習しておく (25分)	
4	子どもの主体性の尊重と自己の育ちについて理解する	事前：テキスト・配布資料を通読しておく (20分) 事後：授業全体をまとめ復習しておく (25分)	
5	3歳未満児の発育、発達を踏まえた援助の実際① (第1期～第3期の子ども)	事前：テキスト・配布資料を通読しておく (20分) 事後：授業全体をまとめ復習しておく (25分)	
6	3歳未満児の発育、発達を踏まえた援助の実際② (第4期～第6期の子ども)	事前：テキスト・配布資料を通読しておく (20分) 事後：授業全体をまとめ復習しておく (25分)	
7	3歳未満児の発育、発達を踏まえた援助の実際③ (第7期～第8期の子ども)	事前：テキスト・配布資料を通読しておく (20分) 事後：授業全体をまとめ復習しておく (25分)	
8	3歳未満児の発育、発達 言葉について理解を深める	事前：テキスト・配布資料を通読しておく (20分) 事後：授業全体をまとめ復習しておく (25分)	
9	3歳未満児の遊びと援助の実際を学ぶ① (製作)	事前：テキスト・配布資料を通読しておく (20分) 事後：授業全体をまとめ復習しておく (25分)	



10	3歳未満児の遊びと援助の実際を学ぶ②（発表）	事前：テキスト・配布資料を通読しておく（20分） 事後：授業全体をまとめ復習しておく（25分）
11	子どもの心身の健康や安全と情緒について学ぶ	予習：テキストの授業範囲を通読しておく（20分） 復習：授業全体をまとめ復習しておく（25分）
12	集団での保育と生活における配慮について学ぶ	事前：テキスト・配布資料を通読しておく（20分） 事後：授業全体をまとめ復習しておく（25分）
13	環境の変化や移行期に対する配慮を学ぶ	事前：テキスト・配布資料を通読しておく（20分） 事後：授業全体をまとめ復習しておく（25分）
14	長期的な指導計画と短期的な指導計画の作成	事前：テキスト・配布資料を通読しておく（20分） 事後：授業全体をまとめ復習しておく（25分）
15	個別的な指導計画、集団の指導計画の作成	初回から14回までの授業内容を復習しておく（45分）

### 準備学習・事後学習等についての補足説明

プリントを適宜配布するので、テキストと並行し事前事後学習として取り組むこと。プリント、参考資料は各自ファイリングして提出できるようにしておく。乳児や母親（保護者）を取り巻く社会状況に関心をよせ、ニュースや新聞記事などから得た情報を考察し考えをまとめておくこと。

### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	発表・課題及びクリアファイル提出	授業の取り組み姿勢	
60%	20%	20%	

### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
はじめて学ぶ 乳児保育 第三版	志村聡子 編著	同文書院

### 参考書又は参考資料等

保育所保育指針解説 平成30年 厚生労働省 他、必要に応じて紹介します。

### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

授業計画の各週の内容は予定であり、状況や進度に応じて変更がでる可能性があります。

演習で使用する準備品や備品は、忘れないように持参し大切に扱うこと。

課題、レポートについての総評、コメントは適宜行いフィードバックします。

### 担当教員の連絡先等

担当教員E-mail	その他
	授業の前後10分。授業日は講師室に在席の時に質問を受けます。

授 業 科 目 名	子どもの健康と安全		
担 当 者 名	仲野 典子	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2200031	授 業 形 態	演習
学 年	1年	開 講 期	2024年度後期
単 位 数	1	履 修	保育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP3-1-B		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>子どもの健康と安全を守り、豊かな心身の発育・発達を助けることは、保育者が行っている毎日の育児の中でなされているが、より専門的な機能は保育士や幼稚園教諭に期待される。そこで、子どもの健康状態を把握し、異常の早期発見や健康教育などについて、実践のできる知識と技術を学ぶことを目的とする。授業は、現役の見守り士が現場の経験を活かし、講義において援助方法の根拠や手順などについて学び、さらに、演習を通して援助方法のあり方を深めていく。</p>		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生命の大切さを理解し、子どもの健やかな成長を手助けすることができる。</li> <li>2. 健全な子どもを理解し、子どもの健康活動の場を理解することができる。</li> <li>3. 子どもの特性を理解し、乳幼児期の健康状態を正確に観察・記録できる。</li> <li>4. 子どもの疾病を理解し、その予防及び救急時の対応について理解することができる。</li> </ol>		
授 業 計 画	準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 等 ) の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間		
1	子どもの健康とは：小児期の分類、健康指針と観察・健康及び安全の管理の実施体制：保健活動計画、児童虐待等	事前：テキスト指定範囲を通読（20分） 事後：配布資料小テストで復習（25分）	
2	精神発達機能と乳児健診：保健的観点を踏まえた保健環境及び援助：障害のある子どもの対応（予防接種、母子手帳も含む）	事前：テキスト指定範囲を通読（20分） 事後：配布資料小テストで復習（25分）	
3	形態的成長と評価：乳幼児の身体計測・全身観察（演習含む）	事前：テキスト指定範囲を通読（20分） 事後：配布資料小テストで復習（25分）	
4	子どもの体調不良に対する適切な対応：バイタルサイン（体温・呼吸・脈拍・血圧・意識状態）の意義と測定（演習含む）	事前：テキスト指定範囲を通読（20分） 事後：配布資料小テストで復習（25分）	
5	事故防止・安全対策（危険管理・災害への備え・発熱時の対応）チャイルドマウス作成	事前：テキスト指定範囲を通読（20分） 事後：配布資料小テストで復習（25分）	
6	応急処置及び蘇生法（誤飲時の処置・演習含む）	事前：テキスト指定範囲を通読（20分） 事後：配布資料小テストで復習（25分）	
7	感染対策：手袋、マスク、エプロン装着・嘔吐物の処理（演習含む）	事前：テキスト指定範囲を通読（20分） 事後：配布資料小テストで復習（25分）	
8	睡眠：乳幼児の抱き方・背負い方・寝かせ方・あやし方（演習含む）	事前：テキスト指定範囲を通読（20分） 事後：配布資料小テストで復習（25分）	
9	排泄の世話：乳幼児のおむつのあて方、交換・トイレトレーニングの必要性（演習含む）	事前：テキスト指定範囲を通読（20分） 事後：配布資料小テストで復習（25分）	
10	食事の与え方：母乳・人工栄養・調乳・授乳（演習含む）	事前：テキスト指定範囲を通読（20分） 事後：配布資料小テストで復習（25分）	
11	食事の与え方：離乳食・食習慣のしつけ方・食物アレルギー 与薬・箸の持ち方（演習含む）	事前：テキスト指定範囲を通読（20分） 事後：配布資料小テストで復習（25分）	

12	身体の清潔：沐浴の意義と観察の必要性（演習含む）	事前：テキスト指定範囲を通読（20分） 事後：配布資料小テストで復習（25分）
13	歯の健康・手洗い指導（演習含む）	事前：テキスト指定範囲を通読（20分） 事後：配布資料小テストで復習（25分）
14	事故感染予防などの紙芝居、絵本読み（ポスター作成）	事前：テキスト指定範囲を通読（20分） 事後：配布資料で復習（25分）
15	チャイルドビジョン作成・講義についてのまとめ	事前：テキスト指定範囲を通読（20分） 事後：講義全体を復習（25分）

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

・予習、復習をしましょう。演習時にはエプロンを持参してください。

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験			
100%			

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
子どもの健康と安全	中根淳子、佐藤直子編著	ななみ書房

#### 参考書又は参考資料等

授業の中で参考書や資料（DVD）を紹介、配布する。

#### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

・上記の計画は本授業のガイドラインである。授業の進行状況により変更する場合もある。授業の最後に小テスト予定

#### 担当教員の連絡先等

担当教員E-mail	その他
	講義の前後10分間は質問等対応可。

授 業 科 目 名	障害児保育Ⅰ		
担 当 者 名	花田 栄子	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2200046	授 業 形 態	演習
学 年	1年	開 講 期	2024年度前期
単 位 数	1	履 修	保育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP3-1-A		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	障害児保育、特別支援教育を学ぶ意義と理念について考え、障害のとらえ方や障害児受け入れの考え方の変遷、保育における発達評価の大切さ、実践がおこなわれる場などについて学ぶ。障害児者支援施設での職務経験や保育所、幼稚園の訪問支援を担当した教員が、保育現場で必要な専門的知識を講義する。子どもの特性や、ニーズに即した適切な支援方法を理解し、事例を通して必要な支援方法について学び「課題解決型学習」をグループワークで行う。		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	1 障害児保育の歴史及び、現在の包括的な統合保育について理解する。 2 障害の特性や発達について理解し、保育における発達の援助について説明できる。 3 グループワークで気になる子どもの発達の評価と保育における援助を説明できる。		
授 業 計 画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	オリエンテーション 第Ⅰ部 障害児保育・特別支援教育を支える理念 なぜ障害児保育・特別支援教育を学ぶのか 「障害がある」とは 特別支援教育とは	事前：テキストを予習する (30分) 事後：講義の内容をテキストと資料で復習する (30分)	
2	障害のある子どもへの保育とは 障害保育の歴史の変遷	事前：テキストの範囲を読んでおく (30分) 事後：講義の内容をテキストと資料で復習する (30分)	
3	発達の見方と気になる発達の評価	事前：テキストの範囲を読んでおく (30分) 事後：講義の内容をテキストと資料で復習する (30分)	
4	発達の見方と気になる発達の評価 障害児保育・特別支援教育の対象と支援の場	事前：テキストの範囲を読んでおく (30分) 事後：講義の内容をテキストと資料で復習する (30分)	
5	第Ⅱ部 障害の理解と保育における発達の援助 知的障害の理解と保育	事前：テキストの範囲を読んでおく (30分) 事後：講義の内容をテキストと資料で復習する (30分)	
6	知的障害が疑われる子どもへの保育的配慮 肢体不自由	事前：テキストの範囲を読んでおく (30分) 事後：講義の内容をテキストと資料で復習する (30分)	
7	脳性まひ 重症心身障害とは 医療的ケアとは 肢体不自由・重症心身障害のある子どもの保育	事前：テキストの範囲を読んでおく (30分) 事後：講義の内容をテキストと資料で復習する (30分)	
8	聴覚障害の理解と保育 視覚障害の理解と保育	事前：テキストの範囲を読んでおく (30分) 事後：講義の内容をテキストと資料で復習する (30分)	
9	視覚障害 言語障害 言語障害の理解と保育	事前：テキストの範囲を読んでおく (30分) 事後：講義の内容をテキストと資料で復習する (30分)	
10	身体感覚の偏りと不器用さ 五感の偏りへの対応と援助	事前：テキストの範囲を読んでおく (30分) 事後：講義の内容をテキストと資料で復習する (30分)	
11	気になる子どもと発達障害 自閉症スペクトラム症の理解と保育	事前：テキストの範囲を読んでおく (30分) 事後：講義の内容をテキストと資料で復習する (30分)	
12	学習障害の理解と保育	事前：テキストの範囲を読んでおく (30分) 事後：講義の内容をテキストと資料で復習する (30分)	

13	注意欠如多動症の理解と保育	事前：テキストの範囲を読んでおく（30分） 事後：講義の内容をテキストと資料で復習する（30分）
14	多様な支援を必要とする子ども 外国につながる子どもの理解と保育	事前：テキストの範囲を読んでおく（30分） 事後：講義の内容をテキストと資料で復習する（30分）
15	子どもの貧困の理解と保育 前期の復習・定期試験について	事前：テキストの範囲を読んでおく（30分） 事後：前期講義・テキスト等で復習する（30分）
<b>準備学習・事後学習等についての補足説明</b>		
子どもの一般的な発達の特徴を理解しておくことが、子どもの観察する力に結びつき適切な支援につながります。		
<b>成績評価の方法〔評価項目と割合〕</b>		
定期試験	演習課題	
90%	10%	
<b>使用テキスト</b>		
書籍名	著者	出版社
実践に生かす 障害児保育・特別支援教育	前田康弘編著 立元真・ 中井靖・小笠原明子	萌文書林
<b>参考書又は参考資料等</b>		
講義中に適宜資料を配布し、参考図書も適宜紹介します。		
<b>その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕</b>		
子どもの支援方法は一人ひとり違います。専門的知識を理解するために、テキストを読み込んでください。 講義後、同じ列の学生さんとグループ討議をすることもあります。自分だったらどうするのか、自分の意見を発言します。順番に記録係を担当してグループ討議で出た意見を記録します。記録した内容は代表3つのグループの記録係が発表します。討議の時、分からないことがあれば質問事項を含んでもいいです。		
<b>担当教員の連絡先等</b>		
担当教員E-mail	その他	
	1限目の受講生は授業の前10分、2時限目の受講生は、授業後10分は、教室に待機しており質問対応可。	

授 業 科 目 名		障害児保育Ⅱ	
担 当 者 名	花田 栄子	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2200047	授 業 形 態	演習
学 年	1年	開 講 期	2024年度後期
単 位 数	1	履 修	保育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP3-1-B		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	「障害児保育Ⅰ」で学んだことをベースに、障害児者支援施設での職務経験を有する教員が、保育現場に必要な専門的知識を講義する。その中で、家庭支援をはじめ、専門機関、学校、医療機関、地域等との連携をどのように進めていくかを学ぶ。また、つまずきのある子どもの特性に合わせた効果的なコミュニケーションの方法や、子どもの支援方法について、事例を通して「課題解決型学習」をグループワークで行う。		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 事例を通して、困った行動の背景を理解する。</li> <li>2 生活場面での、具体的支援を理解する。</li> <li>3 自分のコミュニケーションを見直し、子どもが理解できるコミュニケーションがとれる。</li> <li>4 保育に必要な個別指導計画や他機関の情報を含んだ個別支援計画の必要性を理解する。</li> <li>5 保育実習で、気になる子どもとの出会いの中で学んだことを活かす。</li> <li>6 保護者の気持ちを理解する。</li> <li>7 保育現場でのチームワーク、他の専門機関との連携の必要性を理解する。</li> </ol>		
授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 等 ) の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間	
1	前期の振り返り 第Ⅲ部 障害児保育・特別支援教育の実際 保育の計画を立てる前に	事前：前期の内容を復習する（30分） 事後：講義の内容をテキスト・資料で復習する（30分）	
2	保育の計画の作成 子どもの様子の記録 個別の指導計画 実施評価の活用	事前：テキストの範囲を読んでおく（30分） 事後：講義の内容をテキストと資料で復習する（30分）	
3	子どもと外界とのやりとり 子どもの自発性と保育の環境 外界とかがわる基盤の力 外界とのかかわりの拡がり	事前：テキストの範囲を読んでおく（30分） 事後：講義の内容をテキストと資料で復習する（30分）	
4	かかわりが拡がらない子どもの理解と援助 かかわりを拡げる保育者の援助	事前：テキストの範囲を読んでおく（30分） 事後：講義の内容をテキストと資料で復習する（30分）	
5	子どもの世界を拡げる保育者のかかわり	事前：テキストの範囲を読んでおく（30分） 事後：講義の内容をテキストと資料で復習する（30分）	
6	集団保育における配慮	事前：テキストの範囲を読んでおく（30分） 事後：講義の内容をテキストと資料で復習する（30分）	
7	職員間で協力してかかわる 情報共有の方法	事前：テキストの範囲を読んでおく（30分） 事後：講義の内容をテキストと資料で復習する（30分）	
8	事例検討会の進め方	事前：テキストの範囲を読んでおく（30分） 事後：講義の内容をテキストと資料で復習する（30分）	
9	第Ⅳ部 家庭および関係機関との連携 子どもに障害が疑われたときの保護者の気持ち	事前：テキストの範囲を読んでおく（30分） 事後：講義の内容をテキストと資料で復習する（30分）	

10	保護者や関係機関との連携による支援	事前：テキストの範囲を読んでおく（30分） 事後：講義の内容をテキストと資料で復習する（30分）
11	健康診査制度の理解	事前：テキストの範囲を読んでおく（30分） 事後：講義の内容をテキストと資料で復習する（30分）
12	発達相談と療育資源の理解	事前：テキストの範囲を読んでおく（30分） 事後：講義の内容をテキストと資料で復習する（30分）
13	障害のある子どもの就学先の理解 予防的介入としてのペアレント・トレーニング	事前：テキストの範囲を読んでおく（30分） 事後：講義の内容をテキストと資料で復習する（30分）
14	要録等と進学にかかわる連絡協議 就学相談説明会と就学相談 医療・保健の現状と課題 園と専門機関の連携による福祉・教育支援	事前：テキストの範囲を読んでおく（30分） 事後：講義の内容をテキストと資料で復習する（30分）
15	発達が気になる子どもの早期支援の例 後期のまとめ・定期試験について	事前：テキストの範囲を読んでおく（30分） 事後：後期講義・テキスト等で復習する（30分）

### 準備学習・事後学習等についての補足説明

子どもの一般的な発達の特徴を理解しておくことが、子どもの観察する力に結びつき適切な支援につながります。

### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	演習課題		
90%	10%		

### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
実践に生かす障害児保育・特別支援教育	前田康弘編著 立元真・ 中井靖・小笠原明子	萌文書林

### 参考書又は参考資料等

講義中に適宜資料を配布するとともに、適宜参考図書を紹介します。

### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

子どもの支援方法は、一人ひとり違います。専門的知識を理解するために、教科書を読み込んで下さい。  
講義後、同じ列の学生さんとグループ討議をすることもあります。自分だったらどうするのか、自分の意見を発言します。順番に記録係を担当してグループ討議で出た意見を記録します。記録した内容は代表3つのグループの記録係が発表します。討議の時、分からないことがあれば質問事項を含んでもいいです。

### 担当教員の連絡先等

担当教員E-mail	その他
	1限目の受講生は授業の前10分、2時限目の受講生は、授業後10分は、教室に待機しており質問対応可。

授 業 科 目 名	社会的養護Ⅱ		
担 当 者 名	竹並 正宏、田中 文佳	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド	2200048	授 業 形 態	演習
学 年	2年	開 講 期	2024年度前期
単 位 数	1	履 修	保育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP5-2-A		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>児童の権利擁護と保育士の倫理及び責務を確認し、施設養護、家庭養護の具体的な実践方法を学ぶ。また、子どもとその家族を支えるための様々な機関の理解、地域連携の必要性、ソーシャルワークの手法、虐待の防止について理解を深める。講義と演習を通して、保育士として、子どもを取り巻く環境を的確に判断し最善の利益につながる実践に必要な基礎的技術を習得する。講義では、社会的養護Ⅰの内容を踏まえ、様々な演習に取り組んでいく。個別支援計画の作成、日常生活支援方法、治療的支援や自立支援に関する事例分析、評価、記録の演習を実施する。</p>		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<p>1. 社会的養護における児童の権利擁護及び保育士の倫理、責務について理解している。</p> <p>2. 施設養護と家庭養護の特性を踏まえ、子どもを取り巻く環境の現状と課題及び家庭支援や地域連携の重要性を理解している。</p> <p>3. 個々の児童に応じた支援計画の作成、日常生活の支援、治療的支援、自立支援等に関する基礎的な知識を技術を習得している。</p> <p>4. ソーシャルワーク実践の知識、技術に関する基礎的内容を習得している。</p>		
授 業 計 画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	社会的養護の基礎理解 社会的養護の理念 社会的養護の体系	事前：テキストの該当内容を読む（15分） 事後：講義内容の見直し（30分）	
2	社会的養護における支援内容 施設養護の展開、インケア 家族支援	事前：テキストの該当内容を読む（15分） 事後：講義内容の見直し（30分）	
3	支援計画と記録・評価 自立支援計画、記録、評価	事前：テキストの該当内容を読む 確認テストの準備（25分） 事後：講義内容の見直し（20分）	
4	社会的養護に関わる専門的技術 保育士の役割と倫理 社会的養護と相談援助	事前：テキストの該当内容を読む（15分） 事後：講義内容の見直し（30分）	
5	社会的養護の実際（1）－1 〈施設養護〉 乳児院の事例 母子生活支援施設の事例	事前：テキストの事例を確認する（15分） 事後：演習内容のレポートを作成する（30分）	
6	社会的養護の実際（1）－2 児童養護施設の事例 地域小規模児相養護施設の事例	事前：テキストの事例を確認する（15分） 事後：演習内容のレポートを作成する（30分）	
7	社会的養護の実際（1）－3 児童心理治療施設の事例 児童自立支援施設の事例	事前：テキストの事例を確認する（15分） 事後：演習内容のレポートを作成する（30分）	



8	社会的養護の実際（１）－４ 自立支援ホームの事例 児童家庭支援センターの事例 NPOによるアウトリーチ型の子ども・若者支援 居場所づくりの事例	事前：テキストの事例を確認する（15分） 事後：演習内容のレポートを作成する（30分）
9	社会的養護の実際（２）－１ 〈家庭養護〉 里親の事例 ファミリーホームの事例	事前：テキストの事例を確認する（15分） 事後：演習内容のレポートを作成する（30分）
10	社会的養護の実際（２）－２ 家庭養護支援の実際（視聴覚教材）	事前：配布資料の確認（15分） 事後：視聴覚学習のレポートを作成する（30分）
11	社会的養護の実際（３） 〈障害児支援〉 障害児入所施設の実例 児童発達支援センターの実例	事前：テキストの事例を確認する（15分） 事後：演習内容のレポートを作成する（30分）
12	対応が困難なケースの実際（１） 虐待を受けた子どもと加害の保護者 中高生の児童とのかかわり方（進路・非行）	事前：テキストの事例を確認する（15分） 事後：演習内容のレポートを作成する（30分）
13	様々なケースの実際（視聴覚教材） 子どもたちへの具体的なかかわり方 保育士の仕事内容	事前：配布資料の確認 確認テストの準備（30分） 事後：視聴覚学習のレポートを作成する 確認テストの振り返りをする（30分）
14	対応が困難なケースの実際（２） 施設退所後の支援 社会的養護における「真実告知」 児童養護施設の外国籍を持つ子どもの支援 地域、学校、施設の連携	事前：テキストの事例を確認する（15分） 事後：演習内容のレポートを作成する（30分）
15	社会的養護の課題と展望 社会的養護に関する政策動向 社会的養護の課題と展望	事前：確認テストの準備をする（30分） 事後：講義内容のレポートを作成する 確認テストの振り返りをする（30分）

### 準備学習・事後学習等についての補足説明

- ・事前にテキストの予習範囲を伝えますので、該当する内容に目を通すようにしてください。
- ・確認プリントや書き込み資料を配布します。テキストを確認しながら予習と復習に取り組んでください。

### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	課題提出	授業への取り組み姿勢	
70%	20%	10%	

### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
みらい×子どもの福祉ボックス 社会的養護Ⅱ	喜多 一憲・監修 堀場 澄矢・編集	株式会社みらい

### 参考書又は参考資料等

- ・社会福祉小六法2024（ミネルヴァ書房）
- ・学ぶ・分かる・みえるシリーズ〈保育と現代社会〉演習・保育と社会的養護実践－社会的養護Ⅱ－（株式会社みらい）

**その他**〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

- ・確認テストは成績に反映します。内容など分からないことがあればいつでも質問に来てください。
- ・レポートや提出物は期限を厳守してください。
- ・日頃からニュースや新聞等の様々な情報を意識するようにしましょう。

**担当教員の連絡先等**

担当教員E-mail	その他

授 業 科 目 名	子育て支援		
担 当 者 名	渡辺 典子	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2200049	授 業 形 態	演習
学 年	2年	開 講 期	2024年度後期
単 位 数	1	履 修	保育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP4-2-B		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>北九州市福祉事業団の保育士、所長として保育所、子育て支援センターで勤務した教員による演習。</p> <p>演習にあたっては今後の実践を踏まえ、以下の点に力点を置きながら進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子育て支援の意義・基本の理解。</li> <li>2. 子育て支援の内容や方法の多様性を理解するために、グループワークやグループディスカッション、プレゼンテーションを通し、学びを深めていく。</li> <li>3. 保育者の専門性に基づいた子育て支援の在り方について、実践、演習を基に学ぶ。</li> </ol>		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育者の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本提示等の支援（保育相談支援）について、その特性と展開を具体的に理解する。</li> <li>2. 保育者の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例等を通して具体的に理解する。</li> </ol>		
授 業 計 画	準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 等 ) の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間		
1	子育て支援、保護者支援とは	<p>事前：保育所保育指針 第4章子育て支援を通読しておく（30分）</p> <p>事後：保育所における子育て支援の内容についてまとめる（30分）</p>	
2	子育て支援 実践の場で ペープサート作り	<p>事前：ペープサート作りに必要なものを準備しておく（30分）</p> <p>事後：ペープサートを完成させる。ペープサートを使用する（60分）</p>	
3	子育て支援の基本	<p>事前：子どもの権利条約について調べ感じたことをまとめておく（30分）</p> <p>事後：グループワークの内容を振り返り整理する（30分）</p>	
4	子育て支援の基本	<p>事前：実習で子どもと関わって感じたことをまとめておく（30分）</p> <p>事後：グループワークの内容を振り返り整理する（15分）</p>	
5	子どもの保育とともに行う子育て支援（共感・受容・連携）	<p>事前：実習先で保育者の子ども、保護者の関わりをまとめておく（30分）</p> <p>事後：連絡ノートの記入について振り返る（30分）</p>	
6	子どもの保育とともに行う子育て支援 手作り絵本作成	<p>事前：手作り絵本作成に必要なものを準備しておく（60分）</p> <p>事後：手作り絵本を製作する（60分）</p>	
7	子どもの保育とともに行う子育て支援の展開（専門性）	<p>事前：面接技術について調べる（30分）</p> <p>事後：事例を復習する（30分）</p>	

8	子どもの保育とともに行う子育て支援の展開（専門性） 連絡ノート・先生の仕事	事前：実習時の保育者の言葉かけや関わりについて感じたことをまとめておく（30分） 事後：グループワークの内容を振り返り整理する・絵本作りをイメージする（60分）
9	保育者の専門性をいかして 絵本だより作成	事前：絵本だよりに必要な絵本、材料等、準備する（30分） 事後：絵本だよりを完成させる（60分）
10	子ども及び保護者の状況・状態の把握（事例から）	事前：文献等から保護者の相談事例をひとつ調べてくる（30分） 事後：自分のジェノグラム、エコマップを作成する（30分）
11	職員間の連携・協働	事前：自己表現方法や手遊びについて考えておく（30分） 事後：グループで発表したことを振り返る（30分）
12	障害のある子どもの家庭、特別な配慮を要する子どもの家庭に対する支援 子ども虐待の予防と対応	事前：実習園で障害児との関わりや保育士の対応について感じたことをまとめておく（30分） 事後：虐待について振り返る（30分）
13	多様な支援ニーズを抱える子育て支援を理解し、要保護児童等の家庭に対する支援	事前：多文化家庭について調べる（30分） 事後：プレゼンテーションの内容を振り返り整理する（30分）
14	社会との繋がりや、関係機関や専門職との連携・協働	事前：北九州市の子育てに関わる専門機関を調べる（30分） 事後：保育所との繋がりについて整理する（30分）
15	保育者としての姿勢・まとめ、重要事項の再確認	事前：質問内容をまとめておく30分） 事後：今まで学んだことを振り返る（60分）

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

- ・製作やおたより作成の必要なものは各自で準備しておく
- ・授業で学んだことを振り返り、実習の経験と繋がるようにする

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	授業への取り組み姿勢	提出物	レポート
60%	15%	15%	10%

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
使用しない		
※その他資料については、授業中に適宜配布する		

#### 参考書又は参考資料等

- 「子育て支援」西村重稀 青井夕貴（中央法規）
- 日常の保育を基盤とした「子育て支援」長島和代 石丸るみ 前原寛 鈴木彬子 山内洋子（萌文書林）
- 「子育て支援15のストーリーで学ぶワークブック」二宮 祐子（萌文書林）
- 「保育所保育指針ハンドブック 2017告示版」汐見稔幸（学研）
- 「北九州市保育士会 保育ハンドブック」北九州市保育士会
- 「保育者の関わり方の理論と実践」高山 静子（エイデル研究所）

#### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

- ・製作物・レポート等の提出期限を守ること
- ・振り返りは学んだ内容を具体的に記載すること

**担当教員の連絡先等**

担当教員E-mail

その他

--	--

授 業 科 目 名	保育実習 I		
担 当 者 名	吉田 千津子、井田 智美	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2200050	授 業 形 態	実習
学 年	1	開 講 期	2024 年度後期、2025 年度前期
単 位 数	4	履 修	保育士必修 認定ベビーシッター必修 レクレーション・インストラクター必修
ナンバリング	DP4-1-C		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p><b>【吉田】</b> 保育士は保育所や児童養護施設等の社会的な役割を具体的に理解した上で、子どもの観察や関わりを通してより一層理解を深めていくことが求められるため、既習の教科の内容を踏まえ、子どもや保護者への支援についても総合的に学ばなければならない。この実習では、保育所での実務経験を有する教員が実習における事例等を取り上げながら学生が疑問に感じたことや実習に臨む姿勢、取組むべき課題についてグループディスカッションを取り入れて考察する。また、保育の計画・観察・記録及び自己評価等について学んだ上で、保育士としての役割や職業人としての倫理観についての素地を習得する。</p> <p><b>【井田】</b> 保育士は保育所や児童養護施設等の社会的な役割を具体的に理解した上で、子どもの観察や関わりを通してより一層理解を深めていくことが求められる。その為、既習の教科の内容を踏まえ、子どもや保護者への支援についても総合的に学ばなければならない。また、保育の計画・観察・記録及び自己評価等について具体的に理解した上で、保育士としての役割や職業人としての倫理観についての素地を習得する。この科目では、社会福祉施設での職務経験を有する教員が、学生の状況に応じて、適切な実習が実施できるようにサポートしていく。</p>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<p><b>【吉田】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育所、児童養護施設等の役割や機能を具体的に理解する。</li> <li>2. 観察や子どもとの関わりを通して子どもへの理解を深める。</li> <li>3. 既習の教科の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に学ぶ。</li> <li>4. 保育の計画・観察・記録及び自己評価等について具体的に理解する。</li> <li>5. 保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学ぶ。</li> </ol> <p><b>【井田】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する。</li> <li>2. 観察や子どもとの関わりを通して子どもへの理解を深める。</li> <li>3. 既習の教科の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に学ぶ。</li> <li>4. 保育の計画・観察・記録及び自己評価等について具体的に理解する。</li> <li>5. 保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学ぶ。</li> </ol>		
授 業 計 画	〔学外実習の内容含む〕		
	<p><b>【吉田】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育所の役割と機能についての理解①：保育所の生活と一日の流れ</li> <li>2. 保育所の役割と機能についての理解②：保育所保育指針の理解と保育の展開</li> <li>3. 子ども理解①～子どもの観察とその記録による理解</li> <li>4. 子ども理解②～子どもの発達段階の理解（0・1・2歳児）</li> <li>5. 子ども理解③～子どもの発達段階の理解（3・4・5歳児）</li> <li>6. 子ども理解④～子どもへの援助や関わり</li> <li>7. 保育内容・保育環境についての理解と学習①～保育計画に基づく保育内容～</li> <li>8. 保育内容・保育環境についての理解と学習②～子どもの発達段階に応じた保育内容</li> </ol>		

- 9. 保育環境・保育環境についての理解と学習③～子どもの生活や遊びに応じた保育内容
- 10. 保育内容・保育環境についての理解と学習④～子どもの健康と安全
- 11. 保育の計画、観察、記録についての理解①～保育の計画と指導計画の理解と活用
- 12. 保育の計画、観察、記録についての理解②～記録に基づく査察・自己評価
- 13. 専門職としての保育士の役割と職業人としての倫理についての理解と学習①～保育士の業務内容
- 14. 専門職としての保育士の役割と職業人としての倫理についての理解と学習②～職員間の役割分担や連携
- 15. 専門職としての保育士の役割と職業人としての倫理についての理解と学習③～保育士の役割と職業倫理

**【井田】**

次のことについて、実習体験を通して理解を深めていく

1. 施設の役割と機能について理解する
  - (1) 施設における子どもの生活と保育士の援助や関わり
  - (2) 施設の役割や機能
2. 子どもへの理解を、注意深い観察によって深めていく
  - (1) 子どもの言動のみならず内面の観察と、その記録を実施する
  - (2) 個々の状態に応じた援助や関わりについて、最初は保育士の関わりを参考にしながら、自分自身も実践していく
3. 施設における子どもの生活と環境について、理解する
  - (1) 計画に基づく活動や援助を実施していることを理解する
  - (2) 子どもの心身の状況に応じた生活と対応がなされていることを理解する
  - (3) 子どもの活動と環境が、どのように設定されているのか理解する
  - (4) 子どもの状況に応じた健康管理や安全対策がなされていることを理解する
4. 計画と記録
  - (1) 支援計画の理解と活用
  - (2) 支援に基づく省察・自己評価ができるようになる
5. 専門職としての保育士の役割と倫理について理解する
  - (1) 保育士の業務内容を理解する
  - (2) 職員間の役割分担や連携がなされていることを学ぶ
  - (3) 保育士の役割と職業倫理について学ぶ

**準備学習・事後学習等についての補足説明**

**【吉田】**

- ・インターンシップを利用して、保育所及び児童福祉施設等でボランティア活動を行う
- ・基本的な生活習慣を身に付けるよう心がけてほしい  
(身だしなみ・挨拶・言葉遣い・時間厳守・報連相・体調管理等)

**【井田】**

- ・実習中に実施する設定保育の指導計画とそれに伴う製作物などは、事前に準備しておく
- ・インターンシップを利用して、保育所及び児童福祉施設等で実習前、あるいは実習後にボランティア活動を行うことは、事前・事後学習としての成果が高いため奨励される

**成績評価の方法〔評価項目と割合〕**

【吉田・井田】 実習先からの評価 実習記録・提出物	【吉田・井田】 オリエンテーション記録を 含むレポート提出		
【吉田・井田】 80%	【吉田・井田】 20%		

**使用テキスト**

書籍名	著者	出版社
【吉田・井田】 保育所保育指針解説(平成30年3月) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(平成30年3月)	【吉田・井田】 厚生労働省 編 内閣府 文部科学省 厚生労働省	【吉田・井田】 フレーベル館 フレーベル館

<b>【吉田・井田】</b> 保育所実習実施要項 施設実習実施要項	<b>【吉田・井田】</b> 東筑紫短期大学 編	
<b>参考書又は参考資料等</b>		
<b>その他〔実習に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて〕</b>		
<b>【吉田・井田】</b> ○一般社団法人全国保育士養成協議会「保育実習指導のミニマムスタンダード「協働」する保育士養成 Ver.2」 中央法規 2018 ○大豆生田啓友・三谷大紀・松山洋平編「保育・教育実習」ミネルヴァ書房 2020 ○民秋言 他編「施設実習(第3版)」北大路書房 2022 ○北九州市児童養護施設連絡協議会「実習の手引き」2016		
<b>担当教員の連絡先等</b>		
担当教員 E-mail	その他	



授 業 科 目 名	保育実習指導 I		
担 当 者 名	吉田 千津子、井田 智美	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2200051	授 業 形 態	演習
学 年	1 年	開 講 期	2024 年度後期、2025 年度前期
単 位 数	2	履 修	保育士必修
ナンバリング	DP4-1-C		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>学外で保育実習を受けるには、保育実習の意義・目的・実習内容を理解した上で保育者として自ら課題を明確にしていくことが求められる。実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務については必ず遵守しないとイケないものである。学生は、実習の計画、観察、記録、自己評価を行うとともに、事前事後指導を通して実習の総括を行う。その上で自分の新たな課題を明確にしていく保育者としての素地を習得する。この講義では、保育所や社会福祉施設での職務経験を有する教員が、事例や学生が実習で経験する出来事を取り上げ、疑問に感じたことなどをきめ細やかに説明すると共にグループディスカッション等で学生自身が共通理解していきけるように進めていく。</p>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育実習の意義・目的を理解する。</li> <li>2. 実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする。</li> <li>3. 実習施設における子どもの人権と最善の利益への考慮、プライバシーの保護と守秘義務について理解する。</li> <li>4. 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について理解する。</li> <li>5. 実習の事前指導を通して総括と自己評価を行い、課題や学習目標を明確にする。</li> </ol>		
授 業 計 画	準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及び必要時間		
1 保育所実習の意義・目的（吉田）	<p>事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（20分）          事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（25分）</p>		
2 施設実習の意義・目的（井田）	<p>事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（20分）          事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（25分）</p>		
3 保育所の役割と機能及び保育士の勤務内容（吉田）	<p>事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（20分）          事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（25分）</p>		
4 施設実習の基本的理解（井田）	<p>事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（20分）          事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（25分）</p>		
5 子どもの人権と最善の利益の考え方（吉田）	<p>事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（20分）          事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（25分）</p>		
6 保育所実習における達成すべき自己課題（吉田）	<p>事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（20分）          事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（25分）</p>		
7 施設の種類と概要（井田）	<p>事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（20分）          事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（25分）</p>		

8	保育所実習記録の書き方（吉田）	事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（20分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（25分）
9	オリエンテーションの捉え方について（保育所）（吉田）	事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（20分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（25分）
10	施設保育士とソーシャルワーク（井田）	事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（20分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（25分）
11	年齢による発達段階の理解（吉田）	事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（20分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（25分）
12	お礼状の書き方等指導（吉田）	事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（20分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（25分）
13	保育実習Ⅰ（保育所）学内オリエンテーション（吉田）	事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（20分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（25分）
14	保育の仕事と福祉施設（井田）	事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（20分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（25分）
15	施設利用児（者）の現状と課題・適切なかかわり（井田）	事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（20分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（25分）
16	実習の反省、総括及び自己評価①（保育実習Ⅰ振り返りから自己課題をみつけ保育実習Ⅱへ繋げる）（吉田）	事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（20分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（25分）
17	実習の反省、総括及び自己評価①（保育実習Ⅰ振り返りから自己課題をみつけ保育実習Ⅱへ繋げる）（吉田）	事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（20分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（25分）
18	施設実習における記録について（井田）	事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（20分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（25分）
19	実習の反省、総括及び自己評価②～（保育実習Ⅰ振り返りから自己課題をみつけ保育実習Ⅱへ繋げる）（吉田）	事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（20分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（25分）
20	多職種連携について（井田）	事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（20分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（25分）
21	保育実習Ⅰ実習報告会に向けてのまとめ①（吉田）	事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（20分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べ

		る (25分)
22	実習に向けての心構えと健康管理・施設実習課題の設定 (井田)	事前: 授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく (20分) 事後: 学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる (25分)
23	保育実習 I (施設) 学内オリエンテーション (井田)	事前: 授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく (20分) 事後: 学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる (25分)
24	施設実習の振り返り・自己評価 (井田)	事前: 授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく (20分) 事後: 学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる (25分)
25	施設実習報告会・気づきや学びの共有① (井田)	事前: 授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく (20分) 事後: 学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる (25分)
26	保育実習 I の実習報告会に向けてのまとめ② (吉田)	事前: 授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく (20分) 事後: 学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる (25分)
27	施設実習報告会・気づきや学びの共有② (井田)	事前: 授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく (20分) 事後: 学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる (25分)
28	保育実習 I の実習報告会に向けてのまとめ③ (吉田)	事前: 授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく (20分) 事後: 学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる (25分)
29	保育実習指導 I (施設) まとめ 保育士の仕事と児童福祉施設 これからの施設のあり方を考える (井田)	事前: 授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく (20分) 事後: 学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる (25分)
30	保育実習 I の実習報告会～パネルプレゼンテーション (吉田)	事前: 授業該当箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく (20分) 事後: 学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる (25分)

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

各回の講義にて、事後学習等について連絡する

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

レポート	授業への取り組み姿勢	実習報告会まとめ、発表	ファイル提出 (完成度判定)
40%	20%	20%	20%

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
保育所保育指針解説書 (平成 30 年 3 月)	厚生労働省編	フレーベル館
保育所実習実施要項・施設実習実施要項	東筑紫短期大学保育学科編	

**参考書又は参考資料等**

- ・参考資料随時配布  
「保育実習指導のミニマムスタンダード Ver.2「協働」する保育士養成」一般社会法人全国保育士養成協議会（中央法規出版）  
「幼稚園・保育所・施設 実習ワーク」小林育子・長島和代・権藤真織・小櫃智子（萌文書林）  
「保育者の資質・能力を育む 保育所・施設・幼稚園実習指導」柏女霊峰 監修 槇英子・江津和也・桃枝智子 編（福村出版）  
「幼稚園・保育所・認定こども園実習パーフェクトガイド」小櫃智子・守巧・佐藤恵・小山朝子（わかば社）  
「施設実習パーフェクトガイド」守巧・小櫃智子・二宮祐子・佐藤恵（わかば社）  
「保育所実習の事前・事後指導」佐藤賢一郎（北大路書房）  
「施設実習の手引き」西川ひろ子・山田修三・中原大介編（溪水社）

**その他【受講に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて】**

- ・保育実習に対する指導の方法  
保育所保育の概要（保育所の役割・保育所における保育の基本等）及び社会福祉施設の概要と合わせ、実習に備えて保育者としての人間性について指導する。また、保育所・施設実習に臨む心構えと態度、実習記録の書き方、まとめ方等実習に関する内容について実例を通して指導する。
- ・保育所実習・施設実習の手続きと並行して進めていく。
- ・学外の実習に出るため、学内での「保育実習指導Ⅰ」の授業並びに学内オリエンテーションは必ず出席すること。
- ・実習記録は決められた期日までに必ず提出すること。
- ・学外実習時、欠勤した場合は追加実習となる。
- ・無断欠勤、実習記録の未提出は実習中止になる場合がある。
- ・授業内容について理解不足の学生は授業終了後あるいはオフィスアワーを活用して指導する。

**担当教員の連絡先等**

担当教員 E-mail

その他

--	--

授 業 科 目 名	保育実習Ⅱ／保育所		
担 当 者 名	吉田 千津子	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2200052	授 業 形 態	実習
学 年	2 年	開 講 期	2024 年度前期
単 位 数	2	履 修	保育士選択必修
ナンバリング	DP4-2-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>「保育実習Ⅰ」をふまえ「保育実習Ⅱ」保育士の資格を取得するために必要な教科目の一つである。そのためには今まで学んできた教科目（理論社）を修得し、保育の現場において保育内容を計画・実践・記録及び自己評価を行い、保育士としての役割を体得する。この実習では保育所での実務体験を有する教員と共に一回目の学外実習で気付いたことや課題に対してどのように捉えていくとよいのかグループディスカッションを通して共通認識を持ち合い、保護者との関わりや職業人としての倫理観について学び合うことで専門性を豊かにすることを目的としている。</p>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育所の役割や機能について、具体的な実践を通して理解を深める。</li> <li>2. 子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して、保育の理解を深める。</li> <li>3. 既習の教科や保育実習Ⅰの経験をふまえ、子どもの保育及び子育て支援について総合的に理解する。</li> <li>4. 保育の計画・実践・観察・記録及び自己評価等について、実際に取り組み、理解を深める。</li> <li>5. 保育の業務内容や職業倫理について、具体的な実践に結びつけて理解する。</li> <li>6. 実習における自己の課題を明確化する</li> </ol>		
授 業 計 画 〔学外実習の内容含む〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育所の役割や機能の具体的展開 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 養護と教育が一体となって行われる保育</li> <li>2) 保育所の社会的役割と責任</li> </ol> </li> <li>2. 観察に基づく保育の理解 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 子どもの心身の状態や活動の観察</li> <li>2) 保育士等の援助や関わり</li> <li>3) 保育所の生活の流れや展開の把握</li> </ol> </li> <li>3. 子どもの保育及び保護者・家庭への支援と地域社会等との連携 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 環境を通して行う保育、生活や遊びを通して総合的に行う保育</li> <li>2) 入所している子どもの保護者に対する子育て支援及び地域の保護者に対する子育て支援</li> <li>3) 関係機関や地域社会との連携・協働</li> </ol> </li> <li>4. 指導計画の作成・実践・観察・記録・評価 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 全体的な計画に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の過程の理解</li> <li>2) 作成した指導計画に基づく保育の実践と評価</li> </ol> </li> <li>5. 保育士の業務と職業倫理 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 多様な保育の展開と保育士の業務</li> <li>2) 多様な保育の展開と保育士の職業倫理</li> <li>3) 実習の心得</li> <li>4) 実習園との事前オリエンテーション</li> </ol> </li> <li>6. 自己の課題の明確化</li> </ol>		
準備学習・事後学習等についての補足説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習中に実施する設定保育内容に対する準備は、自分でシュミレーションすると共にすべて事前に用意しておくこと。</li> <li>・基本的な生活習慣を身に付けるよう心がけて欲しい。(身だしなみ・挨拶・言葉遣い・時間を守る等)</li> </ul>		
成績評価の方法〔評価項目と割合〕			
実習先からの評価及び	オリエンテーションレポート		

実習記録等	ト及び実習反省レポート各提出		
80%	20%		
<b>使用テキスト</b>			
書籍名	著者	出版社	
保育所保育指針解説（平成 30 年 3 月）	厚生労働省編	フレーベル館	
幼保連携型認定こども園・保育要領解説（平成 30 年 3 月）	内閣府、文部科学省、厚生労働省	フレーベル館	
保育所実習実施要項	東筑紫短期大学編		
<b>参考書又は参考資料等</b>			
<p>「保育実習指導のミニマムスタンダード」2「協働」する保育士養成一般社団法人 全国保育士養成協議会  「学生・養成校・実習園がともに学ぶ これからの時代の保育者養成・実習ガイド(中央法規) 大豆生田啓友・渋谷行成・鈴木美枝子・田澤里喜 編書</p> <p>「保育・教育実習」（ミネルヴァ書房）大豆生田啓友・三谷大記・松山洋平  「遊びの指導」 幼少年教育研究所編著（同文書院）財団法人幼少年教育研究所  参考資料等随時配布  その他〔実習時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて</p>			
<b>その他〔実習に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて〕</b>			
<p>保育実習生に対する指導の方法  保育所の概要（保育所の役割・保育所における保育の基本等）と保育所実習に備えて保育者としての人間性について指導する。また、保育所実習に臨む心構えと態度、実習記録の書き方、まとめ方等保育実習に関する内容について実例を通して指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学外の実習に出る為、学内での「保育実習指導Ⅱ」の授業には必ず出席すること。</li> <li>・実習前の事前指導及び学内オリエンテーションは必ず受けること。</li> <li>・実習前後のレポートは期日を守って提出すること。</li> <li>・休んだり、実習記録が未提出だったりした場合は追加実習となる。</li> <li>・無断欠勤の場合は、実習中止になる場合がある。</li> </ul>			
<b>担当教員の連絡先等</b>			
担当教員 E-mail	その他		

授 業 科 目 名	保育実習Ⅲ／施設		
担 当 者 名	井田 智美	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2200053	授 業 形 態	実習
学 年	2 年	開 講 期	2024 年度前期
単 位 数	2	履 修	保育士選択必修
ナンバリング	DP4-2-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>保育実習Ⅰでの実習体験、学びを活かし、保育実習Ⅲでは保育士としてのより高い専門性を身につける。障害のある人、様々な困難を抱えた人、その他の課題をもつ人それぞれの特性や内面を理解し、その育ちと発達に専門的にかかわることのできる保育者、ニーズに応じた専門的知識・技術を提供できる保育者となるための、より良い実習となるよう、十分に事前学習を行う。施設では、多職種がそれぞれの専門性を発揮し、チームワークを重視しながら利用者と関わっている。役割分担を行い、連携を図り、質の高い生活、質の高い保育を目指しているが、実践を通してそれを理解できるよう、社会福祉施設で職務経験を有する教員が、学生の実習状況に応じ、適切なサポートを行う。</p>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 児童福祉施設（保育所以外）の役割や機能について、実践を通して理解する</li> <li>2. 家庭と地域の生活実態にふれて、子ども家庭福祉、社会的養護、障害児支援に対する理解をもとに、保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力を習得する</li> <li>3. 保育士の業務内容や職業倫理について、実践を通して理解する</li> <li>4. 実習における自己の課題を明確にする</li> </ol>		
授 業 計 画 〔学外実習の内容含む〕			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 児童福祉施設（保育所以外）の役割と機能について理解する</li> <li>2. 施設における支援の実際について、理解し、実践する <ol style="list-style-type: none"> <li>①子ども受容し、共感する態度について、理解し、実践する</li> <li>②利用者の個人差やニーズを把握し、応答する力を培う</li> <li>③個別支援計画の作成と実践について理解する</li> <li>④利用者の家族への支援と対応について、観察を通して学ぶ</li> <li>⑤各施設における多様な専門職の連携・協働について理解する</li> <li>⑥地域社会との連携・協働の実際を学ぶ</li> </ol> </li> <li>3. 保育士の多用な業務と職業倫理について、理解する</li> <li>4. 保育士としての自己課題を明確にする</li> </ol>			
準備学習・事後学習等についての補足説明			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習中に実施する設定保育の指導計画とそれに伴う製作物などは、事前に準備しておく。</li> <li>・インターンシップを利用して、実習前、あるいは実習後に保育所及び児童福祉施設等でボランティア活動を行うことは、事前・事後学習としても成果が高いため奨励される。</li> </ul>			
成績評価の方法〔評価項目と割合〕			
実習先からの評価および実習記録	オリエンテーションレポート、実習前提出物		
80%	20%		
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
施設実習実施要項	東筑紫短期大学保育学科 編		
参考書又は参考資料等			



- 一般社会法人全国保育士養成協議会編「保育実習指導のミニマムスタンダード「協働」する保育士養成 Ver.2」中央法規、2018
- 守巧、小櫃智子、二宮祐子、佐藤恵著「施設実習パーフェクトガイド」わかば社、2023
- 田中利則監修、加藤洋子、一瀬早百合、飯塚美穂子編「事例を通して学びを深める施設実習ガイド」ミネルヴァ書房、2018
- 西川ひろ子、山田修三、中原大介編「施設実習の手引き」溪水社、2017
- 柏女霊峰監修「保育者の資質・能力を育む 保育所・施設・幼稚園実習指導」福村出版、2019

**その他〔実習に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて〕**

※実習評価表、実習日誌、オリエンテーションレポート等が成績評価の対象となる。

1. 学内及び施設でのオリエンテーションには必ず出席すること。
2. 実習日誌、オリエンテーションレポート等は、期日を守って提出すること。
3. 実習には、適切な服装・髪型で臨むこと。

**担当教員の連絡先等**

担当教員 E-mail	その他



授 業 科 目 名	保育実習指導Ⅱ		
担 当 者 名	吉田 千津子	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2200054	授 業 形 態	演習
学 年	2 年	開 講 期	2024 年度前期、2024 年度後期
単 位 数	1	履 修	保育士選択必修
ナンバリング	DP4-2-C		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>【前期】「保育実習指導Ⅱ」では、「保育実習Ⅰ」の経験から「保育実習Ⅱ」に向けて事前事後や実習内容の指導を行う。実習記録の書き方・シアター系保育教材（文化財）の実演・保育指導案作成・保育環境準備（教材研究）・遊びの研究、手遊びや読み聞かせ等の実践を通して学ぶだけではなく、この演習では、保育所で職務経験を有する教員と共に保育士としての専門性や職業人としての倫理についてグループディスカッションの中で、実習前の保育に対する認識や自己課題が明確にできる力を修得する。</p> <p>【後期】保育実習Ⅱ事後指導後の振り返りを行う中で、保育実践力の総括として実習時に行った設定保育内容をプレゼンテーションし合うと共に、指導内容を共有することや関連する教科目で習得してきた手遊びやわらべ歌のリストや遊びの紹介の発表をまとめる。保育技術を豊かにして総合的な実践力に繋げていく。更に保育士として必要な資質や子どもの最善の利益等を具体的に理解していく為には、自己評価を行うことが大切である。その為自己課題を明確化できる力をもつことを目的とする。</p>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に学ぶ。</li> <li>2. 実習や既習の教科の内容やその関連性を踏まえ、保育の実践力を培う。</li> <li>3. 保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について、実践や事例を通して学ぶ。</li> <li>4. 保育士の専門性と職業倫理について理解する。</li> <li>5. 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い保育に対する課題や認識を明確にする。</li> </ol>		
授 業 計 画	準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及び必要時間		
1	保育実習Ⅱの意義と目的について	事前：手遊び等とシアター系保育教材（文化財）の種類を調べてくる。（25分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べておくこと（20分）	
2	保育の知識・技術をいかした実践1 ・手あそび実演（グループ） 実習までに作成する物、身に付けておくこと等をふまえたチェックリスト作成	事前：手遊び実演準備、シアター系保育教材（文化財）製作準備をする。（20分） 事後：自分が製作するシアター系保育教材（文化財）製作する。（25分）	
3	保育の知識・技術をいかした実践1 ・手あそび実演（グループ） 実習記録について～時系列形式（情報）	事前：手遊び実演準備、シアター系保育教材（文化財）を製作する。（25分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べておくこと（20分）	
4	保育の知識・技術をいかした実践1 ・手あそび実演（グループ） 保育実習記録について～エピソード形式（情報）	事前：手遊び実演準備、シアター系保育教材（文化財）を製作する。（25分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べておくこと（20分）	
5	保育の知識・技術をいかした実践2 ・シアター系保育教材（文化財）を実演する。 実習記録について～ドキュメンテーション形式（情報）	事前：手遊び、シアター系保育教材（文化財）を実演に向けて練習しておく。（25分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べておくこと（20分）	
6	保育の知識・技術をいかした実践2 ・シアター系保育教材（文化財）を実演する。 実習記録について実習園に即した形式を1つ選択し、実習記録を作成する。（情報）	事前：手遊び、シアター系保育教材（文化財）を実演に向けて練習しておく。（20分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べておくこと（25分）	

7	保育の知識・技術をいかした実践2 ・シアター系保育教材（文化財）を実演 実習記録について～実習園に即した形式を1 つ選択し、実習記録を作成（情報）	事前：シアター系保育教材（文化財）を実演に向けて練習する（20分） 事後：発達段階や年齢に応じた遊びを調べる。（25分）
8	保育の知識・技術をいかした保育実践2 ・シアター系保育教材（文化財）を実演する 年齢や発達段階に応じた遊びの研究・まとめ ・実物、出来上がり等を製作する。	事前：発達段階や年齢に応じた遊びを調べ、まとめる。（20分） ～実物、出来上がり等を製作しておく。 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べておくこと（25分）
9	保育の全体計画に基づく計画と実践1 ・発達段階や年齢に応じた遊びの研究発表	事前：発達段階や年齢に応じた遊びをまとめる。（20分） ～内容に応じて必要なものを製作しておく。 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べておくこと（25分）
10	保育の全体計画に基づく計画と実践1 ・発達段階や年齢に応じた遊びの研究発表	事前：発達段階や年齢に応じた遊びをまとめる。（25分） ～実物、出来上がり等を製作しておく。 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べておくこと（20分）
11	保育の全体計画に基づく計画と実践1 ・発達段階や年齢に応じた遊びの研究発表	事前：発達段階や年齢に応じた遊びをまとめる。（25分） ～内容に応じて必要なものを製作しておく。 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べておくこと（20分）
12	保育の全体計画に基づく実践1 ・発達段階や年齢に応じた遊びの研究発表	事前：授業当該箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（20分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べておくこと（25分）
13	保育の全体計画に基づく具体的な計画2 ・実習園の対象クラスで指導計画案作成（情報処理） 子どもの最善の利益と倫理綱領について	事前：授業当該箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（20分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べておくこと（25分）
14	保育の全体計画に基づく具体的な計画2 ・実習園の対象クラスで指導計画案作成（情報処理）	事前：授業当該箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（20分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べておくこと（25分）
15	第2回保育実習に向けた学内オリエンテーション	事前：授業当該箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（20分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べておくこと（25分）
16	事後指導における実習の総括と自己評価① 実習及びチェックリストの振り返り・自己評価 保育士資質に必要なもの（グループ討議）	事前：授業当該箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（20分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べておくこと（25分）
17	事後指導における実習の総括と自己評価② 保育実習Ⅱの振り返り～実習記録・設定保育等	事前：授業当該箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（20分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べておくこと（25分）
18	事後指導における実習の総括と自己評価③ 子どもの最善の利益を考慮した保育の具体的理解（グループ討議） 子どもの保育と保護者支援について（グループ討議）	事前：授業当該箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（20分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べておくこと（25分）
19	事後指導における実習の総括と自己評価④ ・連絡帳の必要性和書き方	事前：授業当該箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（20分）

		事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べておくこと（25分）
20	事後指導における実習の総括と自己評価⑤ ・クラス便りの作成（情報処理）	事前：授業当該箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（20分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べておくこと（25分）
21	事後指導における実習の総括と自己評価⑤ ・クラス便りの作成（情報処理）	事前：授業当該箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（20分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べておくこと（25分）
22	事後指導における実習の総括と自己評価⑥ ・健康及び安全への配慮	事前：授業当該箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（20分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べておくこと（25分）
23	事後指導における実習の総括と自己評価⑦ ・保育士の専門性と職業倫理において	事前：（20分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べておくこと（25分）
24	事後指導における実習実践報告 ・年齢別設定保育の実践発表（プレゼンテーション）	事前：プレゼンする内容についての整理をしておく（20分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べておくこと（25分）
25	事後指導における実習実践報告 ・年齢別設定保育の実践発表（プレゼンテーション） （情報処理）	事前：授業当該箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（20分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べておくこと（25分）
26	事後指導における実習実践報告 ・年齢別設定保育の実践発表（プレゼンテーション）	事前：授業当該箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（20分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べておくこと（25分）
27	事後指導における実習実践報告 ・年齢別設定保育の実践発表（プレゼンテーション）	事前：授業当該箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（20分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べておくこと（25分）
28	事後指導における実習実践報告 ・年齢別設定保育の実践発表（プレゼンテーション）	事前：授業当該箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（20分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べておくこと（25分）
29	事後指導における実習総括 手遊び、わらべうた リズムあそび、ことばあそびリスト作成 （情報）	事前：授業当該箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（20分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べておくこと（25分）
30	事後指導における実習総括 手遊び、わらべうた、 リズムあそび、ことばあそびリスト作成 （情報）	事前：授業当該箇所について、これまでの他教科での学習の整理をしておく（20分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べておくこと（25分）

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

- ・手あそび、シアター系保育教材（文化財）、遊びの研究発表等は、必ず、発表時に間に合うよう仕上げてくること。
- ・事前の学内オリエンテーションは必ず出席すること。

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

グループ討議への参加 度・実践発表（シアター 系保育教材（文化財）・	授業への取り組み姿勢	提出物	レポート提出（前期） 自己評価総括（後期）
--	------------	-----	--------------------------

遊びの研究発表 他)			
40%	20%	20%	20%
<b>使用テキスト</b>			
<b>書籍名</b>	<b>著者</b>	<b>出版社</b>	
保育所保育指針解説（平成30年3月） 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（平成30年3月）	厚生労働省編 内閣府、文部科学省、厚生労働省	フレーベル館 フレーベル館	
「学生・実習生・養成校・実習生がともに学ぶ これからの時代の保育者養成・実習ガイド」	大豆生田啓友・渋谷行成・鈴木美枝子・田澤里喜	中央法規	
<b>参考書又は参考資料等</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○「実習の手引き」（東筑紫短期大学 編）</li> <li>○「保育・教育実習」大豆田啓友 他 編著（ミネルヴァ書房）</li> <li>○「実習ガイド」石橋裕子他 編著（同文書院）</li> <li>○「実習日誌の書き方」開仁志（編著）</li> <li>○「保育ドキュメンテーションの作り方」大豆生田啓友・岩田恵子</li> <li>○「日本版保育ドキュメンテーションのすすめ」大豆生田啓友・おおえだけいこ</li> <li>○「遊びの指導」幼少年教育研究所編著（同文書院）</li> <li>○その他、講義中に適宜参考資料配布</li> </ul>			
<b>その他【受講に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて】</b>			
<p>*成績評価については、授業中に書いたレポート及び手作り教材の提出、設定保育の実践発表、グループ討議への参加度、記録提出などで総合的に評価する。</p> <p>【前期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学外実習に出る為、学内での「保育実習指導Ⅱ」の授業並に、学内オリエンテーションには必ず出席すること。</li> </ul> <p>【後期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習後の為、その経験を基に実践力を高めていけるようグループ討議やアクティブ・ラーニングを取り入れていきます。人前で発表するので、しっかりと自分の考えをまとめて臨むこと。</li> </ul>			
<b>担当教員の連絡先等</b>			
担当教員 E-mail	その他		



授 業 科 目 名	保育実習指導Ⅲ		
担 当 者 名	井田 智美	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2200055	授 業 形 態	実習
学 年	2 年	開 講 期	2024 年度前期、2024 年度後期
単 位 数	1	履 修	保育士選択必修
ナンバリング	DP4-2-C		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>保育実習Ⅰ（施設）で児童福祉施設の実際と子ども（利用者）を取り巻く環境から学んだことを踏まえ、施設における保育士の在り方についてディスカッションする。事例や学生自身が経験したことを取り上げながら、特別な配慮を要する利用者への対応の仕方も検討する。また保育実習Ⅲ（施設）での経験を振り返り、学生それぞれの実習報告から情報を共有し、場面考察等を行いながら、各自新たな自己課題を見出す。現代社会が抱える様々な問題を施設はどのように受け止めているのか、最善の利益の実現のためにどのような取り組みがなされているのかを深く理解する中で、幅広い視野、より高い専門性を身に付ける。社会福祉施設での職務経験を有する教員が、学生の疑問に応え、学生が実習中困難に感じたこと等を丁寧に聞き取りながら進めていく。</p>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に学ぶ。</li> <li>2. 実習や既習の教科の内容、その関連性を踏まえ、保育実践力を培う。</li> <li>3. 保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について理解する。</li> <li>4. 保育士の専門性と職業倫理を理解する。</li> <li>5. 実習の事後指導を通して、総括と自己評価を行い、保育課題等を明確にする。</li> </ol>		
授 業 計 画	準 備 学 習（予 習・復 習 等）の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間		
1	保育実習Ⅲ（施設実習）の意義・目的を確認する	事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習内容を整理する（30分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）	
2	保育実習Ⅲ（施設実習）の目標および内容を理解する	事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習内容を整理する（30分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）	
3	実習指導案の作成	事前：実習指導案作成について、これまでの他教科での学習内容を整理する（30分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）	
4	実習指導案に基づく教材研究・製作	事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習内容を整理する（30分） 事後：類似教材について研究する（30分）	
5	模擬保育① グループ前半	事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習内容を整理する（30分） 模擬保育の練習（30分） 事後：模擬保育の見直し（30分）	
6	模擬保育② グループ後半	事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習内容を整理する（30分） 模擬保育の練習（30分） 事後：模擬保育の見直し（30分）	
7	各施設の実習内容・利用者とのかかわりについて 各施設での種別や特徴の確認（各自調べ学習）	事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習内容を整理する（30分） 事後：それぞれの実習施設の特色、方針等を確認する（30分）	
8	各施設の子ども・利用者への理解（事例検討）	事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習内容を整理する（30分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）	

9	施設を利用する子どもの権利擁護・最善の利益	事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習内容を整理する（30分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）
10	施設における個別計画とは	事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習内容を整理する（30分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）
11	実習Ⅰ（施設）における自己評価	事前：実習記録等を参考に実習Ⅰでの学び、気づき等をまとめる（30分） 事後：自己評価から新たな課題を見出していく（30分）
12	実習Ⅰ（施設）の振り返り（グループワーク）	事前：実習Ⅰでの経験、学びを効果的に伝えるための方法を探る（30分） 事後：共有した経験、学びを整理し、新たな具体的課題を見出す（30分）
13	実習課題の設定（2回目の施設実習に向けて）	事前：実習Ⅰ（施設）の振り返り、自己評価等から具体的な課題を見出す（30分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）
14	前半まとめ（施設で働く保育士とは）	事前：保育実習指導Ⅲで学んだ内容、施設実習に関連する他教科での学習内容を整理する（30分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）
15	学内オリエンテーション	事前：実習施設について、各自でよく調べ、熟知しておく（30分） 事後：実習における注意事項等を再確認し、自己課題を明確にしておく（30分）
16	実習Ⅲの振り返り①（子どもの状態に応じた適切なかかわり）	事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習内容を整理する（30分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）
17	実習Ⅲの振り返り②（施設の役割や家族支援）	事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習内容を整理する（30分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）
18	実習Ⅲの振り返り③（受容と共感の姿勢）	事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習内容を整理する（30分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）
19	施設実習報告会①	事前：記録の整理、資料作成等の発表準備（60分） 事後：報告会での気づきや学びをまとめる（30分）
20	施設実習報告会②	事前：記録の整理、資料作成等の発表準備（60分） 事後：報告会での気づきや学びをまとめる（30分）
21	記録を通して個々への理解を深める	事前：実習記録の整理（30分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）
22	記録を通して新たな課題を探る	事前：実習記録の整理（30分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）
23	保育士と権利保障	事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学習内容を整理する（30分） 事後：学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる（30分）
24	保育士とソーシャルワーク	事前：授業該当箇所について、これまでの他教科での学

		習内容を整理する (30分) 事後: 学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる (30分)
25	対人援助専門職と倫理綱領	事前: 授業該当箇所について、これまでの他教科での学習内容を整理する (30分) 事後: 学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる (30分)
26	専門性向上のための調べ学習	事前: 授業該当箇所について、これまでの他教科での学習内容を整理する (30分) 事後: 学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる (30分)
27	調べ学習・発表資料作成	事前: 授業該当箇所について、これまでの他教科での学習内容を整理する (30分) 事後: 発表資料の見直し (30分)
28	発表準備・内容等の見直し	事前: 発表に関連する、これまでの他教科での学習内容の整理・資料の見直し、訂正等 (30分) 事後: 発表資料の見直し、発表練習 (30分)
29	調べ学習発表①	事前: 発表資料の見直し・発表練習 (30分) 事後: 学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる (30分)
30	調べ学習発表②・まとめ (これからの福祉施設のあり方を問う)	事前: 発表資料の見直し・発表練習 (30分) 事後: 学習した内容を整理し、疑問点などについて調べる (30分)

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

- ・指導案の作成・模擬保育の準備、実習報告・調べ学習発表の練習は、必要に応じ教員に相談しながら各自で行う。
- ・インターンシップを利用して保育所及び児童福祉施設等でボランティア活動を行う。

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

提出物	発表・実技	グループ討議などへの参加度	
50%	40%	10%	

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
施設実習実施要項	東筑紫短期大学保育学科 編	

#### 参考書又は参考資料等

- 一般社会法人全国保育士養成協議会編「保育実習指導のミニマムスタンダード「協働」する保育士養成 Ver.2」中央法規、2018
- 守巧、小櫃智子、二宮祐子、佐藤恵著「施設実習パーフェクトガイド」わかば社、2023
- 田中利則監修、加藤洋子、一瀬早百合、飯塚美穂子編「事例を通して学びを深める施設実習ガイド」ミネルヴァ書房、2018
- 西川ひろ子、山田修三、中原大介編「施設実習の手引き」溪水社、2017
- 柏女霊峰監修 榎英子・江津和也・桃枝智子編「保育者の資質・能力を育む 保育所・施設・幼稚園実習指導」福村出版、2019

#### その他〔受講に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて〕

- ・「保育実習Ⅲ」の実習先と種別が同じ施設でボランティア活動等を行うことで、学習の成果を高めて欲しい。
- ・「保育実習Ⅲ」の実習先とは違う種別の施設でボランティア活動等を行い、様々な経験を積んで就職に備え

てもらいたい。

**担当教員の連絡先等**

担当教員 E-mail

その他

--	--



授 業 科 目 名	保育・教職実践演習（幼稚園）		
担 当 者 名	前川 公一、寺本 普見子、上森 哲生、浦田 一幸、吉田 千津子、丸田 敦子、大橋 祐介、富田 智恵	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2200056	授 業 形 態	演習
学 年	2 年	開 講 期	2024 年度後期
単 位 数	2	履 修	幼稚園教諭必修 保育士必修
ナンバリング	DP3-2-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>保育・教職実践演習の授業は、教職課程の他の授業科目を通して学生が身に付けてきた知識・技能を点検・確認するとともに学生が不足している授業内容を補完・向上させ、教育や保育の現場で保育者としての使命感、責任感、教育的愛情などを身に付けていくことが目標である。</p> <p>この演習では、公立学校教諭・幼稚園教諭としての職務経験を有する教員が、公立学校や幼稚園での指導経験・研修歴を生かして授業を実施する。</p> <p>そこで、学生が自分の課題をもって授業に参加できるようにするため、授業最初のオリエンテーションで「保育者として必要な資質能力に関する意識調査」を実施する。それを踏まえて、教職の意義、職務内容、コミュニケーション能力、幼児の理解等の補完・向上を図る。また、子どもの指導や学級経営等の「個人テーマ」に沿った「指導案・研究レポート」を作成する。</p>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 幼稚園教育要領や保育所保育指針について理解し、それを保育現場で生かそうとする。</li> <li>2. 保育者としての使命感、責任、愛情をもって、目的や状況に応じた適切な言動をとることができる。</li> <li>3. 授業を通して、幼稚園教育要領や保育所保育指針等への理解を深めることができる。</li> <li>4. 子どもに対して公平かつ受容的な態度で接し、人間的交流ができる。</li> <li>5. 個人テーマに沿った「指導案・研究レポート」作成を通して、研究方法や指導案・研究レポートのまとめ方について修得できる。</li> </ol>		
授業計画	準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及び必要時間		
1	オリエンテーション（教科の目標、内容、今後の計画について理解し、見通しをもつ）	事前：「教職課程履修カルテ<自己評価シート>」の自己評価をもとに自分の課題について把握する（45分） 事後：「教科の目標、内容、今後の計画」についてまとめ、見通しをもつ（45分）	
2	これまでの実習等を振り返り、卒業するまでに「身に付けたい資質・能力」を基に「個人テーマ」を設定する	事前：「個人テーマ」について、準備をする（45分） 事後：具体化された「個人テーマ」をワークシートに整理する（45分）	
3	「個人テーマ」を設定し、「研究計画書（保育・教職実践演習ワークシート）」を作成して発表する	事前：「個人テーマ」を基に、「研究計画書」の準備をする（45分） 事後：「個人テーマ」や「研究計画書」を見直す（45分）	
4	研究活動① 「研究計画書」に沿って、個人研究を進める	事前：個人研究を進める（45分） 事後：「研究計画書」に沿って研究が進んでいるか点検する（45分）	
5	研究活動② 個人研究を進める	事前：個人研究を進める（45分） 事後：「研究計画書」に沿って、研究が進んでいるか点検する（45分）	
6	研究活動③ 個人研究を進める	事前：個人研究を進める（45分） 事後：個人研究を進める（45分）	
7	研究活動④ 個人研究を進める	事前：個人研究を進める（45分） 事後：中間報告会の準備をする（45分）	
8	中間報告会 個人研究の進捗状況を報告し合う	事前：中間報告会の準備をする（45分） 事後：今後の研究の見通しを立てる（45分）	

9	研究活動⑤ 中間報告会で受けた指導やアドバイスを基に個人研究を深める	事前：中間報告会を基に研究計画を見直す（45分） 事後：個人研究を深める（45分）
10	研究活動⑥ 個人研究を深める	事前：個人研究を深める（45分） 事後：個人研究を深める（45分）
11	研究活動⑦ 研究成果をまとめ、研究発表会の準備をする	事前：個人研究を深める（45分） 事後：研究発表会の準備をする（45分）
12	研究発表会① クラスで個人研究の成果を発表し合う	事前：研究発表会の準備をする（45分） 事後：未解決の課題、新たな研究展開の期待、今後の展開などの整理をする（45分）
13	研究発表会② クラスで個人研究の成果を発表し合う	事前：研究発表会の準備をする（45分） 事後：未解決の課題、新たな研究展開の期待、今後の展開などの整理をする（45分）
14	研究成果のまとめ 「指導案・研究レポート」を作成する	事前：研究成果のまとめの準備をする（45分） 事後：研究成果を印刷する（45分）
15	実践演習のまとめ 「自己評価」をして、学修成果の確認をする 「履修カルテ」を書いて提出する	事前：アンケート調査、到達度チェックをする（45分） 事後：アンケート調査、到達度チェックの結果を分析し、学修の成果を確認する（45分）

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

- ・毎時間の授業を振り返るために、Webメールで「振り返り」を送信する。
- ・「振り返り」は、毎時間の講義後に送信を求めます。

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

「身に付けたい資質・能力」を整理し、個人テーマの作成	研究計画書（保育・教職実践演習ワークシート）の作成	授業への取組み姿勢	研究の成果発表と指導案。研究レポートの作成
10%	10%	30%	50%

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
使用しない		

#### 参考書又は参考資料等

- ・授業に関係する参考書は、その都度紹介します。

#### その他〔受講に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて〕

※成績評価については、保育者として最小限必要な資質能力が身に付いているか否かという観点から各評価項目の割合に基づいて総合的に評価します。

・テキストは、教職課程の教科で指定された全テキスト、参考書、参考資料等を活用するとともにプリントを適宜配付します。

- ・授業は、演習形式で進めるので積極的な参加を期待します。

#### 担当教員の連絡先等

担当教員 E-mail	その他

授 業 科 目 名	キャリア教育演習 I		
担 当 者 名	学科教員	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド	2200069	授 業 形 態	演習
学 年	1 年	開 講 期	2024 年度前期、2024 年度後期
単 位 数	1	履 修	選択
ナンバリング	DP1-1-C		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>「キャリア教育演習 I」の授業を通して自分の適性を知り、納得のいく進路選択につなげていく。また、実習やボランティア等を通して培った自らの職業観を見直し、さらに「働くこと」と「専門知識・技能を得ること」の重要性を理解する。</p> <p>演習では、保育者の生き甲斐や悩みなどに触れ、自己表現に向かって課題意識を持ち、保育者として身に付けておくべき基礎的な資質、能力、姿などについてグループディスカッションを実践し考えていく。そして、保育者としての課題に関わる知識・技能について具体例を提示し、実践力を身に付けることを目指す。</p>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会的な常識について理解し、教育者・保育者として適切な行動を取ることができる。</li> <li>2. 学校行事等に積極的に参加し、協働して取り組み、学校生活を充実することができる。</li> <li>3. 保育園実習や保育・施設実習に関わる授業を通して、職場に必要な知識を理解し、適切な行動ができる。</li> </ol>		
授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 等 ) の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間	
1	「キャリア教育演習 I」のねらいおよび授業内容と評価について説明する 二年間の見通しを立て、保育者となるあるべき自分の姿について考える	事前：キャリア教育演習 I のシラバスを通読しておく (20 分) 事後：キャリア教育演習 I のねらいをつかみ、一年間の授業内容について理解する レポート提出 (25 分)	
2	本学の「建学の精神」および「行事教育・掃除教育」の意義について説明する	事前：年間行事計画を調べ、キャリア教育演習 I の意義や目的を理解しておく (20 分) 事後：自分のキャリアについて明確にしていく (25 分)	
3	レクスポ大会について① 開催の意義および内容を説明する	事前：競技種目についてインターネット等で調べておく (20 分) 事後：グループで練習内容について協議しておく (25 分)	
4	レクスポ大会について② グループ分けをした種目ごとに練習をし、相互理解を深める。	事前：競技種目の練習方法についてインターネット等で調べておく (20 分) 事後：グループで練習内容について協議しておく (25 分)	
5	「母校へのメッセージ」作成① 出身高校の後輩へ向けたメッセージを各自で考えまとめる。	事前：高校時代の出来事を振り返り、後輩へ伝えたいことをまとめておく (20 分) 事後：グループごとにメッセージ内容を考えておく (25 分)	
6	「母校へのメッセージ」作成② 出身高校別のグループ毎に、貼付する写真撮影およびメッセージを作成する。	事前：グループでメッセージ内容について協議する (20 分) 事後：メッセージを完成させグループ毎に提出する (25 分)	
7	専攻科ガイダンスを行う 介護技術の専門性を持つことで、どのように進路選択の幅が広がるのかについて理解する。	事前：介護福祉の基本や生活支援技術について調べておく (20 分) 事後：自分の進路について考えたことをプリントにまとめる (25 分)	
8	教職課程について 教職課程の科目と記入内容の説明をする	事前：教職課程の科目について調べておく (20 分) 事後：授業で説明されたことを復習しておく (25 分)	
9	保育所実習 I のねらいを理解し、保育所の特色や実習に向けた取り組みについて学びを深める	事前：2 年間で実施される実習について理解する (20 分) 事後：授業内容をまとめておく。(25 分)	

10	保育所実習 I に向けて心構えを説明する	事前：実習先の保育所について調べておく (20 分) 事後：授業で説明されたことを復習しておく (25 分)
11	施設見学のねらいを理解し、各施設の特色・実態について学ぶ。	事前：社会福祉施設のうち施設実習の対象となる施設について調べておく (20 分) 事後：施設の設置目的や役割の違いについて理解する (25 分)
12	施設見学を通して、児童福祉施設などの理解を深める	事前：見学先の施設について調べておく (20 分) 事後：見学を終えて自分の考えをまとめておく。レポート提出 (25 分)
13	第 1 回人権教育① (外部講師による講話)	事前：人権教育についてインターネット等で調べておく (25 分) 事後：授業内容をまとめておく。(25 分)
14	第 1 回人権教育① (外部講師による講話)	事前：前回の授業内容の要点をまとめて復習する (20 分) 事後：授業内容をまとめておく。レポート提出 (25 分)
15	前期定期試験に向けた取り組み、後期に向けた夏休みの過ごし方等についての説明をする。	事前：前期の学生生活を振り返り自分の課題を見つける (20 分) 事後：後期の学習目標や学生生活についてまとめておく (25 分)
16	後期の学習と学生生活の心構えについて説明を行う	事前：前期の学生生活を振り返り自分の課題を見つける (20 分) 事後：後期の学習目標や学生生活についてまとめておく (25 分)
17	性感染症について (外部講師による講話)	事前：性感染症についてインターネット等で調べておく (20 分) 事後：授業内容をまとめておく。レポート提出 (25 分)
18	大学祭の準備① 大学祭の意義・目的について説明する	事前：大学祭で実施したい内容を考える (20 分) 事後：大学祭の活動目標をまとめる (25 分)
19	大学祭の準備② 活動内容を確認し、準備を行う。	事前：大学祭の準備について、グループで具体的に考える (20 分) 事後：大学祭の準備内容を各自まとめる (25 分)
20	大学祭の準備③ グループ毎に準備を進める。	事前：大学祭の準備について、グループで具体的に考える (20 分) 事後：大学祭の準備内容を各自まとめる (25 分)
21	大学祭の準備④ 大学祭開催に向け最終仕上げを行う。グループ毎に振り返りを行い、発表する。	事前：大学祭の準備について、グループで具体的に考える (20 分) 事後：大学祭の準備についてまとめる。
22	マナー講座① 保育者としてのマナーについて学ぶ	事前：保育者・社会人として良いと思うマナーをあげてまとめる (20 分) 事後：どうしてマナーを守るのか考えをまとめる (25 分)
23	マナー講座② 社会人としてのマナーについて学ぶ	事前：マナーについて自分の考えをまとめる (20 分) 事後：レポートを提出する (25 分)
24	情報化社会の光と影① (外部講師による講話)	事前：情報化社会についてインターネット等で調べておく (20 分) 事後：授業内容をまとめておく。(25 分)
25	情報化社会の光と影② (外部講師による講話)	事前：情報化社会について自分の考えをまとめる (20 分) 事後：レポートを提出する (25 分)
26	第 2 回人権教育① (外部講師による講話)	事前：第 1 回人権教育で学んだことを振り返る。(25 分) 事後：授業内容をまとめておく。(25 分)
27	第 2 回人権教育② (外部講師による講話)	事前：前回の授業内容の要点をまとめて復習する (20 分) 事後：授業内容をまとめておく。レポート提出 (25 分)

28	救命講習（外部講師による講習会）	事前：救命救急についてインターネット等で調べておく（20分） 事後：授業内容をまとめておく。レポート提出（25分）
29	先輩の就職活動体験記（幼稚園・保育所・施設）を聞く 専攻科の進学ガイダンスを行う	事前：幼稚園・保育所・施設に就職予定の先輩に対して、質問事項をまとめておく（20分） 事後：授業内で学んだことをまとめる。レポート提出（25分）
30	1年間のまとめと、進級に向けた心構えについて説明する	事前：後期の学生生活を振り返り自分の課題を見つける（20分） 事後：2年生での学習目標や学生生活についてまとめておく（25分）

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

・授業中に次の授業までに必要な内容を提示するので、新聞やテレビ、インターネット、著書、論文などで集め、準備しておくようにする。

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

授業や諸活動に対する 取り組み姿勢	レポート	教材研究・課題	
40%	40%	20%	

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
・授業に必要な資料は、適宜配布する。		

#### 参考書又は参考資料等

--

#### その他〔受講に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて〕

- \*成績評価については、「キャリア教育演習Ⅰでの学びが活かされているか」を重視する。
- ・授業は、演習形式で進めるので積極的な参加を期待する。
- ・キャリアについての意識を強く持ち、自分の進路を考えていくようにする。

#### 担当教員の連絡先等

担当教員 E-mail	その他

授 業 科 目 名	キャリア教育演習Ⅱ		
担 当 者 名	学科教員	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド	2200070	授 業 形 態	演習
学 年	2 年	開 講 期	2024 年度前期、2024 年度後期
単 位 数	1	履 修	選択
ナンバリング	DP1-2-C		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	保育者として、いかに自己実現していくかという観点から、教育や保育の現場で必要とされる知識・技能について深く学ぶことを目的とする。演習では、保育者の生き甲斐や悩みなどに触れ、保育者として自己実現していくための課題についてグループで討議しながら考えていく。また、教育や保育の課題に関わる知識・技能について具体例を提示し、実践力を身に付けることを目指す。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会的な常識について理解し、教育者・保育者として適切な行動をとることができる。</li> <li>2. 学校行事等に積極的に参加し、協働して取り組み、学校生活を充実することができる。</li> <li>3. 幼稚園実習や保育・施設実習に関わる授業を通して、職場で必要な知識を理解し、適切な行動ができる。</li> <li>4. 就職に関わる諸活動を通して、必要な知識・技能を身に付けることができる。</li> </ol>		
授 業 計 画	準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及び必要時間		
1	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. キャリア教育演習Ⅱの「ねらい」について説明する</li> <li>2. 授業内容と評価について説明する（前期）</li> <li>3. 就職ガイダンス① <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職希望別説明会および専攻科ガイダンスを行う</li> </ul> </li> </ol>	事前：キャリア教育演習Ⅱのシラバスを通読しておく（20分） 事後：キャリア教育演習Ⅱの「ねらい」をつかみ、前期の授業内容について理解する 就職における留意点をまとめ、自分の進路先を明確にしていく（25分）	
2	ボディパーカッション講習会①（外部講師） <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体を活用した音楽表現の方法について説明する</li> </ul>	事前：5領域の中の「表現」について調べておく（20分） 事後：5領域の中の「表現」の内容と講習会で学んだことをリンクさせて、保育者として今後どのように活用するか具体的内容をまとめる（25分）	
3	ボディパーカッション講習会②（外部講師） <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体を活用した音楽表現の方法について説明する</li> </ul>	事前：5領域の中の「表現」について調べておく（20分） 事後：講習会で学んだことを保育者として今後どのように活用するか、レポートにまとめる（25分）	
4	レクスポ大会に向けて① <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催の意義及び内容を説明する</li> </ul>	事前：競技種目についてインターネット等で調べておく（20分） 事後：グループで練習内容について協議しておく（25分）	
5	レクスポ大会について② <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ分けをした種目ごとに練習をし、相互理解を深める</li> </ul>	事前：競技種目の練習方法についてインターネット等で調べておく（20分） 事後：グループで練習内容について協議しておく（25分）	
6	学外実習に向けて①（第1回教育実習） <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回教育実習に向けて、心構えについて説明する</li> </ul>	事前：第1回教育実習の目的や内容について、自分自身の教育実習の目標をたてる（20分） 事後：教育実習に向けて具体的に組み立てたいことをまとめる（25分）	
7	「私立幼稚園連盟教育懇談会」に向けて準備を行う	事前：教育実習での経験を振り返り、私立幼稚園連盟教育懇談会で聞いてみたいことを考える（20分） 事後：質問事項をプリントにまとめる（25分）	



8	「私立幼稚園連盟教育懇談会」を開催する	事前：前回まとめた質問事項を確認する（20分） 事後：私立幼稚園連盟教育懇談会で学んだことをプリントにまとめる（25分）
9	学外実習に向けて②（第1回施設実習） ・第1回施設実習に向けて、心構えについて説明する	事前：施設実習の内容について理解し自分自身の教育実習の目標をたてる（20分） 事後：施設実習に向けて具体的に組み組んでみたいことをまとめる（25分）
10	「保育所連盟就職懇談会」に向けての準備を行う	事前：保育実習での経験を振り返り、保育所連盟就職懇談会で聞いてみたいことを考える（20分） 事後：質問事項をプリントにまとめる（25分）
11	「保育所連盟就職懇談会」を開催する	事前：前回まとめた質問事項を確認する（20分） 事後：保育所連盟就職懇談会で学んだことをプリントにまとめる（25分）
12	就職ガイダンス② ・履歴書の書き方、面接試験のポイントについて説明する ※就職指導課と連携	事前：履歴書の書き方、面接試験の不安な点を整理する（20分） 事後：「履歴書」を書いて提出し、「面接試験のポイント」をまとめる（25分）
13	就職ガイダンス③ ・就職希望別説明会および専攻科ガイダンスを行う	事前：就職希望先をホームページ等で調べ、教育・保育目標などを調べる（20分） 事後：就職における留意点をまとめ、自分の進路先を明確にしていく（25分）
14	学外実習に向けて③（第2回保育実習・施設実習） ・先輩からのメッセージ（保育所・施設就職者を招聘） ・施設実習・保育所実習のための教材研究を行う	事前：保育所や施設の就職している先輩に聞いてみたいことをまとめておく（25分） 事後：保育所や施設に就職している先輩の話聞き、学んだこと・今後学びたいこと等をプリントにまとめる（25分）
15	定期試験の準備と夏休みの心得	事前：試験範囲、試験日程を確認する（20分） 事後：後期に向けて単位の確認を行う（25分）
16	1. キャリア教育演習Ⅱの「ねらい」について説明する 2. 授業内容と評価について説明する（後期）	事前：キャリア教育演習Ⅱのシラバスを通読しておく（20分） 事後：キャリア教育演習Ⅱの「ねらい」をつかみ、後期の授業内容について理解する（25分）
17	マナー講座① ・社会人としてのマナーについて学ぶ	事前：マナーについて自分の考えをまとめる（20分） 事後：レポートを提出する（25分）
18	就職ガイダンス④ ・「履歴書」に添って面接試験の準備を行う	事前：具体的な就職先を見据えて、面接試験の質疑応答の内容を考える（20分） 事後：就職試験に向けて面接試験の準備を整える（25分）
19	大学祭の準備① ・大学祭の意義・目的について説明する	事前：大学祭で実施したい内容を考える（20分） 事後：大学祭の活動目標をまとめる（25分）
20	大学祭について② ・活動内容を確認し、準備を行う	事前：準備についてグループで具体的に考える（20分） 事後：準備内容を各自まとめる（25分）
21	情報化社会の光と影①（外部講師による講話）	事前：情報化社会についてインターネット等で調べておく（20分） 事後：授業内容をまとめておく（25分）
22	情報化社会の光と影②（外部講師による講話）	事前：情報化社会について自分の考えをまとめる（20分） 事後：レポートを提出する（25分）
23	救命救急講習①（外部講師による講話）	事前：救命救急についてインターネット等で調べておく（20分） 事後：授業内容をまとめる（25分）
24	救命救急講習②（外部講師による講話）	事前：救命救急について自分の考えをまとめる（20分） 事後：レポートを提出する（25分）

25	1. 「子ども音楽療育士実習報告会」を開催する 2. 「針供養」「学内成人式」について説明する	事前:障害を持つ子どもの保育についての課題を考える (20分) 事後:子ども音楽療育士実習報告会の発表を聞いて、障害を持つ子どもの保育について学んだことをまとめる (25分)
26	1. 卒業に向けて、単位修得の確認を行う 2. 本学の「建学の精神」の実践について確認を行う	事前:卒業を前に2年間の大学生生活を振り返る (20分) 事後:レポートを提出する (25分)
27	マナー講座② ・社会人としてのマナーについて実践を用いて学ぶ	事前:マナー講座①で学んだことを踏まえ、マナーについて各自で考えをまとめる (20分) 事後:レポートを提出する (25分)
28	LGBT 人権啓発講演ライブ① (外部講師による講話)	事前:多様性について各自で調べる (20分) 事後:多様性について自分の考えをまとめる (25分)
29	LGBT 人権啓発講演ライブ② (外部講師による講話)	事前:前回の授業内容の要点をまとめて復習する (20分) 事後:レポートを提出する (25分)
30	キャリア教育演習Ⅱのまとめを行う	事前:一年間のキャリア教育演習について学んだことをまとめる (20分) 事後:将来のキャリアアップについてまとめる (25分)
<b>準備学習・事後学習等についての補足説明</b>		
・授業中に次の授業までに必要な内容を指示するので、新聞やテレビ、インターネット、著書、論文などで集め、準備しておくようにする。		
<b>成績評価の方法〔評価項目と割合〕</b>		
授業や諸活動に対する 取り組み姿勢	レポート	教材研究・課題
40%	40%	20%
<b>使用テキスト</b>		
書籍名	著者	出版社
・授業に必要な資料は、適宜配布する。		
<b>参考書又は参考資料等</b>		
・授業に関係する参考書等は、その都度紹介する。		
<b>その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕</b>		
*成績評価については、「キャリア教育演習Ⅱでの学びが生かされているか」を重視する。 ・授業は、演習形式で進めるので積極的な参加を期待する。 ・キャリアについての意識を強くもつように努め、自分の進路を考えていくようにする。		
<b>担当教員の連絡先等</b>		
担当教員 E-mail	その他	



授 業 科 目 名	在宅保育論		
担 当 者 名	木本 節子、岩橋 敏子	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2200071	授 業 形 態	講義
学 年	2年	開 講 期	2024年度前期
単 位 数	2	履 修	認定ベビーシッター必修
ナ ン バ リ ン グ	DP4-2-A		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>本学が在宅保育論「ベビーシッターの資格」を導入して10年目を迎え、授業内容も順調に構築され受講生も年々増加している。その中で本年度は特に「インクルーシブ教育」のあり方を学び、現代社会のニーズに合わせた多様性を踏まえた授業内容を導入し、今まで以上に専門性を豊かにするために医療経験者（ゲストティーチャー）による看護指導やベビーシッターに関する専門講師による特別授業を実施し、資質の高い「ベビーシッター」を育成することを目指している。この資格は平成27年度より厚生労働省が公的保育制度に位置付け、本学でも「保育士」の資格を取得し在宅保育・在宅保育論・基礎研修などの履修科目を修了することによって集団保育と個別保育の特徴をより深く理解し、特に学生の自己研修を奨励することによって、社会のニーズに合わせた「質の高い専門性豊かな温かいベビーシッターの資格」と同時に「居宅訪問型保育の資格」を取得することを目的としている。</p>		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 家庭訪問保育と居宅訪問型保育の制度と意義を理解する。</li> <li>2. 家庭訪問保育と居宅訪問型保育の社会的役割と実務を修得する。</li> <li>3. 「インクルーシブ保育」のあり方を踏まえ、家庭訪問保育と居宅訪問型保育の目的を理解し、コロナ禍に対応できる温かな心ある保育者としての自覚をもつ。</li> <li>4. コロナ禍における家庭訪問保育と居宅訪問型保育におけるサービスの現状を知る。</li> <li>5. 自己研修を実施することによってより深く在宅保育論の学びを理解する。</li> </ol>		
授 業 計 画	準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 等 ) の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間		
1	<p>オリエンテーション： この講義の目的と講義内容の紹介。学習方法についての説明（協会より指定教材DVD活用） 【木本・岩橋】</p>	<p>事前：授業態度及びベビーシッターについて自分なりの考えをまとめておく。（90分） 事後：指定した自己評価（振り返り）用紙に自分の考え・用語の意味・解釈を加えた自己点検用紙を作成すること。（90分）</p>	
2	<p>特別講義（オンライン） ベビーシッター事業の使命と今後の展望について ーベビーシッターの役割ー ゲストティーチャー 長崎 真由美氏（全国保育サービス協会事務局次長・研修課長） 【木本・岩橋】</p>	<p>事前：テキスト・資料等の指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。（90分） 事後：自己評価（振り返り）へのフィードバックを活用し、内容に関する事をグループディスカッションや指定したテキストにて情報を収集する。（90分）</p>	
3	<p>家庭訪問保育者としての心得（保育マインド及び感染症予防対策も含む） 【木本・岩橋】</p>	<p>事前：テキスト・資料等の指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。（90分） 事後：自己評価（振り返り）へのフィードバックを活用し、内容に関する事をグループディスカッションや指定したテキストにて情報を収集する。（90分）</p>	

4	家庭訪問保育を行う為の基礎的な知識（インクルーシブの保育） ゲストティーチャー 伊藤 元子 氏 【木本・岩橋】	事前：テキスト・資料等の指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。（90分） 事後：自己評価（振り返り）へのフィードバックを活用し、内容に関する事をグループディスカッションや指定したテキストにて情報を収集する。（90分）
5	乳幼児の生活と遊び *発達と心理（子ども虐待） 乳幼児の栄養と食事 小児保健Ⅰ・Ⅱ 心肺蘇生法*1（一部カール・ロジャースの心のケアを含む） 【木本・岩橋】	事前：テキスト・資料等の指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。（90分） 事後：自己評価（振り返り）へのフィードバックを活用し、内容に関する事をグループディスカッションや指定したテキストにて情報を収集する。（90分）
6	家庭訪問保育とは 【木本・岩橋】	事前：テキスト・資料等の指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。（90分） 事後：自己評価（振り返り）へのフィードバックを活用し、内容に関する事をグループディスカッションや指定したテキストにて情報を収集する。（90分）
7	居宅訪問型保育の運営と環境整備・安全の確保とリスクマネジメント（協会より指定教材DVD活用） 【木本・岩橋】	事前：テキスト・資料等の指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。（90分） 事後：自己評価（振り返り）へのフィードバックを活用し、内容に関する事をグループディスカッションや指定したテキストにて情報を収集する。（90分）
8	居宅訪問型保育者の倫理と保護者への対応（コロナ禍の対応も含む） 【木本・岩橋】	事前：テキスト・資料等の指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。（90分） 事後：自己評価（振り返り）へのフィードバックを活用し、内容に関する事をグループディスカッションや指定したテキストにて情報を収集する。（90分）
9	特別に配慮を要する子どもへの対応（インリアルアプローチについて） 【木本・岩橋】	事前：テキスト・資料等の指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。（90分） 事後：自己評価（振り返り）へのフィードバックを活用し、内容に関する事をグループディスカッションや指定したテキストにて情報を収集する。（90分）
10	一般型家庭訪問保育の業務の流れと事故の予防と対応（協会より指定教材DVD活用） 【木本・岩橋】	事前：テキスト・資料等の指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。（90分） 事後：自己評価（振り返り）へのフィードバックを活用し、内容に関する事をグループディスカッションや指定したテキストにて情報を収集する。（90分）
11	さまざまな家庭訪問保育 【木本・岩橋】	事前：テキスト・資料等の指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。（90分） 事後：自己評価（振り返り）へのフィードバックを活用し、内容に関する事をグループディスカッションや指定したテキストにて情報を収集する。（90分）
12	実践演習保育技術（調乳・授乳のお世話）沐浴人形を活用 【木本・岩橋】	事前：テキスト・資料等の指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。（90分） 事後：自己評価（振り返り）へのフィードバックを活用し、内容に関する事をグループディスカッションや指定したテキストにて情報を収集する。（90分）

13	実践演習保育技術（だっこ、おんぶ・おむつ交換のお世話）沐浴人形を活用 【木本・岩橋】	事前：テキスト・資料等の指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。（90分） 事後：自己評価（振り返り）へのフィードバックを活用し、内容に関する事をグループディスカッションや指定したテキストにて情報を収集する。（90分）
14	実践演習保育技術（遊び編） 【木本・岩橋】	事前：テキスト・資料等の指定範囲を通読し、指定した課題（用語の意味）を調べること。（90分） 事後：自己評価（振り返り）へのフィードバックを活用し、内容に関する事をグループディスカッションや指定したテキストにて情報を収集する。（90分）
15	在宅保育についてグループごとにプレゼンテーションを行い評価を受ける。 【木本・岩橋】	事前：初回～14回の内容についてテキストや自己評価（振り返り）を活用し、グループディスカッションなどを通して復習する。（90分） 事後：自己評価（振り返り）におけるフィードバック及びテキストを活用し講義全体を復習する。（90分）

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

1. 授業終了後の『振り返り』『事前課題』『自己研修』を行い、次のステップに繋いで欲しい。
  2. この授業は終了後の『振り返り』『事前課題』『自己研修』を重視し、レポート（原本）提出時の際は本人用（コピー）を保管すること。
- \*この資格（認定ベビーシッター）は保育士資格取得が必要条件である。  
\*講師の都合により、授業内容が変更することもある。

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	授業への取り組み姿勢と振り返り	自己研修	
50%	30%	20%	

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
家庭訪問保育の理論と実際 第3版	益社団法人全国保育サービス協会 監修	中央法規出版

#### 参考書又は参考資料等

参考資料等講義中に適宜配布

#### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

- \*発達と心理については本学「発達心理学」にて実施。  
乳幼児の栄養と食事については本学「子どもの食と栄養」にて実施。  
小児保健Ⅰ・Ⅱについては、本学「小児保健Ⅰ・Ⅱ」にて実施。  
心肺蘇生法については本年度「キャリア教育」にて実施予定。  
・授業内容について理解不足の学生は、授業終了後オフィスアワーを活用して指導を受けること。

#### 担当教員の連絡先等

担当教員E-mail	その他

授 業 科 目 名		こども音楽療育概論	
担 当 者 名		永吉 佳美	実 務 家 教 員
科 目 コ ー ド		2200073	授 業 形 態
学 年		1年	講 義
単 位 数		2	開 講 期
ナ ン バ リ ン グ		DP4-1-B	履 修
授 業 の 概 要 と 方 法		障がいのあるこどもの音楽療育の基礎・専門知識について学習する。心身の発達過程と音楽的発達との関係、音楽と遊びの関係、音楽療育の意義と障害種別の具体的援助法を学ぶ。	
授 業 の 到 達 目 標		・障がいのあるこどもの音楽療育の基礎的理念を説明することができる。 〔学習成果〕 ・心身の発達過程と音楽的発達との関係、音楽と遊びの関係、さらに障害種別の具体的援助法を説明することができる。	
授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 等 ) の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間	
1	オリエンテーション：授業目標及び本授業の到達目標を確認する。	事前：シラバスの確認と本講義を受ける目的について考える (90分) 事後：0歳～5歳児の心身の発達をまとめる (90分)	
2	音楽療育の対象児について：様々な障害と対象児への療育について学ぶ	事前：事前に指示するテキストの該当箇所の予習 (90分) 事後：様々な障害についてまとめる (90分)	
3	音楽療育の定義：障がい児を対象とした音楽療育の意義と音楽の役割について学ぶ	事前：事前に指示するテキストの該当箇所の予習 (90分) 事後：障がい児と音楽の関わりについてまとめる (90分)	
4	Co-Musictherapyにおける基本的視点について学ぶ	事前：事前に指示するテキストの該当箇所の予習 (90分) 事後：障がい児の発達についてまとめる (90分)	
5	Co-Musictherapyの主要な概念について学ぶ	事前：事前に指示するテキストの該当箇所の予習 (90分) 事後：音楽療育の目的と概念についてまとめる (90分)	
6	障がいの基礎知識①身体障がい児について学ぶ	事前：事前に指示するテキストの該当箇所の予習 (90分) 事後：身体障がい児についてまとめる (90分)	
7	障がいの基礎知識② 肢体不自由児と高齢者について学ぶ	事前：事前に指示するテキストの該当箇所の予習 (90分) 事後：肢体不自由児と高齢者についてまとめる (90分)	
8	音楽療育のテクニック① 療育の基本的な考え方について学ぶ	事前：事前に指示するテキストの該当箇所の予習 (90分) 事後：療育の考え方、心構えについてまとめる (90分)	
9	音楽療育のテクニック② 対象児への理解とコミュニケーションについて学ぶ	事前：事前に指示するテキストの該当箇所の予習 (90分) 事後：対象児へのコミュニケーションについてまとめる (90分)	
10	音楽療育のテクニック③ 有効な音・音楽について学ぶ (楽曲の分析)	事前：事前に指示するテキストの該当箇所の予習 (90分) 事後：有効な音・音楽と楽曲の分析についてまとめる (90分)	
11	音楽療育の計画①：プログラムの立て方について学ぶ (1)	事前：事前に指示するテキストの該当箇所の予習 (90分) 事後：プログラムについてまとめる (90分)	
12	音楽療育の計画② プログラムの立て方について学ぶ (2)	事前：事前に指示するテキストの該当箇所の予習 (90分) 事後：プログラムについてまとめる (90分)	
13	音楽療育の計画③ プログラムの立て方について学ぶ (3)	事前：事前に指示するテキストの該当箇所の予習 (90分) 事後：プログラムについてまとめる (90分)	
14	音楽療育の計画④ プログラムの記録、評価について学ぶ (4)	事前：事前に指示するテキストの該当箇所の予習 (90分) 事後：プログラムについてまとめる (90分)	

15	まとめ	事前：これまでの講義内容の復習（90分） 事後：音楽療育についてまとめる（90分）
<b>準備学習・事後学習等についての補足説明</b>		
※各授業計画の欄を参照		
<b>成績評価の方法〔評価項目と割合〕</b>		
定期試験（筆記試験）	提出物	
70%	30%	
<b>使用テキスト</b>		
書籍名	著者	出版社
音とひとをつなぐコ・ミュージックセラピー	中島恵子 山下恵子	春秋社 2002
<b>参考書又は参考資料等</b>		
特になし		
<b>その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕</b>		
・心身共に健康で受講してくださることを望みます。		
<b>担当教員の連絡先等</b>		
担当教員E-mail	その他	
	講義終了後の質問対応可	

授 業 科 目 名		こども音楽療育演習	
担 当 者 名	永吉 佳美	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2200074	授 業 形 態	演習
学 年	2年	開 講 期	2024年度前期
単 位 数	1	履 修	こども音楽療育士必修
ナ ン バ リ ン グ	DP4-2-A		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	障害のあるこどもを対象とした音楽療育の実践方法に関する基礎と専門知識・技術技能について学習する。発達の援助のための音や音楽の使い方、障害差別、形態別（個別、集団など）の療育の具体的方法、楽器の活用法や身体表現と音楽との関連を視野に入れた実践方法について学ぶ。		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害のあるこどもを対象とした音楽療育の実践ができる。</li> <li>・発達援助のために音や音楽の使い方を理解して、音楽を構成したり、療育活動を構成したりすることができる。</li> <li>・発達に合わせた遊びを創造することができる。</li> </ul>		
授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 等 ) の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間	
1	オリエンテーション： 授業目標および本授業の到達目標を確認する。	事前：シラバスを読み、授業の流れを理解する（15分） 事後：自分なりの到達目標をたてる（30分）	
2	30分間のセッションを実際に体験する。	事前：指示した内容の確認（15分） 事後：体験の内容をまとめる（30分）	
3	基礎的技術の習得①：打楽器、鍵盤楽器、弦楽器（ギター）の基礎的な技術を習得する。	事後：さんぼ、ドラえもん、サザエさんなどを練習する（45分）	
4	基礎的技術の習得②：打楽器、鍵盤楽器、弦楽器（ギター）の基礎的な技術を習得する。	事後：さんぼ、ドラえもん、サザエさんなどを練習する（45分）	
5	基礎的技術の習得③：楽器アンサンブルを体験する。	事後：さんぼ、ドラえもん、サザエさんなどを練習する（45分）	
6	音楽構成の方法：オルフ楽器を用いて、音楽の構成について考え、実際に楽器構成をする。	事後：リズムムーブメントの練習（45分）	
7	肢体不自由児への音楽療育：肢体不自由児に対する個別音楽療育の集団音楽療育の具体的方法を学ぶ。	事前：肢体不自由児に必要な楽器、使い方を考察する（30分） 事後：授業内容の復習（15分）	
8	発達障がい児への音楽療育①：発達障がい児に対する個別音楽療育の集団音楽療育の具体的方法を学ぶ。	事前：発達障がい児に必要な楽器、使い方を考察する（30分） 事後：授業内容の復習（15分）	
9	発達障がい児への音楽療育②：発達障がい児に対する個別音楽療育の集団音楽療育の具体的方法を学ぶ。	事前：発達障がい児の音楽療育を考察する（30分） 事後：授業内容の復習（15分）	
10	発達障がい児への音楽療育③：発達障がい児に対する個別音楽療育の集団音楽療育の具体的方法を学ぶ。	事前：発達障がい児の音楽療育を考察する（30分） 事後：授業内容の復習（15分）	
11	知的障がい児への音楽療育：知的障がい児に対する個別音楽療育の集団音楽療育の具体的方法を学ぶ。	事後：知的障がい児の音楽療育に関する見直し、課題（45分）	

12	視覚・聴覚障がい児への音楽療育： 視覚障がい児・聴覚障がい児に対する個別音楽療育と集団音楽療育の具体的方法を学ぶ。	事後：視覚障がい児・聴覚障がい児の音楽療育に関する課題（45分）
13	発達援助のための遊びと音楽①：発達を援助していくための遊びの創造を学ぶ。	事後：障害を設定して遊びを考察する（45分）
14	発達援助のための遊びと音楽②：発達を援助していくための遊びの創造を学ぶ。	事後：障害を設定して遊びを考察する（45分）
15	まとめ	事後：これまでの課題を復習する（45分）
<b>準備学習・事後学習等についての補足説明</b>		
事後：これまでの課題を復習する（45分）		
<b>成績評価の方法〔評価項目と割合〕</b>		
定期試験（筆記試験）	提出物	
70%	30%	
<b>使用テキスト</b>		
書籍名	著者	出版社
音とひとつをつなぐコ・ミュージックセラピー	中島恵子 山下恵子	春秋社 2002
保育所保育指針解説（平成30年3月）	厚生労働省	フレーベル館
<b>参考書又は参考資料等</b>		
特になし		
<b>その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕</b>		
・心身共に健康で受講してくださることを望みます。		
<b>担当教員の連絡先等</b>		
担当教員E-mail	その他	
	講義終了後の質問対応可	

授 業 科 目 名	こども音楽療育実習						
担 当 者 名	永吉 佳美	実 務 家 教 員	○				
科 目 コ ー ド	2200075	授 業 形 態	実習				
学 年	2	開 講 期	2024 年度後期				
単 位 数	1	履 修	こども音楽療育士必修				
ナンバリング	DP4-2-B						
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	音楽療育士は、保育所や療育センター施設等の社会的な役割を具体的に理解したうえで、こどもの観察や関わりを通してより一層理解を深めていくことが求められるため、既習の教科の内容を踏まえ、こどもや保護者への支援についても総合的に学ばなければならない。この授業の中で、更に、障害児通園部において 5 日間の実習を行う。障害児との積極的な関わり、支援者の意図、心身の発達過程と音楽的発達との関係、障害種別の具体的援助方法の意義を見出すことのできる現場実習とする。						
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合療育センター、障害児施設等の役割や機能を具体的に理解することができる。</li> <li>・観察やこどもとの関わりを通して、こどもへの理解を深めることができる。</li> <li>・既習の教科の内容を踏まえて、こどもに対する保育や保護者への支援の在り方などを学ぶことができる。</li> <li>・保育の計画、観察、記録及び自己評価について具体的に理解することができる。</li> <li>・保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学ぶことができる。</li> </ul>						
授 業 計 画 〔学外実習の内容含む〕							
<p>講義で概論、演習で学んだことを実習に活かした音楽（音、歌あそび、楽器あそび、身体表現等）を用いて療育総合センター、障害児発達支援センター等での見学・観察実習・参加実習を通して具体的実践方法を学ぶ。</p> <p>〈実習先〉 北九州市立総合療育センター及び北九州市立総合療育センター西部分所において 5 日間の学外実習もしくは、恵光園こどもの家、門司光の子学園等において 5 日間の実習を行う。</p> <p>〈オリエンテーション〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の役割と機能</li> <li>・実習の意義と目的、実習の内容、実習の心得。</li> <li>・障害児の見学と観察の理解</li> </ul> <p>〈実習前学習〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習前に対象児を確認し、障害についての理解を深める。</li> <li>・障害児通園部の施設の特徴を理解する。</li> <li>・援助計画の理解と活用</li> </ul> <p>〈実習の指標〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害のあるこどもたちと積極的に関わりを持つことができる。</li> <li>・支援者の療育の意図を理解することができる。</li> <li>・記録に基づく省察・自己評価</li> </ul> <p>〈実習段階〉</p> <p>① 療育実習の 2 側面</p> <table border="0"> <tr> <td>受動的側面</td> <td>障害児の観察と理解</td> </tr> <tr> <td>能動的側面</td> <td>障害児と積極的に関わりを持つことができる。</td> </tr> </table> <p>② 実習の段階</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見学・観察実習、参加実習</li> <li>・療育士の業務内容・療育士としての役割分担や連携</li> <li>・障害児の発達段階の理解</li> </ul>				受動的側面	障害児の観察と理解	能動的側面	障害児と積極的に関わりを持つことができる。
受動的側面	障害児の観察と理解						
能動的側面	障害児と積極的に関わりを持つことができる。						



<p>〈実習の内容〉</p> <p>①見学・観察実習、参加実習障害児及び音楽療育の実際を理解する。          ②参加実習：音楽療育場面に参加し、積極的にこども達と関わる。          ③実習担当者より訪問指導を受ける。</p> <p>〈実習後の学習〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽療育実習記録簿及び、音楽療育実習日誌を作成・提出する。</li> <li>・まとめ</li> </ul>			
<p><b>準備学習・事後学習等についての補足説明</b></p>			
<p>※授業計画欄を参照。</p>			
<p><b>成績評価の方法〔評価項目と割合〕</b></p>			
実習先からの評価表・実習記録・提出物	オリエンテーション記録を含むレポート提出		
80%	20%		
<p><b>使用テキスト</b></p>			
書籍名	著者	出版社	
音とひとをつなぐコ・ミュージックセラピー	中島恵子 山下恵子	春秋社 2002	
保育所保育指針解説（平成30年3月）	厚生労働省	フレーベル館	
<p><b>参考書又は参考資料等</b></p>			
<p>特になし</p>			
<p><b>その他〔実習に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて〕</b></p>			
<p>・心身共に健康で受講してくださることを望みます。</p>			
<p><b>担当教員の連絡先等</b></p>			
担当教員 E-mail		その他	

授 業 科 目 名		レクリエーション概論		
担 当 者 名		大橋 祐介、尾中 美穂	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド		2200058	授 業 形 態	講義
学 年		2年	開 講 期	2024年度前期
単 位 数		2	履 修	レクリエーション・インストラクター必修
ナ ン バ リ ン グ		DP4-2-A		
授 業 の 概 要 と 方 法 〔実務家教員についての特記事項含む〕		レクリエーションの目的は、「心を元気にすること」である。また、心を元気にするための活動を「レクリエーション活動」という。本授業では、自身が今後対象とする人々の心を元気にする手助けの方法を理論的に学ぶことを目的とする。 授業を通して、保育・福祉の現場で求められているレクリエーションについて考察、プログラムの立案を行い、実践できる人材を育成する。		
授 業 の 到 達 目 標 〔学習成果〕		<ul style="list-style-type: none"> <li>レクリエーションの目的（こころを元気にすること）を理解する。</li> <li>レクリエーション・インストラクターの役割を理解し、活動を用いて、人々が心を元気にする手助けの方法を知る。</li> <li>レクリエーション活動を有効に活用するための理論および技術を身に着ける。</li> </ul>		
授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 等 ) の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間		
1	オリエンテーション レクリエーション・インストラクター資格取得について	事前：シラバスを読んでおくこと。(90分) 事後：資格取得の目的について考えておくこと。(90分)		
2	レクリエーション概論 ①レクリエーションの趣旨について ②レクリエーション支援の目的と方法	事前：レクリエーションについて調べておくこと。(90分) 事後：支援の目的についてまとめておくこと。(90分)		
3	レクリエーション概論 ③レクリエーション・インストラクターの役割	事前：役割について、考えておくこと。(90分) 事後：インストラクターとしての自分自身の役割について考えておくこと。(90分)		
4	楽しさと心の健康づくりの理論 ①レクリエーション活動の楽しさを感じる心の仕組み ②楽しさが心の元気をもたらす生理的な仕組み、および社会的な仕組み	事前：レクリエーションの楽しさについて考えておくこと。(90分) 事後：心の元気について考えをまとめておくこと。(90分)		
5	楽しさと心の健康づくりの理論 ③ライフステージと心の元気づくり ④地域のきずなづくりとレクリエーション	事前：ライフステージについて調べておくこと。(90分) 事後：事後：地域におけるレクリエーション活動について調べておくこと。(90分)		
6	レクリエーション支援理論 ①レクリエーション支援におけるコミュニケーション ②対象者と支援者の信頼関係、および信頼関係づくりの方法	事前：信頼関係づくりの方法について考えておくこと。(90分) 事後：コミュニケーションの取り方について復習すること。(90分)		
7	レクリエーション支援理論 ③良好な集団、およびレクリエーション活動を通じた良好な集団づくり ④集団内のコミュニケーションの促進	事前：コミュニケーションの促進方法について考えておくこと。(90分) 事後：現場でどのように実践できるか考えておくこと。(90分)		

8	レクリエーション支援理論 ⑤自主的、主体的にレクリエーション活動を楽しむ力 ⑥やる気の変化とやる気が生じる心の仕組み	事前：やる気が生じる心の仕組みについて考えておくこと。(90分) 事後：授業で学んだことを実践してみること。(90分)
9	レクリエーション支援理論 ⑦成功体験を支え合う対象者の関わり合い	事前：自分の成功体験について振り返っておくこと。(90分) 事後：成功体験が心にもたらすポジティブな影響についてまとめておくこと。(90分)
10	レクリエーション支援のプログラム ①リスクマネジメントの方法	事前：リスクマネジメントについて調べておくこと。(90分) 事後：現場においてどのようなリスクマネジメントが必要か考えておくこと。(90分)
11	レクリエーション支援のプログラム ②プログラムの立案方法	事前：プログラムの立案方法を調べておくこと。(90分) 事後：プログラムの主な内容について考えておくこと。(90分)
12	レクリエーション支援のプログラム ③プログラムの立案1	事前：立案方法について復習しておくこと。(90分) 事後：授業内容をまとめておくこと。(90分)
13	レクリエーション支援のプログラム ④プログラムの立案2	事前：前回の授業内容について復習しておくこと。(90分) 事後：授業内容をまとめておくこと。(90分)
14	レクリエーション支援のプログラム ⑤プログラムの発表と実践1	事前：発表練習をしておくこと。(90分) 事後：発表について振り返りをしておくこと。(90分)
15	レクリエーション支援のプログラム ⑥プログラムの発表と実践2 レクリエーション支援の総まとめ 自己課題について	事前：発表練習をしておくこと。(90分) 事後：授業全体のまとめをレポートに記入し、提出すること。(90分)

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

シラバスの内容に沿って、準備・事後学習を行い、資格取得に向けて取り組むこと。

#### 成績評価の方法〔評価項目と割合〕

授業への取り組み	レポート		
60%	40%		

#### 使用テキスト

書籍名	著者	出版社
・必要に応じて資料配布。		

#### 参考書又は参考資料等

「楽しさをとおした心の元気づくり レクリエーション支援の理論と方法」(公財)レクリエーション協会編  
「レクリエーション支援の基礎」(公財)レクリエーション協会編

#### その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

「レクリエーション概論」に併せて、「レクリエーション実技」の受講、現場実習3回以上、「保育実習Ⅰ」を修得して「レクリエーション・インストラクター」の資格取得手続きの運びとなります。  
提出されたレポートについては、コメントを記入し、返却します、今後の活動に役立ててください。

担当教員の連絡先等	
担当教員E-mail	その他

授 業 科 目 名	レクリエーション実技		
担 当 者 名	大橋 祐介、尾中 美穂	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド	2200059	授 業 形 態	演習
学 年	2 年	開 講 期	2024 年度前期、2024 年度後期
単 位 数	2	履 修	レクリエーション・インストラクター必修
ナンバリング	DP4-2-C		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	「レクリエーション概論」で学んだことを踏まえ、レクリエーション・インストラクターとしての支援方法を理解して、実践する。また、北九州市レクリエーション協会が主催するイベントに現場実習として参加し、地域の方々と様々なレクリエーションを体験することで、地域におけるレクリエーション活動の役割を理解する。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	1. 様々なアイスブレイキングを身に着ける。 2. 心を元気にするための手助けの方法（レクリエーション活動の内容・コミュニケーション技術等）を身に着ける。 3. 地域におけるレクリエーションの役割を考え、イベント等に積極的に参加する。		
授 業 計 画	準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及び必要時間		
1	オリエンテーション レクリエーション・インストラクター資格取得に向けて	事前：シラバスを読んでおくこと。（45分） 事後：資格取得後にどのように活用していくか考えておくこと。（45分）	
2	レクリエーション支援の方法 ①あたたかくもてなす意識と配慮 （ホスピタリティ・トレーニング）	事前：ホスピタリティについて調べておくこと。（45分） 事後：ホスピタリティについてまとめておくこと。（45分）	
3	レクリエーション支援の方法 ②対象者の気持ちを受け止めていることを伝える技術（カウンセリング・マインド）	事前：カウンセリングについて調べておくこと。（45分） 事後：カウンセリング・マインドを実践してみる。（45分）	
4	レクリエーション支援の方法 ③対象者との意思疎通を促進する技術	事前：意思疎通を促進する方法について考えておくこと。（45分） 事後：授業内容を復習しておくこと。（45分）	
5	レクリエーション支援の方法 ④集団がまとまる仕組みを活かすプログラム	事前：集団がまとまるという意味を考えておくこと。（45分） 事後：集団がまとまる仕組みについて復習しておくこと。（45分）	
6	レクリエーション支援の方法 ⑤アイスブレイキング・モデル	事前：アイスブレイキングについて調べておくこと。（45分） 事後：授業内容を実践してみる。（45分）	
7	レクリエーション支援の方法 ⑥アイスブレイキングの効果を高める支援技術	事前：アイスブレイキングの効果について復習しておくこと。（45分） 事後：アイスブレイキングの効果の高め方について復習しておくこと。（45分）	
8	レクリエーション支援の方法 ⑦ひとつの活動の中で複数回の成功体験を楽しむための目標設定の方法（ハードル設定）	事前：目標設定の方法について調べておくこと。（45分） 事後：ハードル設定について復習しておくこと。（45分）	
9	レクリエーション支援の方法 ⑧段階的に成功体験をしやすくするアレンジの基本と応用	事前：成功体験について調べておくこと。（45分） 事後：アレンジ方法について復習しておくこと。（45分）	
10	レクリエーション支援の方法 ⑨対象者の相互作用を促進するコミュニケーション技術の活用方法（CSS プロセス）	事前：CSS プロセスについて調べておくこと。（45分） 事後：保育現場における CSS プロセスについて考えること。（45分）	

11	レクリエーション支援の方法 ⑩目標設定と言葉や表情の活用方法の一体的な実施1	事前：表情と言葉の関係について考えておくこと。(45分) 事後：普段の生活において活用方法を実践してみること。(45分)
12	レクリエーション支援の方法 ⑩目標設定と言葉や表情の活用方法の一体的な実施2	事前：前回の授業内容を復習しておくこと。(45分) 事後：言葉と表情の活用方法について復習しておくこと。(45分)
13	レクリエーション活動の習得 ①レクリエーション支援のためのゲーム1	事前：レクリエーション・ゲームについて調べておくこと。(45分) 事後：ゲームの内容を復習しておくこと。(45分)
14	レクリエーション活動の習得 ①レクリエーション支援のためのゲーム2	事前：子どもを対象としたレクリエーション・ゲームについて調べておくこと。(45分) 事後：ゲームの内容を復習しておくこと。(45分)
15	レクリエーション活動の習得 ①レクリエーション支援のためのゲーム3 前期まとめ	事前：高齢者を対象としたレクリエーション・ゲームについて調べておくこと。(45分) 事後：前期の授業内容をノートにまとめておくこと。(45分)
16	後期オリエンテーション レクリエーション活動の習得 ②レクリエーション支援のための歌1	事前：レクリエーション支援に活用できる歌を調べておくこと。(45分) 事後：授業の内容を復習しておくこと。(45分)
17	レクリエーション活動の習得 ②レクリエーション支援のための歌2	事前：レクリエーションに活用できる歌を調べておくこと。(45分) 事後：授業内容をノートにまとめておくこと。(45分)
18	レクリエーション活動の習得 ③レクリエーション支援のための音楽に合わせた身体活動1(エアロビクス)	事前：エアロビクスについて調べておくこと。(45分) 事後：授業内容を実践してみること。(45分)
19	レクリエーション活動の習得 ③レクリエーション支援のための音楽に合わせた身体活動2(ダンス)	事前：レクダンスについて調べておくこと。(45分) 事後：授業内容を実践してみること。(45分)
20	レクリエーション活動の習得 ③レクリエーション支援のための音楽に合わせた身体活動3(手遊び等)	事前：音楽に合わせた手遊びを調べておくこと。(45分) 事後：授業内容を練習しておくこと。(45分)
21	レクリエーション活動の習得 ④レクリエーション支援のための様々な活動1(クラフト)	事前：クラフトについて調べ、実際に作ってみたいものの作り方をまとめておくこと。(90分)
22	レクリエーション活動の習得 ④レクリエーション支援のための様々な活動2(ニュースポーツ)	事前：ニュースポーツの種類およびルールを調べておくこと。(90分)
23	レクリエーション活動の習得 ④レクリエーション支援のための様々な活動3(ニュースポーツ 試合を楽しむ)	事前：ニュースポーツのルールを調べ、展開方法について考えておくこと。(90分)
24	レクリエーション支援の実施 プログラムの実施と評価及び改善1 対象者の特性を考えた事業計画 立案 計画	事前：16～23回の授業内容を復習しておくこと。(90分)
25	レクリエーション支援の実施 プログラムの実施と評価及び改善2 対象者の特性を考えた事業の実践(乳幼児期)	事前：乳幼児期の身体の特徴を調べ、どのような支援ができるか考えておくこと。(90分)
26	レクリエーション支援の実施 プログラムの実施と評価及び改善3 対象者の特性を考えた事業の実践(児童期)	事前：児童期の身体の特徴を調べ、どのような支援ができるか考えておくこと。(90分)
27	レクリエーション支援の実施 プログラムの実施と評価及び改善4 対象者の特性を考えた事業の実践 (青年・壮年・中年期)	事前：青年・壮年・中年期の特徴およびどのような支援ができるか考えておくこと。(90分)

28	レクリエーション支援の実施 プログラムの実施と評価及び改善 5 対象者の特性を考えた事業の実践 (老年期)	事前：老年期の身体の特性を調べておくこと。(45分) 事後：授業内容をノートにまとめておくこと。(45分)
29	レクリエーション支援の実施 プログラムの実施と評価及び改善 6 自己課題について ディスカッション	事前：24～28回の授業内容を復習しておくこと。(45分) 事後：ディスカッションの感想をまとめておくこと。(45分)
30	レクリエーションについての総まとめ	事前：これまでの授業内容をレポートにまとめて提出すること。(90分)
<b>準備学習・事後学習等についての補足説明</b>		
<b>成績評価の方法〔評価項目と割合〕</b>		
授業への取組み	レポート	
60%	40%	
<b>使用テキスト</b>		
書籍名	著者	出版社
・必要に応じて資料配布。		
<b>参考書又は参考資料等</b>		
「楽しさをおとした心の元気づくり レクリエーション支援の理論と方法」(公財)レクリエーション協会編 「レクリエーション支援の基礎」(公財)レクリエーション協会編		
<b>その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕</b>		
「レクリエーション実技」に併せて、「レクリエーション概論」の受講、現場実習3回以上、「保育実習Ⅰ」を修得して「レクリエーション・インストラクター」の資格取得手続きの運びとなります。 提出されたレポートについては、コメントを記入し、返却します。今後の現場での活動に活かしてください。		
<b>担当教員の連絡先等</b>		
担当教員 E-mail	その他	